# 柏崎刈羽原子力発電所 第7号機

地盤の支持性能 資料集

2020年 2月 東京電力ホールディングス株式会社

# 目次

1.	概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· 1
2.	ボーリング調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 2
	2.1 概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 2
	2.1.1 調査位置	. 2
	2.1.2 調査数量 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 6
	2.2 ボーリング柱状図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 9
	2.2.1 設置変更申請時 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 9
	2.2.2 設置変更許可申請以降 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	27
3.	原位置試験・室内試験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	72
	3.1 概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	72
	3.1.1 適用基準・規格 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	72
	3.1.2 解析用物性値一覧 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	73
	3.2 物理特性 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	75
	3.2.1 密度・間隙率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	75
	3.3 動的変形特性 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	77
	3.3.1 初期動せん断弾性係数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	77
	3.3.2 ポアソン比 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	79
	3.3.3 最大減衰定数 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	80
	3.3.4 粘着力・内部摩擦角・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91
	3.4 液状化強度特性 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	97
	3.4.1 液状化強度試験 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	97

### 1. 概要

本資料は、V-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」及び KK7 補足-024-1「地盤の支持性能について」に示す「設置変更許可申請書に記載されていない解析用物性値」のうち、有効応力解析に用いる地盤の物性値(物理特性、動的変形特性、液状化強度特性)の根拠となるボーリング調査及び原位置試験・室内試験の結果を示すものである。

### 2. ボーリング調査

#### 2.1 概要

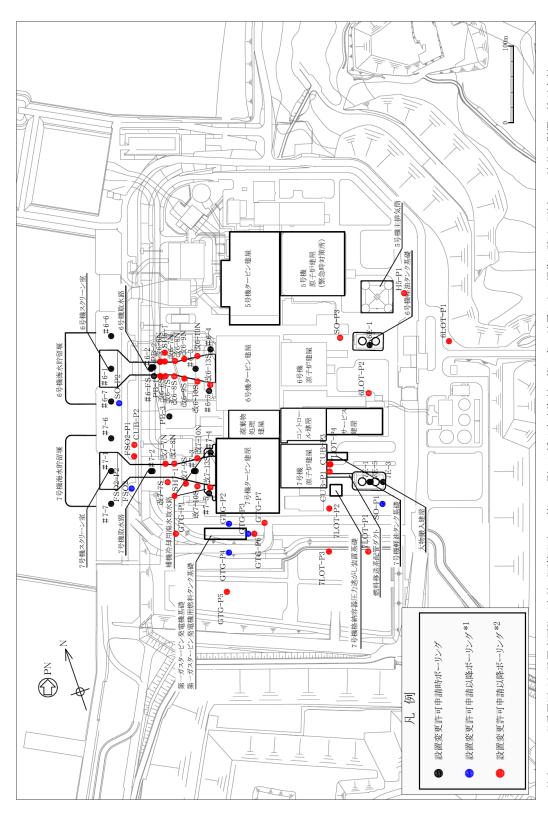
### 2.1.1 調査位置

ボーリング調査位置図を図2-1に示す。

また,設置変更許可申請段階のまとめ資料\*においては,液状化強度試験の追加試験を図 2-2 に示す位置及び大湊側の埋戻土層にて実施するとしていた。図 2-1 には,その設置 変更許可申請段階で示していた追加試験位置を青プロットで示す。

工事計画認可申請においては、上記に加えてさらなる追加の室内試験・原位置調査を実施しており、図 2-1 には、その試験位置を赤プロットで示す。

注記\*:発電用原子炉設置変更許可申請(原管発官 25 第 192 号)に係る審査資料の第4条:地震による損傷の防止 別紙-11:液状化影響の検討方針について(耐震)

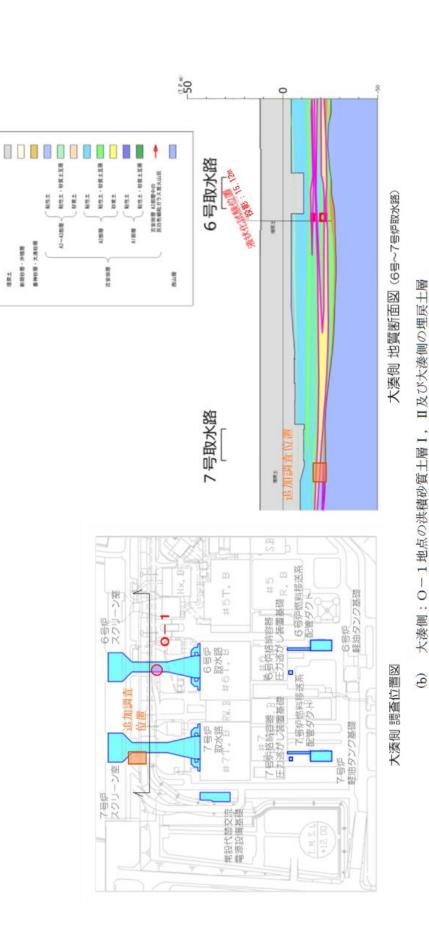


注記\*1 :発電用原子炉設置変更許可申請 (原管発官 25 第 192 号) に係る審査資料の第4条:地震による損傷の防止 別紙-11:液状化影響の検討方針について (耐震) 3.3 追加調査位置に記載の試験箇所を示す。 \*2 :\*1から追加で実施した試験箇所を示す。

ボーリング調査位置図

 $\boxtimes 2-1$ 

3



室

区

祖田土

(引用) 発電用原子炉設置変更許可申請 (原管発官 25 第 192 号) に係る審査資料の第4条:地震による損傷の防止 別紙-11:液状化影響の検討方針について (耐震) 設置変更許可申請段階で示した液状化強度試験 追加調査位置図(1/2) 2 - 2 $\mathbb{X}$ 

第11-3-15 図 追加調査実施予定地

# 常設代替交流電源設備基礎 (引用)発電用原子炉設置変更許可申請 (原管発官 25 第 192 号) に係る審査資料の第4条:地震による損傷の防止 別紙-11:液状化影響の検討方針について (耐震) 大湊側 地質断面図 (常設代替交流電源設備基礎~7号炉軽油タンク基礎) 古実田縣 42航路中の 灰白色細胞ガラス質火山灰 設置変更許可申請段階で示した液状化強度試験 迫加調査位置図(2/2) 銀行級 新期砂層・沖積層 追加調查実施予定地 (c) 大湊側:新期砂層·沖積層 追加調査位置 7 号軽油タンク 第 11-3-15 図 10 K 6 品都然對移法來 #5T.B E力当为し茶雪基礎 R. 6号が格納容器 2 - 2大湊側 調查位置図 × , 电邻数数数据数 7年をお答問題。8年7月の近次で、後週末日の近次で、後週末日

20

-50

壑 匠

> 提展上 新期份額·沖積額 着字の第・大法の第

A2858

野田安化

7.95年77.88

### 2.1.2 調査数量

調査数量を表 2-1~表 2-5 に示す。

表 2-1 PS 検層に関する調査数量表

		PSᡮ	
		rst	央 <i>l</i> 自
	地質区分	[測気	官数]
		設置変更許可 申請時	設置変更許可 申請時以降
	埋戻土	0	100
	埋戻土Ⅱ	10	0
+r	新期砂層	0	64
・新沖期	沖積層上部(シルト質)	0	3
積砂 層層	沖積層上部(砂質)	7	14
/8 /8	沖積層下部	5	38
	A3c層	2	6
古	A3al層	29	5
安田	A2c層	76	57
層	A2al層	21	21
	A2s層	18	34

表 2-2 物理試験に関する調査数量表

		土粒子の	密度試験	湿潤密	度試験
	地質区分	[試米	斗数]	[試料	斗数]
		設置変更許可 申請時	設置変更許可 申請時以降	設置変更許可 申請時	設置変更許可 申請時以降
	埋戻土	1	187	0	58
	埋戻土Ⅱ	8	13	8	0
der.	新期砂層	9	93	5	39
・新沖期	沖積層上部(シルト質)	0	7	0	15
積砂 層層	沖積層上部(砂質)	12	27	12	11
/8 /8	沖積層下部	5	60	5	38
	A3c層	3	12	3	15
古	A3al層	55	41	51	23
安田	A2c層	80	81	68	15
層	A2al層	35	41	33	34
	A2s層	31	78	18	37

表 2-3 三軸圧縮試験に関する調査数量表

	地质区八		縮試験 体数]
	地質区分	[ [ [ [ ] ]	14 数 ]
		設置変更許可 申請時	設置変更許可 申請時以降
	埋戻土	0	32
	埋戻土Ⅱ	4	0
ter	新期砂層	0	16
・新沖期	沖積層上部(シルト質)	0	12
積砂 層層	沖積層上部(砂質)	4	4
/目 /目	沖積層下部	0	16
	A3c層	0	12
古	A3al層	4	20
安田	A2c層	8	12
層	A2al層	0	28
	A2s層	10	20

表 2-4 動的変形試験に関する調査数量表

		動的変	形試験
	地質区分		体数]
		設置変更許可 申請時	設置変更許可 申請時以降
	埋戻土	0	6
	埋戻土Ⅱ	4	0
400	新期砂層	2	3
・新沖期	沖積層上部(シルト質)	0	3
積砂 層層	沖積層上部(砂質)	5	0
/8 /8	沖積層下部	1	3
	A3c層	0	3
古	A3al層	8	3
安田	A2c層	14	3
層	A2al層	8	6
	A2s層	5	3

表 2-5 液状化強度試験に関する調査数量表

			液状化強度試験	
	地質区分		[供試体数]	
		設置変更許可 申請時	設置変更許可 申請時以降*1	設置変更許可 申請時以降* <sup>2</sup>
	埋戻土	0	20	0
	埋戻土Ⅱ	_	_	_
• 新	新期砂層	0	8	12
沖期	沖積層上部(シルト質)	_	_	_
積砂層層	沖積層上部(砂質)	0	7	0
/8 /8	沖積層下部	0	7	12
	A3c層	_	_	_
古	A3al層	_	_	_
安田	A2c層			_
層	A2al層	_	_	_
	A2s層	20	14	0

注記\*1:括弧内の数値は,全数量のうち発電用原子炉設置変更許可申請(原管発官 25 第 192 号) に係る審査資料の第4条:地震による損傷の防止 別紙-11:液状化影響の検討方針に ついて(耐震) 3.3 追加調査位置に記載の試験箇所における試験数量を示す。

\*2:\*1から追加で実施した試験数量を示す。

## 2.2 ボーリング柱状図

## 2.2.1 設置変更申請時

ボーリング柱状図を図 2-3~図 2-19 に示す。

標	標	深	層	柱	Π	地	色	観	相	相	標	試	料		標	5	準	奠	入	試	験
			_	状図		質			対密	対稠	本資	採取	採取	深度	N 値		m 年 日 日		N	10	□/30cm
尺加	高 m	度 m	厚加	記号		名	調	察	度	度	料 No.	記号	深度 加	度加	230cm	10	20 3	0	10	20 3	0 40 50
0		0.50		1		<b>碎石</b>	7.5 YR 2/1	ののへの50m 解石、コンパートよりなる							-	Н	+	+	_	-	
1		0.30		\ /	埋	埋	7,0 77( 7)	0.50m以源,中砂至主体とL及7里土 比較的淘汰度4、细粒分少5m。						- 1.15	13	5	4	4		ļ	
				$ \cdot $			-	番件的方を主体とした提生 没力が比較的小小り						1.45	30	3	2	2	1		
2						15	- 6	チ/の以下の歴史学者を /#0-1.90m #5cmの 固括砂(番神智月)会						2.45	30	0	+	1 9			
3 -				/\		+		285~2.00m これトプロック含む 3.60~3.65m 24石含む。						3.45	30	1	50	-			
4				/ \	土	エ	10	390m以深含以比高1万3.						4.15	50	16	28	5	+	+	
5	-2.00	4.90	1.90		<b>新</b> 69	中砂	7.5 YR 4/6	別は良い 和社分りない。				-		4.36	27	8	9	0	-+	+	
6	-2.70 -3.00	5.60	0.70		期局	中か	5YR 4/6 109Y 5/1	下部月30mm 以下6 円 <b>港</b> 含む > 2 代 3 以 5 .7 0 5 .2 2 m カルサイト 浸 集 を M - 1 1 2 m - 1						5.45	50	6	6	8	<u>.</u>	/	
+	-3.62 -3.84	6.52	6.74	1992/2010	安田43	シルト・シルト質 飼砂 互另	109 6/1,5/1 589 4/1	6/4~6/5m 植物小比巴尔拉托药 6/5~6/6m 解析技术设态 地度分化、4ペペ 三月社 12号号 三川八島上華金田						6.45	30		+	-		9	
7	-4.41	7.3/	0.57		10,	シルト	589 6/1	ングス シルト、0.30~4.00m ンパー 東京級の少数では、 ク.パーク、24m 有線機 電シルト・ 以続きが深いましょう。 ないまた、ことは、25m かはなり着ちゃしまで作る。						7.45	30	6	7	8	7	+	
8	-5.04	2.94	0.63			中影片	589 % . %	「智子のから入り、日本を会しています。」 「はない」となっています。 「はない」となっています。 「はない」となっています。 かけったの、物質がよっています。」 かけったの、物質がよっています。」 「はない」となっています。」 「はない」となっています。」 「はない」となっています。」 「はない」となっています。 「はない」とない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「はない。 「			br			8.45	30	7	7	8	·+	+6	
9-				===				2021 1-44、A& 1876 0 2 5 ( 18 5 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						- 9.15	30	10	10	0			•
10				===				851-450m 9.50~9.56m 9.50~9.56m 9.55~9.56m 0.002-0.03m 1.003-0.045m 1.003-0.045m 1.003-0.045m		0				9.45	31	10	10	,,		ļ	
1		10.50		===	47	シ ルト 通知の況に注意		クル語・分析を ア 動 結合を持ち ア 動 結合を対象と、相談化石 デオスタ ラマス さんし カラス さんし カラス さんし カラス さんし						10.45	30	9	10	0		1	1
11	- 8.33	11.81	0.51	~~~//~~	₩A2	シ リレ ト シルト シルほけ 細砂 互刃	1089 6/1	2. 20 (1985年) (1985年 - 1985年) (1985年 - 1985年						11.45	30		1			1	
12-					B			32枚 344 Mで 本面加化る含本 11.81-120m 有機質244 12.84-12420 35.874ト月4月4入3。						12.45	23	7	8	8	1	4	
13-				===				11.51、(200m) 海機(東ジルト 12.34~(242m) 71677ト戸北川人3。 12.49~(245m) 福加化名(文)含む 13.00~(3.34m) 福加化名(文)含む 13.00~(3.34m) (《)例では入り、全体と12.5 (《)例では入り、全体と12.5	nt.					-/3.15	26	8	8	0			<del>  </del>
14				===				14.51、14.33m 《初月状以》 14.41、14.19m 杨烟的湿心。3、小孩在						19.45	25	8	θ	9			
15-	-12.10	15.00	3.19			シルト	1095/	1487~15.00m 植物礼石(事)密集有3。						14.45	30	6	7	8		/	ļļ
				-==-			2	t島状でルト、計画に約官であり、堀入する 極ヴない、8月計構及費を呈し全路として 万相容化がすない。						15.45	30			-		1	
16-				===				上位房、下位房は、新移的に登记するか、 上位は、植物視るまは一般的多く含むがこの 機状を414は、植物量含むだけである。						16.45	30	6	7	7	-	4	
17-				===				16.44.16.75m 相利和少量含む						-17.15	23	7	8	ð	+	-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
18-				===				/246~/266元 和砂堤川与小投転移						17.45	21	7	7	7		·	ļ
19				-==-			22	***************************************						18.45	24	7	8	9	<u> </u>		
20								黄灰色斑(未展(北で白色)列を点在行 音的ない、金箔御吹着し、石里宝の所あり、						19.45	30			(2		1	
20	-/7.37 -/7.6/ -/7.8/	20.27 20.5/ 20.2/	5,27 0,24 0,20	-77-		シルト 個別関ミルト シルト選い中砂	10 6 6/2 7/1 10 9 5/1 589 3/1	日かれたサール入り にはずまであるとまた。東京 <b>は</b> 町						20.45	30		+				8
21		21.26	0.55	7.7		細砂質シルト	589 5/1	海のルカリサルス 3 元 以前 かからなっている。						-2/.15	50/25	18	20	5		†	
22-				_	血			対質も基状のミルト語。 :銀入するすなし、月末の変化ツない。 22.41~22.52m サガリテストと名人 3、						-22./5	50	20	25	5		· <del>†</del>	
23-				=	4			22.69、22.71m 参配的提在。 23.53m サガリテスペモ石入3。						- 23.72	50	20	26	4		÷	
24-				=	月月			23.69~23.66m] 部的投作。 23.66~23.7072] 部的投作。 24.67~24.20n 拥牧53及寶兴以及						- 23.36 -29.15	50	20	30	1	1	ļ	
	- 22.10	25.00	3.37		[	シルト岩	2.597 3/1	7747 224m 45°, 22.76m 80°, 23.37m 60° 27.85m 70°, 24.27m 30°, 24.46m 20° 16.42m 60°						- 24.35	-50	H	+				
25			0,0			-	/	N .						-				1	1	-	
26			-					-											+	÷	! <u> </u>
27-								9						-							ļ <u>-</u>
28-					-		5 "												÷		ļļļ
29								20 12.													
				. 10										-							
30																П			· †	†	ttt

図 2-3 ボーリング柱状図 (#6-1)

票	標	深	層	柱		地	色	観	相	相	標	試	料		標	E 75	準	貫	入	試	験		
_	_			状図		質		-	対密	対稠	本資	採取	採取四	深度	N 値		毎の回数		Ν	1	直回	/30cm	
5	高加	度加	厚加	記号		名		察	度	度	料 No.	記号	深度加		回 /30cm	10/2			0 2	0			5
1		0.25			-	蘇布	59 2/1	0.00~0.75m \$10~40m \$\$ 5	_				_	-		1	$\perp$				-	-	-
1				\ /				ののいのできょうかのなのまれる存在 のできまり、環中的を主体としたり建立。 比較的関系を見くり、電体的で 少量の組織とこれより思え合む					77	- 1.15	0	3	3 3					1	
1			P	\ /	埋	埋		0.70~0.75m p 5cmのシルトを発含む						1.45	30		3 3	٩					
2				V										2./5	10	3	4 3		ţ		+	+	-
3			8	$ \lambda $				2.35m 44cmの 円間入る						2.45	30	1	1 1	/-		+		<del> </del>	-
4				$ /\rangle $				240m 神石少量含t 3.00~3.40m 51113 1部分811 国境状态						0.45	16	5	6 5	/				<u> </u>	
١,				$/ \setminus$	土	土		300~4.50mp/1~4cm円碳/0%程度含 4.50m以浓混入物少店い.	t.					4.45	30	$\vdash$	+		1				
5	- 2.44	5:60	5.60			中砂	7.5 YR 5/6							- 5.15	30	8	7 6		+	>		+	-
6 -								こで状られた、混入的りなく物質であるのかののであっているので、カルサイトンジュールチャック・マースを 値が置いするので、カルサイトンジュールチャック・マースを 様が置いするのである。	3.					5.25	16	5	5 6		-/	+		<del></del>	-
7				===	安			2.17~2.15m] カルサイト/シュールテロルを以て ア、ファースチョン ル・チャール・SZm サミルル 以下黒色斑入る。	Ŕ					6.45	16	5	5 6					-	
1	- 4.60		2.16		⊞A3	シルト 有機質シルト	1097 5/1	下位とは理解を紹介に整化する						7.95	30	-	+		•				
8 +	- 4.90 - 5.14		0.30	-7-	月		10 Y 5/1 589 6/1 589 5/	植物化石石具(東)シマ状シルトの一部 上方細数化を示して部ややみずうなさむ 数度常化だし都合的にコルーラックをも						8.45	30	6	8 11		+	0		+	-
9-	\$ 75	8.72	0.42	//		中野 〜 親神り ミルト混じり中砂 総砂質シルト立戸	59 4 5/	3.0.1-首/中以上に表すり東水東、3年度 おり勝るが 3-/0-単位でもヤイクルのリーテ3:2 中ま・南東町間		7				- 9.15	30	15	5 17		·	+		-	
0	- 6.81	9.57	0.66	===		100/ € 211/229	0, 11, 11	マルーテルー 有機を必然をリフィアストに乗り ことは、コルト・9の場で、現入的でない。 9.57~ 9.65~ 和かであった田子の高人です また。 8.87~ あたがりましてす						9.95	9/_	9	111				/		
1							٠.	10.33~0.87~ 福祉を祀るは行河状に入る 10.43~10.82~ 10.38~0.92~1 カルサイト/ B3・ルガ紅状)派在 0.58~0.95~						10.45	30	H	+				9		
1-	- 8.02 - 8.37	11.18	0.35			ショルト 有機質シッレト	104 5/1	日本の社会を集集を全性と共享を表現しません。 は、日本の主要を表現しません。 日本の主要を表現しまたる。 日本の主要を表現しまたる。 日本の主要を表現しまる。 日本の主要を表現しまる。 日本の主要を表現しまる。 日本の主要を表現しまる。 日本の主要を表現しまる。 日本の主要を表現しまる。 日本の主要を表現しまる。 日本の主要を表現しまる。 日本の主要を表現をまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるを						11.45	30	8	0 10				(	1	1
2-				===	安			月 神震視りない。 1,534-1175年 神徳代石(事)多(含む 1,76-1,777年 神徳代石(事)多(含む 1,76-1,777年 市 (福)電む 12,10-1,234年 植少量の植物部で含む						-12.15	29	9	0 10			+	j	+	-
3-				===				12:00-12:21年 祖少量の初か200分を12:20-12:21年 祖少量の初か200分を12:25-12:25年 12:42-12:25年						12.45	33	10	1/12			·		ļ	_
				-==-	田A2			(2017/43年 1427里の423年2078年 (1257/25/m 1247/25/m 1247/25						13.45	30	,	9 10				1		
4	11.5							13.61~13.66m,13.70~13.71m,13.78~13.79m フルマネト ヒモ状 に入る プルマネト ヒモ状 に入る						14.45	30	H	-					T	
5-				===				1361/366m(スプロ・437m。(278-4377m) 小サイトではている。 1941-1942m 有機模でルト設性する。 いたいりが、かかかりを使うのかし、 1950-187m 位沙東・配物砂金は、 1850-187m 心中のくまで、 1870-187m 心中のくまで、	<b>243</b>					-15.15	30	9	0 10		÷	+	•	+	-
6		15.90	₹.45		5	シンレト	109 6/1	15:20-4628m ややろく含む 瀬蓮原従2示しお量が異り3音8分あり 16/4-46/5m,1637x1642m,前8到ややかくさむ						15.45	30	10	0 10		·	<del></del>	ļ	<del> </del>	_
7-	-13.37	16.53	0.55	- 4/-			109 6/1	7.60年463年。16.7948年6年時刊ややかって、 中別勝五万。5-728年 単位。至万、豫県不明 上方和原位他の後周京寺。 16.70~46.74年。中が近在寺。 7.73年7月7年 - 本の海大寺の 下位と上き世の海大寺の	ŧ					16.45	30	10	0 10		ļ	ļ	I	1	_
1	-14.57	17.73	1.20	_#_		シルト混り細砂 細砂質シルト互用	589 57, 9	17.32-17.対金、存動視力(素) 信養する。 という・ 下泣と上さ近4.3軒は5万。						17.45	30	H	+				•		
8-								「仁義的関係」のおり、批准変化等。 304年期的化力、開研度と認定する 1857年18月、相対では1979年18月 1869年18月、相対では1974年7日 1869年18月の一種的北方(第7月4日 1869年8月の一種的北方(第7月4日 1869年8月						-18.15	52	15	5		1	†		1	1/
9-	-15.95	18.11	1.38			中 初	589 %	/8.01~/8.05m 植物化る(葉)74/ム状に入る 附近 植物化る(長入する。 別博な馬 みる0m単位も立方中か中による						-19.15	50 77	26	7				+	+==	
20	-16.97	20.13	1.02	= #=		中砂細砂質	589 4,5%	1860年 1870年 1870	0	-				- 19.32	50	16	1 13		į	ļ	.i	.i	
1			0.46			中砂~ 粗砂 中張湿い粗砂	589 3/1 589 3/1	提出第四部上部 夏 就知園里和 下部、別小規模が高端には下来在19 所は以下機(水)の以下のいと選供が以下 1度状でから上位では不要合的に選手が 現代相位では、運動のというで変性高い 者物化のでく、運動でというで変性高い 者物化のでく、速度は一般である。 2020年2025年、 黒色有機で削す発動に入る 2020年2025年、 黒色有機で削す発動に入る	te.					20.42	27	+	7					-	1
1-			1			11 11 11		場、状された上位と几子要含的に接する 現入物和でなく研覧のシャトでする性高い 種類化分でなく黒き近少量。続めるホラ						21.45	30	12	4 15			†	-	9	-
22-				===				かんしいのか オルサイト 環集したを増しなる						-22./5	39	19	3 13		<del></del>	÷	+	<i></i>	-
23	-19.86	23.02	2.18			シルト	109 6/1	22-93~22-99年 三川・東部局が設性する。						22.45	40	12	3 15		<u> </u>	ļ	.i	ļ	
1	-20.53	23.38	0.36			を見り 連び シスト を見り を見り を見り を見り を見り とり	109 6/1	は小原見を「Vocamitatioの情報不明確 を開始したがき。 ないでは、その意思の声相を示す。 は、ないでは、 での単位の見形 情界不明瞭、上を無理社の計画のする。						23.45	30		7/2	sources				1	
4		24.04				シルト質細分	54 4,5%	がすてライフ・ヤンドドはあります。 よう・						29.90	-55	16	5		1	1	1	1	7
25-	-21.96	25.12	0.28			様復い粗砂	59 3/1	からいれても様とかとのかいよ下のこれとう様である 相対かの中もりへかしてティングする 下十五日田の	FEE					-25.15	2/	15	27 8		·	ļ	+	+	
26-	- 22.84		0.88	6		中砂~細砂	59 3/1	03 5 947ル 9 7日 7日 7日 7日 7日 7日 8 5 年 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7	Ł					-25:38 -26:15	50	25	20 8			ļ	- <del>-</del>	+	-
ł	-23.26	26.42	0.42	00.000 		3小老殊混じ9中孫	54 3/1	(タグルカー・イラの、リスティ) が加工下の数でのは「おりか」を選択した。 を対しています。 はないないます。 から、リカラインは、まで、ままままます。 は、日本のない。 においます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またまままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またまままます。 のでは、またままます。 のでは、またままます。 のでは、またまままます。 のでは、またまままます。 のでは、またまままます。 のでは、またまままます。 のでは、またまままます。 のでは、またまままます。 のでは、またまままます。 のでは、またまままます。 のでは、またまままます。 のでは、またまままます。 のでは、またままままます。 のでは、またまままます。 のでは、またまままままます。 のでは、またままままます。 のでは、またままままままます。 のでは、またままままままます。 のでは、またままままままままままままままままままままままままままままままままままま						26.40	25	15	5 a 11						
27-	-24.62	27.78	1.36	///	-	シルト運搬砂 極細砂質SUI互用	200000000000000000000000000000000000000	環入 2007 年 4 . 27:78-27:78-14						27.15	54	+	4					-	1
8-	-25.33	28.49	0.71	0 0 0 0		シル岩礁堤にり中部	104 3/1	pd9mm以下の世門羅マ亜国際と#0いがmmの これも基準からなる 上音5 20mm 指行 概率 4.0% 上が細数化と示す。				2 1		-28.35	20	19	3/			+	· <del> </del> · · · · ·	-	
9	-25.68	29.80	0.31			中 初	10G 3h	コルウミラく含む、植物化の授佐する。 均質・傷状のミルト岩、風化帯説めら めない						-28.35	50	20	80		ļ	ļ	· <del> </del>	+	-
20-				=	西			28.85m						- 29.35	50	15 8	5 10	l		ļ	į		
	- Section 1				Lace	gast per out of	les carres as			·		9040	r <sub>pyroces</sub> s		_			Legarity	ic grass	e totale se	40	42	
9				=	Ц			25.64.24.62× 細粒が5.2 賞 火山灰 接性 25.62.254× サザリテス3とも含む						-30.37	25	15 2	5/0				1		
1-				=	尽			75.467.27.50m; 新田石 7天下三方字。 25.73~25.75m; 30.23~80.24m						31.15	25	19 2	8 0					ļ.,	-
2	. 5		1		~			かけんなける 編集ででする 種内心を存在						32.15	50	2/ 2	2 7		3.5				1
1	29.84	23.00	1.20			シルト岩	25 <b>6</b> Y3/	ジョーリーリー94m 組織的技術である。 32-18-12-36m 中華一組業に介入がかり するでのクルのイフラ 接続する 75-47(30-52m 30°3/36m 70°32-65m 50°)	-11-11					32.40	25		5		1.5			-	T

図 2-4 ボーリング柱状図 (#6-2)

標	標	深	層	柱		地	色	観	相	相	標	試	料		標	Ę	準	1	Ę	入	試	験	
			_	状図		質		134	対密	対稠	本資	採取	採取	深度	Z 値		毎の			Ν	ſā	<u>□</u> /30	)cm
尺加	高 m	度加	厚加	記号		名		察	度	度	料 No.	岩号	深度加		30cm	10	-	0	10	2	0 3	0 40	50
- 0 -				1				中砂 主 体の t里土								+	+	+		_			
1				\ /	盛土	埋		比較的切一を推すからなる。 番神が月起源の初					σ,	- 1.15	7 80	2	3	?					
2		2.05		••		中的	5YR 4/6 75YR 2/3	メルマル人下の研, シルト提合を。 不知る AJCの以下で表面にアスカルト						1.45	15	4	6	5	/	<b>/</b>			
-				$ \lambda ^{-1}$	埋			あり。 2.05~4.60。中砂主体 砕石·川北鬼						2.45	30	+	+	2	/	<b>)</b>			
3				//	土	土		含t。 新期积月起源。理主						3.45	30	1	2	-	9				
4	0.44	4.60	8.60	/ V		中 股	5YR 3/2							4.15	35	1	12 7	3 6					
5 -					新期			程径的-でで加いたをいるアデ 新製砂が対力をかけます責は・極い等しい。 を開発され、サラエラをおり						-5.15	17 30	4	5	8		P			
6	-0.71	5.75	0.30	00000	189 189		5YR 4/2 10YR 2/1	高度17名まない。 方式を表現を入す/3m/m 円端扁平沢朝 時式表現のあたる 第89年8年7年1 未発売を			100			5.45	13	5	4	4.		/			
7 -	-1.46	6.50	0.15	777		中が質にい	25YR 5/6 25YR 2/1	筆子 ジューガス やでなんで 3。 も7・本有量 和2 ラル 有機は20と ラ(ピー) お2月 相 下部月3と ジルト金有量で乗ります。下位と12						6.45	/2	4	5	9		ļ			
	-2.40	7.44	0.79	7.7.	安		10YR 5/6 25 YR 4/6	新年時のプリリスト ・ 田本学は、一般学生に、 ・ 田本学に、 ・ 田本学に、 ・ 田本学生の一般のでは、 ・ 田本学生の一般のでは、 ・ 田本学生の一般のでは、 ・ 田本学生の一般のでは、 ・ 田本学生の一般のでは、 ・ 田本学生の一般のでは、 ・ 田本学生の一般のでは、 ・ 田本学生の一般のでは、 ・ 田本学生の一般では、 ・ 田本学生の一般を ・ 田本学生の ・ 田本学の ・ 田本学生の ・ 田本学の ・ 田本学の ・ 田本学生の ・ 田本学の ・			-			7.45	30		+	4					
8 -	-3.52	8.56	0.79	//	£JA3	シルトはCの中で	10YR 5/6	7 5 1 2 6 5 2 1 ~ 4 cm サイフスカ 正 7 1 1 元 孔						8.45	30		+	+		1			
9 -	-4.54	9.58	0.52		R	されれ混じの細胞で 食物を行躍じつまれんだ と )し	SBG 6/1	ママキ以降 845-872m中旬が設在する。 こでは1m3 下野神道が北石含む 5.55、8.55 平野神道が北石(第) カルム大に入る。 三山 降ち立方 さったの マヤルルユルア・資本 子技(数)						9.45	30	6	8	9			a		
10-	-4.92		0.38	三套三		THE PERSON NO.	109 5/1, 4/1	2点に関う当時 さんのの 対外ル当ので (資本 を放展) 40 7時 4 清神直形 (寛子 ヤヤネ明 日系 40 44 40 5月 30 中でが起席。 90 5年 40 5月 31 福朝代石 (葉 木木) 含む。						10.15	30	9	15/	6			+	>	
11-	- 6.02	11.08	1.10			ンルト:扱いりを紹介 シルト 五.万	1093/,5/1	に取り打って アマボミルト 種物化石と						11.15	30	5	7	9 -			0		
12-	۰							プラく含モ。 11,57~/L65 m 細むリラ曼 混入する。 11,57~/L65 m 細むりソラ曼 混入する。 12,75~/L65 m 混むり化石(筆) 富巣 12,75~/L67 m 中むり混入する。 12,85~/L67 m 中むり混入する。 12,80~/2011 高端質 5~1~1 設任。						11.45	2/	6	7	B				ļ	
				===	安			バスマンバルがの パンタンパンス の からい バルスマンバルイアの 中をケラ及入する。 パスののハマのかい有が機関でルトを変化。 イスパンアンチャル デザス 有が新化石(は、強)金む						12.25	30	6	7	7			1		
13-								/ でのサイルのから、日本版 ましかりない。 だとが、インドラッドでも他物化をは、第)念む インタン・インドラットのでき、(東) インタン・インドラットのでき、10年間のから、10年間の 第二十年の一月であり、第二十年では、10年の インタン・インドラットのできます。 インタン・インタン・インタン・インタン・インタン・インタン・インタン・インタン						13.45	30	$\vdash$	+	$\exists$			*		
14					田A2			1230~/335m						14.15	18	5	6	7		,	+		
15-					尽			/3 25 ~ (3 255 m 新地 ガラス 管 313 次変在する。 3 2555 ~ (4 200 m 利益的化石 (木力)、3 /4 05 ~ (4 25 m 戸5 4 20 m 以下が化る (木力)、3 10 20 ~ (4 25 m 大田 70 化 12 m)、1 10 20 ~ (4 25 m スカリント、1 本 規則に入る	(NE)					-/5:/5	17	5	5	7-			÷	ļ	
16-				===				はよか、4.12m、31.74/2つい不規則に入る は5.13 v.5.25m 極部的が通じりをルト設在 15.20 v.5.25m。体部がある 15.20 v.5.25m。は45.v.5.45m 71.27%/2コールルテ は5.65×165.24m 種類化石(帯)フルルム3でに入る	73( <b>8</b> 6)					15.45	20	6	6	8-			<u></u>	ļ	
17-	-/3 -0	/2	,			5 N 1	109 5/1	16.06×16がか ゆきたかオリフリードショルスラ(駅 16.14×16 90か 種物化石(学)フリル4次に入る 16.48×16 60か 少春 積点和5%混入るる。						15.45	2/	6	7	8-			1	ļ	
18-	-/2.48	17.31	0.21	====	1	重新がほしかまれる	589 371	は55~65 94m 利息が代配(第)フルレイスドースの とのがくくがの 東京の 現場がという。 はイナイタをの 延載がという(第)フリレイ次により はイサイタをの 延載がという。 はイサイタをの できればればいまえる。 はイサイタをの によりにもかまなださる。 くたがとはどい ほぼがたる。 第7年 14 15 17 18 18 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19						1745	30	5	7	7 -			Ĵ	İ	
				-==				で在とは世界勢の変化を3。 中勢ララルによる力の力を2分帯多(ない) 地状へ遅れといい。 浸入動はいない。 ける2-1/52かかりを4 はよりにはではまなからない。 はよりにはではあるかか。 はありまる。 はないはないがあるかか。 はありまる。 はないはないはないない。 はないはないはないない。 はないはないはないはないない。 はないはないはないはないない。 はないはないはないはないはないない。 はないはないはないはないはないない。						1845	30	$\vdash$	+	+			1		
19-	-14.80	19.84	2.32	-==		2 11 5	59 5/1	18.10・18.12m #5・10mm といい物歌 構造 18.17・18.82m #5~30mm 19.04・19.17m #5・30mm 19.32・19.64、18.35・18.77m 中の、福川豊富む						19.45	30	6	+	8			6	1	
20-				***	1	国化5州岩 研覧 モ ハト		14.5~10m での ペンタ さと、 4.0~2~mの以上のこれを所有性事業 極新さか以上、現は元がに、新 賞 基質(2 これ、練まり数で自己かかる。 ・ 市面は3~17で、5~の情報を3.から、 ・ 中質(掲げ、これ)第で「提入がありない。						20.45	30	9	9	10-			/	_	
21-	-15.76	20.80	0.96	-		6 /2 F	24 4/1							21.15	50	15	20	5			÷	1	
22-					西			21.05、21.09m 密着野理 入る。 21.13へ21.20m へいいトライナ生境 化石。 21.33へ21.34 m 熱部グネ規制に入る。						21.42	50 26	16		3				ļ	
23-					1			2/26~24/28m 無限が方う大に入る。 2/88~21/90m カルサイト/ショール #20m/m 22/5~22/6m 22:27~22:28m 参照も5以上で	72人3,					22.41	32	6		8-			ļ		/
De				=	4			22.55m サガマリテス化石入る。 24.70、24.13m #30mm ガルワイト/ジュール 24.75~24.20m ペレットタイプ生産化石入る。						23.45	30	$\vdash$	+	-				<	
24-				=				25.50~25.65m 和初提任. 75~7120.84m, 60° 21.80m 70°	-					24.45	30	12		2/					1
25-				=	乃			22.35 m, 45° 22.35 m, 60° 22.85 m, 75° 23.75 m, 60° 24.27 m, 40° 24.36 m, 40°						25.15	50	16		4			+		_
26-	-21.38	26.42	5,62	=		ミルト岩	5673/1	25.64m 45*						-26./5	50 27	14	20	7					
27-														- 26.42									
28-			-					a.**							100								
								" I W 4						1									
29																		-				1	
30														-				~			+		
-							11				54												

図 2-5 ボーリング柱状図 (#6-3)

標	標	深	層	柱		地	色	観	相	相	標	試	料		標	6	準	質	入	試	験		
	_	r.hr	-	状図		質	-		対密	対稠	本資料	採取	採取四	深度	N 値		m毎の数		Ν		值 回	/30or	n
尺加	高加	度加	厚加	記号		名		察	度	度	料 No.	記号	深度加	-	30cm		20 3 cm cr		10	20	30	40	50
- 0 -				1000				中砂主体の埋土									+	-		-		-	-
1				\ /	盛			上数的图状度以細粒分りなく最神制 を主体としている。混入物分ない。 1%以下の様を含む、Maxfeome Afrism						- 1.15	15	4	4 4					+	
2				$ \cdot $	血土	†里		1.00か付近、1.75~2.00か一様でで多い。						1.45	30	8	7 9	1	^			ļ	
								2 (0- 3 20-						245	30	4	5	+		>		1	
3 -					埋			3.10-330m)研やや多く含む						3.45	30		+	-	10				
4					エ	土								4.50	35	4	12/		4			-	
5 -	024	5.70	5.70	/		中孙	10YR 5/6	5.40-5.60からいかかく ういい為際と含 5.60-5.70か砂石密果する。 ティカルド						5.45	30	3	3 8		4	+		+	
6 -	-0.44				新粉		25TR 2/3	海球道い中性が、下部度( 参称でいる 6,00-6,000か、色味され 下位 ヒッ 海原は シャーツで ある。						- 6:15	43 30	18	14/	6		-+	-	5	
7	-1.37	7.3/	0.93		岁	シルト	2.597. 5/1	などのようなのが予めて、集まり、大きの山下 が深い、中心で、大きのは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で						6.45 - 7.15	34	8	"	5			6	4	
8 -	-1.60 -2.16 -2.30		0.23		旧A3	シル ほじり中かり	7.597 5/1 597 5/1	555月10日 20 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00						7.45	28	8	10/	0			/		
9 -	- 2.7/ - 2.8X - 3./6	8.65			-	が、事例を 100 を 有機質とハ	7.5475/1.4/1 2.547 5/1 2.548 8/2	シルン はん から 水本 (明音) (~6cm マイフル 立方、 ディマウェエ を ロンの。 さる は、 し、 いじ なかり(とも(達) フィルムモンに密 東する。						8.45	20	7	6	7		/		-	
				===	安 田A2			1馬状 3にしたが増す月相 変化 ツない 上部 利益少量の有利数的 含む 10,20m 以下、有限域的 利益少なくなる。						9.45	30	8	Н	9	1	9		1	
10-	- 5 4 4		. 00		B	シルト	59 6/	山下、東魏切り 和かってくなる。 870.882m。 89/18 ffm かけフトノンコール 10.55~10.84m カルサートンコール系性 10.65~10.95m 東き市被行的対点性 下位との言葉を示っていた「夏以不明	Maria.					10.45	30	+		+		1			
11-	- 3.06	11.00	1.90			強風化		シル語の価値である。 上位と共動すると、程度で密着72.2 多く 入る、混入物リなく、同相な化りない。						11.45	30	7					1	Ť	
12-	-6.//	12.05	1.05	=		シルト岩	59 5/1	上位と 江秋しヨル北の 組織が明ら 宏着クラックラルが一体化し、集合の	-					12.45	30	10	10/	4	1	1	-	1	
13-			in i		西			68 m 28 . 2 . 2						13.15	31	9	10 1	2			1	-	
14-				=				1回はササインでは、 1246mポトリテスや化石書も、 1240ポトリー、12ファリアフかか、12が1/2数 13フリーはフか、13ファリアフかか、1440ペルインが、 13フリーはフか、1430ペルインが、1440ペルインが、 144744550か、1452~1453~1453~1453~1453~1453~1453~1453~1453	[_					13.45	50	15	20 /	5					1
15-	- 2.40	15.34	3.29	=		強用化	59 5/1	相位する質が以及存在、生頂化石によりみたとれて複製に入る。 13/9~1321~和如何である。						15.15	30	10	9/	0				1	-
16-	7.10		0.27	=	山		-	上位より石墨寶で色額もこれに思っ色を示す か、ヤマ・野・寶のお、蛇マネス。						15.45	50 24	20	20	0 4				\	_
17-				<u> </u>				15.36~15.38m ガラス 東火山灰 投生 15.50~15.63m 人*レットション 全量化モ 15.76~15.80m カルガイト / ジュール 16.14~16.34m, 16.63~18.65m エルト賞			ĺ			-16.39	50	17		5					
				=	B			石(細も))と接在する。 /7.36m サかいラスト 3						17.36	21	+	H	4					$\rightarrow$
18-				=				1767~17.68元 火山かうス房状に 18.05~18.06元 接在。 18.05~18.26元 カルサイノンコール						18.45	30	7	$\vdash$	9			«<	1	
19-								1969~19.7/ル こいい思りがありまでで 1979~19.8/~ カルサイト/シューリレ						19.36	15	19	-	7	1			-	<u></u>
20-				_				さの54~20.57m 福棚もり電視入。 サガリテス入る 2/39~2/43m 棚砂接在。						20.40	50	19		5				+-	_
21-				=				7347 /675m 70°, 17.09m 5° 17 23m 50°, 18 43m 60° 20,4m 70°, 21,57m 50°						-21.15	50 75	5/	3					+-	
22-	-/6.//	22.05	6.7/		-	シルト岩	2.597 4/1	21.69 = 45"	-	_		-	-	- 5/.30	7,4								
23-								0			70			-									
24-																							
														-									
25-																							
26-																			1	1	1	T	
27-																						+	
28-														-		1						+	
29-														-								+-	
30								2.7						-								4	
						l pl																	

図 2-6 ボーリング柱状図 (#6-4)

標	標	深	層	柱		地	色	観	相	相	標	試	料		標	Ę	準		賞 入	, i	试	験	
			-	状図		質			対密	対稠	本資	採取記号	採取	深度	Z 値		n 年 第回		١	7	値	0/3	30cm
尺加	高加	度加	厚加	記号		名	調	察	度	度	料 No.	号	深度 加		☐ /30cm	10			10	20	30	4	0 50
- 0 -		0.40		1	盛	群 石	N 8/1	表另一部名中40mm以下家集 0.40小.20m.安田万月3川片は3種土								Н	+	+		Т			
1		1.20		\ <u>-</u> -	土	埋ェルトル	1.5YR 4/6 10 4 5/1							- 1.15	13/30	4	4	5	م ا				
2				$ \Lambda $	浬土	±		1.20~3.10m 中砂には3世上、 920mm以下の研究少量含む 番神砂房建源の世上。						- 2./5	34	1		1	¢				
3	1.25	3.10	3,10	/ <u>\</u>		中砂	7.5YR 5/6	非常に淘汰の良い中心						2.4.9	100	1/30		4					
4			-		新期砂			黒色初て混入物ツない。 下部少野の確 3以(単/cm以下) 混入する。						9.45	25	6	8	11		-	6		
5 -	-065	5.00	699		B	中砂	2.5YR 3/1 2.5YR 3/1 2.5YR 3/6	Market Market Co.						4.45	19	9	6	4			/		+
6	-0.93	-5 <del>28</del>	0.7.4	===	安 田A3	Ψ *)	7.5 14 46	日本 (1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						5.45	19	6	6	2		_			·
7-	-227 -258 -272	6.62	2.34	 		シルト 対けましてでは 対 には、	589 4/1 59 7/109 5/1 59 57/4/1	6.60~6.51 ※ 5.57~6.66 ※ 有談 質シルト 不確認 三川 ) 随 夏夏、1~4~ ※ サイフルラ 夏 男 上 万美女士 (40 付集) 1 ※ 5 1 ※ 女 4 次 で 対土 (40 付集) 1 ※ 5	2.6人3			- 1		6.45	85/80	6	9	10			·		
8-	- 9.29	7.58	0.37		-	さん、これを通じり 一種もりを見	59 51,4/1	シルト 新足の / ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1					7.45	2/	6	7	8			/		
9 -	-4.49	8 84	1.26		Ŕ	シルト	109 5/1	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	45.					8.45	24	8		8		9	<b></b>		
	-5.74 -5.25	8 89	0.49		∉A2	中かりまれた	59 5/1 59 4/1 198 5/1	多者の中的ではこれい質 中部の書作をあり、 ありもとないできましまればない様であり、 からいないできませます。 ア本のこれとかできまします。 スカースのよっても、これにはないない。 スカースのよっても、これにはないない。						9.45	50	17	-	13			6	\	
10-	-6.02	10.16	0.35		B			※分乗りの対するでいれませ、止まる大となる。 ・ トラルイ 新聞 (一大) で 上付は、大(する) 新聞を発 (路) 大いし、30 関で「唯人子のグラハ・ からなったるか、別数とかると						10.40	25	14		5					
11-	- 6.92 -2.18 -2.38	11.53	0.90			セルト 中砂質がいたける	109 6/1 2548 26/1099 109 4/1	おい性高い、10.17~10.82~3年の参り会局が含む といい時五万、6~82~17~211、2世界不明月景 大馬状、北部5211、1~9~92上不知如化を19年日						11.42	50	$\vdash$	-	7					
12-	-2.89 -2.65	12.00	0.16	-	西	中が強いたい。	10 4 6/	たんと ボチャッ 3 周投 東 東トリス 学的 学は、「住社は20c-70に取 けって見れ、これには、未見はで 7 更 東 /2-02~/2-09 エ カルライト/ショール /2-1/ - (2-)を ・サリッテス	243.					12.43	58	15		8					
13-					山月			日本時期の、6×50~1979、「東午年期間 最大、高度1974年(日本大都市場) は、大き二十二 日本では、大き二十二 日本では、大き二十二 日本では、大き二十二 日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、	044					13.15	20	15	19	6		+			1
14-	-865	14.00	2.00			シルト岩	2.5473/1	14.86~14.88 加 和西沙理在	T					†						+			†
15-																				+			† <u>†</u>
16-											-							1					†
17-																		1					+
18-								46			100			-									
19-														-				-					+
20-																							
21-														-									ļļ
22-							65							-									
23-																							ļi
24-																							ļi
25-											l												
26-								18															
														Ł									
27-																							
28-								, n							b)			1		+			
29-																		-					+
30-														-				-					<del>  </del>

図 2-7 ボーリング柱状図 (#6-5)

標	標	深	層	柱		地	色	観	相	相	標	試	料		標	5	準	質	入		试	験	
				状図		質			対密	対調	本資	採取	採取	深度	N 値		m毎の 発回数		N	1	值	□ <sub>/30</sub>	ıcm
尺 m	高加	度 m	厚 m	記号		名	調	察	度	度	料 No.	記号	深度 加		回 /30cm	10			10	20	30	40	50
0		0.35	-	/***		2371-1 石P 石	N 2/0	のへのよりゃ コンクリート、石字石からなる								H	+	+		1			
1				\ /	埋	埋		0.35m以深 中的主体の理主. ≠2cm以下4.研り重含も(上部に多い - 砕石 リ量含も	1					- 1.15	6	2	2	2					
,				V				おりは番神むり月起源の中がから83						1.45	8	5	3	, ,					
2				$ \lambda $										245	30	H	+	+ /	<b>b</b>				-
3				/				下部は新期間がと混った状態となる。						3.45	90	1	1	1	1				
4	- 1.58	4.50	4.50	V	土	中 砂	5YR 3/3	4.20m石华石含t.						4.15	8	S	3	3	6	-		+	
5	7.50	4.00	F.30		新期			円録と少量含む 中るか Mox # 40 7m A#8×m 発抗衛平で極度						-5:15	13	4	4	5				+	
6					87	ři.		く円巻されている 辞字がが以下テット 更岩 多い 貝殻少量含む						5.45	12	4	4	4	J				
07	-3.75	6.67	2./7		B	中君宁	5YR 3/3	下位とはシャープに接する。 ミマ状 SILL 植り着の植物が上部に対						6.45	30		-	-	4				
7	-4.23		0.48		更A3	シルトシル質細砂互用	1089 5/1	下野福物化石(室)の川山人に設すまする ミ川に帰る方、3-/5cm サイクシの豆乃、 297~2.69m 福力が北方名美						7.45	30	5	6	4		-	0		
8	-4.92	7.84	0.69		7	1.007 2677	7.0/1	をです。5日、福田寺・松田村丁田山会 丁野北海地村化町第一月山山大下設在5名 5日1課を万ラーバニーサインの区グ・ フタイン・ドボー 相談がよる高度 フタイン・ドボー 全体に通知しる2分(含む 厚相楽化ツタ)、 大村を増加された						- 8.15	20	5	7	8	+				
9								クトロ カイン 7   イ						8.45 - 9.75	18	5	6	7					
10				-=	岁			9.7/2.8.73つれ ] カルサイト/ ジュール 点在(較)						9.45	2/_	6	7	8		1		+	
10-				===			100	9.91~9.85m 产5mm以下自加工小/5mm 10.55~2.55m 产5mm以下原理(使) 10.65~2.65m 超均但5(打)为(取) 10.85~2.65m 在均但5(打)为(取)	连.					10.45	33		-			4			
11-				<u> </u>	田A2			// 29-// 20m 和町 火山町3ス設在 - &						11.45	30	6	7	0	+	+	þ		
12-							-	1/88~1/84m 不可約1とも(おれ)入る 1/85~1/87m 中子mm以下かかけ/ショール) 1/248、1/27m 中子mm以下 カルサル/ショール	在(数) (数)					-12.15	26	7	9	0		‡	-	+	
13-	-/0.98	13.30	5.46		B	シルト	589 6/	ア位とは海外表的に変化する。						12.45	29	8	9	2			/		
	70.00	70.55	0.10				18	5ルト7時 京戸、1~8~4 サイクルの 京戸、 上書印録と シル優 3.えま上す市田和16回 (美国 境界 不明 8間、下音P マヤネ明 8原、示す						13.45	24	6	8	10			_/		
14-								<b>補助化る上位とは軽し少なくなる。</b>						14.45	50			-			9		
15-	-/2.65	15:57	2.27	//		到4.到此實施 至 <i>另</i>	594,5/1	14.6/1/4/63m /在44/4/2/m /在44/4/2/m /在44/4/6/m 下位在15 滑下参加计型化多型 程度型化至于1 医局球至量和10多/在2114 集體的10分/8 工作标准软件或用分子						15.15	54	6	8	10		†	6		
16-				111				程度を出るが、これは3年3月の、多くは3月4 質解的できない。 はまいくままかり 程度的をでき はまったまだ。 はまいくままかり 程度的をでき						-16.15	50	11	19	8					
17	-/4.03	16.95	1.38	1.11		シルト質細砂	59 5/1	2011年 (本学・1990年) 日本のでは、1991年 (本学・1991年 (本学・1991年 ) 日本のでは、1877年 (本学・1991年 ) 日本のでは、1877年 (本学・1991年 (本学・199						16.49	50	21	29						
10														-17.3/	50	19	3/	1					
18-	-15.91	18.83	1.88			中砂~粗砂	59 4/1	上台のはか、そのも無知。 17.46~17.89~49、49、51小鳥歌会も、18.65~18.46~80、51小鳥歌会も、この音形・や知識となる。下位とは、ショフに持ちる。						18.35	50								>
19-		19.59	0.76	=#=		細砂混け	109 6/1	下位には、シーツには等する。 上午回程がは中国で、上音がクローには対 地がなどの。 下位はは開発的は、変化では、 であるに呼ぶれ、現代できっていません。 「まない」とは、地域へ、ま を表現していません。 「まない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ないり。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない」という。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない	.,					19.45	90	9	10	//			(		
20-		19.95		//		まれ 現けり細る少 米且 るり	109 3/1	「海球」の いい 第一次 ました では できる						-20.15	100	9	10	14				1	
21-	-//-00	20,58	0.63	=	曲									21.15	50	19	3/						3
22-					4			26.92~1 サヤリテス化名入る。 マルタノコ   下部、脳細部 少量含む。						- 21.35	50	16	24	10					
					月			クラック言名められない。						22.38	50	-	28	(S)					
23-	- 20.90	28.32	2.74	_	-	シルト岩	5673/1		-	-		-	-	-23.15	77	55	7		+	+			_
24-														-									
25-														F									
														E									
26-														-									
27-		2						to in the															
28-									-					-									
29								× = 2						-									
				8				2						1									
30														F					1				

図 2-8 ボーリング柱状図 (#6-6)

票	標	深	層	柱		地	色	復見	相	相	標	試	料		標		準	-	與	入	試	験	
				状図		質		٥	対密	対稠	本資	採取	採取	深度	N 値		m毎( 第回)			Ν	ſi	直 回/	30cm
7	高加	度加	厚加	記号		名	調	察	度	度	料 No.	記号	渡加		30cm	10	-	-	10	) 2	0 3	0 4	0 50
0				1		2×79-k		O~a60m コンクリート石本石かりなる Max#7cm、A#プcm、			-					+	+	+				1	
1		0.60		\	埋	担都石	7.5YR 5/6	の60~450x中的主体とした測汰能 おりがらなる。						- 1.15	9	1	1	1				+	
-				$ \cdot $				少動機、1ンツート片、碎石を含む. en まで繰るい.						1.45	30		1	1	9				
2				<b> </b>				シルト1兆少量入3						2.45	30	/	/	4	9				
3				A	1	土								8.15	30	1	2	1	9		+	+	
4		2000		/ \		中粉	7.5YR5/6			r - e				9.45 - 4.15	30	/	S	3	-		+	+	
	-1.58	4.50	4.50		#1 14	T 40	7.011/10/6	河水良い中部/ タに大い下の円度とまた改変を含む。 砂臓に震撃で食く円度は、海峡砂壁がある。						4.45	13	4	4	5		<b>\</b>			<del></del>
5 -	-2.88	5.75	1.25		BY R	中砂	7.5 YR 4/6	1-17E19 1-1114-63				2		5.45	30			$\dashv$		0			
6 -								ママヤシルト、有機的スルム状で、やす 多く接在する。 585~6.00m 有機質シルト 662~6.80× 植物代石(美)スルム状に入						6.45	30	7	8	10			9		
7 -	-4.63	2.55	1.80	====	图 A3	2 16 6	10 4 5/1							- 215	30	7	9	11			-	-	<del></del>
8 -	-4.88		0.25		B	シルト 温い中初	54 3/1	展下部70cm部級初りの量含む。 当以有多く含ま中部2455~220m記以外 3以降30万 」。6cm単位。3万 万く 使用不明確了工作下位以下開始的以降 全球217上下 組 柱以245回)をす	EU ETI					- 8.15	2/	6	7	8			1	· <del>,</del>	+
-	-5.65	8.57	0.77		-	五月	589 5/1, 4/1	124人为中,他2011C日王24下3C.						8.45	16	5	5	1		/	/	ļ	1
9 -								また・まフル、悪管耳 先にする。 また・まな、上がな、したでは、アルト・ ます・さけない。 「喜朋 化石(楽) には はました。 はまた。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。	•					9.45	90	-		-		9			
0-				Ē			589 5/	9.81~9.87~ (不要が)でも(楽) ろりんり 9.81~9.87~ (で変た) 10.30~以入後、不適物化石 少なくなま 10.69~10.77~これ、現しり ごは「電中もツ						10.45	30	5	6	8			P	1	1
11-	- 7.93	10.85	2.28	=	1	シルト	304 71	10.72~10.74m   宿方設在する ミルト勝互用 /~5cm サイクルも豆用 植物化石会体に含む						-11.15	30	5	6	10			<b>b</b>	÷	<del></del>
12-	-9.28	1820	1.35		罗	シルト. 3ルト寛和 五 万	10845,5849	10.88~00.91m 3.1.1.1元 じり中部7 1役在 20/ 10.78~11.07m カルサイト不規模がた入る 上方を動物化4水量和成る	]					-1215	18	5	6	7		+	(+		+
				===				シマボンルト、植物化石全体的に含み部分 部に無砂とりを含む 1240~1260m、有機変シルト 1267~1268m、植物化石(お)含む						- 13,15	19	5	6	8					<u>.</u>
13-				===	田人	2		267-1268元 植物化名(材)含む  265-1277元  知るりまじりとルト  3.56-1258年   大理的セイ(増入のはりた)	13					13.45	30	+		$\vdash$			4		
14-				===		シルト	1095/	126年4277元 知品リョビリンルト 13.5442573年3 和品リョビリンルト 13.6442674、福祉的化名(第)スルム状に 13.78~13.79、カルサイトノニール入る 13.84~13.85 ※ コルド質和名が及在する。						14.15	30	6	8	10			1	1	Ī
15-	-//.86	14.78	2.58		0		104 11	1450~4.56× 極端が少量含む はまたいとは質で混み物でない。 白色。意及き遊すとなる以下。原在する。 少量の極端砂を全体的に含む	1					-15.15	18	5	6	7			<i>f</i>	+	+
16-				-==	19			リー 電の極知的な全体19に含む 1644~1648×16、24、1645~19時間は19日は 1648~1644×1842年度 コルト連任 1659~1662×1位28897度19かり、担任 1662×1664×1519度19中部9提在	4					15.45	19	5	б	В		<u>.</u>	ļ	<u>.</u>	
								16.64~16.72× 新州州市公司公司人员						16.45	30	5	6	8				1	
17-				===			- 25	14.78~16.79m、福幼化石(着)スペムヤに入る 17.57m17.655m、タミル×以下、カルラサノジュル密集化 17.88~17.85m、タミル×以下、高水色30万元在(未刊	(F)					17.45	30	-	0	0			φ		
18-	-15.48	18.00	3.62			シルト	1095/29	17.70~18.02×. 石色質(飲物次養)			1			- 18.15	30	5	6	8		†	9		
19-				===				19質塊状では、土位まりで引わりてアル 変化でないという。 ほどいまり、これをからないたがある。						- 19.15	17.	5	5	7			ļ	÷	
20-								#58- #6  *						-20.15	26	7	9	10		1	1		ļ
	-17:75	20.67	2.27			シルト	104 5/1	19.94~19.85m 和認明的限に15ルト操作。 20.62~20.58~19日が混じり シルト接行。						20.45	30	+	-				0	_	-
21-	-18.73	21.65	0.98	墨		畑砂質 シルト 互 万	589 6/1	EULト語五月 2-70,-サイフルの五月の世界不明 事業で、昨年年9年9日:安化する。 上方 物料型化の化質的示す。 その76~2090 m. 有数 質 シルト						- 21.44	29	13	17	20		1	1		
22-	-19.48		0.25	=#=		知るが質シルト エルトほじが知るが 中 初	584 41,5/1	まで、不可多的に当てもの 上方 物を打きれた自己で、 20.76~200m、有機・質・シルト おり得支が、のよう中の単位を立た。上寸機 程度の機関では、十貫等やマネタ目標 からた。20.52 311-20.0平分を発表している。 32.52 511-20.0平分を発表している。 23.52 511-20.0平分を発表している。 24.52 511-20.0平分を発表している。 24.52 511-20.0平分を発表している。 25.52 511-20.0平分をいる。 25.52 511-20.0						-22.15	27	15	51	7		·	+	+	+
23-	-79.00	26.00	0.20		西	P 10	2.597 3/1	東北美なり	1					-53.12	20	17	30	9		<del></del>	+	·	+_
24-				=	4			23.59、23.62、移柱文はヤラスレスボドム 23.7/× サポリテス含む 24.90、25.00×ペルト 収生復代石入る	1					23.36 -24.15	50	55	50	8		ļ	ļ		1
				=	月			73-7 / 22.62 m 60°, 23.49 m 30° 24.62 m 50°						- 24.37	25	19	3/	2					-
25-	- 22.40	25.02	2.72		1	シルト岩	2.58Y 3/1	120000000	+	+	+	-	+	-25.75	17	1	2	Н					-
26-								<u>u</u>						-						†	+	+	†
27-														-						ļ			+
								-0-												1	1		
28-																	1						
29-														Ī						1	· †	1	†
30					1									F						<del> </del>	+	+	+
ĺ																L	L				1_	1	

図 2-9 ボーリング柱状図 (#6-7)

標	標	深	層	柱		地	色	観	相	相	標	試	料		標	5	準	貫	入	試	験	
			_	状図		質		9 71	対密	対稠	本資	採取	採取	深度	N 値		毎の数		Ν	値	i 💷/300	om
尺 m	高 m	度加	厚加	記号		名	調	察	度	度	料 No.	記号	深度加		回 /30cm		20 3	5	10 2	0 3	0 40	50
-0-		0.35				<b>郡</b>	10 YR 3/1	0.00-0.55= \$10-40 nn APA 6'56'3	_							+	+	$\vdash$	1		-	
1				\	埋	埋		adsm以源中砂主体的理主的Cx以下的 禄主全体的片少量含色看神砂石 起源の砂						- 1.15	3	1	1	,	ļ			
2				$\bigvee   \cdot \cdot \cdot  $				0.35~0.50m 国結合が確全も 1.75~1.80m シルトプロック入る						1.45	1.	1		1/	ļ			
3			-	1				200~230×××1cm以下の徐やや多く含む。 300~320×××3cm以下の孫やや多く含む		100				2.50	55 5_	35 2/2	/		1			
-				$/ \setminus  $				3.20~3.80m≠60m円鎌入る.						3.47	32		+	19				
4				/ \	土	土土地		失のでなま5m p/cm 以下の確やや多く 含む						4.45	50	-	+	10				
5 -	- 2.17		0.50	0	數的	中 砂 細球混り細砂	10 YR 3/4 2.5 YR 4/4	上位に対し組織・存款は細粒であるか 食く円帯であるいる。						5.45	15	3	4 3		9			
6 -	- 3.42	6.35	0.75		Ŕ	シ ルトシルト混	1084 %	標的化石全体的に含む						6.45	13	4	4	5	4		+	
7 -	- 3.91 - 4.36	6.84 7.29	0.49		⊞A3	じり細砂 五万	109 5/14/	上す細胞化の 12回示す。 2回次164 和数化石 2(含む 254-7/2。726-723 最数化石 第7章に入						7.15	18	4	6	9		÷		
8 -	-5.00	2.93	0.64	====	7	解砂漬けりいい いははり中砂	109 5/1,3/1	6.27-6.18-28時分2世年 2月 北川時度月、6.3-5-62年 世中 至月 上支部歴代の世報司元年 ラルマルは、東京化学 5-62年 ラル・7月16、724-721-28世紀 日東子町以 11、19年度月、日本田・前七島 中分 現在日本、5-62年 日本田・市 フィアルト 東京の11年 日本日 フィアルト 株物化 ラーター会社 フィアルト 株物化 ラーター会社 フィアルト 株物化 ラーター会社						7.45	2/	4	8	,	.+	ţ		
9-				===				2.05-850。 福祉化名(書)野される。 2.11-8.12-0。 2.70-8.70。 70.4745 15-11-82-01 以下原在 9.00-9.79。 福祉化名(書)基集 年3 9.41-9.50 × 311-11 報告 39.投在 33						9.15	23	6	8	9	ļ	<u>}</u>		
10-								9.64.965元 1世紀97七日(24) 4女11の3 9.87~9.89元 中部ランタンに混入する。						9.45	30	6	7	9		1		
					安			10.17~10.84× 桓詡化る(業) 密集する。 10.44~10.46× かつな質火山灰男状に入る 17.00×17.14× 福納化る(村)技を在する。						10.45	30	6	9	9				
11-	- 8.87	11.80	3.87			シルト	589 %	//-44~//-47m   石植物化名(オオ)は変化する //-22~//-73m   石植物化名(オオ)は変化する						11.45	90		+	-		9		
12-		12.72	0.92	- 4 -		された迷じり解し中もす 細るが質された立方	1094,51	む 勝五万 4-70cm 単位a 五万 上音引きだい 書きく 上寸細粒化9 (境间示す。 18.33 - 18.85m) 干額物化も(葉) 名 集する。						12.45	30	8	9	9		•		
13-					田 42			ミマ状 シルト、不良物化石ツなくなる。 は、19~1年2年~ は、25~1年2年~ は、27~ は、27~ は、27~ は、27~						13.45	50	8	8	9	1	4	it	
14-	-11.08	14.01	0.51			シルト 細分 遠い レルト	109 6/1							-/4./5	9/	9	11 /	/	+		>	
15-					号			2011年 日本						14.45	56	7	9/	0	÷	/	} <del> </del> -	
16-								1578~15.90元 日色社(価報/事の命)か2~						-15.45 -16.15	25	7	9	9	<u> </u>			
17-				==-				/6.47~/6.48m 植物化石(和) 还在する						16.45	23	2	9	7	ļ	ļ.,		
18-	-14.74	17.67	3.15			シルト	50 6/1	(865-66-67) (794人) 現在 364-67(25-67) (74-6-167-67) (75-7-66-77) (75-7-66-77) (75-7-67) (75-7-77) (75-7	23.					17.45	25	7	+	,		9	ll.	
-	-14.07	19.00	7.33			シルト	59 5/	10.35~15.40年 年3月の風 1.71にするかとユーレイを見る	1,					18.45	30 28		+	+		4		
19-						シルト		1月10-13-14m 自己放出場所で別火ビンボバラシ シルトド等交が、3-6(m単立の支援 毛動(社会)時で点圧では「簡単年日月日間 19-09-13-m #145-176-17-17-18-1-10-17-18-1 日また・13-15-18-18-19-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-	,					19.45	30	10	9	9		•		
20-	-/7.43 -/7.83	20.36	0.40	= 77-		シルト質細砂豆房 細砂混いシルト	59 5/, 4/	明記の対象。 作品の作品の作品の表別の 日本日の日本日の中では、これとは香港入る ファクを開発すると、	۵					20.45	27	8	9 /	0	1	\$	††	
21-	-18.10	2/.03	0. 27	- # -			109 6/1	用品のは5x 4444444444114514、 報化立 注析1444444444945年20 全有 開始がまでした。子供の表示 には、これ、複数化本が重要を とれ、特を互介される。単独も及、情格が 度、否認がようで、またのでは、 現入物がウン、上本細粒化や原因で、4						21.45	30	8	В	?	†	+	tt	
22-	10.00	22.12	0	- #-		細砂混りがよ	56 6/ 5/	選入地学以上有細粒化的美国示す 21.55~21.60m由色斑(酶化音风色) 22.50~22.60m由色斑(酶化音风色) 中多mm 层在考3.						-22./5	30	9	10	·	· <del> </del>		<u> </u>	
23-	- 20,40		0.66	-4-		シル張い、相砂 豆房 シル張い海中砂 細砂質シルト		3999五月, 2-6 cm 单位 4 五尺.						23.45	50	2/	20	7		<del></del>		
24-	- 21.02		0.25	0.00 0.0		中 行 知牒混(!) 组衍	54 3/1	が音から起かれたの。集13 (37)・12 / 5。 上部無数を検索となる。25 / 2 日本は、12 / 2 / 2 / 2 日本は、12 / 2 / 2 / 3 日本は、12 / 2 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 /	邓叶菱在					23.42	99	9	14	0	ļ	ļ		
25-		24.55	0.60			中 旅	59 3/1	○ 30 m. 表示 35%の上方細粒化の 機能です。 するとは、2000年 35 mm 放復を化えない、高から金貨を含化する、355。 ウインに、現入のカツない。	-					24.45	27	8	9 /	0	ļ		/	
26-	- 22.82	25. 75	0.75			三川東部が立り	1084. 41, 5/1	2015年25/59-6870712台(环) 京教等3 2015時至月、3-105年3年12月 57部7春初代名(第28条33 新藤及及 3-105年8年12月			=			25,45	30	1	10	1		1		
-	-23.61	26.54	0.19	- 4/ - - 1/ - - 4/ -		細砂管シル豆房	10893/,5/	お)部植物化も(薬)恩集する。 26.27~26.25~26.37~確約化る容量						26.45	30	0		-		٦		
27-	- 24.08 - 24.28 - 24.89	27.82	0.20	0 6 0 0 0		中一碳	589 3/1	東京・						27.45	90	$\vdash$	15 8	-	†	†		8
28-				_	西			28.08~28.09年,细初技在		la la				-28.15	250	16	SS	?	·	<del> </del>		
29-		-		=	Ц	e 1		28.65~28.66~ サガリテス化石 28.78~28.79~ 29.70~29.71~ 29.73~29.71~ 29.73~29.76~						-29.15	25	14	20 /	5	ļ			
30-			,	=	月		4 6	20.41~29.74~ 20.41~29.42~ サギリテスドとも。 20.70~20.73~ 少量を知るす金を						-30,15	50	16	22 /	2				
	-28.07	31.00	3.18			シルト岩	10Y 3/1	75-17 (30.4m 30°, 30.19 m 30°						30.39	.,		I	1_				

図 2-10 ボーリング柱状図 (#7-1)

標	標	深	層	柱	Γ	地	色	観	相	相	標	試	料		柳	E C	準	質	入	試	験	
	_		renz	状図		質	1.7%		対密	対稠	本資	採取	採取	深度	N 値		m P O		N	ſi	直 回/3	0cm
尺 m	高加	度加	厚加	記号		名	調	察	度	度	料 No.	記号	深度加	度加	30cm	10	_	* 4.	10 2	0 3	0 4	
-0-					-		-	中砂支主体七八六便工,混入物比較的	_				_	-	-		+	+		_		-
1 -				1	彪	奎	7	ツをく、お演なり里土 ハマローハマSm 国徳もがり場合も						- 4/5	2	2	2	3	ļ			
2 -				\		ar .	- 11	1.60m~1.65m 石平石×30m入当。						1.45	30	2	2	3				
-				$ \cdot $	土	土		1.90~1.95m 研石# 20m入3.				ų.		2.15	30	2	-	-				
3						81		M 11 M			7.			3.45	30	s	3	3	+			
.4				$ \Lambda $	埋	煙		4.10-4.15m						4./5	13	3	4	6	7			
5		5.00				100	7.5 YR 5/6	4.3014.40m ] 图結砂块。12.43cm入3. 4.3014.40m ]						-5.15	18_	6	6	6	+/			
6		5.80			土	中砂	25YR 46	500~580m 上位39ペル部位で 更及動的 580~670m これらく含む中砂、湿地						5.45	30	9	11	2	þ	\		
6 -	0.90	6.70	6.70	1		シルト質中砂	25 YR 4/2	推理地中に多量のかか入った状況 き里する						6.45	30	,	1	-			9	
7-					料			南沃良(部) 粒分少か! #5mm以下の 除5%程度含む 確は良く円費5以円限費,和+ 乗場。				10		- 2.15	34	10	12	2	+	÷	\-	
8-					期			会以始を主体とする						7.45 - 8.15	94	10	11	3	÷	ļ		
9-					19	1,2		840~850] 陳如多(含む						9.15	33	12	10	,,				
	- 1.90 - 2.15 - 2.42		2.80			中 砂シルト 動物温けれ	2.5YR 4/6 5'89 5/1	シマ状ない), 9.71~9.72~ 福加化石(初)含む					11	9.45	30		+	-			4	
10-	. 2.42	10.02	0.27	====	安	動物温いした	5.9 5/	グ動物所含む 深入地 からく 約 度 とては 5.5%、 表別が化 門を含む 10.5%(10.3%) 11.00~11.15% プルワイト 万次に入る 10.6%(10.4%) 有動物化石(杯)含む。 90.6%(10.4%) 有動物化石(杯)含む。						10.45	30	11	15	12			1	
11-	3.65	11 25	7.23		田A3	SILEM COMES	59 5/1							-11.15	26	7	9	0	+	-	f	
12	4.64	18.84	0.56		2			5-01- 陳夏ウ (~50m) 新花の 見り 201- 陳夏ヴ (~50m) 中代 205 (205) (205) (~50m) 中代 205 (205) (205) (205) (201) (201)						11.45	28	8	9	1	+	1	ļ	
13-	- 4.93 - 5.7 - 5.10	12.59	0.24	- 44		中 初 5015. 2015年10日 月日 5413年13月1日 中野	59 3/1 109 5/1.4/1 59 8/1	上部的学校 とおける 東京シャル以下 5くを C 2014時 夏河 今 全の単位 4 万 元 4 0~00 = 日本的技術 12 3 1~12 1~1 2 1 4						1245	30	8	9	10		Ĭ		
1.				-#				#社を否化示し、たー語社の特別正の代であるか 全体と17 解析の限じっとルトアあり、その等15 ウター 13 31~19:34 m カルワイト・イス製製に入る						1225	30		+	-		1		
14-	- 6.81	14.41	1.41	<i>#=</i>		郷でが建じりシルト	59 1/1	はおいけらずw, 14・34・34、27×4 取化心入る。 はおい(4:00× エルト)を性。 はれくけが。 カルマイナンコール しまれてした。 対けがる かくをた						19.15	30	6	8	0		+	+	
15-	- 7.80	15.40	0.99			シルト	59 57	金融計「機能の関連」とは「計画」が表現した。 (23年)は19年の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大						-/5:/5	26	7	9	0	+			
16	- 8.31	15.91	0.51	-/	安	ミルト語とするが 細を対視じりされる方	54 91,5%	おり時点対 2~6~ 単性の正規 部分分別と カルギル環境 し、固めらしている 対処を定化さし、部 互助 牧王夏賀か 全体と/2						15:05	30	8	10	2		17	ļ	
17				茎				維約及にリエルトであり、おり重りかい。 16-15-16-16-16m 至形式す業する。 16-31-16-52m) お願知はよっておって						16.45	30	8	10	,,			Ì	
17-	-10.32	12.92	2.01	Æ		細が混いシルト	589 6/	14.50~16.37m 中間、発行する 14.50~16.37m 中間、発行する 14.55~16.37m カルサイト3展集 17.27~17.77m ミルトあが任						17.45	30	0	-					
18	-10.88	1848	0.56		E A2	シルト ラルト現とり 無初、 互写	109 5/, 4/1	はから、なか、まかれます。 から、なから、なかい。 から、なから、は物性にある。 なから、はから、はから、はから、はから、はから、はから、はから、なから、なから、なから、なから、なから、なから、なから、なから、なから、な			7			-18.15	30	9	10	//	+	ļ		
19-	- // 39		0.51	_#_		<b>食用を</b> なりを提出りまれれ <u>互</u> 形	109 3/1,5/1	Association of the second	0.					18.05	27	8	9	0		/	ļ	
20	-12.13	19.70	0.74	= 77 =		シルト	109 6/1	カルザイト サケミ (産業する) とルト用を立方。 マーシャル 帯位 (立 万) けが、パルデルトの、ロール・ス・ス・ス・ス・ス・大阪 (本 一 首)						19.45	52	7	8	10		1./.	ļ	
21	-/3,2/	20.81	1.08	=7,=		細砂環リミルトラルトラストラストラスト	109 5%, 9/1	これら時後のグラーの、即日の名が、 日本が、子がよりたいなかられてい、連筆(長女) ひかけ、からから、 できったが、 一般にして他の意とから、以下のから機能な とのなったが、 他のが置いた。 と他ない、 と様ない、 は一般ない。 、 とない、 とない、 とない、 とない、 とない、 とない、 とない、 とな						20.45	30					1		
21-	-/3.7/	21.31	0.50		B	中初	100 3/1	21.00~21.69 % 対象が関これに存在する。 する状況が決定な対すりが、刃が音楽化するへ 上社とは3回環に 2M 不確全的が変化する						21.45	30	7	9	4	1	+		
22-								21.65・21.65 m 27.84・77.87 m 72.84・77.87 m						22.15	30	7	10	//				
23	-15.4/	23.01	1.70			とルト	584 6/1	下性をは滞保予的に変化する。 これに勝立思なぜかまずのリラル関系やや 不明瞭、月理やや「複合」」、b:20° d:20°						-23.15	30	8	11	·	·		Ž	
24-								深入物はゲテい。 小サイク4が壊ぎ、∂am 程度が単位でよす					4	23.45	99	9	,,	3	ļ	ļ	1	
				///		細砂混いシルト		5回粒化+化原制 ホギ 25.07~25.30~ 石が勝る馬						24.45	30	$\mathbb{H}$	+	-			-	
25-	-17.95	28.85	2,54	- 70 -		シルト質解析		25.59~25.56m) 補助化石 密集する。 25.59~25.56m) 補助化石 密集する。 小量2111.45.45m 上方細数化48.85m 元工						25.45	30	12	15	55	1			P
26-	-/8.76	26.96	0.81			中砂~粗砂	59 3/1	学者と八十合2を出土方相数化本は関係の下、 と八十名 課、とハナ岩・精工 少事をす 25:70~25:79~9~4年のかと九月島を第金で、 25:57~25:57~40~4年のかと九月島を第金で、 25:57~25:57~40~40~40~40~40~40~40~40~40~40~40~40~40~	a	12.7				26.15	50	18		6	·			
27-						シルノ岩研究にり		またか、26分のすべるのであった。原建する では、可能は多くなかが、 タモディをから、10分の場合を出て対する事で、 さて担当、いか以下の最初数分等人。 エルト基本が設定ではに数算すり物的である フル・20分の、初化をないない。 エルト基本数の記述して起い、 エルト基本数のは単位の、大型に入る エルト基本数のは単位のが、以上、						28.41	80	18	19		ļ			
28	- 20.10	27 70	1.34			粗物	59 3/ -4/	シルト 名称のけば 60%以上。 なが適度度 かがい 単位 6 夏男 かり44かり まず、大きる単位 6 夏男で全体が中(15 組化 都(3) 教制 シル名称 チャー 以下9重入。	1:50					27.40	50	17	$\neg$	5	1			
1	- 20.89	29.49	0.19	00		シルト湿り中か	10431,5%	部では、お部では名様をデー以下が上入 ドルと観光の5~90m、一般するか、30m入る 上記は表現りの5~90m、一般するか、30m入る						28.42	27	$\vdash$	-	7				
29	-2/95	29.55	1.06	0.0		シムト岩球流にり中様 細砂線に)シルト	59 4, 4,	を11年を報かりかつの。 本でのかりか入る 上部20mmが少911、エルルを持ったでするのが 様に変数数 サート 東基 字山地 1位。 としたは2mmが92mmの2mmであるとは2mm。				l n		29.41	56		1	8	1			=
30-	- 56./4	47.79	0.79			mady see 7 Dock	2 4 a/1	シルルは重要を行う。19月1日 300 的 関係状々シルト第 今角度で存む。 これ 19月1日 19月1	3					30.15	50	24	9		÷			
31-				=	面			30.81~20.89×カルサイト機模 31.32~31.36m~サゼリラス代石。						-31.15	80	16		<u> </u>	ļ			
				_	山月			32.17. 32.15m 7 7 7 1 12.12 32.45~ 32.46m 73-17/ 30.12m 60°, 30.18m 60°				1		31.41	26			6				
32-	20.1	24:1		=	14	シルト場	2.54Y 3/	30.77 m 46°, 81.20 m 15° 31.88 m 45°						32.42	37	15	19	7				_
22	- 25.40	39.00	3.26			- 11.10	2041.2	100										1	1		- 1	1 1

図 2-11 ボーリング柱状図 (#7-2)

標	標	深	層	柱		地	色	観	相	相	標	試	料		標	i i	準	ij	1 7	( I	试	験		
				状図		質			対	対	本資	採取	採取	深	N		m毎( 学回)		1	N	値	[ D/3	30cm	
尺加	高 m	度加	厚加	記号		名	調	察	密度	稠度	¥4 №.	記号	深度 加	度加	值 回 30cm	10	20 3		10	20	30	) 4	10	50
0				1000				中砂生体が埋土、海泳大変く、混入が		_				-		Н	+	+	-	-			_	1
,				0 . 0				比較的かない。 毎年かり月光記標れる今を主体として113。						1.15	34	5	12/	7	+				ļ	-+
1								町も少量のミルトプロック含み、サル5~						1.45	30		-	7				9		-
2				1    .	盛	盛		Pong 円石紫色少量含む。						2./5	36	15	12	2		+-		-	<del></del>	
3						±		0.60~0.90m #0.5~20m練り書混入 1.50~200m #02~20m 程度を確やや						2.45	50	5	2	8	1		/		<u>.</u>	
3					エ	_		かく含む.						3.45	30	-	+	-		9				
4								200~250m 群石少量混入 330~3.40m 国新部的プロック含む(選件)	105)					4.15	19	5	6	8	+	-			+	-+-
5				W.				4.28-4.65m ZHL-76-9 St						4.45	50	7	6	7						
"					埋	埋		5.10~5.40m 研石少量含t.		19				5.45	30	-	-	-		1				
6														6./5	30	2	3	4	~				+	-+-
7					土	土								6.45	10	5	6	7	\				<u> </u>	
'								2.60~2.20~国結びATOか合む (青年の5万)チル						7.45	30	-	-	-		9				
8						+ =	n PVP 47	以上. 850-870m シルトララく含む						8.15	30	5	7	8	+				†	+-
9		9.70		:::	1	中砂	7.5YR 4/6 5YR 4/6	2.74.9.20m 群石密集有3.						8.45 - 9.15	19	5	6	8					ļ	
		7.00						9.20/0.30x # 2~10 m/m # 亜円線~ 円線を全体に含む						9.45	70		$\vdash$	-		9				
10	4.94	10.30	10.30			神物	5YR 4/4	上音でと逆言則変引とする。 4上曜と週末さいおり示、理エロジョリ、やや						-10.15	30	6	7	8	+	\$			†	
11-			1		新			参照 対立な中省文 石ケ丘石ケオズ 2 里し、ガラ ブラの 名けて わま。						10.45	15	4	5	6		/			ļ	
					期			混入物かな、均質は思なを呈する。						11.45	30	+	$\vdash$	-	- 1	9			1	1
12-								//.40~付近,三川福格(中)で、金む 無礼程。150、往種模造不明。						-12.15	30	4	5	5		b t			†	
13-					おり	900		13.40以从既含水比高(93.						12.45	13	4	4	5					-	
					B			風成形的月相である。						13.45	50	+		-		-	_			
14-	0.84	14.40	4.10			中粉	10 YR 5/6							-14.15	21	15	30	1	+-	+			1	7
15-	0.44	14.80	0.90	1//	b	シルスピッキかり	104R 3/1	上位下位とは軽し、果っぽく、有利を変でおす エルレーをはつない とルレーをは発わる。日本副教旨の石ケア。 7年4章福道、不明	-					- 14.36	50	28	25						+	
	-0.64	15.88	1.08	//	×	シルト混とり中・組み	54R 5/4	下書き 発展者的となり 三共に大力 電 あくなる						- /5.3/	25					-			1	
16	-0.85	16.04	0.16	=#=	田 43	福州港ロシルト	58 4/1 589 5/1	とでは、ため、上位とはFDローでに基準する 上部内と方がする(3元)なり全体を3にが11元(4日) まなれても11年、他内容は15日、Pro Mainでも2年を						-16.15	30	7	8	10			9			
17-	-2.07	17.31	0.96	-=-	R	シルト	109 5/1	では、30.1 上記 17 pa では選手 工事的でするではなけるではおいかける人はあ あないこれ。 地震を注し、サールのは工事的 はおいになか。 他にから選手には、サールのは工事的 はおいになか。 他にから選手には、サールのは はおいになか。 は、サールのは、サールのは、 はからになか。 は、サールのは、 はからになった。 は、サールのは、 には、サールのは、は、サールのは、 はからになった。 は、サールのは、 はからになった。 は、 はからになった。 は、 はがらなった。 br>はがらなった。 はがらな	in noted					16.45	24	6	7	//				ļ	+	
35	-2.76	18.00		16		シルト環より舞るりへ		こう知権性Accamaでも、社会会化等し、マヤモの社会 最高を、他の行う後にからいた。かからは受性できた。 は他のいた(後はよりかから会社	を含む					17.45	23	$\vdash$	H	+		1	1			
18-					要 A2		2.59Y 5/1	こで状には、不要的化石の(含此全体を)に 有機質なこれた 18.53×18.63×19/00×1人上の行化石含む	1					-18.15	30	7	8	8			\$		1	
19-	-3.53	19.00	0.77		B	2 11 1	58 6/	班状之儿,联署下两川中/00 程度自己计算点	Ē,					- 18.45 19.15	17	5	6	6		/		ļ	+	
				_				周5というに31く、これトに変われている 部分49に石里質となり、日子緑色を至する 宏著79-7年、これト語 47監性 4 3智り						19.45	30					1				
20-				=				寸ぎりテスキセモ人名。  19.24×17.27m 別解語しる影響となっている。  19.45×19.52m   到き10m程度の円度のできるできる。						20.45	30	4	5	6	1	4				
21-					西			1845~19.124、約610m提及万里のガラス電 火山及接在する。 20.45~20.48× 褐鉄電公元度する 20.15~21.89× 密系クラック入る。						21.15	17	4	6	7	<del>-</del> i-				+	
22-	-6.7/	21.95	2.95		- 1	建風化,以上岩	58 6/	2172、2175年, 2175、2177年, 1772、東大山大学	*	1				21.45	30	1								
-					1			上は上に有なし、やや日間をとかり、これがの特別を 日月かかとかる、世介日も、これがあなとなる。 22-20-22-25m、ガサリテス・化石入る。 22-55-22-55m、初上り重も参照の方式による。						22.45	30	4	5	6		6			T	
23-				-	4			27.55~22.55% 施りを利益が限入する 23.47~23.64% ガラス電火山及投充 23.20~23.50% こル)岩 構造する。						- 23 /5	16	5	5	6		1+			+	
24-				=	1			25.20~23.30 M こしり起 7再達する。 25.17m, 25.25m, 25.75m, 25.84m サかラスイレゼ 24.17~24.26m, 極い重の配け現石かまむ。	3					23.45 -24.15	17	4.	6	2		1			1	-
					1			26.35m.26.34 m] 〒5又寶火山灰接在有3						24.45	30	-	0	4		0				
25-			1		B			2471へ2471m サガリテスル石含む 25.14m, 25.30m, 25.56m lon以下のサウス質児山 2年31m サザリテス・化石含む・ 探守						-25./5	16	4	5	7		1			+	
26-				=	11/			25.86~25.87元 利田万少少量含む						25.45	17	1	4	2		11			1	
	-11.52	26.76	4.81	=	1	強風北三小岩	1045/	7949 (25.56m d5° 24.26m 75° 下性ta 50m 現度4間で免疫する						26.45	30	7	-	4		0	_		i	1
27				_	1			19頁、1氪7次のミルト岩 26.76~26.81m 7両世政党広、7厘第4系	1					-27.15	50	13	19	7					1	1
28							2	27.45~27.60m 和历行位少量含化 28.70~28.72m 和初行还不3						27.42	50	15	19	16	1				1	-
-				_	1			#35m サザリテス含む。 29:00-29:54mに <b>収着</b> クラック。						- 28.39	24		$\mathbb{H}$	4					-	1
29				=	1	,		75-7 26.88 60°, 27.18 m 85° 27.74 m 1 27.87 m 65°, 28.05 m 50° 28.74 m 6 27.87 m 70°						-29.15	28	14	50	8		+			t	-
30	-/4.76	30.00	3.24	_	_	シルト岩	2.597 %	Veliana Va.	1					29.43				1					ļ	
								25						}			П							

図 2-12 ボーリング柱状図 (#7-3)

標	標	深	層	柱	地	色	復見	相	相	標	. ixt	料		標	i k	準	獎	入	試	. 4	<b>ģ</b>	
				状図	質			対密	対稠	本資	採取	採取	深度	N 値		m毎の 第回数		N		値	□ <sub>/30</sub>	cm
尺加	高加	度加	厚加	記号	名	調	察	度	度	料 No.	記号	深度 加		/30cm	10	20 3 cm c	0	10	20	30	40	50
1 - 2 -			19		盛盛工土		中部少生体の理土、河本官く、浸入物土 数均りつない。 番件部分別をご漂く等と主体としている。 野下や少響もエルルプロック、円の祭と含む。 の次への、北京・東をボール等石へ 3 人のシィノのの、東京で、山下の時石点在台						- 1.15 1.45 - 2.15	8 30	H	3 3	+	9				
3					埋埋		2-20m付近 ひルト1見 7見入する 400~4.05m 存石少量入る						2.45 - 3.15	30 4 30	2	/	19	/	-			
5-					エエ		4.60~4.75m研石多く含む 5.50~5.54×3川プロック含む。 5.85~5.88m研石入る・						4.45 - 5:15	4 30 50	1	+	2	···				
6 -	3.35	6.50	6.50		中砂	7.5 YR 5/6	上位より細粒で淘汰良い中心。 するこのSunas細胞少量湯入りる際は						5:45 - 6:15 - 6:45 - 7:15	30	1	+	2					
8					新 期 59		良く、円春されている。 七句質は見た。 8.50m付近から念水に高くなる。 9.35m モルト情形状入る 下部15cm良く円春された形式念む。						7.45 - 8.15 8.45	30 13 30	3	+	6	1	-			
9 -		9.7/ 9.85 10.34	3.21		中砂	10 YR 5/6 589 4/1 589 4/1	下位とは不整合で、シャーアル、J巻71、ブラダ						9.45	25	7	8	7			9	>	>0
11-	-/.28 -/.73 -/.83 -2./7	11.13 11.58 11.63 12.02	0.79 8.45 0.33		田A3 こ ルト 局 特別知识質にルト ロルフェルト ロルフェルト	109 41,5/1	リモデル・大学者 かっか。 フリス・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・スト	1.PP在 /0° 生					11.45	23/30	7	+	9		4			
13-	-212	12.67	0.33		安 中砂 港ロンル 明 A2	589 3/1	さいなる。また、とかった機能は必要基準 うった。に対すると、中のはと称ります。ない はないからからあった。となっていい中に また。こっま、別に嫌しいけばされて またをおないをもないます。 しまからかもかますると ままからかもかける。 見せます。また、こことのは、こことが、こことが、こことが、こことが、こことが、こことが、こことが、ここと						13.45	20 50	6		2		1			
15-					西		は書外をプロックが、ひいんだし若着した状態 を示している。 下音がほど、石色質となっている。						14.45	15/30	5	$\vdash$	6		Z			
16-							1876 カリンテスとも入る。 1877 カリー マンマ 実の原理 在. 1889 189 カリー マンマ スター 1870 1870 1870 1870 1870 1870 1870 1870						16.45	17 30	5	6	7					
18-					R		/4~17位 取官で洗み物少なくも見れ /8.37m 密着リラックあり。 20.37~20.33ms か3ス質火山及器在						1745	19 30	19 30		-		9			
20-	-10.66	20.5/	6.80		強駆せ	59 5/1	下位和本比較的 ティープロ事業者。 最下書7 70m 暗穴是を呈する。						-/9.15 -/9.45 -20.15	30	30		-					
21-							対策(選択のセルト地 万神常化ツウく 混入物もリない。 20.50-20.81m でリラス化も含む 21.50-21.25m 強 細砂り発性。 21.45-21.41m 21.45-21.46m/g-1.60粒(中性リッグ質火)。						-21.15	13 C/2	25	5						
23-							23.30m プサヴィラス化名含む - ピータ・ 27.00-27.72m カルサイトノレコール 23.50 m サヴィリスインモン 3 24.50 m フリッマイノモン 3 24.50 m フリッマイノモン 3						- 22.32 - 23.33 - 23.33 - 24./5	50 78	28	8 8	6					=
25-	-15.15	25.00	4.49	=	シルト岩	109 % 5973	75+7 120.84 × 600, 23.45 × 700		-				24.41	1 26			6					
26-																	-					
28-													-									
30-					247																	

図 2-13 ボーリング柱状図 (#7-4)

標	標	深	層	柱		地	色	観	相	相	標	試	料		標	5	準	貫	入	試	49	è	
						質			対密	対稠	本資	採取	採取	深度	N 値		m毎の W回数		Ν		値	<sup>1</sup> /30¢	m
尺加	高加	度加	厚加	記号		名		察	度	度	料 Xo.	記号	深度 加		回 /30cm	10	20 30 cm cm	5	10	20	30	40	50
F 0 +				180333				中砂生体,埋土淘汰包裹入物								+	+	+	-	1.	_	-	
1								比較的少ない。 番神がり方起源のありを主体にている。						- 1.15	11.	3	4 4			ļ			
					盛	盛		所が少量和研、3ルトプロック含む 組織 0.4~0.8cm 少量含む				,		1.45	30	4	6 10	1	9				
2					127			. 他地点と比较して均って解る等りで .0~6m村近まで混入物なし.	· ·					2.45	30	H	+	1		9			
3					土	土								3.45	30	4	6 /		·	4			
4														- 4.15	30	6	8 1	2	-+	/	ξ	+-	
5.						.   .								4.45	33	10	// //	2	-+		1		
6														5:45	21	6	2	ļ		/	/		
ľ								6.08mg - 存名少量含む						6.45	15	Н	+	-		8			
7 1					埋	埋								7.15	30	4	5		9				
8								260m村近¢/cm以下の円線少量含む。						- 8.15	16	4	6	<u> </u>	-+	+			
9					エ	土		8.30m						8.45 - 9.75	25	7	8 /	0					
10								9.80mlj近48×ml以下の円碳原空 する。						9.45	19	4	6	, ]		/			
								10.56m.p40mm 円碳入3 1090m.p25mm.耐石入3。					· .	10.45	30	5	7/	0		9			
11-				<b> </b>				1200~13.00水細粒分为く含む						11.45	30	H	+	7		b			
12-								12.50m/6年石 \$ 20mm入3.			-			12.45	30	3	4 4		<				
13-	6.29	13.00	13.00			中砂	7.5 YR 5/6	上位却や神経の中的が553 淘汰食 混入物サケい。風水の光を経たが、	-					-13.15	30	0	7	<u>}</u>		8		+	
14-					新			無水揺のため、推着積積を現である。 /チェ付近い多水に高くなる。						13.45	32	10	"	,			1		
15-	4.69	14.60	1.60		期	中砂	7.5YR 5/6	河(本思)中的、工位と要数以可到"海风砂 表达利更整件2含む、至電元抗能、で果.含化	1					14.45	10	3	3	4					
					刋			している音を分あり 15:00~15:15ペンを配が質ミルト接任 に軽的 15:48~15:54ペ)を出いな温精学的である。						15.45	50	3/	19	-	•	+	+		
16-					5T		10YR 3/4	16.15、16.20、有職 9 シルトフロックぶたへ	i					- 16.31	76	-	6	-					
17-	2.09	17.20	2.60		乃	中砂	104 %	1440-16-86m] すかいかしまれ行入3。12石イ 1670-16-770m2 世女生行的(委画は里色) 最下告市シリト質 Maxy 6cm/AFJowの円線を含む中心						17:45	30	11	13	6				¢	
18-						確混!!		が東洋10%。石幣は円内原で、有半の海の長の駅。 研練、夏逝生物で、火丸、岩石駅含む。 下位とは、明月野ケルであるもってお客する。						- 18.15	50 T3	3/	19	J					3
19-	0.59	18.70	0.28	0 0		シル理が中砂	109 1.7/1 10YR 5/6	17.70、17.80m すのcm以上もお7片入る。 こいかちょうも不動致航天第しおう的に存便 これまり、いかのかが関すて導入地があり、6な	د د ده					- 18.28	18	5	6	,			-		
20-					安			ほ23〜1924年 かルマイト/シューレス3. 1948〜1948年 種類化石(第) フォルム状に入る 1991〜1948〜 (201) ス3. 1992〜1948〜 (202) ストンス						19.45	23					1		1	
120	-1.22	20.51	/.53 0./8		₩ A3	シルト曹中かり コルト 重ねが かんが まじりょくトエラ	589 5/1 58 4/1	17.79年の日本の中の企業とは日本人会。 17.79年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の						20.45	30	6	7/	4		d			
21-		21.51	p.49 p.33	7, -	/-/	ひは短いすが		2104~2101~村に石入る。 三川名様ツ青される日内も別の中で選送 平月317年日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本			1			21.45	30	7	10	5					
22-	-2.56	28.85	0.34		安	された 選出する事が、 たまか 選出するい 名方	l	2019年2月1日 - 2月1日から 2019年 日 - 2月1日 - 2月1日 日 - 2月1日 - 2月1日 日 - 2月						-22.15	30	6	7	8		4			
23-	-3.49	22.78	0.93		B A2	シルト	10 4 5/1 ~ 5P 3/1	では、2003年、10.09//シューサルフェース3. でおっており、選加をおける(第2章11 3四次シュース5数(3川美山東北麓)テムので質賞の3川ト中に反在37、下部74と75以上15数	+			1		- 23.15	18	5	6	7		1			
24-	-4.54	29.83	1.05		19	シルト	59 6/1	不な用けてし、シルトイとしている。 基質かないこと						23.45	16	5	5	6	·	<u> </u>			
-			1		-51			で上位と区別できる。冬葉状の香戸分あるか、 角の裏か、窓着している。 23:52-26 4m、 311  岩の有量あり、					1	24.45	50	$\vdash$	H	7	d	+	+	_	
25-				=	西	湾南沙		2843へ24.44m サガリテスイと石入る。 2534~25.37m, 25.73~25.74m, ガラス質火山万 25.80~13月、かかみ事質となる。 1543・4						25.43	-58	15	$\Box$	8					7
26-	-7.02	26.3/	2.48		h	接風化 シルト岩	596/-5/	下位とは比較的シャープに変化する。 上部30cmや中変色しているが、石研覧である						-26.15 26.45	30	10	15	9		+			Q
27-					R			均質塊状 3.4.1岩、混入物少ない。 26.85、26.87~ かうス質火山灰控在する						-27./5	50	16	20 2	5					-7-
28-								27.27-27.28·m スフザ質火山灰投充する。 27.23-27.24·m 新用布拉投充する。 28.71-28.76·m サゼリテス化石入る。						- 29.40 - 28.75	50	14	19	7		<del>-</del>			
29-								28.93~28.94点 からえて火山火は大きな。						28.44	20	15	2//	4		1		<u>i</u> .	_
-	-10.7/	30.00	3.69			シルト岩	10 7 3/1	29.26、29.28m かいけん/ショール点た。 29.26、29.28m かいけん/ショール点た。 29.28~29.79m 細名す設在 79.09 (27.33m 60° 28.07m 80°)				-		29.40	25	-	H	5					_>
30-	10.7/	55.00	3,07			1.0								1					1	-	1		
		Ь	L				L	·					1	1			Щ		<del>-</del>	-			

図 2-14 ボーリング柱状図 (#7-5)

標	標	深	層	柱		地	色	観	相	相	標	試	料		村	E T	準	#	1	λ	試	験	
				状図		質			対密	対稠	本資	採取	採取	深度	N 値		m毎の 発回数			Ν	ſď		30cm
尺加	高 m	度加	厚加	記号		名	調	察	度	度	料 No.	記号	深度加		/30cm	10	20 3 cm c		10	20	) 3	0 4	0 50
0		0.35		1		群 石	7.59Y3/1	学10~40mmの 石み石かりです。		-		-			-	$\forall$	+	+	-	-	-		
1				\ /	埋	煋		0.35m 以源。中耐を主体とした理主 番神砂男を主体とした理主 混み物ツないか き10mm以下の研練						- 1.15	30	1	1	-					
2				$ \cdot $				全体に含む 細粒分少な、測汰食い中心						1.45	5	1 20	1	1					ļļ
3				l V I										2.45	30	2	2	2 9	\				
				A				3m 付近下9含水比高1分3。 4.60~4.65m }#5cm=1475×2入3。 4.80~4.85m }#5cm=1475×2入3。						3.45	30	1	2	/	7				
4				//	土	土		\$00~5.52m 测汰在~中砂						4.45	30		+	- 0					
5 -	- 2.60	5.52	5 52	V V		中砂	7.5 YR 4/4	Parameter and Control of the Control						5.45	130	3	4	5		\			
6					安	細砂濃じりシルト	54 4/	とは、資金がの質が主要性に近かな言葉 ます。全は会りは、他のでは、ことかからかり はからない。 他の対象であり、またしたからり ないからか。 他のでは、またしたが、またした。 のでは、またしたが、またした。 から、	Pm.					6.45	30	4	5	7		9			†
7	- 3.85 - 4.18		0.33		田A3	シルト	109 5/	1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1						- 2.15	10	4	6	8		-			+
8	- 5.53	8.45	1.35	- 4	R	細砂混山川ルト 3ルト質細砂・中砂 豆 刃	589 5/1.4/1	上性、下性比 灣洋等等下、変化等等 年47~7.48×1 [末顧物化也(等) 密集等 5 7.51~7.56×1						7.45	19	4	4	5		/			+
9	- 5.86	8.78	0.33			シーノレート 極極時 混じりまれた	COG 5/	Particular Strain (No. Change Cont. Co.						8.45	18	5	6	7		-/-			
10-	- 6.48	9.40	0.62					マスタピーンと 子裏をひとる 水 小かり 中海田田島の						9.45	23	6	8	9			<u> </u>	ļ	
11-							589 5/1	立場する。 かまからおから 不満かける (第)選集する。 どい するからおかった。 (25-4)が、 なわからだけたら ちからまる。 (25-4)が、 なわからだけたら ちからまる。 不満的にも(第2) ララック だいよう きんからまる。 ており まを 他まる よっからない。 これら はつ おめらず ただま いるないのか。 (257)が はっちゅうできたです。						10.45	19	5	6	8		,	/		1
		11.80	0.85	7	岁	シルト		世間で明まい、遠入かりなり、大きかれるとなるもか						11.45	19	6	6	7		Î			
12-		12.94	0.79	- #-	EL AZ	猫細砂湯いりこれト エハト質細砂		のおいの質性のであって、一個的質量の機能は の上級等を発生を対象している。 を行って、スケットは、 はかいます。 スケットは、 はかいます。 スケットは、 はかいます。 スケットは、 はかいます。 スケットは、 はないます。 スケットは、 はないます。 スケットは、 はないます。 スケットは、 はないます。 スケットは、 はないます。 スケットは、 にないます。 スケットは、 にないまする。 スケットは、 にないまする。 スケットは、 にないまする。 スケットは、 にないまする。 スケットは、 にないまする。 スケットは、 にないまする。 にないまする。 スケットは、 にないまする。 スケットは、 にないまする。 スケットは、 にないまする。 スケットは、 にないまする。 スケットは、 にないまする。 にないまする。 にないまする。 にないまする。 にないまする。 にないまする。 にないまする。 にないまする。 にないまする。 にないまする。 にないまする。 にないまする。 にないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな						12.45	30	6	7	8		•			
13-	N.			-77	HILL			き別のほく、均質である。 は34~はも7m カルヤかり2つなたスる。 は16~ほけん 大きなおれる入る						18.45	30	H		-			9		
14-	-11.73	14.65	1.71		R	細砂塊のシルト	104 7/	19.53~19.60の 植物化石(环、重)電車(3/量を 19.71~以外所 植物化石 相当なくなる 下書りやや和度電化 示す。	, .					14.15	30	6	8	Β			4	1	1
15-	-/2.23	15.15	0.50			細るり返しりこれト とれた要相をり立方	109 6/1	フルト勝足男で高スマーキリをかからが、3つ6m 開発見り、1600mのフルコントは無限タルのよす人。 上性、難以ませてアン原型男とマスラーホー単位 工力、現象やサータ制度。 (からいして)。 15 19・15 14 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15						15.15	30	7	8	9			<b>-</b>	†	+
16-	-/3,28	16.20	1.05	-#-		ンル・現と思想が 細砂質シルト 立元	1094/5/	[ 1 数 (X 3 A)						-16.15	30	7	7	9			J		÷
17-				===				作者 (すとん) 含まな!! 上音かずる ありますね! 今日 今はも ! フェト大部 また June 18 (5) モディ						16.45	19	6	6	7		d	<i>{</i>	ļ	÷
18-		18.45	1.25	===		シルト	58 6/1	14-57 - (4-54m)   赤田名り幅 エルト 打圧 作 する   14-62 - /4 43m)   赤田名り幅 エルト 打圧 作 する   /4-62 - /4-43m)   赤田名り幅 エルト 打圧 作 する   /4-52 - /4-75   赤田 編 45 7 元   74	3. 1.					12.45	30	6	7	8	+		Į	ļ	
19-	-15.53 -16.18		0.65	7		中砂湿切むい	59 9/1	中部为一个山口相心更全也,相相强人不更复						18.45	25	7	8	0			1	ļ	
20-	-16.78		0.60	%		関化3小岩 接受 報報 3及ロリンルト	1000	が相談がつかが、放送部外がパイモードを示えた。 主席しておりまります20-70mの、方く含む だから10mのかか。以下水体やかかく含む こしまであずが、液原しら状態で、温質20 だけらまずからなるした人と、下位とは 腹膜に多してる。						19.45	36	7	13	16			•	<u></u>	<u> </u>
21-	-17.50	20.42	0.72	_	西	強風犯が岩	58 5/1	頭膜に含化する 功質洗拭 ミルト基。 2/52~2/54m細粒がカス質火山火煙在						20.45	30 50	14	20	16				8	
				=	4			21.89~ 21.90m 細砂模在有3. 22.74~22.74m サザロテス化あ入3.						-21.42	15	+	+	7 5					-
22-				=	B			79-17 (20.62m65°, 20.82m 20° 21.58m 40°						- 22.36	-51	19	26	7				1	
23-	- 20.53	23.45	3.03	=		シルト岩	59Y 4/1	21.38 m 4.0°		_	-	-	_	-23.15	30	11	17	22				!	1
24-																		-					+
25-																		-				ļ	+
26														-	N.			-					-
27-														-									ļ
28-																						ļ	
29																						ļ	1
			Sc.											-									
30-								21						-									

図 2-15 ボーリング柱状図 (#7-6)

標	標	深	層	柱状	Γ	地	色	観.	相	相	標	試	料		桿	E ,	準	質	入	試	験	_	
尺	호	度	厚	図記		質			対密	対稠	本資料	採取	採取深	深度	N 値		m毎の 発回数		Ν	1	值回	30cm	1
m	高加	加	m	号		名	調	察	度	度	No.	記号	深度加	m	30cm	10		0	10 2	0	30	40	50
-0-		0.40		1		碎石	2.50Y 3/1	0.00~0.46m 430~40 m/a 研石图集标						-			+	+	1		_		-
1-		0,40		\ /	埋	埋		の40m以来中町を封存とした理士であり、 現入物りたく、比較的淘汰包い理主 である					275	1.15	6	2	2	2	ļ	ļ			
								2.00 山柏丘 细研文少量含む						1.05	30	Н	+	19					
2 -		- 1		\ \				2.加州付近、辟石 # 50 % 含电						2.15	30	5	1	4			Ī	T	
3 -				$ \Lambda $										3.15	30	2	2	5	<del> </del>			+	
4 -				/ \	土	土		4.75~4.85m 940%以下码石含む 下部.全体的にする%~/5×0円~						3.45	14	4	5	5	-			+	
5-	- 2.10	5.00	5.00	/ V	sitt city	中砂	10 YR 4/5	至用研少量含む 測本化中的 中心以内 用精神多樣						4.45	2/	8	7	8		£			
6-	- 2.70	5.60	0.60	===	期的	中初	7.5 YR 4/6	下位とは、3~アに1季する 3寸状では、比較的明-なこれト かルサイトント2一ル、複物化石を少量含む						5.45	30	31	5	6	1	9			
-	- 3.59	6.49	0.89	= ==	安	シルト	58 5/1.3/1						=	6.45	30	H	+	$\exists$	(				-
7 -			3		田 Ai3			「対よりに対し、中では言とをする。 これに跨生の、大きのは意味を立る人 されているかは、ましかり、漢葉する。 さまれているか。 福物ルムを容分的に含む。他心の違う、 対々に接続する。						2.45	30	6	7	8		8	+	1	
8 -	- 5.55	1.45	1.62	-==	R	ま ルト	104 6/1	6.17.6.17m. 7.62-7.44m. 7.46-7.67m. 卫山·寶 种研设在和。7.60-7.44m. 7.46-7.67m. 卫山·寶 7.20-7.35m. 816-8.35m. 福姆化石(勃)安全	3.					8.75	30	6	7	8	<del> </del>	•	+	-+	
9-	- 5.96	8.86	0.41		-	エルト表とりでかり 地数混とりといるよう	109 4/ 57	7.20-735m, 815-8.35m 福物化石(素)外含 おり勝立庁、 3-30m 身位の立た 中が6割位 こいい格は 5イ含む そで数では、 2内とに通過化石 ルマイント 含む					-	8.45	26 30	8	8	0	ļ	1			
10-				===				30. 89249年 有機物班名美州人以下 915-93年 知時の輝秀、夜元す3 919-94年 福納州本(初州)原代す3. 932-99年福沙童。知功含む						9.45	24	7	8	9		1			
	Total Control	10.45	0.55	= <u>7</u> =	ò	シルト	589 %	極少量であるが、極端配が含む。サアドロロスコ						10.45	30		+			1			
11-			0.00		X			まで状きれ、 有機化力、 かいサイトアラール原育 育3 全後号には 内質である。 //.60 ~//.85 ** 有種担化力、 可以を状に入る。 //.88~//.85 **、 でルサオトノジュール入る。						11.45	30	8	8	0		6		1	
12					田A2			11.85~11.96m 福納记名(業)入3		-2				- 12.15	30	?	10	//	·	†	>	-†	
13	-10.40	13. 30	2.35		21/12	シルト	10 4 6/1	1262-1868sm 丰ラス镇火山央 按在。 下部中粒、上部加粒であ						12.45	30	7	8	9	÷	-/			
14-	-11.00	13.90	0.60	<u> </u>	B	種類が関いたい	104 6/1	福力量の福祉部分を含む、各戸分も7にはられた 13.75、3.88までカルマイトノジュール入る。 シマな、シルト、 木直がかれるややろく含む						13.45	25	8	8	9			ļ		
								4-40~ 4-63m、種物化の(着)窓集報   4-70~44.85m   校り片ろく含む   下彼とは  新物的に変形する					-	14.45	30	7	8	8		1			
15-	-12.94	15.30	0.59	-7		ションレト	58 6/1	下音7 ラ量の細な7 含む t悪は7 音27、植物化る13セルと含まなへ。 15:00-15:63~異色7度物 斑点充する。						1545	30		+	$\dashv$		1			
16-	-/3.50	16.40	0.56	54E		細るケ混りいい	58 7/	を登場でする。 無わかい者は変化する では入力すると 特別が出わけたくとうようい。 も無礼 さいト など、アカウケと 手書物が出わけたとかっかっ。						16.15	18 30	5	6	7	. 9		-	1	
17-						1		おわり、日本なのかはおするのかりに、深入する						-17.15	50	6	7	7	+	ļ		+	
18-	-15.45	18.35	1.95			シルト	58 %	16.53~16.55m ルイベールが一)生き有数的斑点だする。 17.50~17.85m 日色斑(酸化す光素反色)デヤシに入る。						1745	30	7	7	8	ļ	À	<u>ļ</u> .		
19-	-/3170	,	7.70	三葉三				では、「特別のマンシーの事性の反列境等行用 といい中に極知的のあり、部分を授任する感じ 「投入物学なく、植物化石含をない。						18.45	2/	6	7	8		1	-		
						極細砂温いだれ	61 21	18.75~18.78× 白色は丘(酸化養灰色斑) 外4 19.66×19.57× エルト環とりが紹介を発売する。	2000				-	19.95	30		+	-		1			
20-	-17.25	20,15	0.70		-	シルト豆乃 植物砂造のシルト シル質制砂豆乃	109 % % 5B % 5/1	1973-1977× 里色有機物进不規則以3 5以時及及不分量がかるM. 2、6cm単位 の5月、境界不明時、 遅入すかかない。						20.45	30	6	2	7	1	4	1	1	
21-	-17.95	20.85	0.70			- 1	30 1/1/	砂勝豆及ハdow単位の豆尽境界や中不明 政 海軍互列で上方細粒化の機関示す。						-21.15	30	2	8	0	+	+ 6	+		
22-	-19.50	22.40	1.55	-#-		ミルト 3見い 細砂	58 4/1.5/1	で表入的すなの 毎年今日に超社と59、中の女を含む苦吟あり、 とんてマーとんとか、これとに思い中の女子を有る。						21.45	30	8	10	/2		+	\		
23-	-19.86		0.36	, , ,		ミル 混り締め 中鎌港の中、報砂	58 4/ <sub>1</sub> 58 8/ <sub>1</sub>	福朝紀年(東) 744 状に抒代する 。 e : 5 や 上位する意味( 社社を行う ダクルボルドの意味( 生) ある(ま) 5 元 以下 デンスポートの エレルを形成 上野のエマルトにより選集とした事業である。3			9			-23.45	20	15		5	ļ	ļ		>	-
24-	-20.45	23.60 23.95	0.59	-,		#6 かまるト 中 か	58 3/	上野の大学のまたと思います。 上野の大学の大学の大学を表したできた。 であれる大学は、下位の海洋はある。			19			23.40	20	15		5					_
24-			0.81	0		中研究認定的治理研究	58 3/	作品は万丁上位 下位の海洋3万万 タグツルリスで山地 真を続くから 山下 タンツルリスで山地 真を終くから 山下 タンツルリスで ままままま マグライン まままままま マグライン まままままままままままままままままままままままままままままままままままま						-24.15	27	Н	+	2				1-	-
25-	- 22.0/ - 22.55	25:45	0.54	0 6 0 0 0		神砂堤川北	1089 3/1	でやま方状をままるよう。 カバスペ 以下の重用・重用機 勝字 25% これ名譲りのかか以下含む 石下降正式 2~75m単位の正式 境界不明際						25.40	25	16		5	· <del> </del>	t	-	+=	4
26-	-23.95	26.35	0.90			シルト質があり 細砂質シルト豆尼	109 5/1,6/1	カチ暦を立ち、マーノの本事性を呈与、境界不明時間、 マCR7、マルカル、工業対別では、美術学事士マ						-26.15	20	27	53	J		ļ	+	+=	-
27-	- 23.85 - 24.30	26.75 27.20	0.40	- <del>//</del> -		中張隆い中和か をルト受り中か 知の質さい立ち	104 3/1	上世級を担ける時期のは、 をからしては、 をからしては、 がからいまたが、 がからいます。 なかっとは、 はかっとは、 はない。 はな。			33			-26.35	25	15	50	0	ļ	ļ	-ļ	d	/-
28-	-24.80		0.50	0 0 0		中孫	109 3/	中の4・3cm、美円森・密里する 経年30%。最関題209 三川勝三月 寺戸985と中かけまでエイ3			925 J			27.45	35	10	12	13	1	1		1	-
	-25,69 -25,96	28.59	0.89	0.000		シい質細なする方	104 5/1 4/1	77年版報 〒1日本 1550m 南位本立尺 江西教 北外海川子市 ロテンカットの電内写真書 最高級						28.45	30	H	+	//			æ	1	
29-	-		3-		西			19官場状のミルト基。 29.52~29.66m つしゅトタイア生催化を入る 29.74m・29.75m 細砂は受圧する。			=			- 29.75	23	13	-	9	1		1	1-	7
30-	-			-	h			30.54~30.55m 细砂投在有3						-30.15	20	27		4	÷	<del></del>	+	+	=
31-	- 28.52	3/.42	2.56	=	局	ミルト岩	104 3/2	17747 (29.69 m 80°, 29.85 m 45° 30.65 m 50°, 30.75 m 85° 30.83 m 20°						-30.36	50	15	50	3	·	ļ	+	+-	
32-	20.52	wy. 44	2.30											31.42	ľ				1	ļ	1	-	1
														-									
33-					5													1	·				

図 2-16 ボーリング柱状図 (#7-7)

										度試	内水	深		Ocm#		打										深				深	試	採		
	高	厚	度	状	質		対	対		験に上	位	1/15	$\vdash$	撃回		撃			N				値			派	試及		険 名 結果	1	料		P	3
	[m]	//p-	/%	4/	X		密	稠		る土	測定	度	0		20											度				度	番		28	ę
	m	m	m	図	分	調	度	190	*	度試験による土質区分	2月日	m	11		30	貫入量										m				m	号			i
1	m 11.81 11.46	m 0.06 0.35	0.00	0,.0	727	(H)	疫		- アスファルト。 (裸混じりの中粒砂。砂と φ 40mm以	7f	la la	m	1	720	130	MI.	0	1	-	20	3	0	40	50	61	m				m	19	12	. W	6
				58.5 W	砂礫				・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								_	H		1			-		+									
				SEC SE	保湿じ り砂	褐			亜円~亜角礫を含む。									-		+					+									
				0 25°														-		+-														
ŀ	8.69	2.77	3.17						中~細粒の砂。 φ20m以下の亜円 ~亜角礫をわずかに含む。締りが									-		-			ļ.,											
									中~姫粒の砂。 Ф20mm以下の亜円 ~亜角礫をわずかに含む。締りが 思く、コア形状を保っていなりがと ころもある。また、いやの終とこく くコア形状を保っていなりがも 指で押せば容易につぶせる程度の 日本である。									H	1			÷	İ.		t									
									指で押せば容易につぶせる程度の 固さである。 3.31に 0 30mm、3.68mic 0 50mmのシ ルトの偽硬を含む。									H	+	+	Н	+	H		÷									
					10	暗褐			ルトの偽錬を含む。		12/13 6,00						_	П	-1				-		Ŧ									
																				+	-				÷									
																		ļ			-													
١											12/14 8,80																							
t	2.90	0.38			アスファルト	服用指			8.96~9.05m, 9.20~9.34mlにアス ファルトを挟む。9.05~9.20mは使 多く含むつ~9.20mlは使 中~遍数の砂。さかに高さい。轉りが は、10.20ml以下の亜円 のでは、10.20ml以下の亜円 のでは、10.20ml以下の単位 は、10.20mlu下の単位 は、10.20mlu下の は は 10.20mlu下の は 10.20mlu下		_						L		1	+		÷	t.		t									
					砂	暗褐			を多く含む中〜細粒の砂。 中〜細粒の砂。 o20mm以下の亜円 〜亜角碟をわずかに含む。締りが										+	+		+	H		+	-								
ŀ	0.82	1.70	11.04			FEE 740			悪く、コア形状を保っていないと ころもある。やや締りがよくコア 形状を保っているところも独で押		16/2							-		1	-				1									
									せば容易につぶせる程度の固さで ある。 10.33mにφ50mmのシルトの偽礫を 含む。											+-	-													
									含む。 11.04mに土のう袋と思われるビニ									i																
8									部分的に固結した中〜細粒の砂。 比較的硬質であるのは11.04〜11.5									-			-				÷									
									Uniacでであり、以深は、程度の違いはあるものの指で押すとつぶれる程度の困さである。									L	1	+		i			İ									
5																		H	1	Ŧ.	H		H	H	+	-								
5									ャート、頁岩、安山岩のクサリ礫 等からなる。 11.50~16.95mは固結の程度が低く									-		1	-		1			-								
					砂(改良 地盤)	带黄衫	5		10 Sulf-12の分裂と思われるビニールを挟む。 か分かに回顧した中一細粒の砂・ は放射機質であるのは11 04-01 1 もは、ためまかの地では、このは、 を指の過ぎなありの地では、 を指の過ぎなありの地では、 を指の過ぎなからかりの地では、 を対し、の機能では、 を対し、の機能では、 を対し、の機能では、 を対し、の機能では、 がありため、 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に																			f						
									8																									
8																							١											
									19.23~22.15mの大部分は指で容易										-			÷	l.		t									
,									につぶせないほどの固結状態であ る。										-				H		-									
									20.36m以深はφ10mm以上の確をや や多く含む。								-	Ħ		1		1	-		Ť									
2									,																+									
	-10.29 -10.43 -10.66	0.14 0.2	22 15 22 21 22 53		コンク リート 砕石	灰			コンクリート。 半国版状態の砕石。 機器より砂マシルトよりなるMMR。 競表大少び5m程度の味を含む。様は 現である。 後様である。 を壊れる程度の固さに固結している。									ļ.,																
3					MWR (BR	褐灰			保湿じり炒~シルトよりなるMMR。 最大φ25mm程度の礫を含む。礫は 硬質である。									İ.	1			i.	İ.,		ij.									
4					MMR (弾 湿じり ルト)	14104			全体的にハンマーの打撃で容易に   壊れる程度の固さに固結している   ア								$\vdash$		+	+		+	H		÷									
5	-12.89	2. 23	24.75						23.38m以深はシルト主体の部分と 砂主体の部分が互層状となっている。									H	+	-			H		+									
6					シルト				る。 23.78~23.81mはセメント分が多く 、白色を帯び、周囲より硬い。23. 78m及び24.31m付近に∠20°の割れ									-		1	-		-		+									
									目あり。 シルト〜細粒砂湿じりシルト。締 いけれてない。											+-					+-									
ı	-15.44		27.30	1	シルト質砂	審練区			78m版でな4.31m付款に 2.20 の割れ 目あり、 担かり、 センルトをはなり。 とかしたをはなり。 25.30~25.80m、26.00~26.10m、2 7.25~27.30mでは、6.00~26.10m、2 7.25~27.30mでは、6.00~26.10m、2 7.25~27.30mでは、6.00m以下の 単円~無角板が混じる。 26.30~26.75m、水平~積料20°の 実理を有し、成類物を含む。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																									
8	-16.21	0.77	28.07		2.0	無部以			型円〜並列蝶が進じる。 26.30〜26.75m、水平〜傾斜20°の 業理を有し、炭質物を含む。									1		1.			İ.,		1									
9	-17.58	1.37	29.44		質粘土				細粒炒を主体とし、シルト、φ10mm以下の亜円~亜角礫が混じる。練りは良くない。								$\vdash$	H	+	+		+	H		÷									
0					シルト													Н	-	1		-	H		-	-								
1	-19.09	1, 51	30, 95		7 AND 122 11.				一部に水平~傾斜20°の笹稈を右								-	-		1	-		-		-									
2	-19.71			J.	研選じ り砂 砂	暗灰			し、全体に炭質物を含む。 30.05-30.20mは亜角~亜円礫が変 質し、粘土化している。 30.65-30.75mはφ4m以下の嫌や中									-		+-	-	ij			Ť									
Ì	-20, 32			7	砂質シルト	帯緑区	ē		関し、粘工化している。 30.65-30.75mはφ4mm以下の確や中 粒砂が湿じる。 練混りの中粒砂。φ25mm以下の亜 円~亜角機が湿じる。やや締りは									-		F	F							I						
			33, 16		シルトリ 選じり				円〜亜角機が混じる。やや締りは 良い。 31.07〜31.22m、炭質物が多い。 中粒の砂を主体とし、シルト、ゆ mm以下の機が混じる。締りは良く ない。									ļ.,			-													
4	-22.14	0, 27	33. 73 34. 00		砂砂				細数功太タノ会から. 川上 めめ縁								-			+		1	1.		1									
5				1					相相がを多くさむジルト。そや解 りは良い。 シルトを含む細~中粒の砂。締り は良くない。 33.64~33.69mに炭化物を多く含む									Н	-	+	Н	-	H	Н	+	-				É				
6				1	砂湿じり硬				33.64~33.69mに炭化物を多く含む									Н		1			1		+									
,				1					ー 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一									-		+-	-		-					I						
ŀ	-25.61	3, 47	37.43			-			m以下の硬質な亜円~円礫とゆ70mm 以下のやや軟質な泥岩礫からなる 。締りは良くない。											-	-				- į-			Í						
8									<ul><li>締りは良くない。</li><li>36.04~36.25miよφ100mm以上の泥 岩礫を含む。</li><li>暗灰色を呈する塊状の泥岩。傾斜1</li></ul>									ļ.,		+-	-		ļ.,		- ļ-									
9						暗灰			岩礫を含む。 暗灰色を呈する塊状の泥岩。傾斜1 0°~15°の菜理がわずかに認めら れる。 割れ目は傾斜10~20°程度の割れ								-		1	+		1	-		İ									
									れる。 割れ目は傾斜10~20°程度の割れ 目と傾斜40~50°程度の割れ目が 多く、割れ目面は新鮮で挟在物な								F	Н	-	+	Н	+	H	H	+	-								
ı					泥岩				し。 38.37m付近、39.11m付近、42.83m 付近に灰白色のノジュールを含む											#			1			-								
2									。 42.88~42.90組粒砂岩の葉理あり ∠15°。 39.75m以深の多くの部分でコア表									-		+	-													
l									面が鱗片状となっている。 40.90~41.20m、42.34~42.41m、									-		+-														
3									角候状コア。 面なし断層が無数に存在する、主 なものは次のとおり。														ļ.,		1	1		Ħ						
4	-32 14	6.53	44.00						角様状マア。 面なし断層が無数に存在する、主 なものは次のとおり。 40.38m ∠80°。 41.62m ∠65°。 41.87m ∠70°。								H		1	+		÷			÷									
5									42.10m ∠45° 。									П	-	Ŧ	П		1		Ŧ	-								
6									42. 32m ∠50° a 43. 15m ∠45° a 43. 22m ∠50° a									H		+					-									
7																		-		-	-													
-																				-														
8																															1	1	1	

図 2-17 ボーリング柱状図 (PB-1)

	標	層	深	柱	±	色	相	相	五龍	粒度就	孔内	300	_	標 Ocmi	毎の	28 tor		貫	入	-	K.	験				11/2		試 験		料採		室	Ħ
					質		対	対		度試験による土	水位	深	ħ	[撃]	回数	打撃回			N			fi	í.		深	然		名 結果	深	流	採	内	j
	高	厚	度	状	K		常	稠		よるエ	測	度	0	1	0 2 (	数/									度	X	Ċ.	和米	度	料	取	試	
					1		311			工質区分	定月		1			貫入														番	方	,,,,	
	m	m	m	図	分	訓	度	度	*	分	H	m	1	02	0 3 (	量	0	10	. 2	0	30	40	50	60	m				m	号	法	験	
									ノンコア。								-																
																					-						Ш						
																	ŀ	H	÷	÷	+	+		÷									ŀ
3																						-	-	+									
																	-				+-			+-									
5											12/22 5,45						t		1	t		t		t									
6																	-	-	+	+	H	+		+									
7																	ľ	-1-1	- j	Ť			i	Ť									
																	-							+-									
8																	Ī																
9																				+				+									
0	1.82	10.00	10.00						中~細粒の砂。 φ20mm以下の亜円									Н				-		-									ŀ
,	0.82	1.00	11.00		Ð				中一総轄位の砂。		12/28													+-									
									締りが悪く、コア形状を保ってい ないところもある。やや締りがよ くコア形状を保っているところも 指で押せば容易につぶせる程度の		*						-						į	·									
2									10.80m付近に木片を含む。 10.83~11.00m、ノンコア。									-1-1										Ш					
3									間さである。 10.80m付近に木片を含む。 10.83~11.00m、/ンコア。 10.83~11.00m、/ンコア。 10.80~10.00m。 程度の亜円~亜角機を含か、最大 機径は70mm。機種はさまざまでま 色硬質安山岩様やシルトの偽機等								+	+	÷	+	+	+		÷				Ш					
4						帯黄料	ō		11 00 10 00 14 FB 64 0 FB 86 40 FE /								-							+									
5									、指で押せば容易につぶせる程度 の固さの部分と、指で容易につぶ								-				+-			-									
1									11.0~16.00~16.00年度の他が表示性が、 指で押せば容易につぶせる程度 の固さの部分と、指で容易につぶ せないほどの固さの部分が混在し、 下位ほど全般に固くなる。また 下位ほど大きな礫が少なくなる																								
6					砂(改良地盤)												ľ	-11						1									
7					地盤)				59 20 38 38								-	+	+	+	Н	+	-	+									
8									18.00~22.20mlは色調が暗褐色に変								ľ	-11	1	1				1									
									化し、上位よりやや硬質となる。 最大硬径は30mm。指で容易につぶ								-			-+-	+-			÷									
9									せないほどの固結状態である。								ŀ																
0						暗视											ŀ		i	İ				İ									
1																	-	-	+	+	H	+		+									
2 .	10.38	11. 20	22 20						,												1												
	10 49 10 63	8.14	22, 20 22, 31 22, 45		コンク リート 砂礫	股股			コンクリート。 砂礫 練混じり砂〜細粒砂よりなるMMR。U 練は概ね10mm以下であるが、23.80 mによ50mmの練を含む。練は練質で ある。								-																
3						褐灰			操は概ね10mm以下であるが、23.80 mlc φ50mmの弾を含む。 繰は硬質で														į										
4		2.10	24. 63		混じり 砂~ト)	1404			全体的にハンマーの打撃で容易に ケ								ŀ			+				$\pm$									ŀ
5	12.81	2, 10	24, 52	/					。 下位との境界は密着。 細粒砂混じりシルト~砂質シルト										-	-		-	-	+			Ш						
6					砂質シ ルト				。締りは良くない。 24.63~26.21mは炭質物がほとんど								ŀ							+			Ш						
				/	ルト				25. 27mに細粒砂を層状に厚さ10mm 程度で挟む。								-																
	15.71	2, 90			Cell. h			Ш	26.21~27.39mは水平~傾斜20°の 葉理を有し、深くなるほど炭質物 を多く含む。やや締りが良い。								ľ	-1-1		1	-			1									
8	16.18	0.47	28.00		シルト 質シルト 質粘土				26.52~26.59m、 φ5mm以下の亜円 ~亜角礫が混じる。								-	+	+	÷	+			÷									
9	17.02	0.84	28, 84		質粘土 砂混じ り礫				。全体にやや腐植質である。 待り は良くない。										-	-		-		+			Ш						
0	17.86	0.84	29. 68		り確 確混じ り砂	帯繰り	Ž.		東京の住民の田子に開催している。 下位のの機関と呼びませます。 相称が超上リンルトーが買ンルト ・												+-			+-			Ш						
ŀ	18.69	0.83	30, 51	d to	り砂				28.43~28.52m、やや腐植質。   28.60~28.78m、頭状のシルトを含								-							+-									
1				Æ,	砂質シルト				い。一部砂質シルトを挟む。												-												
2 -	20.26	1, 57	32.08	#					26.84~29.00m、無状のシルドから なる。 練混じりの中粒砂。 φ20mm以下の								ŀ	+	+	+	Н	+		+									
3					シルト質砂				28.84~29.00m、 煙状のシルトから なる。 硬混じりの中粒砂。 φ 20m以下の 速円~亜角機が混じる。 やや締り は良い。 最大硬径は60mm。 網粒砂を多く含むシルト。 締りは 良い。 230.90m、 230°の業理を有 tz。 20.90m、 230°の業理を有															Ŧ									
4					質砂				良い。30.90m、∠30°の業理を有する。								ŀ																
-	22.56	2.30	34, 38						限じ。30.90m、230 の東堰を有 する。 シルトを含む細粒の砂。締りは良 くない。 32.80~32.94mに炭化物や未炭化な 木片が混じる。 33.34mに薄層状に炭質物を含む。 33.37~33.58m、砂混りシルト機器 となる。																								
5									木片が混じる。   33,34mに薄層状に炭質物を含む。   33,37~33,58m。砂混りシルト機層								ŀ			t				t									
6					碟質砂				となる。 33.83m付近、粗粒砂、細礫を含む								-	+	÷	÷	H	+		÷									ŀ
7 .	25.27	2. 71	37. 09	4					33.98~34.38m、砂質シルトを挟む								ľ							-									
									シルト混じり中粒炒の基質をもつ 砂礫層である。礫は安山岩、泥岩 である。礫はφ20mm以下の硬質な								-																
8						暗灰			シルト混じり中粒砂の基質をもつ 砂糖層である。硬は安山岩、泥岩 である。硬はウ20m以下の硬質な 亜円~円線とゆ70m以下のやや飲 質な泥岩機からなる。繰りは良く ない。 34.59~34.69m、砂質シルトを挟む														i										
9						m10%			0.0 70 1-11 1 100								-	1	1	1				t									
0					泥岩				36.70mにはφ100mmの泥岩の偽硬を開きた 宮む。 間段色を呈する、塊状の泥岩。傾 斜10°~20°の葉理がわずかに認 められる。割れ目面は新鮮で挟在 物なし。								-	H	+	Ŧ		1		Ŧ									
,									新10 ~20 の栗理がわずかに認 (**) められる。割れ目面は新鮮で挟在 物なし。															-				₩					
									38.98~39.21m、細粒砂及び軽石混 じり細粒砂からなる葉理を有する								-											₩					
2									38.40m付近、39.32m付近、39.38m 付近、40.37m付近、42.38m付近に 灰白色のノジュールを含む。 40.00m以深は角機状コアとなる。								İ	-11		1	1.			1									
3	31, 18	5, 91	43.00				1		吹日色のノジュールを含む。 40.00m以深は角硬状コアとなる。 特に角弾化しているのは、40.00~								+	+	+	+	+	+		+				₩					
4									40.00m以来は月後代コアとなる。 特に角様化しているのは、40.00~ 40.20m、41.90~42.00mである。 さまざまな角度の面なし断層が認 められる。主なものは以下のとお											-		-		Ψ.									ŀ
5									20° 00- 410 470- page 17-49-4017								-				+-			÷									
									35.5m ~10、幅/2mmの暗灰色部誌 かられる。 38.6m ~60、幅0.5mmの暗灰色部 認められる。 39.43m ~85、幅0.5mmの暗灰色部 認められる。 39.8m ~15、幅0.5~1mmの暗灰 色部認められる。								-																
6									39.43m ∠85、幅0.5mmの暗灰色部 認められる。 39.88m ∠15. ★E0.5mmの暗灰色部								ŀ		1					1									
7									色部認められる。										-	T	1	-		F									
							1												i	i.,	-L- <i>i</i>	_ 1				+	111		4				

図 2-18 ボーリング柱状図 (PB-2)

	標	層	深	柱	±	色	框	相	話		孔内					標	準	貫	入	試	験		J	原	位置試験	試	料採	取	室	I
					質		対	  対		1	孔内水位、	深		加毎( 隆回	D	打擊回						<i>i</i> *	22	元	試験名	深	試	採	内試	
١	高	厚	度	状			l			(	m)	度	$\neg$	10	20	回数/			N			値	B	臣	および結果	度	料	取	験	
١					区		光	稠			測定月		₹	- 1	20	数/貫入量							13	^		<sup>'</sup>	番	方		
	m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事		目(	(m)			30 (	重 (cm)	0	10	)	20	30	40 50	60 (n	n)	1 /	(m)	号	法	Ŭ	_
Ī						Г	Γ	Г		Τ.					T		T						T	T		П		П		
l				1			l				2/15 1.55 <del>♀</del>						- 1				-									
ı				N			l																			H				
ı				Νb			l				無水振り水位															1				
				М			l																			H				
١				W			l										- 1									1				
,				W			l																			+				
				M	盛		l		素掘り。 ○~2 m試掘。 砂質+ 软性+羽女																					
l				I	±		l		************************************																	1				
1				М			l										- 1													
١				Ш			l										-									1				
				Ш			l																			1				
l				Ш			l																							
1				11			l																			-				
١							l										- 1									1				
ı	0. 13	12. 30	12.30				L																			H				
l				M	盛細	黄			粒径均一。 粒子は細かい。																					
ŀ		1: 29 0: 25		<b>A</b>	土砂盛砂土碳	暗灰袍	F	H																		+				
ľ	2.03	0.35 0.20	14.00 14.20		が 保 盛 土 砂	暗灰	$\Gamma$	Ħ	円礫 (φ2~15mm) 主体。 マトリックスは細砂。 含水量をい。								- 1									1				
5	2. 23	8: 79	16:88	7.7.7	砂貫シルト シルト質 粘 土	H IX	F	H	細礫点在する。 砂分不規則に含む。 腐植物少量含む。																	H				
s					腐植土	暗	l		未分解の植物繊維混入。																	1				
l				2	シルト質粘土	灰	l		腐植物点在。																	H				
	5.33	3: <del>1</del> 8	17: 88		<u> </u>	100 CC	L										- 1									1				
1					組一砂 粘土質細砂	暗	1		粒径は均一である。 全体に粒子は細かい。 粘性土シーム状に挟む。 腐植物点在。																	$\mathbb{H}$				
ŀ	-6. 63	1.20	18.80			灰	H	+	廣植物点在。																	1				
,							l																			11				
1				##*			l																							
١							l										- 1									1				
2					シ		l																			22. 00 22. 10	,			
3					ル		l		硬質。																	23.00	2			
ı				32	り質	暗灰	l		便質。 GL-19.6m付近木片混入。 所を7年7年7年 ではたけむ。 GL-21.7m付近 銀砂薄く挟む。 銀砂薄く挟む。																	23. 10				
1					粘	"	l		細砂薄く挟む。 腐植物点在する。																	24. 00 24. 10	3			
					±		l																			25. 00 25. 10	4			
							l																			26.00	5			
,							l																							
1							l										- 1									27. 10	ľ			
	16, 13	9.50	28. 30		T/A	L	L	H																		28. 00 28. 10	7			
١				= = =	砂質	暗	l																			29. 00 29. 10	8			
					シル	灰	l		砂分不規則に混入する。																	29, 60	10			
Г	18.38	2.25	30. 55	===	۲	⊬	╀	$\vdash$																		30, 10				
١					細	暗	l		下部に行くに従い、粒子粗くなる。 泥岩塊(φ25mm程度)点在。 最下部礫混じり粗砂。								- 1									31.10	"			
ŀ	20.08	1.70	32. 25		砂	灰	L		数下部標准じり相砂。																	32.00 32.10	12			
				32	シルト質 粘 土	暗青緑	l		硬質。ほぼ無層理。																	33.00	13			
ŀ	21.53	1.45	33. 70		599	灰	L	H																		34.00				
4					温:	暗			上部 2 0 c m細砂。 亜円礫(φ 2 ~ 1 0 mm)混入。 泥岩塊 (φ 1 5 mm程度主体)混入																	34. 10	14			
5	23.13	1.60	35. 30 35. 60 35. 80	o? : : : =///==	粗	灰	L	L																		35. 00 35. 10	15			
5	23.63	0.20	35, 80	///- <del>-</del>	粘土質 シルト 確認じり 粗 砂	暗灰	F	Ħ	硬質。 細礫混入。 含水多い。粒径は不均一である。																	36.00 36.10	16			
,					粗砂				(m. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.																	30, 10				
1																														
3						暗																								
					泥	青			棒状コアとなる。																					
					岩	緑																								
1																														
١																														
ŀ	29.83	6. 20	42.00			_	L	$\perp$																						
1				l			1																- [			1				

図 2-19 ボーリング柱状図 (PB-3)

## 2.2.2 設置変更許可申請以降

ボーリング柱状図を図 2-20~図 2-61 に示す。

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	事 5	(%)	細 岩 短 柱 長柱状状状状状	(%)		Vp Vs
5				盛土・埋め戻し土	褐色~灰褐色		<ul> <li>○ 00~8.35 盛土・堆戻し土、緑混ビり砂からなる。砂は桐軽~中粒砂を主体とする、緑は移5~35mm程度の角~重円線を含む。</li> <li>○ 00~5.90 地盤改良により励略している。</li> </ul>	20 40 60 80 100	<b>坎 坎 坎 坎</b>	20 40 60 80 100	10 20 30 40 56  50/10 (16, 34/0)  32 (10, 11, 11)  27 (11, 12, 14)  30/13 (36, 14/2)  43 (1, 1, 1)	00 190 190 200 500
10-	<u>-5, 57</u>	8, 35			灰色		8.35~28.91 古安田層. 8.35~15.45 AZo層 シルトを主体とし、細粒砂~中粒砂を挟む. 8.35~11.54 シルト. 10.45~11.45 砂混じりシルト. 11.45~11.54 シルト. 11.54~12.92 細粒砂~中粒砂・シルト~細粒砂と互層する.				9 (1, 3, 5)	-
- 15 —					褐灰色 灰色		11.54~12.92 細粒砂~中粒砂.シルト~細粒砂と互層する. 12.92~15.45 シルト.				32 (8, 10, 14) 40 (8, 14, 18) 22 (7, 7, 8) + 26 (8, 8, 10)	-
-				古安田層	褐灰色		15.45~22.90 A2al 勝 15.45~16.69 輻射砂・シルト互階. 16.69~17.00 輻射砂を主体とする. 17.00~22.35 シルト.				22 (6, 6, 10) 47 (10, 20, 17) 21 (6, 7, 8) 4 22 (6, 7, 9)	-
20-					灰色		20.52~20.61 細粒砂層を挟む。 20.70~22.35 細粒砂の薄層を互層状に挟む。  22.35~22.90 細粒砂・シルト互際。 22.90~27.00 A2=際。 22.90~23.90 砂泥しり機 径2~5mm程度の亜円~亜角硬を主体とする・シルトを含む。				+ 22 (7, 7, 8) + 22 (7, 7, 8) + 23 (7, 7, 9) 40 (7, 12, 21) 45 (10, 17, 10)	-
25 —							23.89~24.50 砂質シルト. 24.50~25.63 砂雅じリシルト質様. 僅2~20m程度の角~円線からなる。基質は主にシルトである。 25.63~27.00 シルト.  27.00~28.91 A2=署、砂混じリシルト質様からなる。 様2~55mm程度の角~円確からなる。 基質は主にシルトである。 27.47~27.62 シルト.				43 (12, 13, 16) 50/27 (15, 18, 17/2) 29 (3, 10) 11) 50/24 (14, 29, 7/4)	
	-26. 13 -27. 22			西山層	暗緑灰色		28.47~28.65 相総砂〜相様の級化層理をなす. 28.91~30.00 西山棚. 泥岩からなる.				50/25(14, 24, 12/5)	

図 2-20 ボーリング柱状図 (FS02-P1)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状 図	層名	相	内水	事 5章	(%)	細岩 短柱 長柱状状状状状	(%)		Vp Vs
5 -				盛土・埋め戻し土	灰褐色~褐色		<ul> <li>0.0~10.81 優土・環灰し土・稲粒砂~中核砂を主体とする。</li> <li>0.00~7.56 地盤改良によりコアは簡輔している。</li> <li>7.70~7.75 径10mm~50mm程度の角~亜角機を含む。</li> </ul>	20 40 40 80 100	状状状状	20 40 60 80 100	27 (16. 9) 80- 30/19 (16. 34/0)  50/29 (16. 18, 16/0)  48 (14. 12, 21)  50/28 (19. 16. 15/0)  48 (12. 17, 18)	P 100 100 200 200 200 200 200 200 200 200
10	-7. 91	10. 81					10.81~28.93 古安田原 10.81~28.93 古安田原 10.81~13.96 公の間 10.81~13.96 公の間 厚る1 m程度の相程がを挟む。				50,/28 (16, 18, 16, 10) 7(8 (5, 6, 7) 16 (4, 5, 7) 21 (5, 6, 10) 20 (5, 7, 8) 17 (5, 5, 7) 17 (5, 5, 7)	P 1000
20				古安田層	灰色		18.96~21.75 A2al 層、砂質シルト及びシルト混じり細粒砂からな 18.96~20.45 砂質シルト、細粒砂を含む。 20.45~21.45 シルト混じり細粒砂。 21.45~21.55 シルト 21.55~21.75 シルト混じり細粒砂。 21.75~22.45 A2al 中和砂及び砂硬を主体とし、シルトを挟む 21.75~22.53 検混じり中粒砂 径3m~10m程度の亜円~亜角緩を含む。 22.53~23.57 砂硬、径2m~50m程度の角~亜円礫を主体とす 3.35~23.65 シルト湿じり細粒砂。 23.57~23.65 シルト湿じり細粒砂。 4.35質能はシルト~細粒砂からなる。 3.35~23.65 シルト湿じり細粒砂。				20 (5, 7, 8) 20 (6, 19, 4) 50 (6, 14, 30) 42 (0, 12, 21) 50/28 (8, 14, 28, 4)	
_28. 93	<u>-26. 03</u>	18. 12		西山層	暗緑灰色		26.40~26.79 シルト. 26.79~27.49 砂質シルト. 27.49~28.93 A22層、砂礫、径2mm~30mm程度の円~角機からなる。基質は細粒砂~シルトからなる。				50/28 (18, 19, 15/4) 38 (11, 12, 13) 36 (11, 12, 13) 36 (7, 4, 14) 50/19 (25, 25/6) 50/25 (13, 23, 14/5)	£ 1988

FS02-P2	孔	(	2	/	2	,
	_					-

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
			状	層		内	記事	(%)	细岩钴柱层	(%)	l	Vp Vs
度	高	厚	义	名	相	水			細岩短柱長柱片柱			(m/s)
								20 40 60 80 100	<b>农农农农</b>	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	500 1000 1500 2000 2500
31. 00	-28. 10	1. 00		西山層	暗緑灰色						50/22 (11, 31, 8/2)	P:1700 S: 450

図 2-21 ボーリング柱状図 (FSO2-P2)

次	深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
10				状	層		内	記事	(%)	細岩短柱長片片柱			(m/s) Vs
10	-					ぶい黄褐		2.10~3.15 シルト混じり粗粒砂、硬を含む. 2.36~3.15 固く締まっている.	20 40 60 80 100	<del>状 状 状 状 状</del>	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	500 100 110 200 200 -
10 -   10 -	5 -					オリーブ							-
15 -	10				土・埋め戻			7.62~11.14 シルト混じり中粒砂. 8.12~8.63 固 締まっている。 8.63~9.00 固く締まっている。 9.53~10.00 固く締まっている。 10.50~11.00 固く締まっている。 11.14~22.22 改良土(D)区間. 11.14~18.84 シルト混じり中粒~粗粒砂。					- - - -
アナリープ色   20.25~22.22 シルト溜じり中輪砂 研を含む   国結している。 爪でキズがつく程度   「大	- 15 —				し	黄褐色		18.43~18.84 園結している. 爪でキズがつく程度.					-
「	20—					オリーブ							-
29						灰オリーブ		22.58~24.98 改良土(E)区間・シルト混じり中粒~粗粒砂. シルト混じり中粒~粗粒砂. 22.58~24.14					
					古安田層	オリーブ灰		24.98~27.00 古安田勝 砂質シルトからなる。 25.28~27.00 幅1~3mm程度の旗軸を挟む					

図 2-22 ボーリング柱状図 (改 6-6N)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細片状状 状状状状	(%)	(cm)	Vp Vs (m/s)
5 —					にぶい黄褐色褐色原産		0.00~25.22 確土・環め戻し土 0.00~11.31 埋め戻し土広間。 0.00~2.13 シルト選じり砂礫。 2.13~3.13 シルト選じり中粒~粗粒砂。 2.67~3.13 固・締まっている。 3.13~3.40 シルト選じり砂礫。 3.40~11.31 シルト選じり中植砂。	20 40 60 80 100	<del>铁 块 模 模</del>	20 40 60 00 100	20 40 60 80 100	00 100 100 200 200
10				盛土・埋め戻	暗灰黄色		8.87~8.92 安山岩礫 9.12~9.28 シルト偽機 9.28~9.60 間ぐ縁まっている。 11.31~22.58 改良土(G)区間 11.31~22.58 ンルト湿じり中粒砂 13.02~14.00 間結している。 13.04~13.05 1.5~2.0m程度の鉄板を含む。					-
15 —				戻し土	黄色		13.04~13.05 1.5~2.0m程度の鉄板を含む. 14.50~14.66 関結している.					-
20-					灰白色 灰オブラ		17.76~19.20 関結している.  19.77~19.88 関結している.  20.44~21.00 関結している.  21.34~21.83 関結している.  22.00~22.58 関結している.  22.58~22.72 コンクリート.  22.72~22.99 中石 (80.5~2cm程度(最大径3.5cm程度)の角~亜角膜の25.22 改良土(6) 反間。理論といる.  23.00~25.22 改良土(6) 反間。					-
25.52	-13, 19	25. 22		古安田	オリーブ灰色		25.22~28.00 古安田暦. 25.22~27.18 シルト・極細粒砂互階. 等量互階である。					-
28. 00	-15. 97	2. 78		女田層	灰色		27.18~28.00 細粒~中粒砂 細粒砂・粗粒砂を挟む: 27.93~28.00 細粒砂・径0.5~0.8mm程度の亜角~亜円礫を含む					

図 2-23 ボーリング柱状図 (改 6-6S)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細片 大 岩 片 状 状 状 状	(%)	(cm)	Vp Vs (m/s)
-					燃 オリーブ灰色		0.00~24.80 壁土・埋め戻し土 0.00~11.05 埋め戻し土区側 0.00~20 対理により提乱されている。 0.00~20 対理により提乱されている。 0.00~20 対容に接いたりには、 単角線 0.11~3.12 機混じりシルト質細粒砂. 2.09~3.00 固く締まっている。 3.12~6.24 シルト混じり中粒砂・練を含む。	20 40 60 80 100	<b>环状状状</b>	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	500 1000 1500 2000 2500
5 —					暗灰黄色		4.41~4.51 健 怪0.2~0.8m程度の角~垂角礫. 6.75~7.35 固く締まっている.					-
					灰まり一		6.24~7.00 細粒砂、硬を含む。 7.00~10.95 機混じり細粒砂.					
10—					暗灰黄色		8.00~8.56 関く締まっている。 9.04~9.08 安山岩標 9.08~10.19 聞く締まっている。					-
-				盛土・埋め戻し	にぶい黄色		10.95~11.05 シルト潜じり中鉛砂 11.05~22.22 改良主じに間 シルト潜じり中穏砂・機を含む。 11.05~15.92 関輔している。					-
15 —				3H	灰黄色		16.35~21.53 園軸している. 19.45 コンクリート片.					-
20	10 75	94.00			原原 暗灰黄色		22.22~22.37 コンクリート 22.37~22.58 砕石 径1~2.5on程度(最大4.2on程度)の角~亜角 22.58~24.80 改良上に(区間) 接限にり細粒砂 22.58~24.27 園輔している。					- - -
24. 80 25 -		24. 80		古安田層	オリーブ灰色		24.80~27.00 古安田層. シルト、細粒砂、砂質シルト及び緑准じり 砂からなる。 24.80~25.11 シルト、腐植を含む。 55.14~25.43 細粒砂。 55.44~25.73 砂質シルト。 25.73~26.20 細線建しり細粒砂。 02.20~26.40 砂質ジルト。 26.40~27.00 機准じり中粒砂、細粒~中粒砂及びシルトを挟む。					-

図 2-24 ボーリング柱状図 (改 6-7N)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状 図	層 名	相	内水	記事	(%)	細 岩 柱 柱 柱 状状 状状	(%) 20 40 60 80 100	(CM)	Vp Vs (m/s) 500 1000 1500 2000 2500
5 —					灰黄褐色にぶい黄褐色 暗灰		0.00~15.24 産土・埋め戻し土 0.00~11.00 規則原し上は協議されている。 0.00~12.05 対解した協議されている。 0.00~1.20 シルト港し 砂砂礫 機能接3-30m機度の角線を主体とする。 1.20~1.35 線を含む。 2.15~11.00 場を含む。 2.15~11.00 場まっている。 2.80~2.89 コンクリート 3.00~3.60 指任で容易に凹む。 4.58~4.68 指任で容易に凹む。					
10-				1	)黄色		9.00~9.12 アスファルトガラ. 11.00~22.49 改良土(C)区間.					-
-				盛土・埋め戻し土	オリーブ褐色		11.00~22.49 改良土(の区間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					-
15 -					オリーブ		15.90~16.00 固結している。 18.37~22.49 硬を含む。					-
20-					・ブ褐色		21.46~21.57 固軸している.					-
25.524	-13, 19	25, 24			医 黄灰色 暗灰黄色オリ		22.23~22.35 関熱している. 22.49~22.86 コンクリート 22.86~25.24 改良土(E)区間. シルト港じり中和~相粒砂. 開稿している.  25.24~28.00 古安田層					
_28. 00	-15. 95	2. 76		古安田層	リーブ灰色 水ブ		25.24~26.88 席植港じりシルト質細粒~中粒砂.  26.88~28.00 シルト灌じり中粒~相粒砂.  26.88~27.37 西山際起源の泥岩碟を含む.					-

図 2-25 ボーリング柱状図 (改 6-7S)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細片状 岩柱状 長柱状	(%)	(cm)	Vp (m/s)
		~		1	灰黄褐色	~	0.00~26.94 端土・環め戻し土。 0.00~11.58 環め戻し土に配明 0.00~2.23 シルト港じり組起砂、機を含む。 0.00~2.20 試搬により提乱されている。 2.23~9.60 シルト港じり中粒砂。	20 40 60 80 100	状状状状	20 40 60 80 100	20 40 60 30 100	500 1000 1500 2000 2500
5 —					暗灰		4.00~5.70 様を含む。 4.05~4.17 アスファルトがら。					-
					黄色		6.50~7.50 固く辞まっている.					-
10-				盛土	に掲暗黄灰色		9.60~10.54 シルト湿じり中粒~粗粒砂. 9.60~9.74 アスファルト片. 10.10~10.46 励く練まっている。 10.54~11.58 シルト湿じり中粒砂.  11.58~23.19 改良土(ご)区間. シルト湿じり中粒~粗粒砂. 11.58~13.94 励精している。爪でキズがつく程度.					-
15 —				・埋め戻し土	*		14.13~15.00 固結している。爪でキズがつく程度。 15.10~15.33 固結している。爪でキズがつく程度。 15.52~16.90 固結している。爪でキズがつく程度。					-
20—					黄褐色		17.00~17.52 励結している。爪でキズがつく程度。 17.62~18.13 励結している。爪でキズがつく程度。 19.24~20.53 励結している。爪でキズがつく程度。					
					灰色		20.75~21.10					
25 -					灰オリーブ色		22.97~23.19 開結している。爪でキズがつく程度。 23.19~23.34 コンドル・フロット 18.0 - 4cm程度の角硬を主体とする。 23.53~26.94 改建士に反応。 23.53~26.55 シルト還じり中報~粗粒砂。 23.63~26.55 シルト還じり中報~粗粒砂。					-
26. 94	_14. 44 _16. 50	26. 94 2. 06	^^^^	西山層	暗緑灰色		26.55~26.94 シルト混じり粗粒砂・礫を含む. 26.94~29.00 西山陽 泥岩を主体とする 凝灰岩を挟む。 27.73~27.83 灰色凝灰岩 細粒~粗粒砂サイズ。					

図 2-26 ボーリング柱状図 (改 6-8N)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状 図	層名	相	内水	事 5	(%)	細 岩 短 柱 長 柱 状 状 状 状	(%)	(cm)	Vp Vs (m/s)
					オ 相 福 祖 一 色 リ 他 し し し し し し し し し し し し し し し し し し		0.00~26.37 盛土・理め戻し土。 0.00~11.63 埋め戻し土品間。 0.00~1.80 シルト混じり中粒〜相粒砂、硬を含む。 0.00~1.80 シルト混じり中粒の 1.80~7.94 シルト混じり中粒砂。	20 40 60 80 100	X	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	900 100 1100 2000 2000
5 -					灰オリーブ色		7.94~10.03 シルト混じり中粒~粗粒砂.					-
10—				盛	黒色 灰オリー ブ色		9.53~9.69 アスファルト片. 10.03~11.63 シルト混じり中穀砂. 10.70~11.63 軟らかい. 11.63~23.48 改良土(シ原間. 11.65~34.48					-
15 —				土・埋め戻し土	オリーブ色		11.63~23.49 改進上に0原門 11.63~23.40 シルト選しり中粒~粗粒砂. 12.15~18.87 神を含む. 12.15~13.32 開結している. 12.15~13.32 開結している. 13.47~14.46 開結している. 14.58~16.05 開結している.					
-					<b>*</b>		16.49~17.06 関軸している. 17.32~17.67 関軸している.					-
20-					黄褐色		20.54~20.64 開始している。 20.85~21.00 開始している。 21.20~21.00 開始している。 22.00~22.34 開結している。 22.79~22.95 開結している。					-
25 — 26. 37	-13. 68	26. 37			医 リー		23.48~23.83 コンクリート 23.83~26.37 改産士に区間、 28~26.37 シルト屋に以中粒~粗粒砂。 23.93~26.19 間続している。 24.08~25.85 様を含む。					-
	-16, 31			古安田層	オリーブ灰色		26.37〜29.00 古安田層、砂質シルト及びシルトからなる. 26.37〜27.00 中越〜輻粒砂質シルト. 27.03〜29.00 シルト.					-
	ш											

図 2-27 ボーリング柱状図 (改 6-8S)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	事 写	(%)	細片状状長柱状状状	(%)	(cm)	Vp Vs
132	,,		1	ļ.	1-	.,,	0.00~29.30 盛土・埋め戻し土. 0.00~11.27 埋め戻し土区間.	20 40 60 80 100	状状状状状	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	500 1000 1500 2000 2500
-					ぶい黄褐色が色		0.00~29.30 強士・埋め戻し士 0.00~11.27 排砂戻し士 広間 0.00~14.90 シレト混しり埋穀砂 0.00~2.00 試棚により提続されている。					-
5 —					<sup>職灰</sup> 灰黄褐色		4.90~9.14 シルト混じり粗粒砂.					-
					暗灰黄色							-
-					黒褐色		9.14~11.27 シルト混じり中粒~粗粒砂.					
10-			Ш		灰オリー ブ色							-
					暗灰黄色 黄褐色		11.27~22.90 改良士(G)区間. 全体に固く締まっている。 11.27~15.90 特に固く締まっている。 11.27~12.40 シルト混じり報館砂. 12.40~22.90 シルト混じり中粒~粗粒砂. 12.40~17.67 様を含む。					
15 —				盛土・埋め戻し土	暗灰黄色							- - -
					黄褐色		16.80~17.55 特に固く締まっている. 18.00~18.80 特に固く締まっている.					-
20-					黄色		21.20~22.70 特に固く締まっている.					-
					灰色		22.90~23.06 コンクリート: 23.06~23.54 砕石 径0.5~4cm程度の角操: 23.54~29.30 改良士に30間: 園輔した確認じり粗粒砂・					-
25 —					暗灰黄色							-
29. 30	-17. 20	29. 30		古安田層	緑灰色		29.30~32.00 古安田帯. 西山帯起源の泥岩ブロック及びシルト混じ り砂機からなる. 29.30~30.23 繰. 西山勝起源の泥岩ブロック.					-

図 2-28 ボーリング柱状図 (改 6-9N)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細 岩 短柱 柱 長柱状状状状状状状状状状状状状状状	(%)	(cm)	Vp Vs (m/s)
-					ナー色にぶい黄褐色 概		0.00~25.85 経土・環め戻し土。 0.00~11.20 壊め戻し土は区間 指圧で向む。 0.00~2.06 試想により接払されている。機を含む。 3.25~11.20 シルト混じり中粒砂。	20 40 60 80 100	状状状状	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	500 1000 1500 2000 2500
5 -					暗灰黄色							-
10				盛土・埋め戻	選 暗灰黄色 黄褐色		8.98~9.15 アスファルト片.  11.20~23.06 改逸土(**))区間, 11.20~33.06 シルト混しり組織が, 11.20~11.70 特に固く締まっている, 11.70~15.49 固軸している。爪でキズがつく, 12.20~14.90 様を含む。					-
15				戻し土	オリーブ褐色		15.61~16.52 励結している。爪でキズがつく。 16.93~18.80 励結している。爪でキズがつく。 17.49~17.56 アスファルト片。 18.15~23.06 硬を含む。 19.00~21.74 励結している。爪でキズがつく。					-
25 — 25. 84 - 28. 00	_13. 7 <u>2</u> _15. 88	25. 84 2. 16		古安田層	黄黒黄   暗灰黄色   オリーブ灰色		22.06~22.23 固結している。爪でキズがつく、22.43~23.06 固結している。爪でキズがつく、23.06~23.12 ~23.57 幹石 .480.5~5~5m程度の角键。23.17~25.84 改集しては高間。シルト第ビリ中前と細数砂 .23.46~24.86 励結している。 24.86~25.01 指圧で廃せる。 25.01~25.84 励結している。					-

図 2-29 ボーリング柱状図 (改 6-9S)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細岩 柱 柱 長片 状状状状状状状	(%)	(cm)	Vp Vs
-					にぶい黄褐色		0.00~22.76 盛土・埋め戻し土 0.00~11.22 埋め戻し土区間 0.00~2.12 シルト混じり相粒砂。 2.12~11.22 シルト混じり中粒砂。	20 40 60 R0 100	状状状状	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	500 100 1100 2000 2500
5					暗灰黄色							-
				盛土・埋め戻	灰		11.22~22.76 改良士(C)区間 11.22~22.76 シルト環じり中核砂 11.22~12.47 国く締まっている。 12.83~13.00 国く締まっている。 13.26~14.10 国く締まっている。					-
20—				戻し土	灰オリーブ色		18.00~18.12 固く締まっている。 18.95~19.30 固く締まっている。 19.66~20.00 固く締まっている。 20.75~21.08 固く締まっている。					-
25 —					灰白色		22.76~22.83 コンクリート. 22.83~29.60 西山モルタル(MBR). 均質で硬い					-
29. 86	-17. 96	29.86		西山層	灰色		20 60~29 70 コンクリート、 20 70~29 86 シルト混じり砂礫 20 86~32 0 西山原 泥岩からなる。					

改6-10N 孔(2/2)

																		ų	χU	TON	TL ( Z / Z )
深	標	層	柱	地	色	孔		П	ア採	取率		コア形状		R.	Q.	D.	7	最大	Ξ.	ア長	弾性波速度
			状	層		内	記事		(%	)	ļ	细岩钴柱	E.		(%	)	Т		(cm)		Vp Vs
度	高	厚	図	名	相	水		20.4	in 60 :	80 100		細岩短柱:	往伏	20 40	60 :	80 100	Ι,	0 40	60.8	0 100	(m/s) 500 1000 1500 2000 2500
$\vdash$	-					-		Ť		T	+	<del>)                                    </del>	1	ŤŤ	Ť	1	+	Ť	Ť		<del>                                     </del>
				西	暗						1		Ш				Т				
				山	称	l					1		Ш				Т				
				層	暗緑灰色						1		Ш				Т				
32, 00	-20, 10	2. 00						Ш	Ш	Ш	4		Щ	Ш			┸				
						l					1		- 1				1				1

図 2-30 ボーリング柱状図 (改 6-6N)

10	深	標	層	柱	地	色	孔		コア	′採取¤	X.	<b>=</b> :	ア形も	÷	R.	Q. I	D.	最	大コ	ア長	弾性波速度
10-10-10				状	層		内	記事			ı			$\neg$							Vp Vs
10- 10- 10- 10- 10- 10- 10- 10- 10- 10-	度	高	厚	図	名		水	0.00~25.50 燥土,排丛區  +	20 40	60 80 100		片状	柱状状	柱状	20 40	60 80	100	20	40 60	80 100	(m/s)
10	-					にぶい黄褐色 横 暗灰		2.12~2.69 シルト質中粒砂.													
11:00-22:34 (単直点:(京原際 1:10-22:34) (単直点:(京原際 1:10-22:34) (単直の 2:10-22:34) (単語の 2:10-22:34) (単語の 2:10-22:34) (単語の 2:10-22:34) (世紀の 2:10-22:	5 -					色															-
土 16.79~17.17 励結している。 17.95~19.92 励結している。 17.95~19.92 励結している。 20.63~20.96 励結している。 22.84~25.42 西山モルタルの解り、均質で硬い、 (本) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	10-				・埋め戻	灰黄		11.00~22.84 改良土(G)区間. 11.00~11.69 シルト混じり町を砂. 傑を含む. 11.69~22.84 シルト混じり戦戦砂. 傑を含む. 11.69~16.30 間軽している.													
1	15 -				υĦ	灰オコ															-
暗	20-					ーブ		20.63~20.96 固結している.													-
25. 50 -13. 56 25. 50   万百色   万百色   万百色   万百色   万百色   万百   万百	25 —					灰黄															
	25, 50				山	暗緑灰															

図 2-31 ボーリング柱状図 (改 6-10S)

深	標	層	柱	地	色	孔			ア	採取	率	=	ア	杉状	F	₹. Q	. D.	Т	最大	tコ;	ア長	弾性波速度	[
			状	層		内	12 事		(9	%)		細岩	= 短	柱县	Ę	(%	6)			(cm)		Vp	
度	高	厚	図	名	相	水	0.00~21.62 成本,相此百1.4	20	40 6	50 80	100	片状と	柱状	柱机状	20	40 60	80 100	)	20 40	60 80	100	(m/s) 500 1000 1500 2000 2	1500
-					明黄褐色		0.00~21 82 線土・埋め戻し土 0.00~10 31 埋め戻し土は間 線湿にり細粒砂及び中粒砂を主体とする。 0.00~21 58 機速にり中粒砂 が関により接触されている。 2.15~2.80 シルト湿じり中粒砂 機を含む。 2.42~3.15 個く棒まっている。 2.20~8.38 線湿しり細粒砂																
5 —					暗灰黄色		4.75~4.89 聞く縁まっている.																
10—				盛	にぶい黄色		8.38~10.25 中粒砂、嫌を含む。 8.38~9.25 断く締まっている。 10.25~10.93 砂混じり細粒砂。																
-				土・埋め戻し土	灰黄色		10.32~21.82 改良土(6)区間、 総理にり締結的からなる。 10.33~11.43 協関している。 11.80~12.07 開緒している。 12.75~14.49 関緒している。																
15 —							15.15~15.47 関連している。																
-					灰オリーブ色		17.02~17.24 励結している.																
20-					灰色		20.45~21.82 励動している.																
23. 45	-11, 58	23. 45			明オリーブ灰色		21.82~21.92 コンクリート. 21.92~23.45 西山モルタル(略和),均質で硬し、 23.45~26.00 西山際 泥岩を主体とする。 細粒砂の薄層を挟む																
25 — 26. 00	-14. 13	2. 55		西山層	暗緑灰色		reata to マンが田 E Iがし・																_
								Ľ							Ľ								

図 2-32 ボーリング柱状図 (改 6-13S)

深	標	層	柱	地	色	孔		_		采取Σ	<u>iz</u>	_	ア形	状	R		D.	T		コア	長	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記 事		(9	%)		細片岩片	短柱	柱状		(%	)		(	cm)		Vp Vs (m/s)
				ı	オ	*	0.00~23.54 僅土・環め原し土 0.00~11.15 環め原し土は配 シルト環じり中粒・細胞砂 0.00~2.05 試銀により接紙されている。 0.00~1.77 様を含む	20	40 6	0 80 10	0	状 状	祆	状状	20 4	0 60 1	80 100		20 40	50 80 1	00	500 100 100 200 200
5				盛	にぶい黄褐色																	
15 —				土・埋め戻し土	灰 にぶい黄褐色		11.15〜22.60 改良土の)区間 シルト度にり中陸・細路砂・全体に固く締まっている。 11.15〜11.5〜11.5〜12.75 健舎台ン 12.00〜12.30 特に関く締まっている。															
20—					黄褐色		18.40~19.00 特に聞く締まっている。															
23. 54 - 25 — 26. 00	-11. <b>47</b> -13. 93	23. 54 2. 46		古安田層	ッ漏 オリーブ灰色		22.68~23.54 砕石、径0.2~4cm程度の角線. 23.54~26.00 古安田層、細粒砂質シルトからなる.															

図 2-33 ボーリング柱状図 (改 7-7N)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%) 20 40 60 80 100	細岩 短柱 長柱状状状状状	(%)	(cm)	Vp Vs (m/s) 500 1000 1500 2000 2500
9					黄灰色 黄褐色 にぶい褐 色 節灰色		0.00~2.18 産士・埋め戻し士 0.00~11.08 塊が戻し土な間 0.00~1.08 塊が戻し上な間 0.00~1.08 砂砂 (最近されている。 0.00~1.08 砂砂 (最近されている。 0.40~2.00 シルト選じり粗粒砂。 0.40~1.70 様を含む。 2.00~2.06 コンクリート 2.06~22.18 シルト選じり粗粒砂。	20 40 60 80 100		20 40 60 30 100	20 40 69 80 100	-
5 —					暗灰黄色		6.27~11.26 碳を含む.					-
10—				盛土	オリーブ褐色							
- 15 —				・埋め戻し土			11.06~23.18 創計上の改良主区間。 11.06~11.26 線を含む。					-
					黄褐色		16.65~16.90 指圧で容易に崩せない。 17.00~17.34 指圧で容易に崩せない。 17.66~17.92 指圧で容易に崩せない。					-
20—							19.64~19.74 径125m程度のアスファルト。 20.00~21.20 指任で容易に崩せる。					-
25 —	-11. 12		<u>-</u> z-	古安田層	オー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		22.00~22.18 指圧で容易に崩せない.  23.18~23.66 古安田層. シルト、砂混じりシルト及びシルト混じり 理給砂からなる。 23.18~23.66~24.18 砂混じりシルト。 24.18~26.00 シルト混じり組輸砂、機を含む。					-
26. 00	-13. 94	2. 82	cetelelel		巴							

図 2-34 ボーリング柱状図(改 7-7S)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状 図	層名	相	内水	記事	(%)	細 岩 柱 柱 柱 状状状状状状状	(%) 20 40 60 80 100	(cm)	Vp Vs (m/s) 500 1000 1500 2000 2500
-					褐色		0.00~23.35 盛土・埋め戻し土。 0.00~11.16 埋め戻し土広間。 0.00~6.52 シルト選じり中粒~粗粒砂・機を含む。 2.00~2.10 指圧で容易に崩せない。 3.18~3.38 指圧で容易に崩せる。	49 40 00 80 1V0	40 7A 7A 7A 1A	**************************************	Vs. 4n ob 80 min	
5 —					にぶい黄		<ul> <li>3.18~3.38 指圧で容易に断せる。</li> <li>5.00~5.06 コンクリート。</li> <li>5.33~5.50 指圧で容易に崩せない。</li> <li>6.52~11.25 シルト混じり粗粒砂、機を含む。</li> <li>6.52~8.00 指圧で容易に崩せない。</li> </ul>					
10—				盛土	灰黄褐色		8.70~9.00 指圧で容易に崩せない、					- -
15 —				・埋め戻し土	にぶい黄褐色		11.25~23.35 改良上収開 11.25~28 7 シルト選じり撮殺砂 11.25~16.82 練を含む 11.25~12.00 指圧で容易に崩せない。 12.90~13.90 指圧で容易に崩せない。					-
20—					黄褐色		18.23~18.75 指任で容易に崩せない。 19.24~20.00 指任で容易に崩せない。 20.45~22.76 指任で容易に崩せない。					- - -
23. 35 25 – 26. 00	<u>-11, 19</u>	23. 35 2. 65		古安田層			22.87~23.35 シルト混じり砂礫 様2~55m程度の砕石. 					-

図 2-35 ボーリング柱状図 (改 7-8N)

沒	Ę ŧ	票	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	. 7	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細片状状状状状状状状状	(%)	(cm)	Vp Vs
E	-					照り、海の大学にかい黄褐色		0.00~25.60 鍵土・理め戻し土。 0.00~11.37 埋め戻し土に信. 0.00~02 開始混じりシルト。 相比で容易に崩せる。 0.22~1.58 シルト混じり相対砂。硬を含む。 1.58~11.37 シルト混じり組織砂・硬を含む。 1.58~2.45 指圧で容易に耐せる。	20 40 60 80 100	状状状状	20 40 60 00 100	20 40 60 80 100	00 100 100 200 200
						暗灰黄色		6.54~7.30 指圧で容易に崩せる. 8.48~9.33 指圧で容易に崩せる.					
10	-				盛土・埋め戻し土	灰黄褐色 褐灰色 灰黄褐色 ぶ褐		10.60~11.10 指圧で容易に前せる。  11.37~23.62 設計上の改良土区間、 シルト策じり掲載が 機を含む。 11.37~13.65 指圧で非常に容易に崩せる。  13.65~18.00 様を含む。 13.65~18.20 指圧で容易に崩せる。					-
15						灰黄褐色		18.60~23.32 硬を含む 18.60~19.90 指性で容易に崩せない、					-
20	-					にぶい黄褐色		20.00~20.90 指圧で容易に崩せない。 20.90~21.00 指圧で容易に崩せる。 21.00~22.92 指圧で容易に崩せない。					-
25 25.		3, 11	25. 60		古安田層	<b>灰色</b> リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		23、32~23、73 砂糖. 23、73~24.03 シレト質砂糖. 23、73~24.00 押正で容易に開せる. 24、00~24.00 押正で容易に開せる. 24、00~24.03 押正で容易に開せる. 24、03~25.11 シルト質 相位砂 押正で容易に厚せる. 25、11~25、33 シルト選 比丘で容易に厚せない. 25、33~25、60 砂速 U リシルト 押正で容易に廃せる. 25、60~28、23 古安田層. 砂速 U シルトからなる.					-
28.	00 -15	5. 51	2. 40	===									

図 2-36 ボーリング柱状図 (改 7-9S)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
			状	層		内	書 事	(%)	細岩短柱長	(%)	(cm)	Vp Vs
度	恒	厚	図	名	相	水	0.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.0	20 40 60 80 100	細岩短柱 長片状状状状状	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	(m/s) 500 1000 1500 2000 2500
-					暗灰黄色		0.00~22.67					-
5 —					にぶい黄褐色		7.00~6.00 指圧で容易に崩せる.					- - -
10-							10.50~22.67 改良土区間 10.50~11.10 シルト選じり中総砂. 11.10~22 シルト選じり中報~細粒砂. 11.10~17.00 指任では容易に崩せない.					-
- 15 — - -				盛土・埋め戻し土	灰黄褐色		17.00~22.67 指圧で容易に新せる.					-
20-												-
25 —					灰色		22.67~22.75 コンクリート。 22.75~29.60 西山モルタル(順称). 均貨で硬い					-
29. 80	-17. 92	29. 80		西山層	灰色		29.80~32.00 西山原 定省を主体とする 上位の西山モルタル MMRP) とは婚務がでで換する.					-

改7-10N 孔 (2/2)

																LX.	- I ON	九 ( 2 / 2	- /
深	標	層	柱	地	色	孔		コア	採取率	N	コア形状	R.	Q.	D.	H	大	ア長	弾性波速度	П
			状	層		内	記事		(%)	-	細岩短柱長		(%)		l	(c	m)	Vp Vs	- 1
度	高	厚	図	名	相	水		20 40	60 80 100		細岩短柱 長片状状状状状	20 40	60 8	0 100	20	40 60	80 100	(m/s) 500 1000 1500 2000 2	500
32, 00	-20, 12	2. 00		西山層	暗緑灰色														
										П					Г				

図 2-37 ボーリング柱状図(改 7-10N)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状図	層 名	相	内水	記事	(%)	細 岩 短 柱 長柱状状状状状	(%)	(cm)	Vp Vs (m/s) 500 1000 1500 2000 2500
-					灰 オブオリーブ褐色褐炭 リ色 リ色 色色 ブ		0.00~2.61 産土・増め戻し土 シルト海にり申称・開助的からなる。 ・ルト海にり申称・開助的からなる。 0.00~0.50 世の東上は区間 0.00~0.50 セルカル・カリ 田和砂・硬を含む。 0.00~2.10 試断により提乱されている。 0.54~10.50 シルト灌じり中粒砂・硬を含む。 2.73~3.00 指圧では容易に耐せない。 4.13~4.75 指圧で容易に耐せる。 4.75~5.00 指圧では容易に耐せる。			20 40 60 00 100	20 40 60 80 100	-
5 -					暗灰黄色							-
10-				盛土	黄褐色		10.20~10.50 指圧で容易に崩せる. 10.50~22.61 改良土区間. 10.50~20.48 シルト混じり中転砂. 10.50~11.00 指圧で容易に崩せる.					-
15 —				・埋め戻し土	黄褐色		12.00~12.70 指圧で容易に崩せる。 12.70~14.53 指圧では容易に崩せない。 14.53~14.80 指圧で容易に崩せる。					-
20—					黄灰色		17.30~18.00 指任で容易に耐せる.  19.56~19.90 指任では容易に崩せない.  20.48~22.61 シルト混じり粗粒砂、線を含む.					-
25 —					灰黄褐色灰 灰オリーブ色		22.61~22.72 コンクリート. 22.72~25.62 西山モルタル(MR), 均質で硬い、					
	-13. 82 -16. 10			西山層	暗緑灰色		25.62~25.72 吹付けコンクリート. 25.74~28.00 西山房 足岩を主体とする。 上位の吹付けコンクリートとは傾斜66°で接する。					

図 2-38 ボーリング柱状図 (改 7-10S)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	最大コア長	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記 事	(%)	細片状状	(%)	(cm)	Vp (m/s)
15.		H-	<u>a</u>	4	オリーグーク	· ·	0.00~23.30 選土 埋め戻し土 シルト重じり中戦・開戦砂からなる。 0.00~1.02 シルト運じり中戦砂・機を含む。 放置により展乱されてる。 1.29~1.62 コンケリート。 1.62~2.43 シルト運じり増散砂。 1.62~2.43 シルト運じり増散砂。 2.43~5.65 シルト運じり中粒~粗粒砂。	20 40 60 80 100	7. <del>**</del>	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	000 1000 1500 2000 2000
5 —					にぶい黄褐色		5.65~10.88 シルト質中粒~細粒砂. 6.00~6.60 指圧で容易に崩せる. 6.80~8.15 指圧で容易に崩せる.					-
10—							9.00~9.06.9.24~9.29 径70mm程度の標を含む. 9.60~10.88 指圧で容易に廃せる. 10.88~23.30 改良土区間. シルト選じり中和~粗粒砂. 10.88~14.35 指圧で容易に廃せる.					-
15 —				盛土・埋め戻し土	黄褐色		10.88~14.35 指任で容易に離せる. 14.78~15.40 指圧で容易に離せる.					-
20-												-
25 —					∞ 灰オリーブ色		23.30~23.36 コンクリート 23.36~26.84 西山モルタル(MRP)、均質で硬い 23.36~24.14 コンクリートを含む					-
-	-15. 26 -18. 15			西山層	暗緑灰色		26.84~27.11 コンクリート. 27.11~30.00 西山郷 泥岩を主体とする。 上位のコンクリートとはほぼ水平で接する。					-

図 2-39 ボーリング柱状図(改 7-13S)

深	標	層	柱	地	色	孔		Т	コア	採耳	0率	Г	<b>ا</b> ت	7形:	伏	F	. Q	. D.	標準	连貫。	入試験	弾性	皮速度
**	178	/=	状	層		内	記事	l	(	(%)		ém	144	t= +	+ E		(%	6)	ı				Vp
度	高	厚	図	名	相	水	,	l	80 40			相片出	石片出	なれれ	主 長柱状			80 100	١		0 40 5	(m,	Vs /s) 1500 2000 2500
5				盛土・埋め戻し土	服選が著 福 にぶい黄褐 無にぶい黄福 福		0.00~16.54 産土・増展し土・中粒砂を主体とする。コンクリート・みたみと写動を含む。より提起されている。 0.00~01 は間により提起されている。 0.00~01 は四により提起されている。 0.10~01 は一つグリート 0.14~0.33 中粒砂 機理 じり中粒砂 健5~15mm程度の亜角線。 1.00~2 45 中粒砂 緩い、 2.50~2.50 よく肺まっている。 2.45~2.50 砕石、径10~30mm程度の硬質並円~亜角線。 2.50~8.15 細粒砂 緩い、 3.71~3.80 機 径10~60mm程度の玄武岩角像。 6.54付近 径9mm程度のでできます。 6.54付近 径9mm程度のでできます。 8.371~43 粉砂 機能を含む 不同に径570mm程度の提質を出場機を主体とする。基質は下母数砂 機能を含む 不同に径570mm程度の提質を出場機を主体とる。基質は下母数砂 機能を含む 不同に径570mm程度の提質を出場機を多まなとの・ 8.43~9.69 細粒砂 長3~9.60 細粒砂 後3~50mm程度の便質を出場及びチャートなどの亜角の 40~15.87 機混じり中軽砂、径3~50mm程度の連門~亜角線。											7 10	301.	15 (4. 11 (3. 4. 12 (24 (24 (24 (24 (24 (24 (24 (24 (24 (2	(5, 7, 11) (5, 7, 6)	F. 200	-
15 — 16. 54	-4, 49	16. 54			にぶい黄 褐 種灰 灰黄褐		15.00~15.87 改良により閲輔している。 15.87~10.6.54 中粒砂: 15.87~16.45 改良により硬化している。 16.45~16.54 電線												26 (4, 1)		(50/5)		P:1746 S: 349
19. 00	-6, 95	2. 46		古安田層	灰黄褐灰		16.54~17.3 (24) 45 古女田原 16.54~17.3 (24) 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47													/	26 (7, 9, 10 5, 7, 8)		-         

図 2-40 ボーリング柱状図 (SH6-1)

深	標	層	柱	地	色	孔			採取率	F	37	ア形状		R		D.	標	準貫	入試態	美引	性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事		60 80 100	細片は	岩片状	短柱状	長柱北	20. 4	(%	80 100		0 20	30 40	-	Vp Vs (m/s) 1000 1500 2000 2500
5 -					褐		0.00~21.90 強土・埋戻し土 中粒砂を主体とする. コンクリート 片、木片、アスファルト境及び時名を含む.     0.00~10.00 難上しり事故。 程~40mm程度の頁岩, 花崗岩, 泥 差, 20~2.00 試施により提乱されている.      3.73付近 径50mm程度の泥岩機.      4.72~4.90 コンクリート片.      7.60付が 径100mm以上のシルト機	25 40	60 80 100			14 14	14	20 4	0.60	88 100	*4	(1, 1, 2) (1, 2, 1) (1, 1, 1) (1, 4, 4)			5 13 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
10—				盛土・埋め戻し土	にぶい黄褐		7. 00付近 径100m以上のシルト機 7. 84~7.90 径5~18mm程度の硬質重角硬が密集する。 8. 85付近 木片を含む。 10.00~15.20 シルト混じり中粒砂、機を含む。 11. 60付近 径55mm以上のシルト機 11. 80付近 径15mm程度の砂岩、チャートの亜円機を含む。 12. 98~13. 20 径10~30mm程度の花崗岩、砂岩硬が密集する。 13. 82 径60mm程度のアスファルト境を含む。 14. 40~14. 50 砂岩、花崗岩及び見出の亜角硬が密集する。 15. 20~15. 52 砕石 径2~30mm程度の花崗岩及び砂岩角機。 15. 52~16. 66 シルト混じり中粒砂、機を含む。										29 (	+14 (4.44.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.	\$ (5, 7, 10) \$ (5, 5) \$ (5, 6) \$ (6, 6) \$ (6, 7)		= 131
20—	-9. 53	21. 90		古安	黒褐の紫星黒褐にぶい黄褐リ黒カブ		16.66~18.50 機理じり中鉛砂 様2~4mm程度のシルト、チャート 様及びほ25m程度の責任無円機 17.00~17.15 コンクリート片 18.50~18.80 シルト置じり中粒砂 18.80~19.96 機理じり中粒砂 様2~4mm程度の円機 19.96~21.66 シルト選じり中粒砂 シルト及びアスファルトの様 含む。 21.66~21.90 シルト選じり弾 様5~30mm程度の質器 砂岩等の 素角鍵 21.90~24.00 古安田蘭 21.90~24.00 古安田蘭 21.90~24.00 右安田蘭 21.90~24.40 Ac2幅 シルト及び細粒砂質シルトからなる。										50//	47 (1	V	Ш	- P 1000
24, 00	-11, 63	2. 10	7	田層	灰		23.46~24.00 細粒砂質シルト. 廣植を含む.														

図 2-41 ボーリング柱状図 (SH7-1)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	事 5	(%)	細岩 短柱 長柱状状状状状	(%)		Vp Vs 
5 -				盛土・埋め戻し土	灰黄褐 灰黄褐		0.00~5.40 盛土・増展し土・ 相程砂を主体とする。所々に径4mm~10mm程度の亜角機を含む、枯 れた菓本の根を主体とする。 0.00~2.83 細粒砂。 2.83~3.50 硬混じり細粒砂。径10~30mm程度の亜角機を含む。最 上部はシルトを含む。 3.50~5.40 細粒砂。	20 40 60 80 100	W W W W	20 40 60 80 100	10 20 30 40 55 4.3 (1.1.1) 16 (9, 5, 4)	500 100 100 300 200
5. 40	6. 89	5. 40		新期砂層	オリーブ黒		5. 40~12.89 新期砂磨. 細粒砂磨 : 44 とし、シルトを含む薄層を挟む。 5. 40~5.6 の - 5.7 シルトを含む薄層を挟む。 5. 40~5.6 の - 5.7 シルト派じり細粒砂。 6. 55~6.7 2 細粒砂 - 6.6 55~6.7 2 細粒砂 - 6.7 2~6.7 3 細粒砂。				22 (6, 8, 9) 27 (5, 9, 33) (12 [2, 4, 6) (6 (4 10, 12) 27 (7, 9, 11) 34 (9, 11, 14)	
12. 89	-0, 60	7, 49	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		黒		11.45~11.68 成植混じり細粒砂の薄層を3層挟む。 12.45~12.89 広植混じり細粒砂、締まりは比較的良い。				22 (9, 7, 6) 20 (5, 6, 4)	
15 —							12.80~12.85 中積勝 12.80~12.85 中間樹上部. シルト及び細粒砂を主体とする. 12.95~13.00 数格置ジルト. 13.90~15.00 数格置じり細粒砂. 13.00~15.00 雑型でり細粒砂. 13.00~15.00 雑型で単粒砂.シルトを少量含む. 15.00~15.20 シルト質細粒砂. 15.00~17.40 細粒~中粒砂.シルトを少量含む.				32 (9, B, 15) 50 (17, 19, 14) 32 (5, 13, 14)	-
20—				沖積層	暗灰黄		17. 48~17. 68 シルト。 17. 68~18. 20 シルト。 18. 20~19. 70 砂質シルト~シルト。上方粗粒化を示す。下位との境界は無移する。  参質シルト・炭化木片を含む。下位との境界は無移する。 19. 85~22. 33 軽粒砂・練手り良好。				50/39 (14, 15, 21/4) 46 (15, 15, 16, 16) 22 (7, 6, 10) 15 (5, 4, 6) 30 (10, 12, 8) 3 (9, 9, 13)	5 1000 -
							22.93~23.00 シルト混じり細粒砂. 23.00~26.53 輻粒~中粒砂.				21 (4, 6, 11) 38 (11, 12, 15)	P: 1000 5: 330
25 - 26, 77	-14 48	13.88					24.90~25.00 腐植を含む. 25.00~25.20 シルトを含む. 25.45~25.50 シルトを含む. 26.53~26.61 シルト~砂質シルト. 26.61~26.77 細粒砂~中粒炒.				33 (13, 9, 10) 28 (9, 10, 9) 50/22 (26, 22, 2/2)	
26.93	-14, 48 -14, 64	0.16		古安層 西山層	様灰 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		26.77~26.93 古安田層. A2.層、西山層の強風化泥岩標を母材とする標混じリシルトからな 6. 26.93~30.00 西山層. 泥岩を主体とし、延灰岩及び網粒砂岩を挟む 28.15~28.75 灰色 紙灰岩、銅粒砂サイズ(別t-8). 28.75~28.95 細粒砂岩 建2~4m程度の白色雑石、銀円・亜角線を含む.				50/27(11, 18, 21/2)	P: 1700 S: 400
30, 00	-17, 71	3, 07			暗オリー ブ灰		Ez-~~m性後の口巴転石、型門~型用標を含む。				34,242,29	

図 2-42 ボーリング柱状図 (S0-P1)

深	標	層	柱状	地層	色	孔内	記事	コア採取率 (%)	コア形状	R. Q. D. (%)	標準貫入試験	弾性波速度 Vp Vs
度	恒	厚	図	名	相	水		20 40 60 80 100	細片状状 柱 長柱状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	(m/s) 500 1000 1500 2000 2500
				ŧ	暗灰黄色		0.00~0.55 強土・環現し土・ 中総砂生主体とする。 0.00~2.80 繰混じり中粒砂・シルトを含む。				• ¥ (2, 2, 3)	
5 -				盛土・埋め戻し土	黄灰色		6.00~8.55 線混じり中粒砂.				9 (3, 4, 2) + 5(2, 1, 2) + 3 (1, 1, 1) + 2 (0, 1, 1)	-
8. 55 - 10. 00				古安田層	暗オリーブ灰色		8.55~10.00 古安田勝. 8.55~10.00 A2c勝. 腐植混じリシルトからなる.				20 (5, 7, 7)	-

図 2-43 ボーリング柱状図 (SO-P2)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア	採取率	Т	コア	形状	R	. Q.	D.	標準	重貫ブ	く試験	弾性波速度	٦
<i>i</i> *	175	/6	状	層	~	内	記事		(%)	ém.	ш. к-	- ++ =		(%	)				Vp	
度	高	厚	図	名	相	水		20 40	60 80 100	細片状	石片状	柱長	E 204	0 60 1	8p 100	1,0	20 3	0 40 5	(m/s) Vs 500 1000 1500 2000 2500	a
5 10 12.73		12. 73		盛土・埋め戻し土 西山層	暗灰黄色		0 00~12.73 強士11. 0 00~1.65 シルト混しり砂・様を含む. 0 1.65~2.54 砂湿じりシルト. 2.54~3.20 粗粒砂~中粒砂. 3.20~3.53 ガロック状の泥岩(軟岩)ズリ. 3.53~4.76 粗粒砂~中粒砂. 4.76~5.50 シルト湿じり砂・機を含む. 5.50~8.30 練湿じりシルト. 8.30~9.74 シルト湿じり砂・機を含む. 9.74~10.64 砂質シルト. 10.64~11.73 シルト湿じり砂・機を含む. 12.03~15.00 西山層. 泥岩を主体とし、細粒砂岩の薄層を挟む.									37 5 (2. 30 ) 30 (8. 30 ) 8.	(1, 2) (3, 3, 3, 3) ((9, 18, 1, 2)	7. 7)		

図 2-44 ボーリング柱状図 (S0-P3)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細片状状 長柱状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状	(%)		Vp Vs
-				盛土・埋め戻	暗オリーブ褐		0.00~4.92 億土・課限し土. 0.00~0.64 砂混じり継. 0.64~1.14 機混じりシルト質中粒砂. 1,14~1.30 細機混じりシルト質中粒砂. 1,30~1.95 機混じりシルト質中粒砂. 1,50~3.85 機混じり中粒砂.	20 40 60 80 100	***************************************	20 40 60 80 100	10 20 30 40 56	500 1000 1100 2000 2500
4, 92 5 – 5, 47	7, 30 6, 75	4, 92 0, 55	/ \	(七土 新期層	*オリーブ黒暗灰		3.85~4.20 腐植質中粒砂. 4.20~4.92 機混じり中粒砂. 4.92~5.47 新期砂磨. 4.92~5.47 新期砂磨. 5.47~14.03 沖積層. 5.47~14.03 沖積層下部. 5.47~14.03 沖積層下部. 6.47~7.45 成極質中粒砂、成樹片を互層化に挟む. 7.45~8.00 シルト質中粒砂、比部に少量の廣植片を挟む. 8.00~9.46 シルト質中粒砂、上部にシルトを層状~練仗に挟む					- - - -
10-				沖積層	黄 黒褐 暗灰黄オリー		9. 46~9.70 組結砂湿じり中粒砂。 9.70~10.46 歳植混じりシルト質中粒砂。 腐糖片が散在する。 10. 46~11.09 シルト選じり中粒砂。 径5~13mmの様を少量含む 11. 09~11.50 歳糖質中粒砂。 皮化木片を多く含む。 11. 55~12. 33 シルト質中粒砂。 少量の腐糖片を含む 11. 75~12. 33 シルト質中粒砂。 上部に腐糖片が散在 する。 13. 00~13.12 シルト選じり甲粒砂。 建材のシルト片を含む。 13. 102~14.50 シルト選中粒砂。 緑状のシルト片を含む。					- - -
14. 03	-1, 81	8, 56	Y Y Y		灰		10.05~26.20 古安田層 シルトを主体とし、中総砂を挟む. 14.03~17.60 X3.1層 14.03~17.45 シルト、スランブ構造が与られる。 14.45~14.65 は 5 数値質シルト、 機材を整成に挟む。 14.66~15.23 数型構造じりジルト、 健伏のシルトを含み、スラン 15.50~16.21 機球じりシルト。 16.21~17.60 数値置じりシルト。					-
20-			7	古安田層	黄灰		17.60~26.20 A2需 17.60~22.50 数相・機混じリシルト 径3~30mm(最大60mm)の繰 状~ブロック状のシルト。 厳価片を多く含む. 19.53~19.57 灰白色細粒火山灰. 火山ガラスを含む. 22.50~22.72 シルト. 焼状 22.50~22.72 シルト. 焼状 でまるせ、一種材を含む.					- - - -
25 - 26, 20 - - - - 29, 00	_13. 98 _16. 78		00000000000000000000000000000000000000	西山層	オリーブ灰 暗オリーブ灰		24.54~26.20 機質シルト 砂状~径30mm(最大70mm)のシルトの 像標を多く含む. 下部に、径15mm資益. 砂岩. チャートの亜円機を含 む. 26.20~29.00 西山際. 26.20~29.00 泥岩. 稲粒砂岩の薄層を挟む.					-

図 2-45 ボーリング柱状図 (CUB-P1)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記 事	(%)	細 岩 短 柱 長柱 状状状状状	(%)		Vp Vs (m/s)
5 -				盛土・埋め戻し土	灰黄褐		0.00~5.39 僅土・増展し土 0.00~4.18 機能じり組始砂 信5~10mB達質粘板岩、チャートの 亜円~亜角線を線率10%模度含む。 4.18~5.39 中粒砂、径2~3mBチャート、泥質粘板岩の亜角線を含む。	20 40 60 80 100	<b>状状状状</b>	20 40 60 80 100	10 20 30 40 5	500 1000 1100 2000 2000 -
5.39	-2.37	5.39			灰オリーブ		5. 39~29. 23 古安田暦 シルトを主体とし、細粒~粗粒砂を挟む. 5. 39~8. 63					-
20—				古安田層	灰オリーブ灰		15. 42~15. 58 砂質シルト。 15. 58~16. 24 砂・シルト互帰。 16. 24~18. 10. は中心が、下部は極極粒砂~上部の粗粒砂まで上方 相粒化の傾向がみられる。  18. 10~18. 29 粗粒砂。 18. 10~18. 29 相較砂。 19. 22~19. 17 砂罐。 径3~15mm泥冶罐を主体とし、標準60~70 96. 20. 基質は粗粒砂。 下位層との境界は凹凸。 19. 17~23. 43 从24 帰。 19. 17~19. 41 シルト。 19. 41~19. 41 シルト。 19. 41~19. 41 シルト。 19. 41~19. 41 シルト。 19. 41~19. 41 シルト。 19. 41~19. 41 シルト。 19. 41~19. 41 シルト。 19. 41~19. 41 シルト。 21. 05~23. 43 極細粒砂・シルト 塊状。					-
25 -					灰明オック		23.43~26.77 A2層 23.43~26.27 A2層 23.43~23.58 細胞砂 23.58~25.15 砂螺 径3~10m総粘岩, チャート、軽石の銀円砂砂。 径10m総上型の角線を線率50~80%含む、基質はルーズな相段砂 25.15~25.55 機理 じリシルト、下部に径40~60mの泥岩片を含み、高角度のラミッを持つスランフ構造がかられる。 25.00~26.20 と26 径 20.00 上型 20.00 で 20					-
29. 23	-26, 21	23. 84	5,000	西山層	暗オリー ブ灰		28.60~29.05 粗粒砂. 29.05~29.23 砂碓. 29.23~32.00 西山鄉 29.23~32.00 泥岩 極細粒砂岩を挟む.					

CIIR\_D2 ZI (2 / 2 )

											CUB-P2	孔 (2/2)
深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
			状	層		内	記事	(%)	細岩短柱長	(%)		Vp Vs
度	高	厚	図	名	相	水		20 40 60 80 100	細岩短柱長片柱状状状状状状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	(m/s) 500 1000 1500 2000 2500
32, 00	-28, 98	2. 00		西山層	暗オリーブ灰		30.45, 30.69, 31.10 植椒粒砂岩の薄層を挟む.					_

図 2-46 ボーリング柱状図 (CUB-P2)

1000	13m	F	1.	pi.	-	71		-	アギ	和	玆	-	マ	形状	Т	Р	Q.	D	Т	品士	:=7	7 F	弾性波速度
深	標	層	柱状	地層	色	孔内	記事	-	(9)		1				$\neg$	K.	(%				(cm)	IX	7年1王/汉述/支
度	高	厚	図	名	相	水	記事	l				細片状	知村	柱	長柱								Vs
			\ /	盛土	灰オリー		0.00~4.60 隆土・锺原し土 0.00~4.60 シルト選じり砂礫. 様は様2~50mmの硬質様. 様5~3 0mm角硬状のシルト片選じる.	20 4	40 60	80 10	0	状 节	\$ \$	状	扶	20 40	60	90 100	†	20 40	60 80	100	500 1000 1500 2000 250
			$\setminus$	・埋め戻し土	-ブオリーブ掲		2.79に木片含む。2.40にプラスチック小片あり。																
4, 60 5 —	7. 62	4, 60	/ \	新期砂	オリーブ オリーブ		4,44~4,59 シルト質砂を挟む. 4,60~5,99 新期砂磨 4,60~5,89 シルト混じり中粒砂.																
5, 89	6, 33	1, 29		層	灰灰オリーブ暗オリーブ		5.80~13.21 沖精層 5.80~13.21 沖精層下断 5.80~64 (																
10-				沖積層	灰オリーブ		- フ色のシルト、黒色の腐植混じる  11.00~11.43 中~粗粒砂主体で上方細粒化あり。  12.13~13.13 径5~50mmの古安田層のシルトのブロック混じる。																
13, 21	-0, 99	7. 32																	١				
15 -					オリーブ灰	1	13、21〜22、41 吉安田房 13、21〜17、20、431 居 13、21〜16、14〜16、14〜16 後で凹凸あり、シルト中に細粒砂の濁層・レンズ状プロック及び腐植 片泥じる。 14、18に15°の小断層・ 14、21、14、31〜125°、48°の小断層・センスは正、変位量1cm 15、30〜16、14〜11に径2〜20mm、シルトの偽線(亜円機)混じる。																
20-				古安田層	緑灰		16.14~17.20 シルト、所々、黒色の底積を薄層状に挟む。  17.20~23.41 A2/2層。 17.20~23.41 A2/2層。 17.23~17.79 後2~40mm。シルト角操(重円線)が多く混じる 17.55~17.62にナリーブ機のノジュールあり。 18.31~20.45 無輪・棒混じりシルト。間1~10mm。黒〜黒褐色の底積を消費が振りを指します。20.45 点に整った。18.5~20 点に整った。20.45 となる。 20.45~23.41 機混じりシルトと3~20m間隔で五層状となる。 20.45~23.41 機混じりシルト、程2~3mm。シルトの偽硬を多く含む。 21.5以深に径3~30mmの西山層泥岩角操混じる。 21.5以深に径3~30mmの西山層泥岩角操混じる。 21.51に35°、22.60に60°の小新層あり。 21.74、22.80 第1~155mm レンズ状、暗オリーブのノジュー																
23. 41 25 — 26. 00	-11, 19 -13, 78	10. 20		西山層	暗緑灰		21.74、22.80 報1-1.5cm、レンズ鉄、贈オリーブのノジュールを挟む。 22.49~22.55 威植薄層を続快に挟む。 23.41~26.00 西山際 23.41~26.00 残敗泥器 23.42 13*の断層 24.23 補1.5cm、反映色のノジュール。 25.00~26.00 85*~86*の専断割れ目。正センスで変位輩1.2cm																

図 2-47 ボーリング柱状図 (CUB-P3)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状 図	層名	相	内水	記事	(%)	細 岩 柱 柱 長柱 状状	(%)	40.00.00	Vp Vs (m/s)
$\vdash$			$\vdash$		オリ		0.00~10.95 盛土・埋戻し土. 0.00~1.60 確混じりシルト質中粒砂、径2~20mm程度の頁岩、砂岩、チャート及び泥岩の亜角~亜円腰を含む。	20 40 60 80 100	<b>以                                    </b>	20 40 60 80 100	10 20 30 40 5	500 1000 1500 2000 2500
-			\ /		ーブ褐						4 23 (9 9 7)	h: -
-			\ /		Teg		1.60~8.10 礫混じり中粒砂.シルト偽礫を含む.				9 23 (8, 8, 7)	<b>  </b>
			\								26 (9, 8, 9)	P:424 5:150
			$  \setminus  $	ы <del>р</del> .	1-		4.00~8.10 径5~15mm程度の頁岩,チャートの亜円礫を含む.				15 (4, 5, 6)	
			V	盛土・	いぶい						25 (7, 8, 10)	
5 —			X	埋め	黄褐						11 (3, 4, 4)	]
			$\Lambda$	戻し			5.93 径50mm程度の花崗岩亜角礫を含む.				13(4, 4, 5)	<b> </b>
			//	±			6.94 径60mm程度の軟質シルト礫を含む.				+ 12 (4, 4, 4)	 
-			$/ \setminus$				8.10~9.45 中粒砂. 細礫を含む.				13(3, 5 5)	-
-			/ \		暗		0.45 10.00 2.4 1.78 17.11 + 64.75					-
10—			\		灰黄		9.45~10.00 シルト混じり中粒砂. 10.00~10.47 中粒砂. 10.47~10.86 中粒砂混じりシルト.上部・下部に中粒砂を層状~				35 (9, 13, 13)	-
10, 95	1. 42	10, 95					レンズ状に挟む. 10.86~10.95 中粒砂. 下部に泥岩, 頁岩の細礫を含む.				<12 (4, 4, 4)	<u> </u>
					黒褐		10.95~17.50 新期砂層 中粒砂を主体とし、シルト、砂礫を伴う。 10.95~11.65 中粒砂、中部に泥岩及び頁岩の組織を含む。 11.65~12.20 組織混じり中粒砂、径2~10m程度(最大径20m程度)の頁岩 チャートの亜円~円機を含む。				50/14(37, 13/4)	
			0.0.0.0.0				12.20~12.63 砂礫 径2~12mm程度(最大径20mm程度)のチャート . 頁岩の亜円礫を含む、基質は中粒~粗粒砂. 12.63~13.40 中粒砂、粗粒砂を挟む、ラミナがみられる.				50/21 (17, 30, 3/1)	
				新	褐		13.40~13.62 粗粒砂、中粒砂を挟む、下底部に径4~10mm程度の				45 (5, 15, 25)4	
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	期砂			チャートの亜円礫を含む. 13.62~16.65 シルト混じり中粒~粗粒砂. 中粒砂主体. 14.00~14.10 細機を含む.				(11 (3, 4, 4)	P: 1340 - S: 260 -
15 —			,	層	灰						18 (4, 5, 9)	
-							_ 16.65~16.93 シルト質中粒砂. 粗粒砂を含む. 上部にシルトを挟				32 (6, 10, 16)	
17. 50	-5, 13	6.55					む. 16.93~17.50 中粒砂. 上部に粗粒砂を挟む. 古安田暦を傾斜28°で削剥している.				49 (1D, 17) 2234	
	J. 13	J. JJ	<u>_</u>									
			- Y				97 を挟む。 17.50~19.00 腐植混じりシルト。 19.00~19.72 シルト、中粒砂を挟む。				11 (3, 4, 4)	
20—							19.72~20.85 練混じり細粒砂. 不定形のシルトブロックを含み . スランプ構造がみられる.				9(3, 3, 3)	
							20.85~21.72 シルト. 下部に細粒砂を挟む.				12 (3, 4, 5)	
					_		21.72~22.00 シルト質細粒砂、ラミナがみられる。				15 (3, 5, 7)	
			Z		灰オリ		22,00~25,50 細粒砂混じりシルト、細粒砂を挟む。				21 (6, 7, 8)	P:1580 S: 300
-			Ż	古安田	リーブ						22(4, 7, 11)	
-				田層							27 (6, 9, 12)	
25 —			Œ				25.50~25.75 礫混じり細粒砂、径2~10mm程度のシルト偽礫を				27 (6, 10, 11)*	-
							25.50~25.75 繰混じり細粒炒. 強2~10mm程度のシルト偽傑を含む. 25.75~26.00 細粒砂質シルト. シルト.					
			00000				26.95~26.87 課. 径3~20mm程度の亜角~亜円シルト偽裸からなる。 26.87~28.20 シルト、細粒砂を挟む、腐植を含む。				23(5, 8, 10)	
											25 (6. 8. 11)	{
			/		オリー		28.20~29.90 A2s層. 細粒砂を主体とし、シルト及び腐植を含む . ラミナが発達する. 28.20~29.68 シルト質細粒砂. シルトを層状に挟む.				23(5, 7, 11)	P: 1650 S: 320
					ーブ灰		29.68~29.90 シルト混じり細粒砂. ラミナがみられる. 下部に 麻椒を名く今か				32 (8, 11, 13)	5: 320
			J10101010				応植を多く含む. 29.90~31.04 A2g層. 砂礫を主体とする. 径2~10mm程度の頁岩,砂岩,泥岩の亜円~亜角礫からなる. 基質 は細~中鞋砂.					
ym.	+811	屋	44	4,14	#		-	コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
深	標	層	柱状	地層	色	孔内	記 事	(%)		(04)	1ボートラモノへ自以均火	Vp
度	高	厚	<b>X</b>	名	相	水		20 40 60 80 100	細片状 柱 長柱状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 5	(m/s) 500 1000 1500 2000 2500
31. 04	-18. 67	1. 04	0.0.0.0.0.0	古安田層	オリーブ		30.73~30.94 アンカー及びグラウト.				31 (7, 11, 13)	P:1650 S: 320
				_			31.04~34.00 西山層. 泥岩を主体とし、細粒砂岩の薄層を挟む.				50/22(12, 24, 14/2)	
				西山區	暗緑品							P:1730 S: 470
			<i></i>	層	灰		33.60 傾斜73°,幅0.6~1.6㎝の細片状部~シルト・砂状部.					
34. 00	-21. 63	2. 96					The state of the s					i i

図 2-48 ボーリング柱状図 (GTG-P1)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細片 柱 柱 長柱 状状	(%)		Vp Vs (m/s)
					にぶ		0 00~9 62 過土・埋戻し土。 0 00~0 55 砂線 径5~20mm程度の砕石からなる。基質は中粒砂 0 55~3 00 碳混じり中粒砂。径5~10mm程度の粘板岩。チャート の角線を含む。	20 40 60 80 100	状状状状状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	
- - 5 —				盛土・埋め	い黄褐		3.00~7.45 中粒砂. 少量のシルト. 径2~3mm程度の泥岩の円~亜円線を含む.				12 (4, 4, 4) 17 (6, 5, 6) 27 (8, 9, 10)	
-				戻し土	灰黄褐		7.45~7.80 細粒砂.シルトの薄層を挟み、不明瞭なラミナがみられる.				50 (15, 21 20)- 14 (4, 5, 5)	P.444 \$181
0.00	0.00	0.00			黒褐 褐		7.80~8.35 無機混じり細粒砂質シルト. 8.35~9.07 細粒砂・中粒砂を含む. 9.07~9.54 シルト・細粒砂を挟む. 9.54~9.02 細粒砂 シルトを挟み. ラミナがみられる.				10 (3, 4, 3)	<u> </u> 
9. 62	2. 33	9. 62		新期砂層			9.62~11.40 新期砂層 細粒砂及び中粒砂からなる。 9.62~10.40 細粒砂 ジルトを含む 10.40~11.40 中粒砂 径5~20mm程度の亜円~円のシルト偽礫を含む.				24 (9, 6, 9)	P: 1040 S: 201
- 11. 40 15	0, 55	1. 78			アオリ		11、40~28.79 古安田層 11、40~15.78 A3al層 シルトを主体とし、細粒砂及び中粒砂を挟 11、40~11.88 シルト 細粒砂を含む、 11、40~11.88 シルト 細粒砂を含む、 12.00~12.00 中粒砂。 12.00~12.64 シルト、麻柚片を挟む。 12.00~12.00 神酸砂。 上部は不明瞭なラミナがみられる。下部は森植性をあり、ラミナがみられる。下部は森植性をあり、ラミナがみられる。 12.88~15.15 シルト、麻柚片を含み、細粒砂の薄層を挟む。 14、40 断層 傾斜67 の正断層、変位量20mm。 14、47 断層、傾斜67 の正断層、変位量20mm。 15.75~15.58 砂質シルト、径5m財配のシルト偽硬を含む。 15.78~27.98 細粒砂。テンルトを主体とし、細粒砂を挟む。 15.78~27.98 M20層、シルトを主体とし、細粒砂を挟む。 15.78~27.90 A20層、シルトを主体とし、細粒砂を挟む。 15.78~27.90 シルト				21 (8, 6, 7) 13(4, 4, 5) + 15 (4, 5, 6) + 14 (4, 4, 6) + 16 (5, 5, 6)	F.1400 51:226
20—				古安田層	<b>ー</b> ブ		16.59 新婦、純料30~90"の逆断層、変位量260mm、相30.5~1 mmの粘土、相0~2mの簡料状態。 変位量15mm. 16.96 新婦、結料12"の正断層、変位量15mm. 17.50~18.05 腐柚理じりシルト、 18.05~19.61 シルト、下部に中粒砂質シルトを挟む。 18.80 斯陽・領料2"、幅1.2cmの細片状態 18.82 斯陽・領料2"、2mの運用大統部。 18.62 斯陽・領料3"の逆断層、変位重22mm、幅1.2cmの細片状態 19.61~20.26 腐糖理じりシルト。 20.26~21.95 細粒砂・シルトを挟む。 20.62 斯層・領料32"。				+ 14 (4, 4, 5) + 15 (5, 5, 5) + 13 (4, 4, 5) + 10 (3, 3, 4) 4 9 (3, 3, 3)	
- - 25 —					オリーブ灰		21.95~27.05 シルト. 26.45~26.58 不規則に細粒砂を含む.				20 (5, 8, 7) 17 (5, 6, 6) 22 (6, 7, 9) 19 (5, 7, 7) +20 (5, 7, 4)	F-1400 F-1204 -
28. 79	-16. 84	17. 39		西山層	灰暗緑灰		27.05~27.66 細粒砂・ラミナがみられる。 27.66~27.98 機混じリシルト、径3~10m程度のシルト偽機・ 27.96~28.79 A2s層・細粒砂を主体とし、砂質シルト・シルトを 挟む・ 28.79~31.00 西山層・泥岩を主体とし、細粒砂岩の薄層を挟む。				22 (6, 7, 9) 28 (5, 6, 7) 50 (11, 16, 24)	F-1722 51 480
深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	
度	高	厚	状図	層名	相	内水	事 58	(%) 20 40 60 80 100	細片状状状状状状状状	(%) 20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	Vp 
31. 00	-19. 05	1. 00		西山層	暗 緑 灰							P:1722 S: 490

図 2-49 ボーリング柱状図 (GTG-P2)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細岩短柱 長片状状状状状	(%)	10 20 30 40 50	Vp Vs (m/s) 500 1000 1500 2000 2500
5 —	6, 53	5, 67		盛土・埋め戻し土	暗灰黄灰黄褐		00~5 67 強土・護頂し土 00~2 00 9機 径~25mm程度(最大50mm程度)の両岩、砂岩 チャート・コンクリートの亜角~亜円線からな 6. 基質はシルト混じ り中粒~粗粒砂 2 00~2 50 細線湿じり中粒砂、莨岩、シルト偽硬を含む。 2 00~2 50 細線湿じり中粒砂、莨岩、シルト偽硬を含む。 2 00~2 54 対域・経5~40mm程度の頁岩、砂岩、チャートの亜角線からな 6. 基質は中間砂。 2 04~3 00 中粒砂 3 15~4 40 砂湿じび煙・アスファルト、木片、砂岩、降材・径5~50mm程度の型出路、片着縦がからな 6. 基質は中間砂・4. 44~4.90 線混じり中粒砂、径5~20mm程度の顕岩、チャートの亜月線を含む。 4. 44~4.90 線湿じり中粒砂、径5~20mm程度の顕岩、チャートの亜月線を含む。 4. 40~6.0 線湿じり中粒砂、径5~20mm程度の顕岩、チャートの亜月線を含む。 4. 40~6.0 線湿じり中粒砂、径5~20mm程度の顕岩、チャートの亜月線を含む。				13(3, 1, 1) 0(2, 1, 3, 4) 50(24(19, 22, 9/4)	f 480
5, 67	6, 53	5, 67			暗灰黄		5.67~14.62 新期砂層、中粒砂を主体とし、粗粒炒及び腐植を含む 5.67~7.81 中粒砂。 7.81~9.57 腐植混じり中粒砂。				13(4,5 4) 31(9, 10, 12) 36 (9 12, 15)	F 903
10-			r.	新期砂層	黒褐		9.57~11.72 中柱砂、粗粒砂を含む、下部にシルトを橋状に挟む 11.72~12.79 腐糖混じり中粒砂、下部に粗粒砂を挟む。				47(9, 13, 25) 50/26 (12, 24, 14/6) 50/21 (18, 30, 2/1)	
14, 62 15 —	-2, 42	8, 95			灰オリーブ 暗		12.79~13.15 中始砂、細粒砂及び随着片を含む。 13.15~13.62 魔機型にリシルト 13.62~14.62 中粒砂、粗粒砂を含む、下位層を削削する。傾斜5 5				2(2, 2, 3) 50/23 (20, 23, 7/3)	5999
					灰黄		15. 20~15. 45 中報砂: 15. 45~中報砂: 15. 45~15. 65~16. 40 標准 じり中粒砂: 程5~15㎜程度の泥岩標を含む: 15. 85~16. 40 標准 じり中粒砂: 程5~15㎜程度の泥岩標を含む: 16. 40~17. 00 42.0億 砂湿 じりシルト・機2~40㎜程度の角~亜角・20・ルト機器からなる。最下端に中穀砂・含む: 17. 00~28. 00 42.6層 中粒砂: 細粒砂及びシルト偽機を主体とす 17. 00~18. 00 十 和砂砂: 細粒砂及びシルトを含む: 18. 00~18. 30 細粒砂				77 (4, 6, 7)	\$1500
20-				古	暗灰黄		18.30~19.30   廃植混じり線: 様2~20me程度の角~亜角のシルト角機からなる。 中粒砂・粗粒砂を含む、下位層を削削する、傾斜・0.19.55~20.45   様2~10mm程度の角~亜角の細粒砂質シルトの機からなる。 廃植片を含む. 20.45~22.30 シルト質細粒砂・シルトを不規則に挟み、ラミナがみられる。				14 (4, 5, 5) 19 (4, 6, 9) 14 (4, 5, 5) 13 (4, 4, 5)	-
				安田層	褐		22,30〜24,56 シルト型じり粗穀砂、上部は、中粒砂〜粗穀砂を含み、シルトを互際状に挟む、下部は、径5〜15mm程度の機を含む、 下位 層を解剖する。				29 (5, 9, 15)	5 320
25 —					オリーブ灰暗		24.56~26.64 シルト・細粒砂を含む。 24.78、25.80、26.80、27.00~27.70、27.80~27.90 径1~7mm 程度の灰色脈状(ロウ状)物質を挟む、地盤改良跡がみられる。 25.64~27.48 腐糖混じりシルト。 27.48~28.00 腐糖混じりシルト質細粒砂・腐糖片を細片状~層 状に挟み、ラミナがらられる。				18 (4, 7, 7) 18 (4, 7, 7) 22 (6, 7, 9)	
					オリーブ灰		状に挟み、ラミナが与られる。 28.00~30.4 22層、シルト偽硬。 砂糖などからなる。 28.00~29.82 弾。 シルト偽硬及びシルトプロックからなる。 29.82~30.10 細粒砂質シルト、下部は中粒砂~細線を含む。				50 (11, 15, 24)	P. 1600 S: 360

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	December 1	標準貫入試験	
度	高	厚	状図	層名	相	内水	事 5章	(%) 20 40 60 80 100	細片 状状 状状状	(%) 20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	Vp Vs (m/s) 500 1000 1500 2000 2500
-	-18, 24			古安層西山層	暗オブ 暗緑灰		30 10~30 44 砂塊 径5~40ma程度の真岩、砂岩、花崗岩の差 角~種円線からなる。基質は相粒砂 30 44~33 00 西山層、泥岩を主体とし、相粒砂岩を挟む。     31.71~31.75 灰色凝灰質細粒砂岩、火山ガラスを含み、ラミナが みられる。					6:1300 8:480
33, 00	-20, 80	2. 56										

図 2-50 ボーリング柱状図 (GTG-P3)

深	標高	層厚	柱状図	地層名	色如	孔内北	記事	コア採取率 (%)	コア形状 細 岩 短 柱 長 片 片 柱 柱	R. Q. D. (%)	標準貫入試験	弾性波速度 Vp Vs
度	同	子	図	名	相	水	0.00~13.83 盛土・埋戻し土. 0.00~0.24 砕石. 0.24~4.60 機理じり中粒砂.改良により硬化している.	20 40 60 80 100	細片状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	(m/s) 500 1000 1500 2000 2500
-					灰黄褐						50/10 (50)	- - -
5 -				盛土・埋め戻し土	オリーブ灰		4 G3-4.95 機質シルト、径5~90m程度の定岩線を含む. 4 55-5 G3 シルト質雑念り. 5 G3~5.90 健 径5~80m程度のシルト機を主体とする. 5 G0~6.45 中秘砂. 6 .45~10.35 機質シルト、径5~50m程度の定岩の角線、径2~50m程度の定岩の角線を含む.				7(2, 2, 3) • 7(2, 2, 3) • 6(2, 2, 2) • 5(2, 1, 2) • 6(2, 2, 2)	P. 554 9.714
10					にぶい黄褐		10.35~12.15 練灌じり中粒砂、径5~60m程度のシルト線を含む 12.15~12.60 中粒砂、径5~10m程度のシルト機を含む。 12.60~13.00 シルト・中粒砂温幣、シルト機等				24 (6, 8, 10) 23 (6, 7, 10)	-
13. 83	1. 75	13. 83			灰		13.00~13.51 シルト混じり細粒砂. 13.51~13.83 細粒砂.				21(6, 7, 8)	-
15 —			<u></u>	新期砂層	黒褐		13.83~18.26 新期砂磨 中粒砂を主体とし、細粒砂及びシルトを挟む。 13.83~16.46 中粒砂 細粒砂を挟む。 16.46~17.56 細粒砂混じり腐糖質シルト。				50/17 (25, 25/2) 50/15 (29, 21/5) 42 (14, 14, 14)	F 1240 6 230
18. 26 <sup>-</sup>	-2. 68	4. 43					17.56~18.26 細粒砂. 上部に腐植片を含む.				20 (6, 7, 7)	
20 —				古安田層	灰オリーブ		18. 26~23. 48. AZ 28 音楽田響 18. 26~21. 48. AZ 28 シルト及び中程砂からなる。 18. 26~19. 00 成績ヴェルト。 19. 00~19. 33 中程砂・不規則にシルトを挟む。 19. 03~20. 00 シルト。 20. 00~21. 46 機混じリシルト。 径2~25mm程度の角~亜円のシルト偽機を含む。 21. 46~30. 45 AZ al 際・シルト及び中粒砂からなる。 21. 46~30. 45 AZ al 際・シルト及び中粒砂からなる。 21. 46~30. 45 AZ al 際・シルト及び中粒砂からなる。 22. 96~23. 62 シルト混じり組粒砂・ラミナがみられる。 23. 62~23. 84 中粒砂。 23. 15~23. 84 程2~3mm程度のシルト偽機を含む。 24. 16~24. 34 中粒砂・シルトを挟む。 24. 16~24. 34 中粒砂・シルトを挟む。 24. 16~24. 34 中粒砂・シルトを挟む。 24. 46~24. 65~25. 10 機 锭2~5mm程度の角~亜角のシルト偽機からなる。 24. 45~26. 65 機 は 後2~5mm程度の角~亜角のシルト偽機からな。 24. 45~26. 65 機 は 後2~5mm程度の角~亜角のシルト偽機からな				12 (4, 4, 4) 12 (4, 4, 4) 11 (3, 4, 4) 16 (4, 8, 6) 27 (9, 9, 9) 17 (5, 6, 6)	P 1000 1 201
-					に <b>ぶい</b> 黄 掲		25.10~25.65 砂質フルト、 25.65~25.7 相相反か・中部に砂質シルトを挟む、 25.65~25.25 対象のシルト、 相称が一般質シルトへ上方相核化の 相称のように 25.62~27.55 シルト、中部に中粒砂を挟む、腹橋片を挟む。 27.55~27.87 相粒砂質シルト・細粒砂・健混じりシルトを挟む。 27.55~27.87 相粒砂質シルト・細粒砂・健混じりシルトを挟む。 27.87~28.36 相間混じりシルト・魔子の中間度の定差。チャーの担保をある。 28.65~29.00 シルト周じり細粒砂・腐糖木片を含む。 28.65~29.00 シルト周じり細粒砂・標準含む。 29.00~29.15 シルト温じり細粒砂・硬を含む。 29.00~29.15 シルト温じり細粒砂・硬を含む。 29.15~28.2 健混じりシルト・尾マー(5mu程度のシルト角線を含む、細粒砂質シルトトの単一線を含む。 29.15~28.2 健混じりシルト・尾マー(5mu程度の)~重角のシルト角線を含む。 40.00~29.00 細粒砂火料・ビマー(5mu程度の)~重角のシルト角線を含む。 40.00~29.00 細粒砂火料・ビマー(5mu程度の)~重角のシルト角線を含む。 40.00~29.00 細粒砂火料・ビマー(5mu程度の)~重角のシルト角線を含む。 40.00 単位 機能しりメルト・尾マー(5mu程度の)~重角のシルト角線を含む。 40.00 単位 機能した。 40.00 単位 機能した。 40.00 単位 機能した。 40.00 単位 機能した。 40.00 単位 機能した。 40.00 単位 機能した。 40.00 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位				+ 20 (5, 7, 7) + 15 (5, 8, 5) + 15 (5, 7, 5) - 10 (3, 2, 4)	
	A.ME			1.1	-		29. 93~30. 33 シルト.	コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
深度	標高	層厚	柱状図	地層名	色相	孔 内 水	記事	(%)	和 岩 柱 状 状 状 状 状 状 状 状 状 状 状 状 状 状 状 状 状 状	(%)		Vp Vs (m/s)
33, 56	-17. 98	3, 56		古安田層  西山	にぶい黄褐 原オリーブ 暗緑		30.33~30.45 砂質シルト 30.45~33.41 AZa原 中超砂及び粗粒砂を主体とする。 30.45~33.50 中程砂 む 23.65~32.69 相程砂・径10~20m程度のチャートの亜円機を含 む 23.65~32.49 中粒砂 32.46~32.09 相粒砂 33.47~33.56 AZa原 機関シルトからなる 径5~20m程度のチャート、影響の ト 影響の悪の生団を含む。 33.50~33.41 細粒砂 33.52~33.56 径5m程度のチャート、影響の亜円酸を多く含む 33.55~35.60 径5m程度のチャート、影響の亜円酸を多く含む 33.56~36.00 西山際 泥岩を主体とし、細粒砂岩の海層を挟む。		状状状状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50 31 (7, 10, 14) 50 (20 (3, 22) 50 (21 (30, 24, 5/1) 30/11 (40, 10/1)	5 500 1000 1500 2000 2500 P 1600 5 340 -
35 — 36. 00	-20. 42	2. 44		層	炭							P.1770 S: 450 =

図 2-51(1) ボーリング柱状図 (GTG-P4)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状図	層 名	相	内水	記 事	(%)	細 岩 短 柱 長 片 片 状 状 状	(%)		Vp Vs
-					灰		0.00~10.55 値土・埋戻し土.	20 40 60 80 100	***	20 40 60 80 100	* 5(2, 1, 2) * 5(1, 1, 2, 2) * 10 (4, 3, 3)	500 100 100 200 200
5 —				盛土・埋め戻し土	暗オリーブ灰						5(1, 2, 2) 11 (3, 4, 4)	- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
10— 10, 55	1, 51	10, 55			褐灰						19 (6, 7, 6)	
15 —	<b>−7.</b> 34	8, 85	7	新期砂層	オリーブ黒		10.55~19.40 新規時際 10.55~15.50 中戦後. 15.50~16.00 庶軸混じり中粒砂. 16.00~18.36 中戦砂. 18.36~19.40 広軸・シルト混じり中粒砂.				50/15 (25, 25/6) 50/17 (22, 28/7) 50/12 (13, 31, 6/2) 50/12 (13, 31, 6/2) 50/12 (13, 31, 6/2) 50/15 (35, 15/6) 50/15 (18, 32/7)	P. 1822 -
20				沖積層	黒褐灰		19. 40-24. 20 沖積層 19. 40-23. 45 沖積層上部 19. 57-18. 7 砂気シレト 19. 57-19. 34 ジルト中地砂の互磨 19. 84-21. 80 数権混じリシルト 21. 80~23. 45 シルト.				+7 (2, 3, 2) +6 (2, 2, 2)	P:1400 5:1501
24. 20 <sup>-</sup> 25 -	-12. 14	4. 80		古安田層	黒褐オリーブ灰灰灰		23. 45~24. 20				+ 5(3, 2, 2) + 12 (4, 4, 4) + 11 (3, 4, 4) - 12 (3, 4, 5) 27 (9, 10) (9)	F 1000
_			**************************************		<sub>オリーブ</sub> 灰		28.00〜28.45 シルト. 28.45〜28.75 組織砂質シルト. 28.55〜28.85 健選じリシルト. 28.85〜31.34 M2s際 28.85〜30.20 威楠選じリシルト.				11 (4, 3, 4)	

図 2-52(1) ボーリング柱状図 (GTG-P5)

GTG-P5 孔 (2/2)

_	_	_	_	_	_	_		_			_			_			G1G-P5		Ĺ
深	標	層	柱	地	色	孔		コア	採取	平	=	コアチ	形状	R	Q.	D.	標準貫入試験	弾性波速度	
*	12K	, e	状	層	ا ت	内	記事	ı	(%)					1	(%	)		Vp	
nte	-thr	<u></u>			+0		記 争	l	( / 0 /		細	並 短	柱長状状	Ę	( / (	'		Vs	
度	高	厚	図	名	相	水		20.40	60 80	100	片 /	宁 枉	1 <del>1.</del> 1	20 4	0 60	80 100	10 20 30 40 50	(m/s) 500 1000 1500 2000 2500	0
$\vdash$		_					30.20~30.35 腐植混じり中粒砂.	20 40	1000	100				1 10 1	Ť	00 100	11111	1	-
							30.35~30.91 腐植混じりシルト				Ш			$\Box$			17 (7, 5, 5)		
-			<del>Topin</del>				30.91~31.20 腐植混じり中粒砂.				Ш			$\Box$				II į	
							31.20~31.57 細粒砂混じりシルト. 31.57~31.84 粗粒砂混じり中粒砂.				Ш			$\Box$			10 (4, 3, 3)		
							31.84~34.51 A2c層. 31.84~34.51 腐植・細粒砂混じりシルト.				Ш			$\Box$				!	
			Y				31.04~34.31 属他・糊粒炒洗しりンルト.				Ш			$\Box$			+ 12(3, 4, 5)	P: 1600 S: 243	
			==== <sub>7</sub>								Ш			$\Box$				S: 243	
			<u>_</u> _								Ш			$\Box$			11 (3, 4, 4)	II !	
			Y.''		灰						Ш			$\Box$			1113, 4, 6)	i	
1			<del>-</del>								Ш			$\Box$					
		l	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				34.51~37.30 A2g層. 34.51~34.82 偽健混じり中~粗粒砂.										+ 12 (4, 4, 4)		
35 —							34.82~35.45 シルト質中~細粒砂.				Ш			$\Box$				ነ ነ	-
		l					35.45~35.77 腐植混じり・礫混じり中粒砂. 35.77~36.10 腐植・シルト混じり中粒砂.										15 (5, 5, 5)		
-		l					36.10~36.30 中粒砂.												-
							36.30~36.53 シルト. 36.53~36.70 腐植・中粒砂混じりシルト.				Ш			$\Box$			12(4, 4, 4)	j	
-							36.70~36.90 シルト. 36.90~37.15 シルト質中粒砂.				Ш			$\Box$			$\mathbf{I} \mid \lambda \mid \cdot \mid \cdot \mid$		-
				立			37.15~37.30 礫混じり中粒砂.				Ш			$\Box$			27 (12, 8, 7)	P: 1666 S: 299	
			Y	古安田	暗		37.30~39.25 A1c層. 37.30~38.59 腐植混じりシルト.				Ш			$\Box$					
				層	灰		20 50 - 20 00 3 - 11 5				Ш			$\Box$			(21 (7, 6, 8)		
				/=	黄		38.59~38.80 シルト. 38.80~39.25 腐植混じりシルト.				Ш			$\Box$					
							39. 25~45. 82 A1g層.				Ш			$\Box$			35 (8, 12, 15)	i	1
40							39.25~39.47 粗粒砂混じり中粒砂. 39.47~39.60 裸混じりシルト.				Ш			$\Box$					
40-							39.60~39.90 砂礫. 39.90~40.51 中粒砂質細粒砂.				Ш			$\Box$			50/12 (40, 10/2)		Ī
					ォ		40.51~41.05 粗粒砂混じり中粒砂.				Ш			$\Box$			$\mathbf{I}$	ll i	
-			33000		l)		41.05~41.25 砂礫. 41.25~41.42 粗粒砂混じり中粒砂.				Ш			$\Box$			50/14(36, 14/4)		1
			5 6 6 6 6		ĺĺ		41. 42~41. 56 砂块. 41. 56~41. 76 細粒砂.				Ш			$\Box$			1 1 1 1 1 1 1 1 1		ı
-					ヺ		41.76~42.49 中粒砂.				Ш			$\Box$				j	+
		l	2000000		黒	l	42.49~43.42 砂礫.										50/16(30, 20/6)		
-		l															lacksquare	P:1711 S: 386	-
		l	000000				43.42~43.93 中粒砂.										50/18 (24, 26/8)	H	
-		l	0000				43.93~44.05 砂礫.										$\mathbf{I} + \mathbf{I} + \mathbf{I} \times \mathbf{I}$		-
		l			オリ		44.05~45.40 偽練混じりシルト.										33 (9, 10, 14)		
45 —		l			ĺ													ll i	
		l			ヹ		45.40~45.82 西山層泥岩ブロック.										50/29(11, 17, 22/9)		
45. 82	-33. 76	15. 82			<u>灰</u> 暗													[ [	
		l		-	才		45.82~48.00 西山層. 45.82~48.00 塊状泥岩.										50/24 (18, 24, 8/4)		1
		l		西山	ij													0-1787	
		l		層	ー ブ												lacksquare	P: 1767 S: 445	
48 00	-35, 94	2, 18		, mai	灰												lacksquare		
40.00	30. 34	د. ا٥									l'			Τ'		-		-	٦
$\overline{}$																		1	

図 2-52(2) ボーリング柱状図 (GTG-P5)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
			状	層		内	記事	(%)	細岩短柱長	(%)		Vp
度	高	厚	図	名	相	水		20 40 60 80 100	細 岩 短 柱 長 片 柱 状 状 状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	(m/s) 500 1000 1500 2000 2500
-			$\bigvee$	盛土・埋め	暗灰黄		0.00~4.54 僅土・煙戻し土。 0.00~2.00 機混じり中額砂、機は径2~20mm程度の砂岩・真岩・チャートの亜円~円確含む。 2.00~3.78 中粒砂、径3~4mm程度の機機混じる。				<b>4</b> 8 (2, 3, 3)	T!
4, 54	7. 62	4, 54	$/ \setminus$	戻し土	灰黄褐		3.72~4.54 硬混じり中粒砂 機は径2~20mm程度、砂岩・真岩の 角~亜角線、アスファルト片混じる				50/27 (23, 21, 6/7)	
5 -					暗灰黄		4.54~11.71 新期砂層. 4.54~11.71 中程砂.				24 (7, 8, 9)	P:474 5:274
-				新期	灰黄褐						40 (11, 13, 16)	
10-				砂層	黄灰						41 (10, 13, 18)	
11. 71 -	0. 45	7. 17	-/-				11.71~16.75 沖積層 11.71~16.75 沖積層下部. 11.71~16.75 沖積層下部. 11.71~13.66 シルト灌じり中粒砂.				50/15 (33, 17/5) 25 (6, 7, 12)	P: 1540 S: 294
-			7== 7== 7==	沖積!	黄灰		13.66~15.86 シルト混じり粗粒砂.				44(12, 12, 20)	
15 -				層	暗灰黄		15.00~15.86 シルト分多い. 15.86~16.45 粗粒砂.				25 (9, 7, 9)	
16. 75	-4, 59	5. 04			オリーブオリーブ		16.45~16.62 シルト選じり粗粒砂. 16.62~16.75 粗粒砂. 16.75~30.43 古安田層. 16.75~17.64 & Ace層. シルトからなる. 16.75~16.85 シルト. 16.85~17.64 観粒密型じりシルト.				43 (20, 14, 9)	P11520 51: 263
-					オリーブ 灰〜黄褐		17.04~23.93 Acaim. ジルド貝権和数学や報程委員ジルドからなる 17.64~17.73 ジルド混じり中軸砂. 17.52~17.73に径2~3m程度の機能混じる。 17.73~19.35 維粒砂混じリシルト. 17.87~17.89 際間に問じた日色の結晶質テフラを掉す。				20 (6, 7, 7) 25 (6, 8, 11)	
20—					灰黄褐オリー		18.68以課 明確に誰忙をを呈し、ラミナがみられる。 19.35~19.26 倫建・シルト選より粗粒砂、径2~10m程度のシル ト偽機選じる。ラミナがかられる。 19.82~19.22 総総砂選じリシルト。 19.92~20.86 倫権・シルト選じり粗粒砂、径2~10m程度のシルト偽機選じる。 シルト機選退とる。 20.86~22.50 シルト質細粒砂、ラミナがみられる。				19 (6, 7, 6)	
-			,	古安日	- ブ 灰		22.50~25.93 偽練・シルト混じり粗粒砂、径2~10mm程度のシルト偽練多く混じる。				37 (10, 12, 15) 43 (11, 14, 18)	
25 —				田層	褐						50/27 (18, 17, 20/2)	P:1610 S: 337
-					オリーブ灰		25.93~30.43 A2s層.シルト質機や粗粒砂混じリシルトからなる 25.93~26.80 シルト. 26.80~27.05 粗粗砂混じリシルト、径2~20m程度の硬質機混じる. 27.05~29.40 腐柚・粗粒砂混じリシルト質機。				26 (10, 8, 8)	
-					灰オリーブ		27. 92に領4450°、28. 88に領4467°の小断層あり。				26 (7, 9, 10)	
							29.40~30.20 シルト質礫. 礫は径2~20mm程度, 泥岩の角礫主体.				4.23(6, 8 9)	∐ i

深	標	層	柱	地	色	孔		٦7	採取率	I	コア形状	I	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	20 40	(%) 60 80 100	斜片七		長主犬	(%)	10 20 30 40 50	Vp Vs (m/s) 500 1000 1500 2000 2500
30, 43	-18. 27	0. 43	1910101010	古安田層	灰オリー ブ 灰		30,20~30,43 砂礫. 礫は径2~15mm程度. 砂岩・頁岩・チャートの亜角~角碟.			T		I		50/20 (16, 34, 0/0)	P 1610 S 307
				西山層	暗緑灰		30.43~33.00 西山房 30.43~33.00 泥岩 30.93~30.96.31.66~31.881~幅2cm. 灰黄色のゲジュールを挟 30.67に硝酸44"、32.54, 32.70, 32.78に焼料4"~5"、32.90に練 郵88"のせん研解化目あり、							32 (7, 1)1, 14 50/29 (12, 17, 21/9)	P 1630 5 396

図 2-53 ボーリング柱状図 (GTG-P6)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状 図	層 名	相	内水	記事	(%) 20 40 60 80 100	細 岩 柱 柱 柱 状状	(%)	10 20 30 40 50	Vp Vs (m/s) 500 1000 1500 2000 2500
				盛土・埋め戻し土	オリーブ褐		0.00~4.60 強士・埋戻し土。 0.00~2.51 機・シルト混じり粗粒砂. 2.51~4.60 シルト混じり粗粒砂.				7 (2, 2, 3) + 5(1, 2, 2)	P 000
<u>4, 60</u> 5 —	7. 37	4. 60		新期砂	黄褐		4.60~8.54 新期砂糖 4.60~6.80 中粒砂.				13(4, 5, 4) 33 (9, 12, 13)	<u> </u>   -, 
8. 54	3. 43	3. 94	p.	四層	黒褐		6.80~8.54 シルト混じり中粒砂、砂鉄混じる、弱いラミナみられる。				24 (7, 9, 8) 27 (5, 10, 12)	P:885 5:250
10-				沖積層	暗灰黄		8.54~11.82 沖積層 8.54~11.82 沖積層下部。 8.54~11.82 シルト旅しり粗粒砂.				19 (5, 7, 7)	
11. 82 - - 15 - - 20-	0. 15	3.28		古安田	灰オリーブ		11.82~27.70 古安田幣 11.82~27.70 古安田幣 11.82~27.32 63.81 版 11.82~27.32 63.81 版 11.25~21.57 63.82 版 12.57~21.52 細粒砂と 13.25~13.50 92ルト・選じり細粒砂 13.25~13.60 92ルト・選じり細粒砂 13.80~13.60 92ルト・選じり細粒砂 13.60~13.60 92ルト・選じり細粒砂 14.40~14.40 92・44.4 編載砂型・リシルト・ 15.00~18.22 22.22 22.22 以 15.00~18.4 94.4 編載砂型・リシルト・ 15.45~17.48 92ルト・ 17.48~18.92 細粒砂型じりシルト・ 17.48~18.92 細粒砂型じりシルト・ 18.92~22.94 A2s層				44 (7, 10, 10) 14 (3, 5, 6) +18 (4, 7, 7) +14 (3, 6, 6) +16 (4, 5, 6) +12 (3, 5, 4) +15 (3, 5, 6)	F 1000
- - 25 — - - - -	-15. 73	1E 00		層	緑灰		21.52~22.94 粗粒砂・偽機混じリシルト.  22.94~27.70 A2票 22.94~27.25 西山暦のプロック、亀裂が発達する。				19 (5, 7, 7) 17 (4, 7, 6) 18 (4, 7, 7) 18 (4, 5, 6) 19 (5, 6, 8) 14 (4, 5, 5)	F1400
-	-18. 03	2. 30		西山層	オリーブ灰		27.70~30.00 西山陽 27.70~30.00 塊杖の泥岩.				50/28 (P, 16, 25/8) 50/28 (10, 21, 19/8)	P: 1650 S: 449

図 2-54 ボーリング柱状図 (GTG-P7)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア	ア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
			状	層		内	記事		(%)	細岩短柱長	(%)		Vp
度	高	厚	図	名	相	水	0.00~2.00 盛土・埋屋し土.	20 40	60 80 100	片片柱 柱状状状状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	(m/s) 500 1000 1500 2000 2500
			$\bigvee$	盛土・ 埋め戻	にぶい黄褐色		0.00~0.75 確混じりシルト質中粒砂. 主に径10mm程度の硬質礫を含む. 0.75~2.00 確混じりシルト. 主に径5mm程度の硬質及び軟質礫を						
2.00	11. 27	2. 00	$\wedge$	ť±	褐色		含む.						
2.00	11.27	2.00			暗		2.00~28.20 古安田暦. 2.00~3.84 A30層.シルトを主体とし、細粒砂の薄層を挟む. 2.24~2.38 隆10~20mm程度の軽石を含む.					9(2, 3, 4)	
			<b>#</b>		緑灰		3.84~10.23 A3a1層. 砂質シルト. シルト及び細粒砂からなる. 3.84~4.65 砂質シルト.					21 (5, 7, 9)	
5 —					色		4.65~4.84 シルト混じり細粒砂. ラミナがみられる. 下端に腐 結片を含む					14(3, 5, 6)	
							4. 84~4.95 シルト、細粒砂を含む. 4. 95~5.36 砂質シルト、下端に腐植片を含む. 5.36~5.51 シルト混じり細粒砂. ラミナがみられる. 腐植を含む.					11 (3, 3, 5)	P:922 \$:275
							5.51~5.61 細粒砂. 上方細粒化がみられる. 5.61~7.84 シルト. 細粒砂. 腐植片を挟む.					14 (4, 5, 5)	
					灰色		7.84~8.00 細粒砂.シルト薄層を挟む. 8.00~8.71 シルト、腐植りを含む.					+ 14 (4, 5, 5)	
-							8. 71~8. 82 細粒砂. 8. 82~9. 50 シルト.					÷ 15 (4, 5, 6)	
10-			Z		黄褐色		9.50~9.84 砂質シルト. 9.84~10.00 シルト. 10.00~10.23 砂質シルト.					14 (4, 5, 5)	
-			7		褐		10.23~15.60 A3s層、細粒砂~粗粒砂を主体とし、砂糖及びシルトを挟む。 10.23~10.50 中粒砂。 10.50~10.73 健調中粒砂。粗粒砂を挟む。 10.73~10.95 シルト、径2~5mm程度の機を含む、細粒砂を挟					33 (8, 12, 13)	P:922 S:286
			0101010101		灰 色 <sup>灰オリー</sup>							12(4, 4, 4)	<u>L</u> ., .
			0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:		灰色		□ 10.95~11.62 秒質シルト 11.62~11.35 軸粒砂 相粒砂を挟む。 11.88~12.00 シルト 12.00~12.45 糠症じり相粒砂、径10~20m相度のシルト偽機を 52.00~12.45~12.90 砂塊 径10~20m程度のシルト偽機及び径5~10 m程度の接受事件機分をなる。					14 (4, 5, 5)	
					にぶい黄色		■程度の便負亜円機からなる。 12,90~13.67 シルト 13.67~13.78 砂質シルト 13.78~14.60 シルト混じり細粒砂。					11 (3, 4, 4)	P: 1502 S: 286
15 —				古安	灰色		13.78~14.60 シルト混じり制粒砂. 14.60~14.98 シルト. 14.98~15.60 砂質シルト. 細粒砂を含む.					+ 14 (4, 5, 5)	
			7	田層	黄褐色		15.60~18.63 A2c層. シルトからなる.					+ 15 (5, 5, 5)	
												+ 13(4, 4 5)	
					才							16 (4, 6, 6)	
					リーブ		18.63~21.56 A2al層. シルト及び砂質シルトからなる. 18.63~18.86 砂質シルト. 18.86~20.00 シルト. 砂を含む.					11 (3, 4, 4)	P:1502 S: 308
20—					ア 灰色		20.00~20.32 砂質シルト.					11 (3, 4, 4)	
							20.32~20.98 シルト. 20.98~21.56 砂質シルト. ラミナがみられる.					14(3, 5, 6)	
			101010101				21.56~27.40 A2s層、細粒砂、中粒砂、粗粒砂及び砂礫を主体と する。 21.56~21.63 細粒砂					16 (5, 5, 6)	
-			0.000000000000000000000000000000000000		灰色		21.56~21.63 輪拉砂、21.63~21.80 機混じり中粒砂、径10mm程度の古期岩類の亜円~ 亜角標を含む、 1.80~22.00 機様 径5mm程度の古期岩類の亜円~亜角機及び 径10mm程度のシルト偽機を含む。					26 (8, 8, 10)	
			1010101010		暗		22.00~22.69					36 (8, 12, 16)	
25 —					オリー		角~亜円機を含む。 23.00~23.47 砂質シルト。 23.47~23.69 硬混じり細粒砂。径2~50mm程度の古期岩類の亜 角~亜円機を含む。					22(7, 7, 8)	
_					-ブ灰		23.53~23.64 シルトを含む. 23.69~25.54 シルト 25.54~25.69 砂質シルト. 25.69~26.42 シルト.					25 (8, 8, 9)	P:1608 S: 343
					色暗		26. 42~26. 62 砂質シルト. 26. 62~26. 84 シルト. 26. 84~27. 00 細粒砂. 細礫薄層を挟む. 27. 00~27. 40 Anges at th. 54					16 (5, 5, 6)	
28. 20	-14, 93	26. 20			灰色		22:00~27:40 参賀シルト ************************************					20 (5, 7, 7)	
			^^^^	田田	暗緑		■の古期岩類の亜円機からなる。 27.82-28.20 種 西山層の泥岩ブロックからなる。 28.20-30.00 西山暦 泥岩を主体とし、液灰岩を挟む。 28.92-29.00 灰白色紙灰岩(相粒砂サイズ) (休七6上部)					50/29(14, 18, 18/9)	P:1637 - \$: 453 -
30. 00	-16. 73	1. 80		層	灰色		28.92~29.00 灰白色凝灰岩(細粒砂サイズ) (Nt-6上部)						
$\blacksquare$													

図 2-55 ボーリング柱状図 (6LOT-P1)

		_						Т	コア	+107 E	मुक्त प्रदेश	Т		71	244×	Т	В	_	_	+80	ia: 1	入計	土田会	218.44	波速度
深	標	層	柱状	地層	色	孔内	63 atr	l		## (%)		H			/状	┨		Q. (%)		柳	华贝		<b>八馬</b> 央	5年1生2	及迷度 Vp
度	高	厚	図	層 名	相	水	記事		20 40	,		細片状	岩片状	短柱状	柱状	長柱状	20 40	, ,		L	0 20	30 4	ųo 5,0		Vs /s) 1500 2000 2500
3, 80	8, 16	3, 80		盛土・埋め戻し土	暗灰黄色		0 00~3 80 僅土・輝度し土。 0,00~3 30 少ルト混じり中粒~相粒砂。径2~20m程度(最大径4 0m程度)の砂岩。 頁岩及び安山岩の角~亜角緑を含む。 3 30~3 80 シルト混じり粗粒砂。径2~5m程度の角線を含む。 3 30~3 80 シルト混じり粗粒砂。径2~5m程度の角線を含む。 3 30~3 80 シルトプロックを使む。													3	r 11 (2 1. 1. 1)	, 2, 7)		T	P:1170 S: 254
5 —			, Y		灰オリーブ色		3 の~16.20 古安田原 原植灌じリシルト、腐植質シルトを主体とし 3.00~4.05 A.06 機能受けい 3.00~4.05 A.06 機能受けい 一層状に含む。 5.40~5.94 腐植質シルト、腐植を物の.2~5cm程度で層状に密に 挟み縄状を繋ずる。 5.49~6.0 魔種質シルト。 6.10~6.4 シルト・類粒砂圧層。シルト優勢である。 6.57~7.54 腐種質シルト・622~3cm程度の腐植を密に挟み縄状 を呈する。															21 (5, 7,	9)		
10-				古安田層	JE   灰オリーブ色		7.54~8.56 妙健、径2~20mm程度の路山泥岩角機からなる。 7.56~8.56 種40~50mm程度の泥岩ブロックからなる。 8.56~8.96 シルト質器・径2~30mm程度の泥岩角機からなる。 8.00 新傷・傾斜が0万距隔。 変位量40mm  第.054~35 相植砂ボビリシルト														15	8 (5, 6, 7 (4, 5, 6) 7 (4, 6, 7 4, 4, 5) 3, 5 5)		,	S:1588   -
15 —					オ 灰 オ 灰 オリ 灰 オリ		)の記報角標を含む.  13.30~13.68 粗粒砂混じリシルト質練 腐植及び径2~20m程度の記憶角膜を含む。 蒸買はシルト流じり組織砂 思想角膜を含む。 基質はシルト流じリシルト 開植及び径2~15mm程度の記憶 14.40~15.55 粗粒砂混じリシルト質練 径2~15mm程度の泥岩の角・重角膜を主体と、 径2~10mmの硬度重円線を含む。 基質は粗砂などの再用機を含む。 第2~10mm程度の砂塞、質器、チャート及び軽石の再用機を含む。 20~15、55~16 20~20mm程度の砂塞、質器、チャート及び軽石の再用機を含む。 20~15、55~16 20~20mm程度の砂塞、質器、チャート及び軽石を15.55~16 20~20mm程度の砂塞、質器、チャート及び軽石を15.55~16 20~20mm程度の砂塞、質器、チャート及び軽石を15.55~16 20~20mm程度の砂塞、														+ 141	4, 4 5) (3, 5, 6) (3, 4 6) (3, 5, 7)			P:1560 S: 380
16. 20	-4. 24	12. 40	101010101 101010101	西山層	" 一 暗緑灰色		. 頁岩及びチャート角線からなる。二次堆積で軽石を多く含む。 16.20~19.00 西山棚. 境状肥岩からなる。													31	(7, 11,	4, 12, 16			P: 1640 5: 362
19. 00	-7. 04	2. 80						ŀ		Ш		$\mathbb{H}$				4	Ш			╀		1	Ĭ/		

図 2-56 ボーリング柱状図 (6LOT-P2)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細片片状 岩柱状 大状状状状	(%)		Vp Vs
2. 98	9. 54	2. 98		盛土・埋め戻し土	暗灰黄 灰黄褐		0.00~2.98 僅土・種戻し土. 0.00~0.60 砂礫. 0.60~2.40 総混じり中粒砂.  2.40~2.98 中粒砂. 2.98~16.74 軒取砂層. 2.98~16.74 中粒砂.	20 40 60 80 100	状 状 状 状	20 40 60 80 100	2(1, 1, 0) 9(3, 3, 3) 2g (6, 8, 11)	500 1000 1100 2000 2500
10				新期砂層	黄灰						50/19 (25, 25/6) —  48 (10 16, 20) —  50/22 (12, 20, 18/2) —  50/23 (14, 24, 12/2) —  50/25 (14, 18, 18/4) —  21 (5, 8, 8)  32 (8, 12, 12) —  30 (8, 12, 12) —  30 (8, 12, 12) —  31 (8, 12, 14) —  32 (7, 12, 14) —	
20-	-4. 22	13, 76		沖積層	灰オリーブ灰		16. 74~37. 25 沖積層 16. 74~75. 25 沖積層上部: 16. 74~77. 33 シルト混じり中轄砂: 17. 93~18. 92 敷植混じりシルト: 18. 92~20. 66 シルト混じり粗粒砂: 20. 66~21. 00 シルト選じり粗粒砂: 21. 00~22. 95 シルト選じり粗較砂:				16.5, 5, 6.0 12.13, 4, 5) 10.(2, 1), 30 10.(10, 13, 16) 40.(12, 12, 16) 50.(12, 12, 16) 50.(13, 3, 3)	1 140 
25					灰オリーブ		25.25~37.25 沖積層下部. 25.25~26.52 無種・シルト混じり中粒砂. 26.52~27.94 シルト混じり中粒砂. 27.94~29.79 農植・シルト混じり中粒砂.				13(3, 4 6) 15(3, 4 6) 16(3, 6, 7) 34(12, 12, 16) 14(4, 5, 6)	- P 1000

図 2-57(1) ボーリング柱状図 (7LOT-P1)

7L0T-P1 孔(2/2)

標高	層厚	柱状図	地層名	色 相 灰才:	孔内水	記事		採取率 (%)	コア形状 細 岩 短 柱 長 片 状 状 状	R. Q. D. (%)	標準貫入試験	弾性波速度 Vp Vs (m/s) 500 1000 1500 2500 2500
		状	層	相灰オ	内	記事		(,,,,	細岩短柱長	, , , ,	10 20 30 40 50	Vs (m/s)
高	厚			灰オ		10 F	20 40	60 80 100	細岩短柱 技术状状状状状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	(m/s)
			1	灰オ	-,,		20 40	60 80 100	状状状状状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	
				オ								500 1000 1500 2000 2500
		::::×:::		リーブ		30.91~31.89 シルト混じり粗粒砂. 31.89~33.68 シルト質粗粒砂.					31 (6, 10, 15)	
			沖積	黄褐		33.68~34.94 シルト混じり細胞砂.					13(4, 4, 5) 14(4, 5, 5)	P: 1350 S: 297
			層	オリー		34.94~35.86 腐糖混じりシルト質中粒砂.					• 13(4, 4, 5)	-
-24. 73	7. 25			-ブ黒		35.86~36.60 シルト混じり粗粒砂. 36.60~36.83 中~輻粒砂混じりシルト. 36.83~37.25 シルト混じり粗粒砂.					28 (6, 10, 12)	
			古安田層	明オブオリーブ灰		37 25-42 04 古安田勝 37 25-42 04 人に勝 37 25-43 73 人に 37 25-43 73 人に 37 25-43 74 シルト 質細粒砂 38 74-39 00 極細粒砂混じリシルト 39 00〜39 55 シルト 40 00〜40 99 シルト					10 (3, 3, 4) 16 (5, 5, 6) 20 (8, 7, 7)	P-1720 S: 309
-29. 52	4. 79			暗オリー ブ灰		40,99~41,80 シルト混じり粗粒砂. 41,80~41,93 極細粒砂混じりシルト. 41,93~42,04 網膜・粗粒砂混じりシルト.					35 (8, 12, 15)	
	2.00		西山層	暗オリーブ灰		42.04~45.00 西山陽 42.04~45.00 塊状泥岩.					28 (7, 9, 12) 40 (8, 15, 17) 50/21 (18, 25, 7/1)	F:1720 S: 379
-				29.52 4.79 西山山	オリーブ灰 #フリーブ灰 暗オリーブ灰   1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	オリーブ灰 中オリーブ灰 暗オリーブ灰 田田層 西山層	オリリブ灰 田暦 アメース 178 一番 19 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	オリ 古 古 リ	37.25~42.04 ALC層 37.25~42.04 ALC層 37.25~47.30 2 ルト質細粒砂 37.25~37.30 2 ルト質細粒砂 37.25~37.30 2 ルト質細粒砂 20.00~39.55~40.00 福細粒砂湿じりシルト 39.55~40.00 福細粒砂湿じりシルト 40.00~40.99 シルト 40.00~40.99 シルト 40.00~41.90 シルト混じり粗粒砂 シルト 40.00~41.90 シルト 14.80~41.90 を14.80 を14	37.25~42.04 AIの圏。  オリリファッション・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	37 25~42 04 AIC層 37 25~42 04 AIC層 37 25~47 37 37 25~47 37 37 25~47 37 37 38 74 3 シルト 質細酸砂 37 10~5 37	37,25~42,04 At Mm. 37,25~42,04 At Mm. 37,25~47,37 シルト 関軸検砂 37,25~47,37 シルト 10(3.3.8) 37,25~47,37 シルト 37,73~48,74 シルト 38,74~48,00 極細酸砂湿じリシルト 40,00~40,99 シルト 40,00~40,99 シルト 40,00~40,99 シルト 40,00~40,99 シルト 40,00~40,99 シルト 40,00~40,99 シルト 40,00~40,99 シルト 40,00~40,99 シルト 40,00~40,99 シルト 40,00~40,99 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 シルト 41,00~40,90 ジルト 41,00~40,90 ジルト 41,00~40,90 ジルト 41,00~40,90 ジルト 41,00~40,90 ジルト 41,00~40,90 ジルト 41,00~40,90 ジルト 41,00~40,90 ジルト 50(3.1,17) 50(3.1,17) 50(3.1,17) 50(3.1,17)

図 2-57(2) ボーリング柱状図 (7LOT-P1)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
			状	層		内	記事	(%)		(%)		Vp
度	高	厚	図	名	相	水		20 40 60 80 100	細岩 短柱 長柱状状状状	20 40 60 80 100	1,0 2,0 3,0 4,0 5,0	(m/s) 500 1000 1500 2000 2500
				盤土·	灰黄褐色		0.00~/47 僅土・重要し土、標准じり箱箱砂胶びシルト港じり中粒がからなる。 0.00~2.00 提進じり箱粒砂 僅5~30m程度の砂岩・頁岩の硬質 角線及び円硬を含む。 2.00~7.47 シルト港じり中粒砂 径2~10m程度の砂岩。頁岩。 チャートの亜角~亜円線。径10~30m程度の軟質なシルト片を含む。 租粒砂を含む。				a.8 (2, 3, 3)	
5 —				埋め戻し土	暗灰黄色						28 (11, 8, 8) 16 (6, 5, 5) 12 (4, 4, 4) 48 (2, 3, 3)	\$ TH
7. 47	4. 57	7. 47					7.47~10.40 新期砂層.シルト混じり中粒砂からなる.				41 (14, 13, 14)	
10-10, 40	1, 64	2, 93	***************************************	新期砂層	黄灰色		1.47-1.40 minuta. Juliane of another sections				50/20(23, 27) 33/10, 11, 12)	P.1506 S1 224
	1. 04	2. 33			黒褐色		10.40~18.90 沖積層 10.40~18.90 沖積層 10.40~18.90 沖積層下部.中粒~粗粒砂を主体とし、シルトを含				20 (8, 6, 6)	Լ
15 —				沖積層	暗灰黄色		む. 10.40~10.98 シルト質中粒砂 10.98~16.87 シルト混じり中粒~粗粒砂.				34 (6, 14, 14) +25 (6, 7, 12) +20 (5, 7, 8) 17 (5, 5, 7) 33 (7, 11, 15)	P. 1667 5: 207
18. 90	-6. 86	8. 50	7		黄灰色にぶる		16.87~17.97 シルト質中~粗粒砂. 17.45~17.49 腐糖混じり中粒~粗粒砂を挟む. 17.97~18.90 シルト混じり粗粒砂.				16 (4, 5, 7) 11 (4, 3, 4) 27 (6, 8, 13)	P:1647 S: 345
20-				古安田層	た オリーブ灰色		18 90~92.58 古安田県 18 90~19 52 AC機 シルトからなる 19 52~23.58 AC編 シルトからなる 19 52~23.58 AC編 シルトかとなり報節砂を主体とする 19 52~21.53 組積砂型にリジルト カ五陽伏となる 20.73~20.58 団いノジュール 21.53~23.58 機濫じリシルト質粗粒砂 径0.5~20m程度の軟質な 記答角報を含む 22.45~22.56 嫁植片を含む。				21 (5, 9, 7) 21 (5, 9, 7) 17 (4 (6, 7) 20 (5, 6, 9)	P.1609 5: 345
23, 58 -	-11. 54	4. 68			灰オリー ブ色		23.48~23.58 中粒砂混じリシルト.				20 (5, 6, 9)	
25 —				西山層	暗緑灰色		23.58~26.00 西山層. 泥岩を主体とし、細粒砂岩及びノジュールを 挟む.				37 (7, 13, 17) 50/26 (12, 19, 19/6)	P:1759
26. 00 -	-13. 96	2. 42										!

図 2-58 ボーリング柱状図 (7LOT-P2)

深度	標高	層厚	柱状図	地層名	色相	孔内水	記事	コア採取率 (%)	コア形状 細岩短柱 長柱 状状状状状状状	R. Q. D. (%)	標準貫入試験	Vp (m/s)
5 —	7, 42	6. 00		盛土・埋め戻し土	にぶい黄褐 緑灰		0.00~6.00 強土・増戻し土. 0.00~1.83 線混じりシルト. 1.83~2.25 中粒砂. 2.25~6.00 線混じり粘土.	20 40 60 80 100	状状状状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50 118 (6, 6, 6) 4 (2, 2, 2) 7 (2, 2, 3)	00 100 100 200 200
10				新期砂層	褐灰		6.00~15.45 年期於晉 6.00~15.45 中检於				19:56.6.0) 33:08.10.159 42:10.15.179 50/28:14.20.16/0) 45:10.15.209 46:08.16.109 50/27:12.19.19/7)	5 100 5 100 5 100 5 100 5 100 5 100
15 — 15, 45	-2. 03	9, 45			黒褐		13.45~15.15 細粒砂.  15.15~15.45 シルト混じり細粒砂.  15.45~21.48 沖積層.				41(9, 13, 19) 50(13, 17, 20) 15(3, 5, 7)	
20—				沖積層	暗灰黄		18. 82~21. 45 中粒砂.				18 (2, 3, 3) 17 (5, 6, 6) 18 (6, 6, 6) 118 (5, 6, 7) 11 (3, 4, 4)	
21. 48	-8, 06	6. 03			オリーブ灰		21.45~21.48 種・粗粒砂混じり中粒砂 21.45~23.55 古安田原 21.45~25 70 ACM 21.45~25 77 シルト 21.77~22.00 シルト・極細粒砂互際。 22.00~25.00 シルト・極細粒砂互際。				7 (2, 2, 3) 4 8 (2, 3, 3) 12 (3, 4,5)	P.11623 S: 277
25				古安田層	<b>灰黄</b> オリーブ灰にぶい黄 <sup>緑灰</sup>		25.00~25.70 シルト.  25.70~28.62 A2al 勝 25.70~25.14 粗粒砂湿 じり中粒砂. 25.74~26.45 シルト混じり 細粒砂. 26.45~26.89 シルト.  28.00~28.62 シルト.  28.00~28.62 シルト.  28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽 28.62~30.55 A2s陽				9 (2, 3, 4) 9 (3, 3, 3) ) 23 (4, 8, 11) (18 (4, 6, 8) 23 (5, 4, 4)	
深度	標高	層厚	柱状図	地層名	色相	孔内水	記事	コア採取率 (%)	コア形状 細 岩 短 柱 様 長柱状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状状	R. Q. D. (%)	標準貫入試験	弾性波速度 Vp (m/s) 500 1000 1500 2000 2500
-	-19, 13 -21, 58			古安田層  西山層	緑灰オリーブ灰		30.16~30.55 極相較砂. 30.55~32.55 N2課 30.55~31.00 スランブシルト. 様状を呈する. 31.00~32.35 シルト.  22.55~35.00 西山層 32.55~35.00 地牧泥岩.				46 (3) 16, 22 722 (6, 1), 80 17 (4, 6, 7) 18 (6) (6, 6)	P.1623 1.277 -

図 2-59 ボーリング柱状図 (7LOT-P3)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状 図	層名	相	内水	記事	(%) 20 40 60 80 100	細片状 杖 杖 状	(%) 20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	Vp Vs (m/s) 500 1500 1500 2000 2500
-				盛土・埋め戻し土	にぶい黄褐		0.00~4.55 健士・規則し土 0.00~2.63 練混じり中粒砂。 2.63~2.68 木片 2.63~2.68 木片 2.08~2.95 シルト混じり中粒砂。 2.95~4.55 中粒砂。				9 B (2, 3, 3)	P. Hills
<u>4, 55</u> 5 —	7. 67	4, 55		新期砂層	褐灰		4.55~6.50 新期砂糖 4.55~6.50 中粒砂.				11 (3, 4, 4)	-
6, 50	5. 72	1, 95		沖	黒にぶい黄褐 黒 褐		6.50~13.20 沖積層 6.50~13.20 沖積層下部。 6.50~6.55 木体 6.85~7.55 シルト選じり中和砂・ 7.55~4.15 砂配じりシルト・ 8.15~8.35 シルト・ 8.35~8.98 成軸物・				7 (3, 2, 2) 6 (2, 2, 2) 16 (3, 4, 9)	P:1966 5: 143
10	-0, 98	6, 70		積層	褐灰		12.46~12.84 砂質シルト. 12.84~13.20 中戦砂.				17 (4, 6, 7) 29 (8, 9, 12) 16 (3, 4, 9)	C:1000 S:1000
15 —	-V. 90	6. 70			オリーブ灰		13. 20~23. 25 古安田勝 13. 20~16. 88 A34 開 13. 20~14.00 シルト 14. 00~16. 88 戯植物・機混じりシルト				11   4, 3, 4) 12   3, 4, 5) 14 (4, 4, 6) 17 (5, 5, 7)	
-				古安田層	オ		16.88~23.25 A2a層 16.88~20.42				+ 16 (4, 5, 7) + 17 (4, 6, 7)	P 1566 S1 296
20					プリーブ灰		20.42~23.25 腐糖混じりシルト質練.				+ 16 (4, 5, 7) + 16 (5, 5, 6) + 16 (4, 5, 7)	-
25 —	<u>-11, 03</u>	10. 05		西山層	暗オリーブ灰		23.25~26.00 西山曆 23.25~26.00 烤杖泥岩.				7 (5   5, 7) 50 (7,   8, 25) 50/26 (13, 21,   16/6)	P:1000 5:461
26. 00	-13. 78	2. 75			<i>&gt;</i>							l i

図 2-60 ボーリング柱状図 (7LOT-P4)

深	標	層	柱	地	色	孔		コア採取率	コア形状	R. Q. D.	標準貫入試験	弾性波速度
度	高	厚	状図	層名	相	内水	記事	(%)	細片状 岩柱状 長柱状	(%)		Vp (m/s)
2. 06 -	10. 01	2. 06		盛土・ 埋め戻 し土	オリーブ褐		0.00~2.06 強土・理反し土. 0.00~2.06 練・シルト混じり組粒砂、線は径5~15mm、最大径30 mm、安山岩・砂岩・真岩の角硬.	20 40 60 80 100	状状状状状	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	500 1000 1500 2000 2500
_							2.06~27.10 古安田勝. 2.06~10.20 A31陽. 2.06~3.75 中枢砂質シルト. 2.92~3.75 ラミナがみられる. 3.75~5.63 細粒砂混じリシルト. 3.75~3.97に暗格色の微様シ				22(6, 7, 9)	
5 —					オリーブ灰		ルトを領1.5~5cmで挟み縄伏となる。  5.50~5.63に層軍3.5cmの砂機層を挟む、様は径2~10mmの泥岩の亜円~亜角健主体、機関は粗粒砂。				+ 19 (5, 6, 8) + 17 (4, 6, 7)	P:1056 5: 263
-							5.63~7.66 シルト、薄層状~硬片状の旗軸混じる。 7.66~10.20 編~中部於照じりシルト				20 (5, 7, 8) + 20 (7, 6, 7)	
10					暗オリーブ灰		7,66~7,68, 7,85~7,92, 8,56~8,92(ニシルト質細〜中粒砂を 勝厚之〜Taoではませ、7,81~7,914は繊維質。 8,79~8,94,9,51~9,85(二幅0.5~3cmのレンズ状に細〜中粒砂 を挟む。				+ 19 (5, 6, 8) + 17 (4, 6, 7)	
10					ix.		10.20~25.40 Acc層. 10.20~15.73 シルト、均質・塊状. 10.55~10.95に明黄褐色のノジュールが薄く選じり聞くなる. 11.10~11.40に細~中齢砂混じる.				• 17 (5, 5, 7) • 19 (5, 6, 8) • 19 (5, 6, 8)	
15 —				古安田層			13.82~13.90に開爆8om. 灰色のシルト質細粒砂を傾斜12°で挟む. ラミナがみられる.				+ 17 (5, 5, 7) + 17 (5, 5, 7) + 17 (5, 5, 7)	P:1545 8:1306
-					オリー		15.73~24.71 細粒砂混じりシルト. 15.82~15.89に幅7cmオリーブ色のノジュール. 17.52~17.58に細粒砂が不規則に混じる.				+ 20 (5, 6, 9) + 18 (5, 5, 8)	
20-					-ブ灰						• 18 (5, 6, 7) • 19 (5, 6, 8)	
-							21. 201: 層厚2cm、レンズ状に灰色の細粒砂を挟む.				18 (5, 6, 7) 21 (5, 7, 9)	
-							22.89~23.00 層厚10cmのシルト質細粒砂を挟む.				+ 20 (5, 7, 8)	P: 1544 5: 330
25 —	15.00	05.00	10101010101010101010101010101010101010		灰オリー 灰オリー		24.17~24.65 シルト質細粒砂 24.85~25 4 無報砂選上リジルト。 25.40~25.63 A22版 シルト質細粒砂からなる。 25.63~27.10 必須 25.63~27.50 砂礫 砂球 砂球 200mの泥岩の亜円線及び砂岩・ 資格・チャートの重角・亜円線・機関は粗粒砂 25.90~26.50 中和砂・粗粒砂ボビル。 25.50~27.10 砂塊 機は低いる0m。最大後70mの泥岩の亜角 機関は粗粒砂。 最大後70mの泥岩の亜角 機関は粗粒砂。				19 (5, 7, 7)	-
	-15, 03	25, 04	010101010101 \( \triangle	西山層	暗緑灰		標〜プロック及い径2~20mのか9岩・真岩・チャートの車角〜亜円線 機関は複数2を 高橋自憲12 - 2 27 10~30 00 西山陽・境状の定監 27 70 6線375・82~3mで灰色の粘土状態 27 43、27.60、27.70に経結55・70*0セル新射4目 28 33~28 41 程~3mmを発在を多く含む (均→1) 28 43 陽厚1.2cm、レンズ状の灰色凝灰質細粒砂岩を傾斜17*で挟む				50/25(12, 21, 17/5)	P:1607 5: 416
30. 00	-17. 93	2. 90										

図 2-61 ボーリング柱状図 (H5-P1)

## 3. 原位置試験・室内試験

## 3.1 概要

## 3.1.1 適用基準·規格

液状化検討対象層及び非液状化検討対象層の物理特性,動的変形特性及び液状化特性については,地層ごとに有効応力解析に必要な物性値を設定する。これらの物性値は,JIS(日本工業規格)又はJGS(地盤工学会)の規格・基準に基づいた試験結果に基づき設定する。

有効応力解析に用いる物性値とその試験方法を表 3-1 に示す。

表 3-1 有効応力解析に用いる物性値とその試験方法

	試験により設定する	物性値	試験方法	
	名称	記号	基準・規格名	規格·基準番号
物理	密度	ρ	土粒子の密度試験方法 土の湿潤密度試験方法	J I S A 1202 J I S A 1225
特性	間隙率	n	土粒子の密度, 土の乾燥密度 に基づき設定	J I S A 1202 J I S A 1225
動的	動せん断弾性係数	G <sub>ma</sub>	地盤の弾性波速度検層方法 PS 検層の S 波速度, 密度よ り算出	JGS 1122 (PS 検層)
変形	粘着力	с,	土の圧密非排水(CU)三軸圧	JGS 0523
特性	内部摩擦角	φ'	縮試験方法	
	最大減衰定数	h max	地盤材料の変形特性を求める ための繰返し三軸試験方法	J G S 0542
液状化 特性	液状化抵抗曲線 (液状化パラメータ)	_	土の変形特性を求めるための 中空円筒供試体による繰返し ねじりせん断試験方法,及び 土の繰返し非排水三軸試験方 法を参考に設定	JGS 0543 JGS 0541

## 3.1.2 解析用物性值一覧

設置変更許可申請書に記載されていない解析用物性値一覧を表 3-2 及び表 3-3 に、設定根拠一覧を表 3-4 及び表 3-5 に示す。

表 3-2 設置変更許可申請書に記載されていない解析用物性値(液状化検討対象層)

		地質	区分		新	期砂層・沖積	督		古安	田層	
	物性値			埋戻土	新期砂層	沖積層上部 (砂質)	沖積層下部	A2s層	A3s層	A2g層 (砂質)	A1g層
物理特	密度	ρ	(g/cm <sup>3</sup> )	1.94 (1.79)*	2. 05 (2. 00)*	1.90	2.02	1.91	1. 91	1. 91	1. 91
特性	間隙率	n		0.45	0.44	0.48	0.42	0.45	0.45	0.45	0.45
	動せん断弾性係数	$G_{\text{ma}}$	$(kN/m^2)$	$1.04 \times 10^{5}$	$1.26 \times 10^5$	$1.25 \times 10^5$	$1.92 \times 10^5$	$2.14 \times 10^5$	$2.14 \times 10^5$	$2.14 \times 10^5$	$2.14 \times 10^5$
変形	基準平均有効拘束圧	σ, ma	$(kN/m^2)$	98. 0	98. 0	110.0	150. 0	200. 0	200. 0	200.0	200. 0
特	ポアソン比	ν		0.33 (0.42)*	0.33 (0.44)*	0. 33	0. 33	0. 33	0.33	0.33	0. 33
	減衰定数の上限値	h max		0. 225	0. 234	0.247	0. 211	0. 157	0. 157	0.157	0. 157
強度特	粘着力	с'	$(kN/m^2)$	0. 0 (9. 6)*	0. 0 (94. 4)*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特性	内部摩擦角	φ'	(° )	35. 9 (34. 8)*	34. 6 (27. 6)*	36.7	35.6	36. 6	36. 6	36. 6	36.6
	変相角	$\phi_{p}$	(° )	32.0	31.0	33. 0	32.0	32. 0	32. 0	32. 0	32.0
			S 1	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
液状化			w1	5. 50	7. 90	11.00	8.00	25. 00	25. 00	25. 00	25. 00
特性	液状化パラメー	g	p 1	0.50	0.50	0. 50	0. 50	0.50	0.50	0.50	0. 50
			p 2	1.00	0.70	0.70	0.65	0.80	0.80	0.80	0.80
				1. 69	2. 13	2. 41	2.00	8. 75	8. 75	8. 75	8. 75

注記\* :括弧内の数字は、地下水位以浅の数値を表す。

表 3-3 設置変更許可申請書に記載されていない解析用物性値(非液状化検討対象層)

		地	]質区分		新期砂層・沖積層			古安	田層		
	物性値	_		埋戻土Ⅱ	沖積層上部 (シルト質)	A3c層	A3a1層	A2c層	A2a1層	A2g層 (シルト質)	A1c層
物理	密度	ρ	$(g/cm^3)$	1.71	1.66	1.70	1.81	1.80	1.88	1.80	1.80
特性	間隙率	n		0.58	0.61	0.57	0.52	0.52	0.48	0.52	0.52
	動せん断弾性係数	$G_{\text{ma}}$	$(kN/m^2)$	$7.33 \times 10^4$	$5.50 \times 10^4$	$1.09 \times 10^5$	9. $57 \times 10^4$	$1.39 \times 10^{5}$	$1.61 \times 10^{5}$	$1.39 \times 10^{5}$	$1.39 \times 10^{5}$
変形	基準平均有効拘束圧	σ <sub>ma</sub> ,	$(kN/m^2)$	41.0	170.0	60.0	94. 0	140.0	170.0	140.0	140.0
特性	ポアソン比	ν		0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
	減衰定数の上限値	h max		0. 152	0.136	0.114	0.162	0.110	0.147	0.110	0.110
強度特	粘着力	с'	$(kN/m^2)$	7. 4	82. 5	99. 6	29. 2	113. 0	82. 8	113. 0	113. 0
特性	内部摩擦角	φ'	(° )	31. 7	19. 6	26. 8	34. 2	27. 9	28. 7	27. 9	27. 9

表 3-4 設置変更許可申請書に記載されていない解析用物性値の設定根拠 (液状化検討対象層)

		地質区分		新其	閉砂層・沖和	責層	古安	田層			
物	性値		埋戻土	新期砂層	沖積層上部 (砂質)	沖積層下部	A2s層	A3s層	A2g層 (砂質)	A1g層	
理	密度	ρ		物理	試験		物理試験		•		
特	間隙率	n		物理	試験		物理試験				
	動せん断弾性係数	$G_{\text{ma}}$	PS検層に	よるS波速度	度、密度に基	基づき設定	PS検層によるS波速度, 密度に基づき設定				
変形	基準平均有効拘束圧	σ,	慣用	月値*1	G <sub>ma</sub> に対	応する値	Gmaに対応する値				
特性	ポアソン比	ν	0.47.	月値* <sup>1</sup> 食層)* <sup>2</sup>	慣用	値*1	慣用値*1				
	減衰定数の上限値	h max	動	的変形特性	に基づき設	定	動的変形特性に基づき設定				
度	粘着力 c'		三軸圧縮試験			三軸圧縮試験	A2s層で代用				
特性	内部摩擦角	φ'	平田 / L. 州日 p 人 动火			— три/ /тц и черд					
	変相角	$\phi_{p}$									
		S <sub>1</sub>									
液状化		wl		液状化強力	度試験結果		液状化強度試験結果	液状化強度試験結果			
特性	液状化パラメータ	p 1	に基	づく要素シ	/ミュレーシ	/ョン	に基づく要素シミュレーション	A2s層で代用			
		p <sub>2</sub>									
		c <sub>1</sub>									

注記\*1 : 液状化による構造物被害予測プログラムFLIPにおいて必要な各種パラメタの簡易設定法 (港湾技研資料No. 869) (運輸省港湾技術研究所,平成9年6月)

\*2:括弧内は、地下水位以浅の根拠を表す。

表 3-5 設置変更許可申請書に記載されていない解析用物性値の設定根拠 (非液状化検討対象層)

	Wt	質区分		新期砂層・沖積層			古安	田層			
物	性値		埋戻土Ⅱ	沖積層上部 (シルト質)	A3c層	A3a1層	A2c層	A2a1層	A2g層 (シルト質)	A1c層	
理	密度	ρ	物	理試験		物理	試験				
特	間隙率	n	物	理試験		物理	試験				
	動せん断弾性係数	G ma		よるS波速度, 基づき設定	PS検層に	よるS波速度	, 密度に基	づき設定			
変形	基準平均有効拘束圧	σ <sub>ma</sub> ,	G malZ	対応する値		G maに対	芯する値		A2c層	<b>本仏田</b>	
特性	ポアソン比	ν	-[1]	貫用値*		慣月		AZC唐	CICH		
	減衰定数の上限値	h max	動的変形特	性に基づき設定	動的変形特性に基づき設定						
皮	粘着力	с'	#II	T		二軸口	☆ ラナ 服分	•	1		
及 特 性	内部摩擦角	φ'	三軸圧縮試験		三軸圧縮試験				Official oco)		

注記\* : 液状化による構造物被害予測プログラムFLIPにおいて必要な各種パラメタの簡易設定法 (港湾技研資料No. 869) (運輸省港湾技術研究所,平成9年6月)

# 3.2 物理特性

# 3.2.1 密度・間隙率

物理試験結果を表 3-6 に示す。

地下水位以浅の地層の密度は、湿潤密度より設定した。地下水位以深の地層の密度は、 土粒子の密度及び間隙比に基づき算出した飽和密度より設定した。

表 3-6 物理試験結果

		土粒	子の密度	s d		湿潤密度 ρ t			間隙比 e		飽和密度*
	地質区分	平均值	標準偏差	数量	平均值	標準偏差	数量	即邻本	標準偏差	数量	ρsat
		$(g/cm^3)$	$(g/cm^3)$		$(g/cm^3)$	$(g/cm^3)$					$(g/cm^3)$
	埋戻土	2.717	0.042	188	1.79	0.09	28	0.821	0.073	28	1.94
	埋戻土II	2.698	0.015	21	1.59	0.02	8	1.405	0.075	8	1.71
+	新期砂層	2.876	0.114	102	2.00	0.10	44	0. 787	0.126	44	2.05
・共	沖積層上部(シルト質)	2.685	0.026	7	1.65	0.03	15	1. 563	0.117	15	1.66
海區	沖積層上部(砂質)	2.746	0.088	39	1.88	0.15	23	0.935	0.391	23	1.90
Į Į	沖積層下部	2.769	0.053	99	1.94	0.07	43	0.734	0.076	43	2.02
	A3c/層	2.623	0.076	15	1.70	0.10	18	1.323	0.246	18	1.70
1□ -	A3a1層	2.681	0.052	96	1.80	0.08	74	1.084	0.184	74	1.81
英田	A2c)層	2.671	0.031	161	1.80	90.0	83	1.081	0.139	83	1.80
四	A2a1層	2.671	0.030	92	1.87	0.07	29	0.905	0.186	29	1.88
	A2s)層	2.663	0.029	109	1.88	0.08	55	0.829	0.116	55	1.91

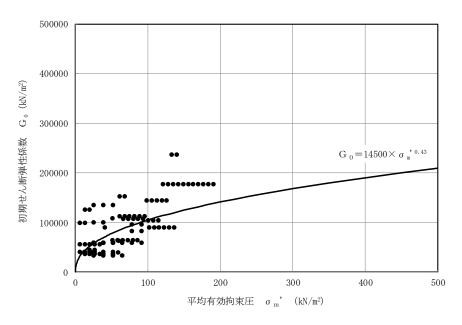
注記\*:飽和密度は、土粒子の密度と間隙比の平均値より算出した。

#### 3.3 動的変形特性

#### 3.3.1 初期動せん断弾性係数

地盤の初期動せん断弾性係数は、PS 検層及び物理試験に基づき設定した。地下水位を 跨ぐ地層(埋戻土、新期砂層)は、図 3-1 に示すように PS 検層による S 波速度及び密度 より算出した初期動せん断弾性係数と有効拘束圧の関係に基づき設定した。

地下水位以深の地層は、表 3-7 に示すように PS 検層による S 波速度の平均値及び密度に基づき設定した。



#### (a) 埋戻土

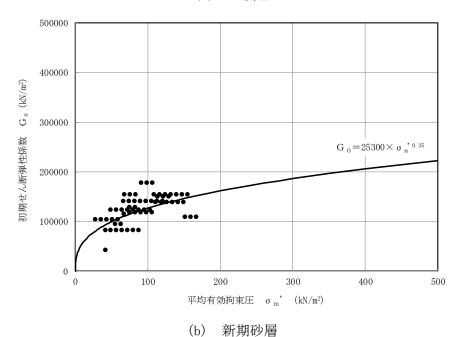


図 3-1 地下水位を跨ぐ地層の初期動せん断弾性係数

表 3-7 地下水位以深の地層の初期動せん断弾性係数

		P波速度	ξ V <sub>p</sub>	S波速	度 V <sub>s</sub>	初期動せん断弾性係数	測定数
	地質区分	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	G <sub>0</sub>	
		(m/s)	(m/s)	(m/s)	(m/s)	$(kN/m^2)$	
	埋戻土Ⅱ	1511	55	207	16	$7.33 \times 10^4$	10
· 新	沖積層上部(シルト質)	1512	13	182	5	$5.50 \times 10^4$	3
沖期 積砂	沖積層上部(砂質)	1597	119	256	55	$1.25 \times 10^{5}$	21
層層	沖積層下部	1699	74	308	55	$1.92 \times 10^{5}$	43
	A3c層	1515	27	253	17	$1.09 \times 10^{5}$	8
古	A3a1層	1468	104	230	39	$9.57 \times 10^4$	34
安田	A2c層	1566	73	278	42	$1.39 \times 10^{5}$	133
層	A2a1層	1608	54	293	35	$1.61 \times 10^{5}$	42
	A2s層	1645	46	335	33	$2.14 \times 10^{5}$	52

# 3.3.2 ポアソン比

地下水位以浅の地層のポアソン比は、表 3-8 に示すように PS 検層による S 波速度及 び P 波速度の平均値に基づき設定した。

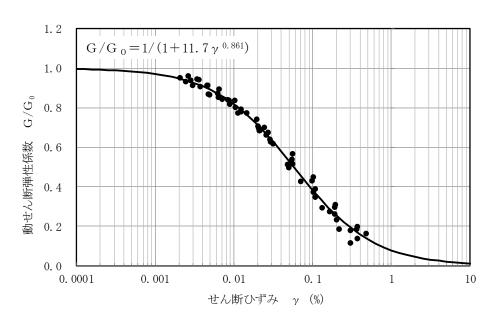
表 3-8 地下水位以浅の地層のポアソン比

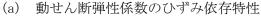
	P波速度	Ę V <sub>p</sub>	S波速	度 V <sub>s</sub>	ポアソン比*	測定数
地質区分	平均值	標準偏差	平均値	標準偏差	ν	
	(m/s)	(m/s)	(m/s)	(m/s)		
埋戻土(地下水位以浅)	547	164	209	53	0.42	95
新期砂層(地下水位以浅)	715	184	232	31	0.44	29

注記 \*:ポアソン比は、P波速度とS波速度の平均値より算出した。

#### 3.3.3 最大減衰定数

地盤の最大減衰定数は、動的変形試験に基づき設定した。 各地層の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性を図3-2~図3-12に示す。





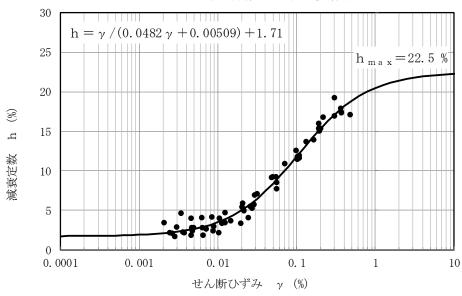


図 3-2 埋戻土の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

減衰定数のひずみ依存特性

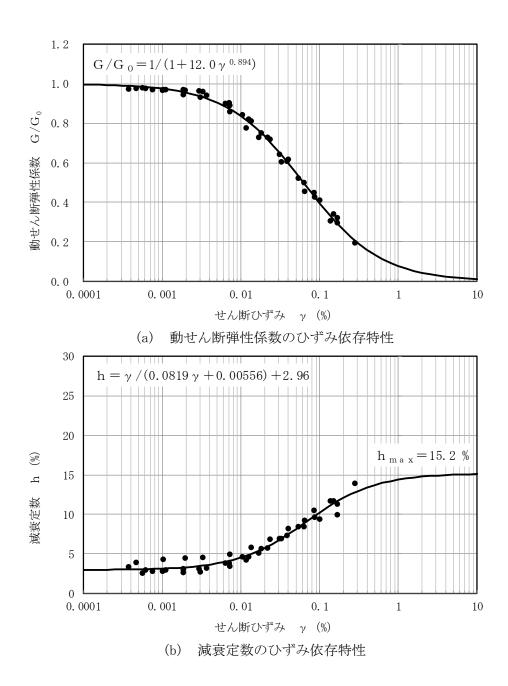


図3-3 埋戻土Ⅱの動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

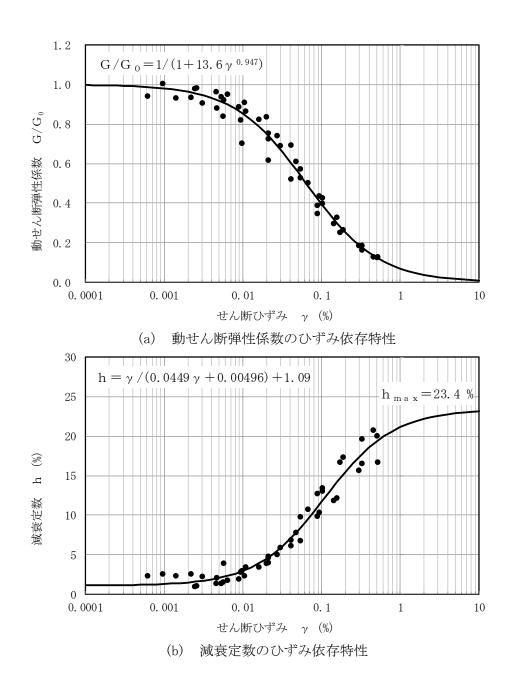


図3-4 新期砂層の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

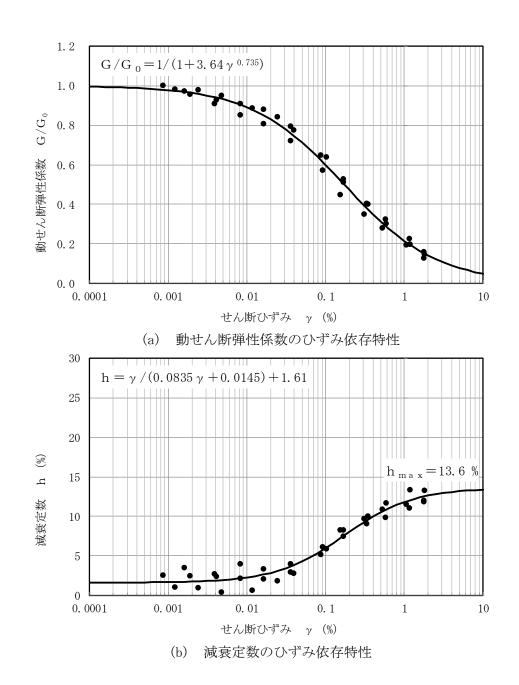


図 3-5 沖積層上部(シルト質)の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

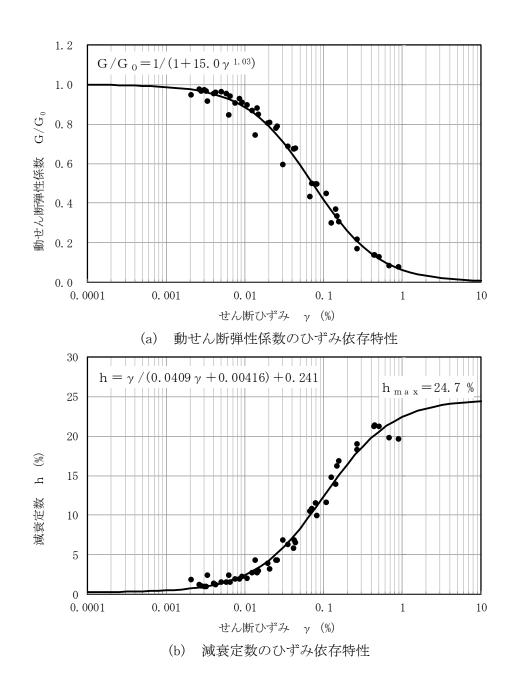


図3-6 沖積層上部(砂質)の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

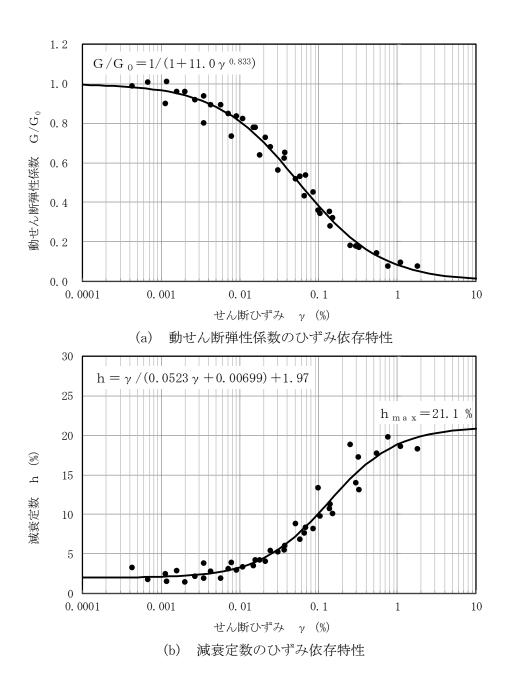


図 3-7 沖積層下部の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

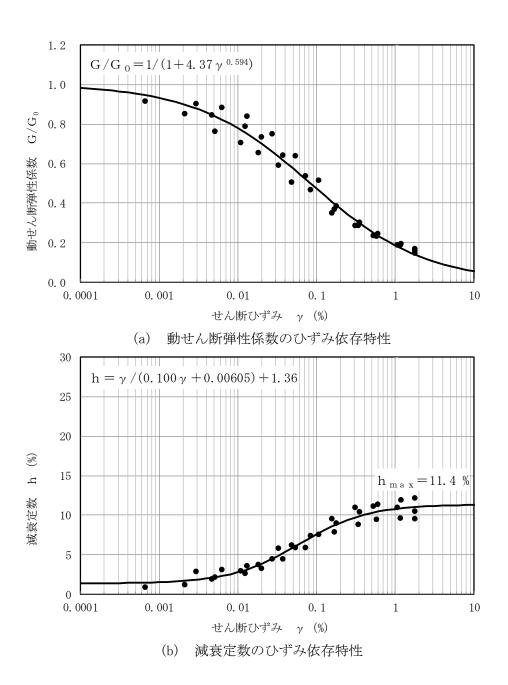


図 3-8 A3c 層の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

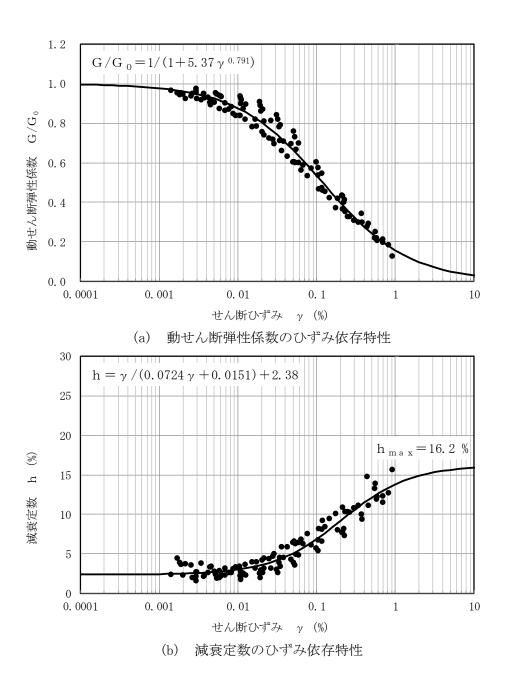


図 3-9 A3a1 層の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

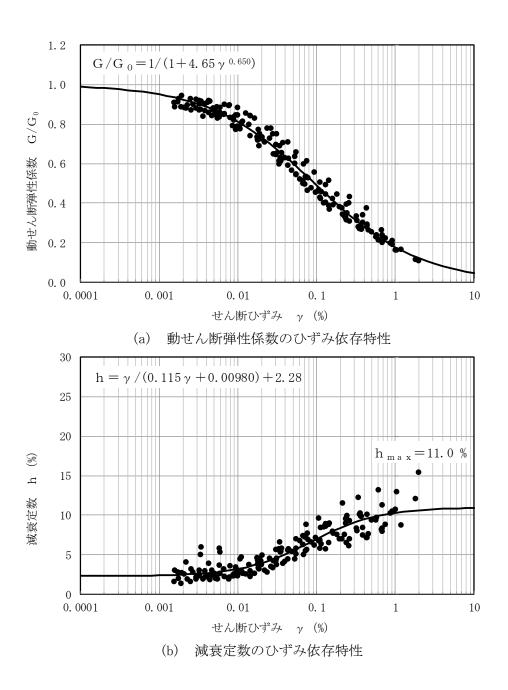


図 3-10 A2c 層の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

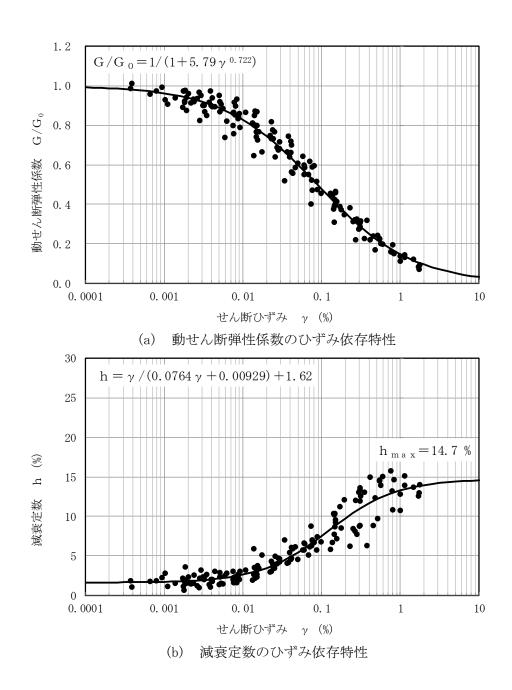


図 3-11 A2al 層の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

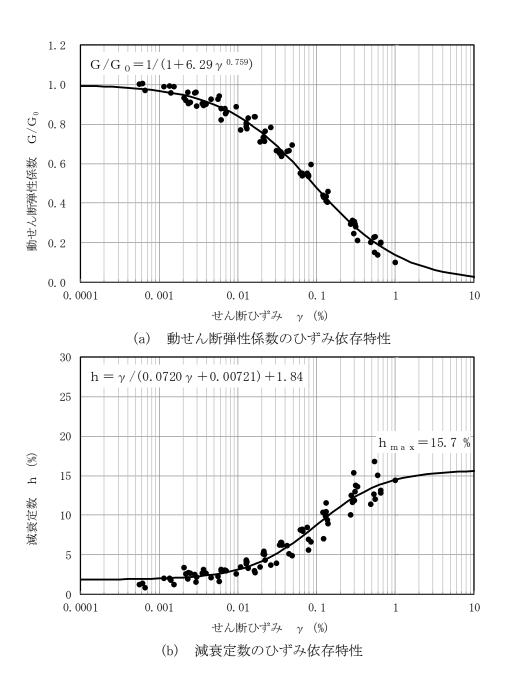


図 3-12 A2s 層の動せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存特性

## 3.3.4 粘着力・内部摩擦角

地盤の強度特性は、三軸圧縮試験(CU条件)に基づき設定した。なお、液状化検討対象層のうち地下水位以深の地層については、有効応力解析に用いる解析コードFLIPにおいては、粘着力 c'を 0 として、内部摩擦角  $\phi$ 'を設定する。

各地層の三軸圧縮試験結果及び強度定数を図3-13~図3-23に示す。

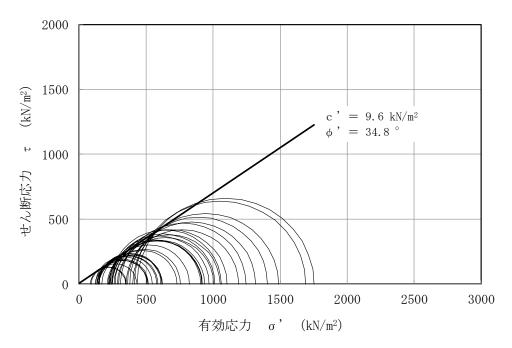


図 3-13 埋戻土の三軸圧縮試験結果及び強度定数

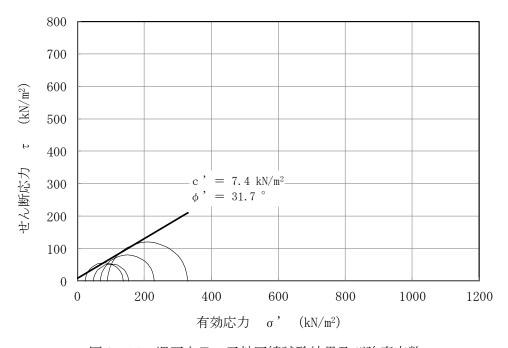


図 3-14 埋戻土Ⅱの三軸圧縮試験結果及び強度定数

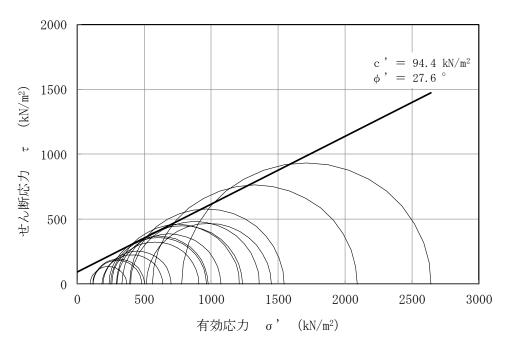


図 3-15 新期砂層の三軸圧縮試験結果及び強度定数

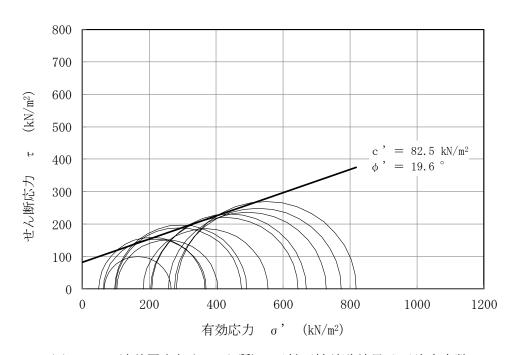


図 3-16 沖積層上部(シルト質)の三軸圧縮試験結果及び強度定数

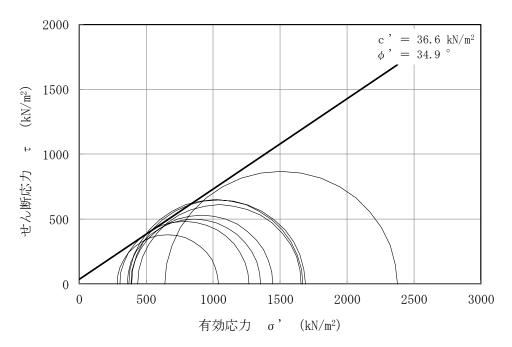


図 3-17 沖積層上部(砂質)の三軸圧縮試験結果及び強度定数

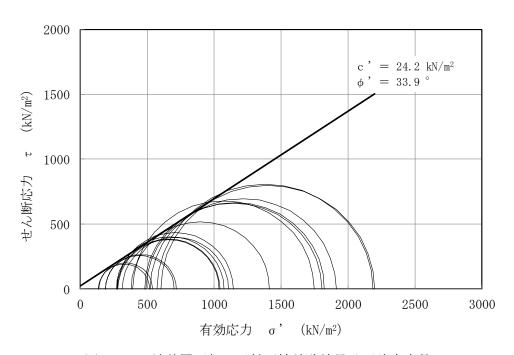


図 3-18 沖積層下部の三軸圧縮試験結果及び強度定数

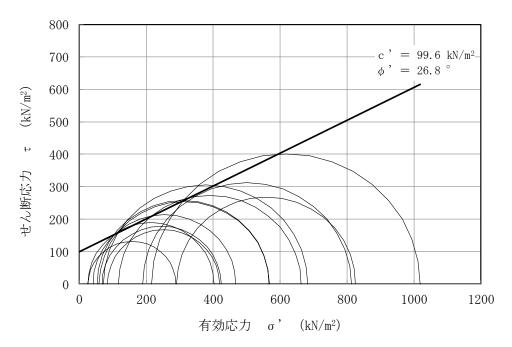


図 3-19 A3c 層の三軸圧縮試験結果及び強度定数

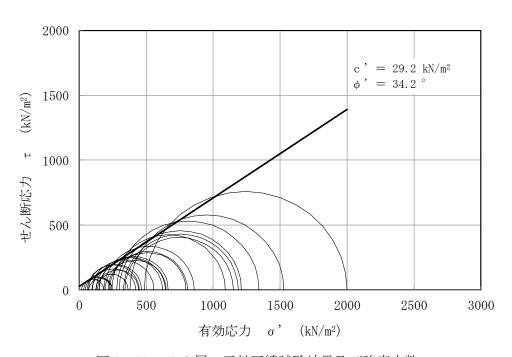


図 3-20 A3al 層の三軸圧縮試験結果及び強度定数

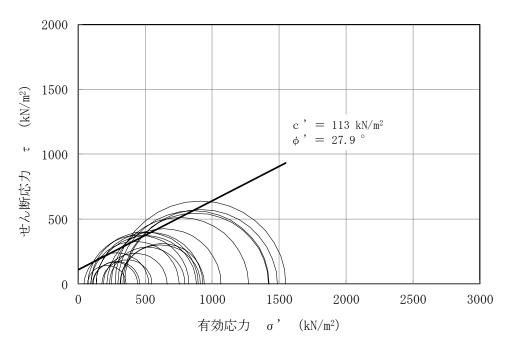


図 3-21 A2c 層の三軸圧縮試験結果及び強度定数

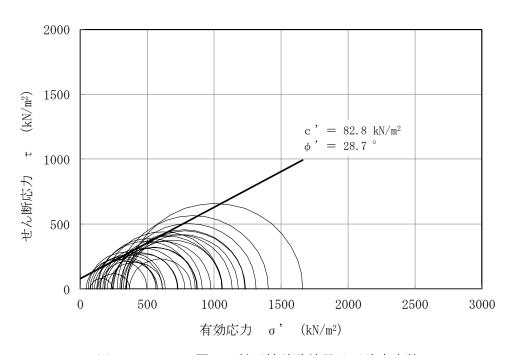


図 3-22 A2a1 層の三軸圧縮試験結果及び強度定数

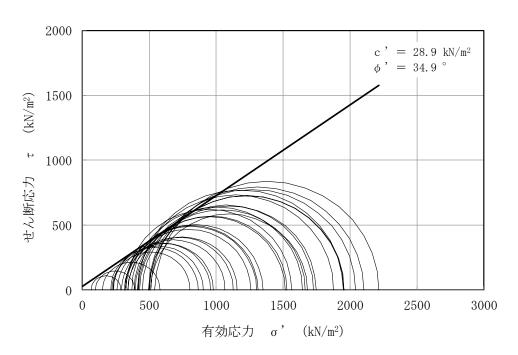


図 3-23 A2s 層の三軸圧縮試験結果及び強度定数

# 3.4 液状化強度特性

# 3.4.1 液状化強度試験

液状化強度試験の試験条件一覧を表 3-9~表 3-13 に示す。液状化強度試験結果を図 3-24~図 3-28 に示す。液状化強度試験結果の全データについては,図 3-29~図 3-128 に示す。

表 3-9 液状化強度試験 試験条件一覧(埋戻土)

試料番号	供試体番号	試料の	試料採取深度	圧密圧力	せん断応力比
		採取方法	G. L	σ΄ <sub>c</sub>	τ <sub>d</sub> / σ' <sub>c</sub>
			(m)	$(kN/m^2)$	
S0-S2''-2-7	1				0. 171
S0-S2-1-5	2	不攪乱	$3.51 \sim 3.78$	100	0. 191
S0-S2-1-6	3	(トリプルチューブ	3.51 - 3.78	100	0. 237
S0-S2-1-7	4	サンプリング)			0. 213
S0-S2-3-4	1				0.190
S0-S2-3-5	2	不攪乱	5. 13 ~ 5. 70	100	0. 146
S0-S2' -3-2	3	(トリプルチューブ	5. 13 10 5. 70	100	0. 168
S0-S2''-4-6	4	サンプリング)			0. 236
GTG-S2	2				0. 299
GTG-S2	4	不攪乱	$3.22 \sim 3.87$	50	0.338
GTG-S2	5	(トリプルチューブ	3. 22 - 3. 61	30	0. 272
GTG-S2	6	サンプリング)			0. 233
GTG-S3	2				0.304
GTG-S3	3	不攪乱	5.05 ~ 5.57	50	0.344
GTG-S3	4	(トリプルチューブ	5.05 - 5.57	50	0.465
GTG-S3	5	サンプリング)			0. 398
GTG-S4	2				0.310
GTG-S4	3	不攪乱	10 25 0. 10 97	50	0. 267
GTG-S4	4	(トリプルチューブ	$10.35 \sim 10.87$	50	0. 292
GTG-S4	5	サンプリング)			0. 238

表 3-10 液状化強度試験 試験条件一覧(新期砂層)

試料番号	供試体番号	試料の	試料採取深度	圧密圧力	せん断応力比
		採取方法	G. L	σ' c	τ <sub>d</sub> / σ' <sub>c</sub>
			(m)	$(kN/m^2)$	
GTG-S3	3				0. 314
GTG-S3	4	不攪乱	$6.72 \sim 7.24$	200	0. 273
GTG-S3	5	(トリプルチューブ	0.72 10 7.24	200	0. 231
GTG-S3	6	サンプリング)			0. 255
GTG-S3	2				0. 307
GTG-S3	3	不攪乱	$10.85 \sim 11.37$	200	0. 271
GTG-S3	4	(トリプルチューブ	10.85 11.37	200	0. 208
GTG-S3	5	サンプリング)			0.172
GTG-S4	2				0. 299
GTG-S4	4	不攪乱	$14.22 \sim 14.87$	200	0. 261
GTG-S4	5	(トリプルサンプラー)	14. 22 - 14. 07	200	0. 247
GTG-S4	6				0.217
S0-S1-1	1				0. 293
S0-S1-1	2	不攪乱	$6.61 \sim 7.09$	50	0.377
S0-S1-1	3	(トリプルチューブ	0.01 10 7.09	50	0.339
S0-S1-1	4	サンプリング)	_		0.315
S0-S1-2	3				0. 281
S0-S1-2	4	不攪乱	7.80 ~ 8.28	100	0. 249
S0-S1-2	5	(トリプルチューブ	1.00 ~ 0.28	100	0. 195
S0-S1-2	6	サンプリング)			0. 227

表 3-11 液状化強度試験 試験条件一覧 (沖積層上部 (砂質))

試料番号	供試体番号	試料の	試料採取深度	圧密圧力	せん断応力比
		採取方法	G. L	σ' c	$\tau_{\rm d}$ / $\sigma$ ' $_{\rm c}$
			(m)	$(kN/m^2)$	
S0-S1-7	1				0. 295
S0-S1-7	2	不攪乱	$13.11 \sim 13.59$	100	0.395
S0-S1-7	3	(トリプルチューブ	15.11 ~ 15.59	100	0.346
S0-S1-7	4	サンプリング)			0.450
S0-S1-8	3	不攪乱			0.378
S0-S1-8	5	(トリプルチューブ	14.30 ~ 14.78	150	0. 293
S0-S1-8	6	サンプリング)			0. 227

表 3-12 液状化強度試験 試験条件一覧(沖積層下部)

試料番号	供試体番号	試料の	試料採取深度	圧密圧力	せん断応力比
		採取方法	G. L. –	σ' c	τ d / σ' c
			(m)	$(kN/m^2)$	
GTG-S6	2	不攪乱 (トリプルチューブ サンプリング)	11.70 ~ 14.70	250	0.286
GTG-S6	5				0.211
GTG-S6	6				0.232
GTG-S6	7				0. 209
GTG-S6	2	不攪乱 (トリプルチューブ サンプリング)	15.70 ~ 16.65	250	0.280
GTG-S6	3				0.211
GTG-S6	4				0. 233
GTG-S6	5				0.262
GTG-S6'	3	不攪乱 (トリプルチューブ サンプリング)	12.70 ~ 13.70	250	0.280
GTG-S6'	4				0.240
GTG-S6'	5				0. 293
GTG-S6'	6				0.216
S0-S1-12	1	不攪乱 (トリプルチューブ サンプリング)	21. 10 ~ 21. 58	150	0.295
S0-S1-12	2				0.329
S0-S1-12	3				0.270
S0-S1-12	4				0.447
S0-S1-13	13-7	不攪乱 (トリプルチューブ サンプリング)	22.83 ~ 23.71	150	0.349
S0-S1-14	14-4				0.390
S0-S1-14	14-5				0.366

表 3-13 液状化強度試験 試験条件一覧 (古安田層 (A2s 層))

試料番号	供試体番号	試料の	試料採取深度	圧密圧力	せん断応力比
		採取方法	G. L	σ' c	τ d / σ' c
			(m)	$(kN/m^2)$	
FS-2-2-2*	1				0.507
FS-3-2-1*	2	不攪乱	$27.68 \sim 28.16$	363	0.601
FS-3-2-2*	3	(凍結サンプリング)	21.68 ~ 28.16	303	0.779
FS-3-2-3*	4				0.637
FS-4-1-2*	5				0.508
FS-4-1-3*	6	不攪乱 (凍結サンプリング)	26.95 ~ 27.63	363	0.605
FS-4-1-4*	7				0.779
FS-4-1-5*	8				0.683
FS-3-1-2*	9	不攪乱 (凍結サンプリング)	26.88 ~ 27.48	363	0.511
FS-3-1-3*	10				0.458
FS-3-1-4*	11				0.350
FS-3-1-5*	12				0.639
FS-2-6-2*	1				0.594
FS-3-8-3*	2	不攪乱 (凍結サンプリング)	31.65 ~ 34.75	412	0.515
FS-3-9-2*	3				0.790
FS-4-7-2*	4				0.723
FS-4-8-2*	9				0.572
FS-4-8-3*	10	不攪乱 (凍結サンプリング)	32.95 ~ 33.55	412	0.530
FS-4-8-4*	11				0.696
FS-4-8-5*	12				0.651
FS02-2-8	1				0.499
FS02-2-9	2	不攪乱			0.575
FS02-2-10	3	(凍結サンプリング)	$22.70 \sim 23.45$	412	0.477
FS02-2-11	4				0.440
FS02-2-12	5				0.710
FS02-2-13	1				0.517
FS02-2-14	2	不攪乱			0.655
FS02-2-15	3	(凍結サンプリング)	23.73 ~ 24.45	412	0.625
FS02-2-16	4				0.555
FS02-3-9	5				0.567
FS02-2-18	1	不攪乱(凍結サンプリング)	25. 10 ~ 25. 70	412	0.519
FS02-2-19	2				0.567
FS02-2-20	3				0.616
FS02-2-21	4				0.460

注記\*:設置変更許可申請時の説明に用いた試験

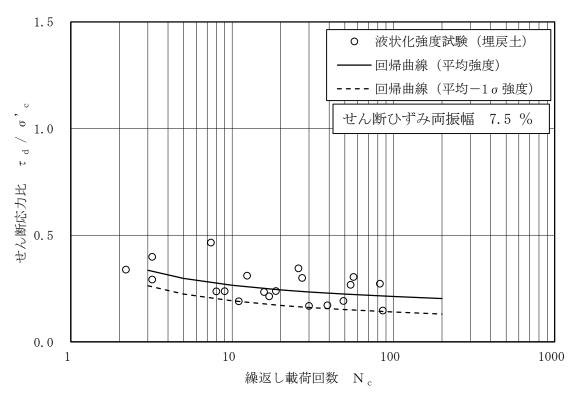


図 3-24 埋戻土の液状化強度試験結果

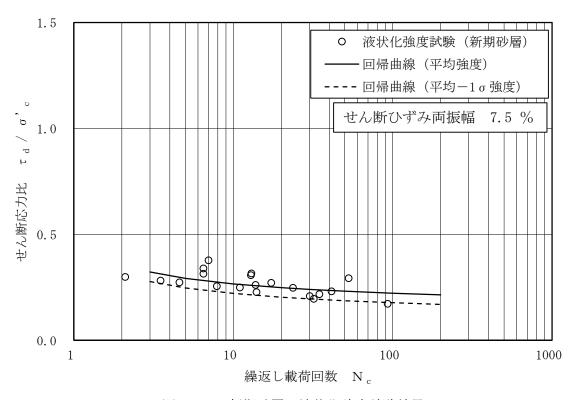


図 3-25 新期砂層の液状化強度試験結果

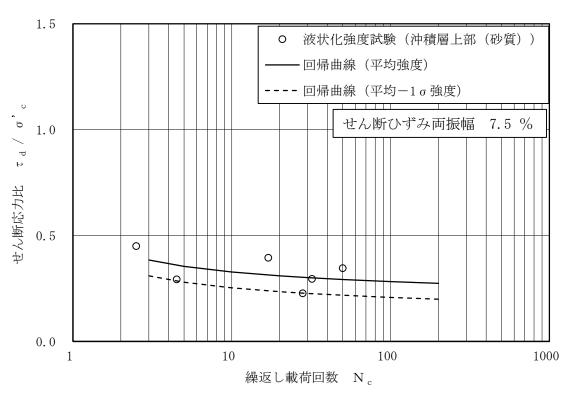


図 3-26 沖積層上部(砂質)の液状化強度試験結果

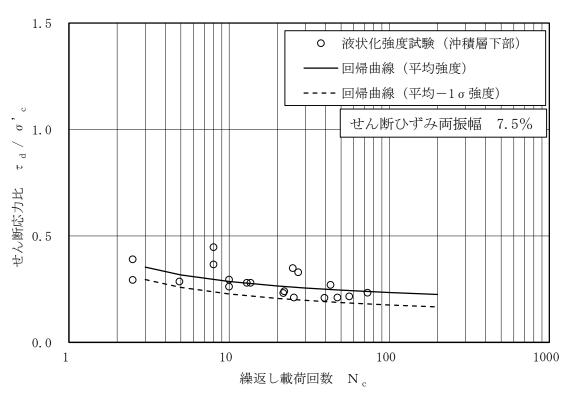


図 3-27 沖積層下部の液状化強度試験結果

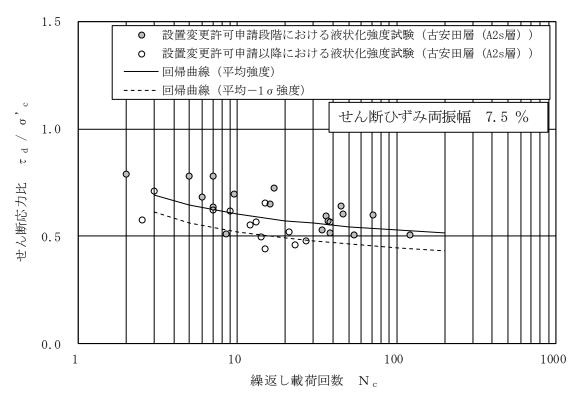
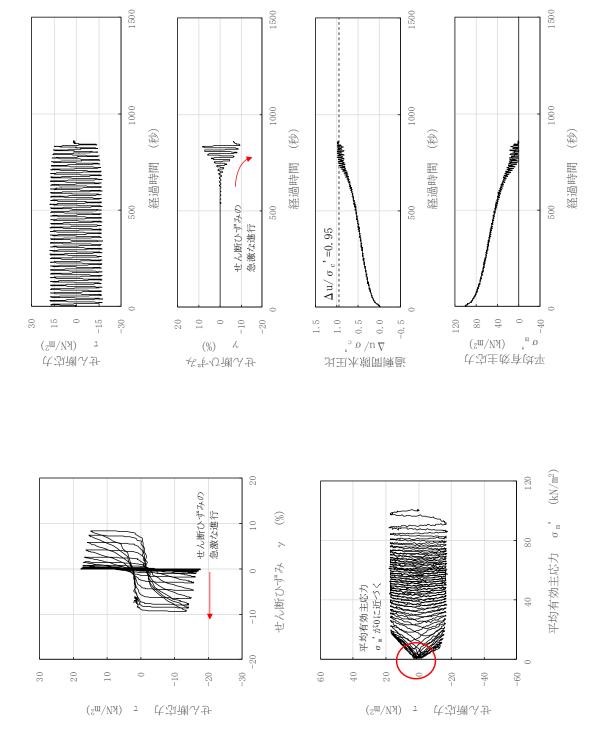
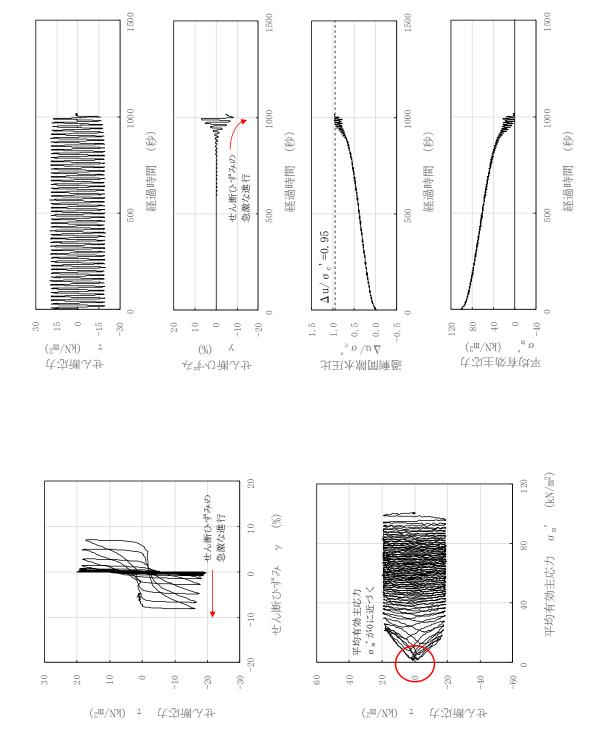


図 3-28 古安田層 (A2s 層) の液状化強度試験結果

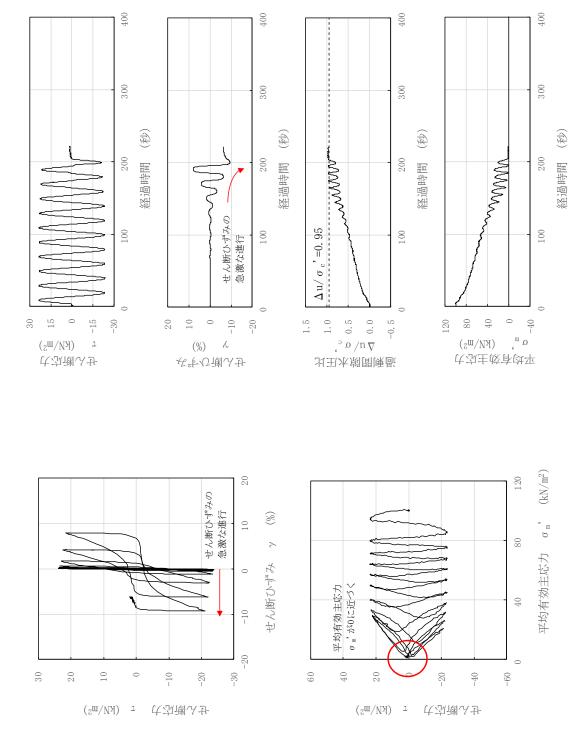


液状化試驗結果(埋戻土, SO-S2"-2-7, GL.-3.66~3.78m, 有効拘束圧 100kN/m², せん断応力比=0.171) 3 - 29X

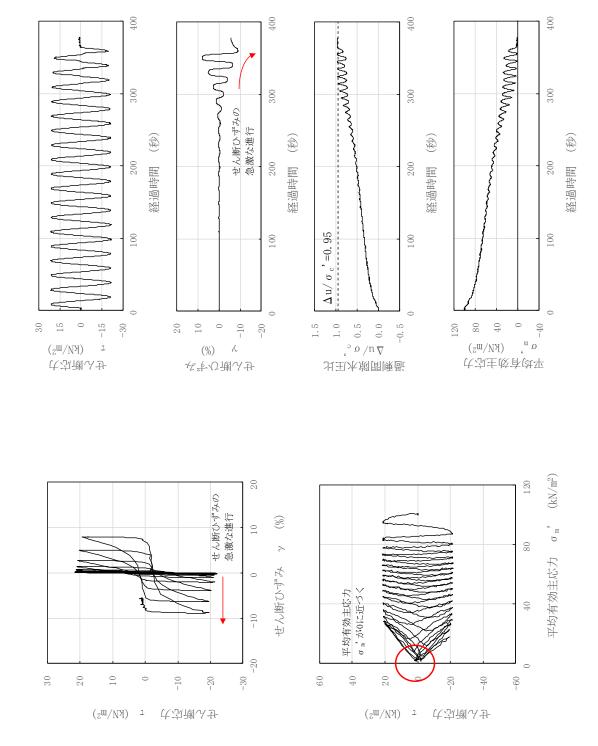


3-30 液状化試驗結果(埋戻土, S0-S2-1-5, GL.-3.39~3.51m, 有効拘束圧 100kN/m², せん断応力比=0.191) <u>×</u>

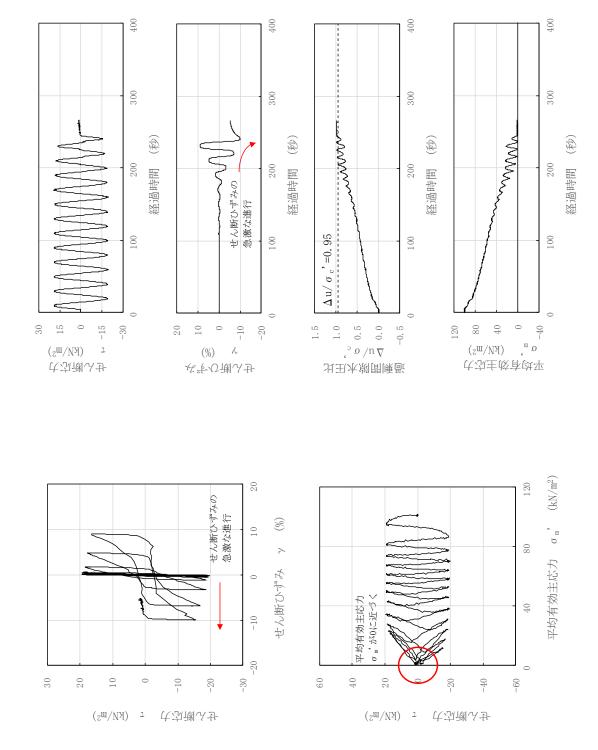
108



3-31 液状化試験結果(埋戻土, SO-S2-1-6, GL.-3.51~3.63m, 有効拘束圧 100kN/m², せん断応力比=0.237) <u>×</u>



3-32 液状化試験結果(埋戻土, SO-S2-1-7, GL.-3.63~3.75m, 有効拘束圧 100kN/m², せん断応力比=0.213) ×



3-33 液状化試驗結果(埋戻土, SO-S2-3-4, GL.-5.27~5.39m, 有効拘束圧 100kN/m², せん断応力比=0.190) ×

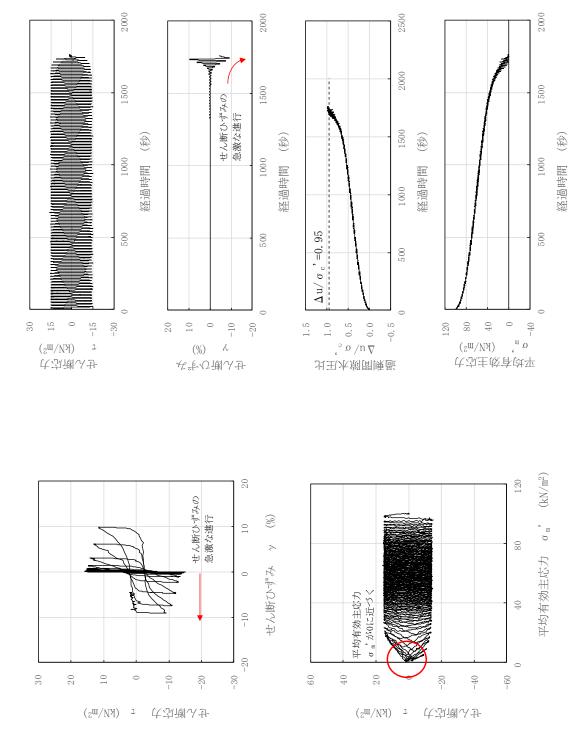
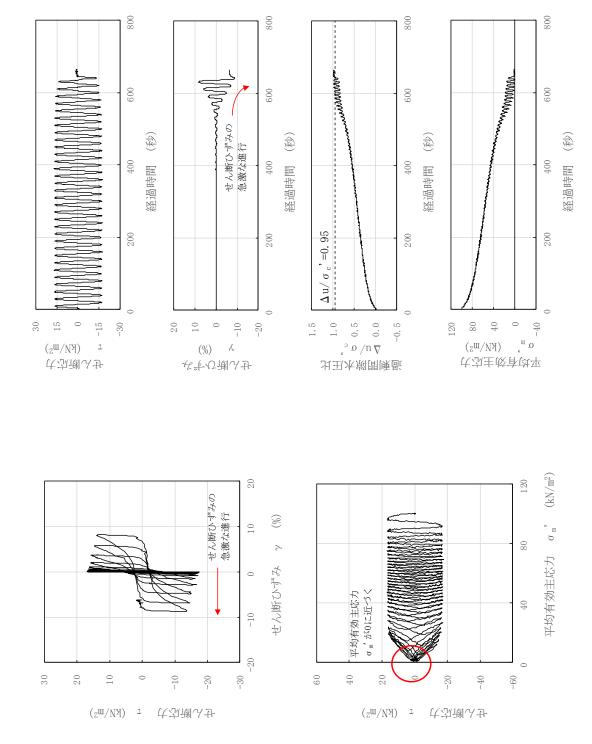
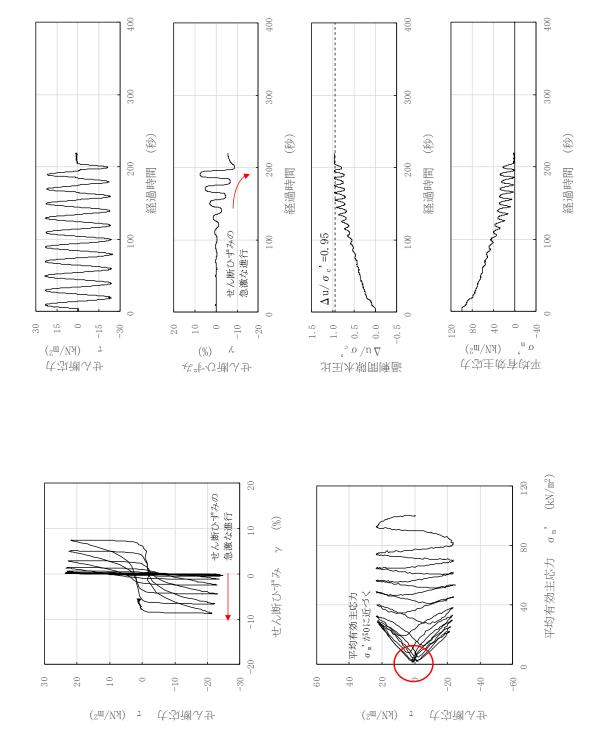


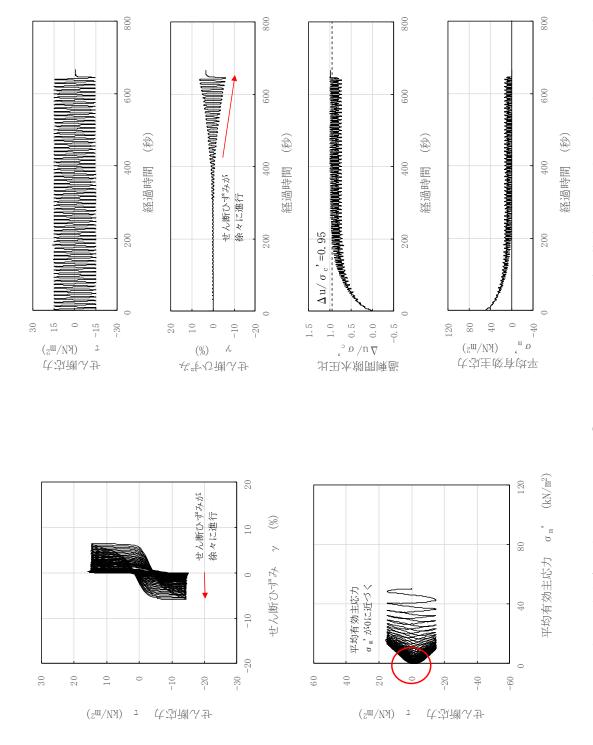
図 3-34 液状化試験結果(埋戻土, SO-S2-3-5, GL.-5.39~5.51m, 有効拘束圧 100kN/m², せん断応力比=0.146)



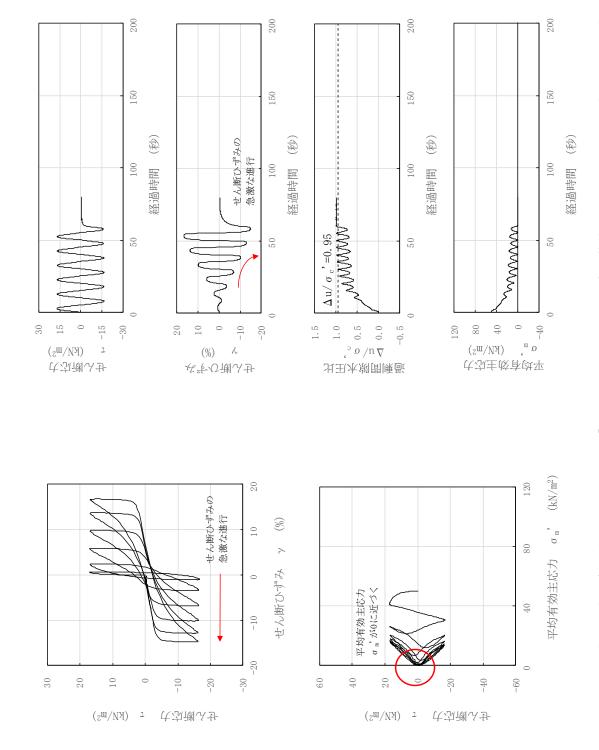
3-35 液状化試験結果(埋戻土, SO-S2'-3-2, GL.-5.13~5.25m, 有効拘束圧100kN/m², せん断応力比=0.168) ×



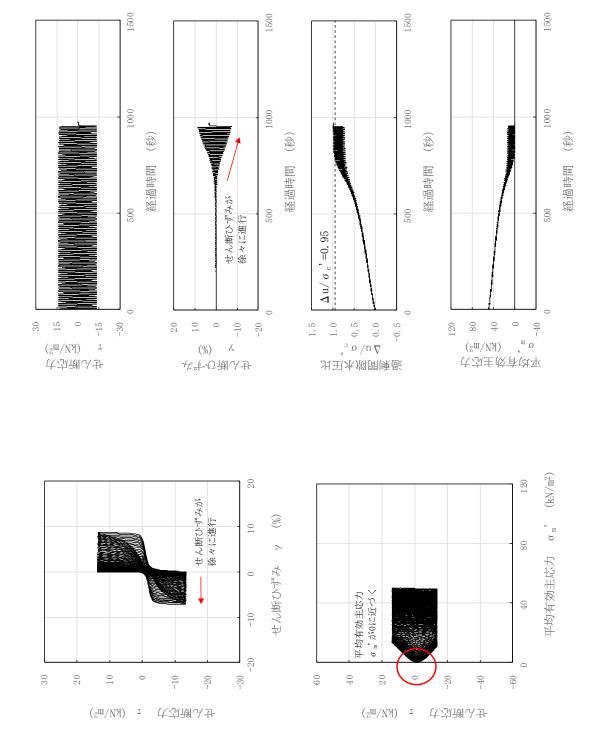
3-36 液状化試験結果(埋戻土, SO-S2"-4-6, GL.-5.58~5.70m, 有効拘束圧100kN/m², せん断応力比=0.236) X



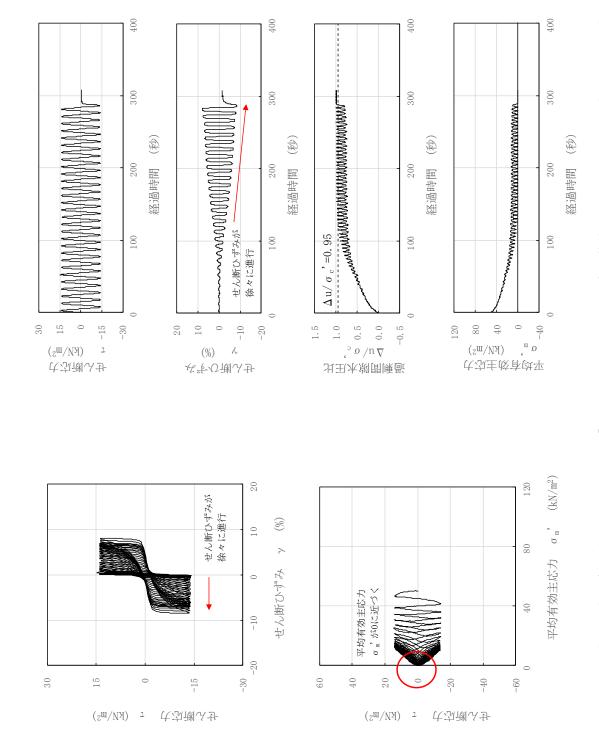
3-37 液状化試験結果 (埋戻土, GTG-S2-②, GL.-3.22~3.87m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.299) X



3-38 液状化試験結果 (埋戻土, GTG-S2-④, GL.-3.22~3.87m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.338) X



3-39 液状化試験結果 (埋戾土, GTG-S2-⑤, GL.-3.22~3.87m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.272) X



3-40 液状化試験結果 (埋戻土, GTG-S2-⑥, GL.-3.22~3.87m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.233) X

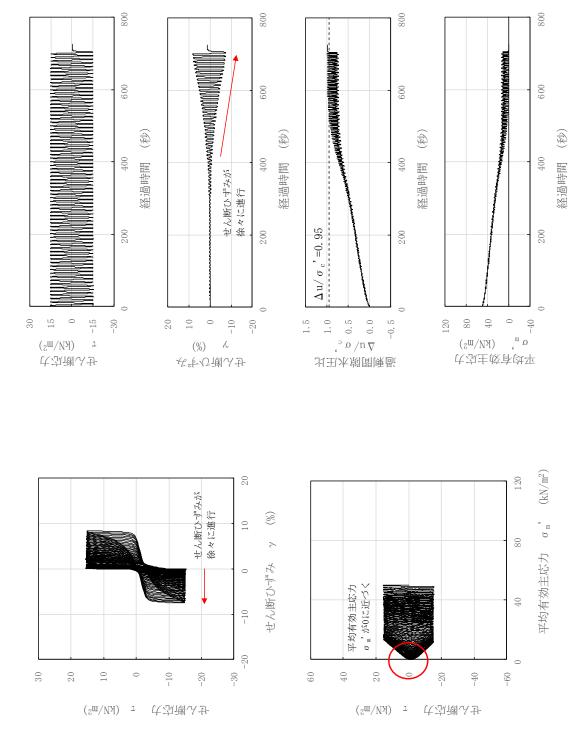
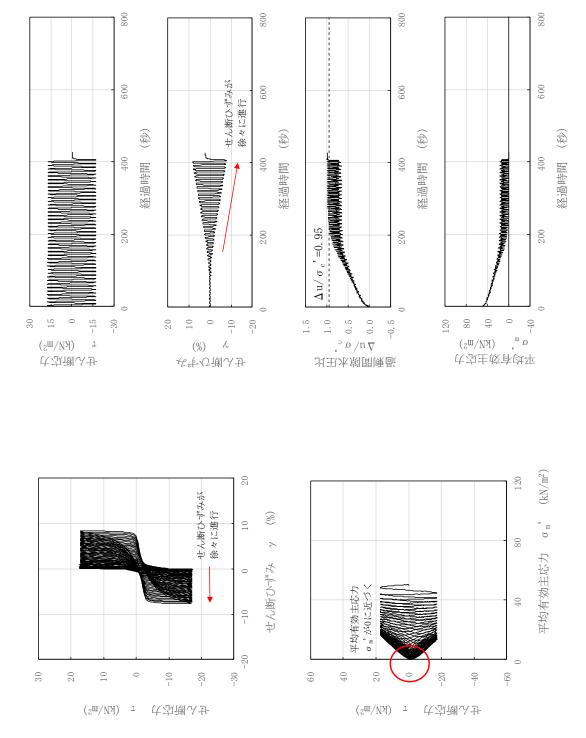
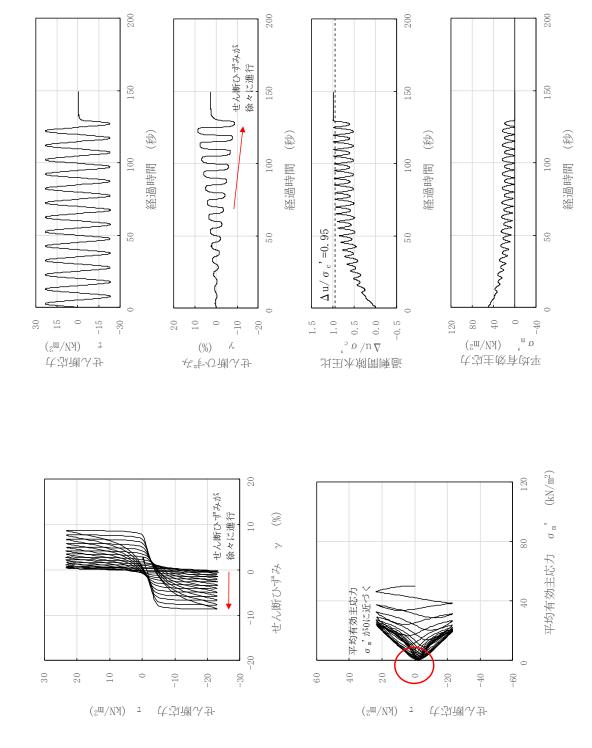


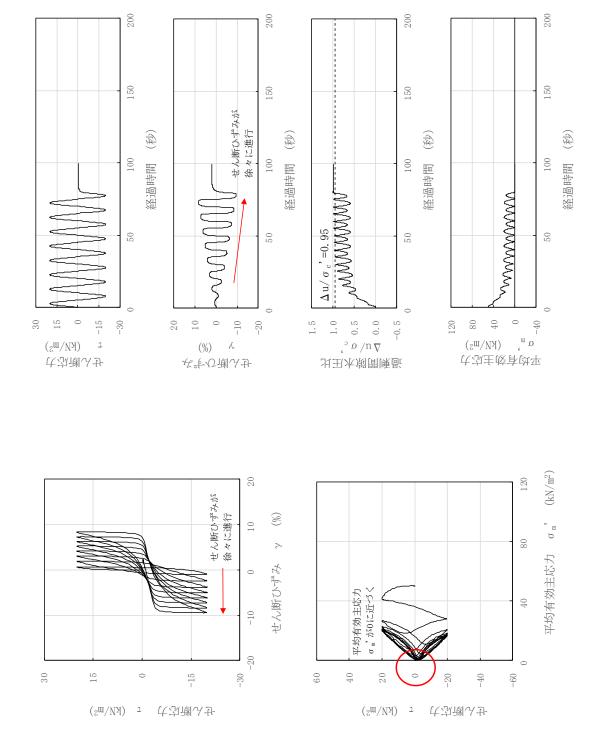
図 3-41 液状化試験結果(埋戻土, GTG-S3-②, GL.-5.05~5.57m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.304)



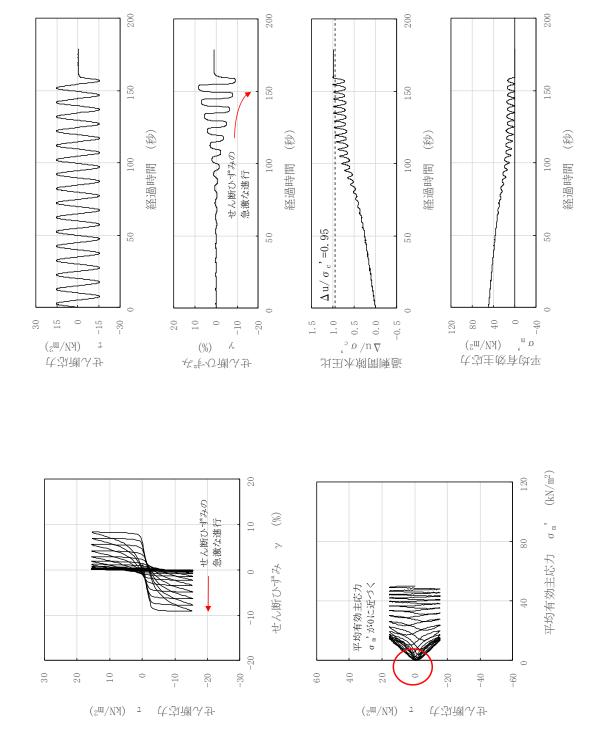
3-42 液状化試験結果 (埋戾土, GTG-S3-③, GL.-5.05~5.57m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.344) X



3-43 液状化試験結果 (埋戻土, GTG-S3-④, GL.-5.05~5.57m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.465) X



3-44 液状化試験結果 (埋戻土, GTG-S3-⑤, GL.-5.05~5.57m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.398) X



3-45 液状化試験結果 (埋戾土, GTG-S4-②, GL.-10.35~10.87m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.310) X

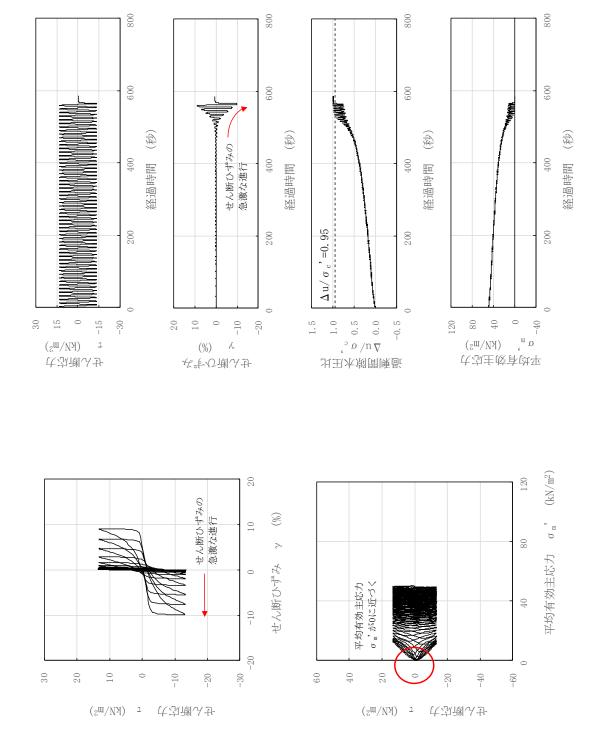


図 3-46 液状化試験結果(埋戻土, GTG-S4-③, GL.-10.35~10.87m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.267)

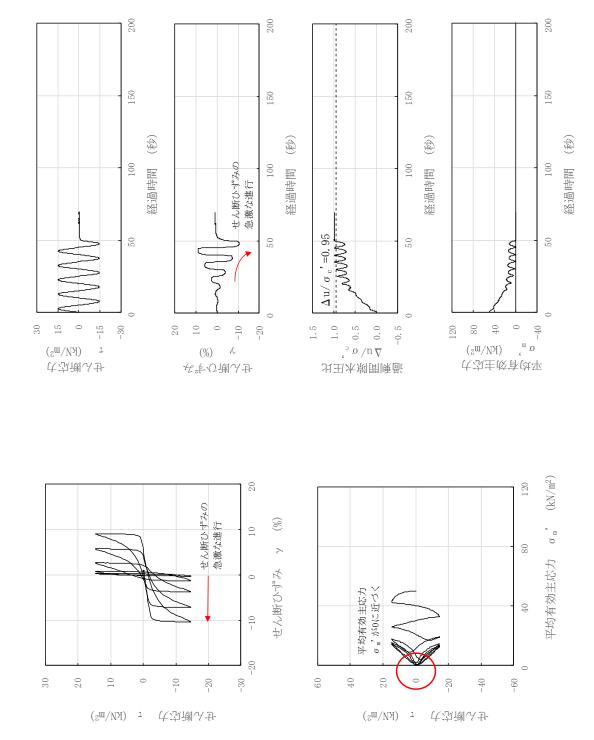
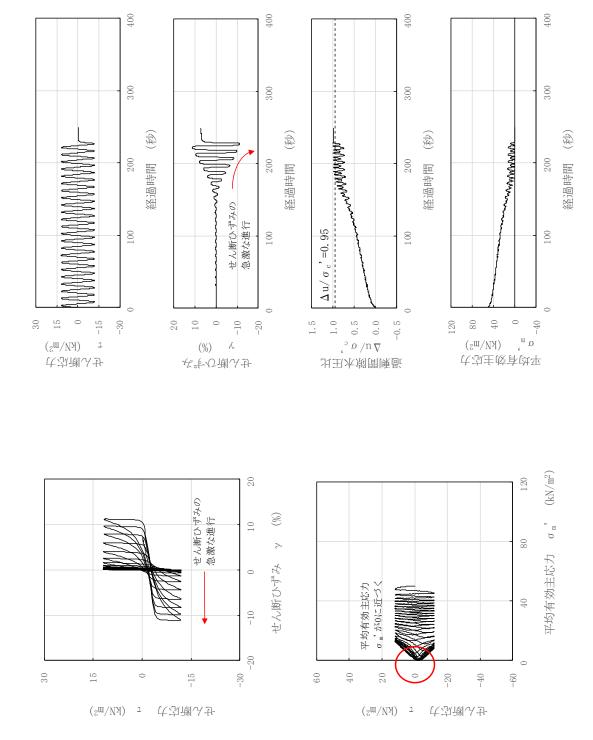
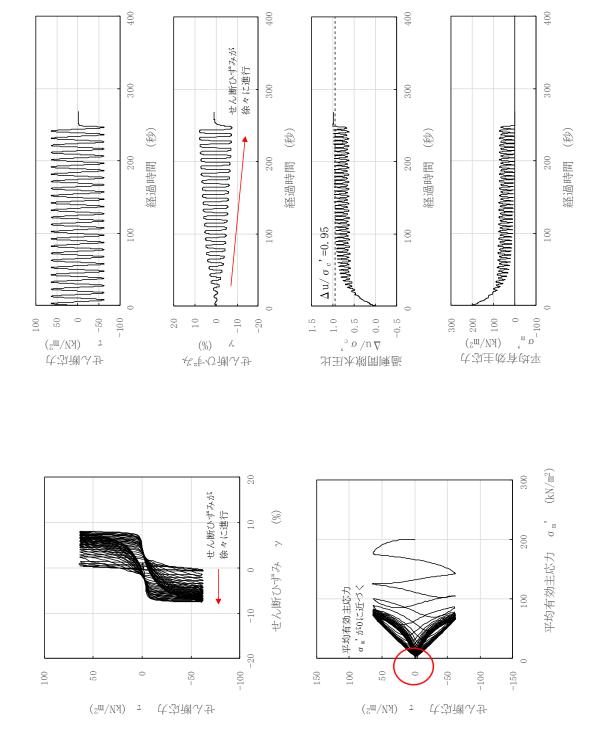


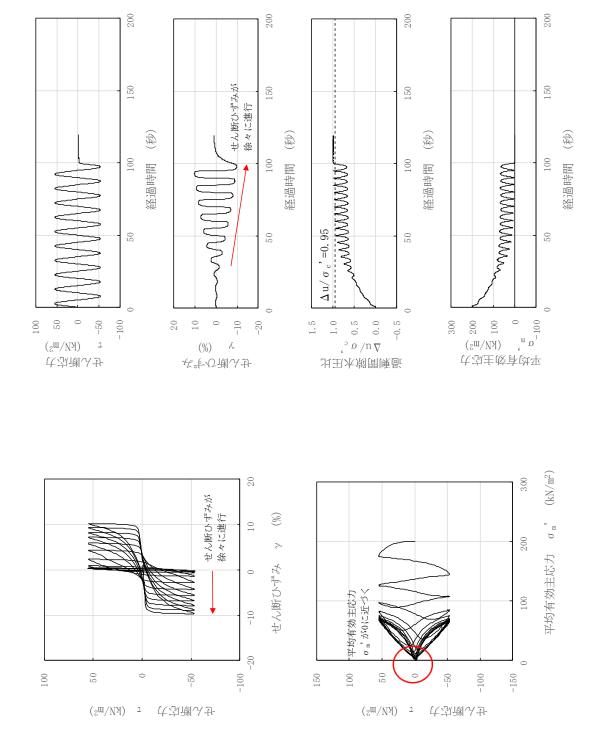
図 3-47 液状化試験結果(埋戻土, GTG-S4-④, GL.-10.35~10.87m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.292)



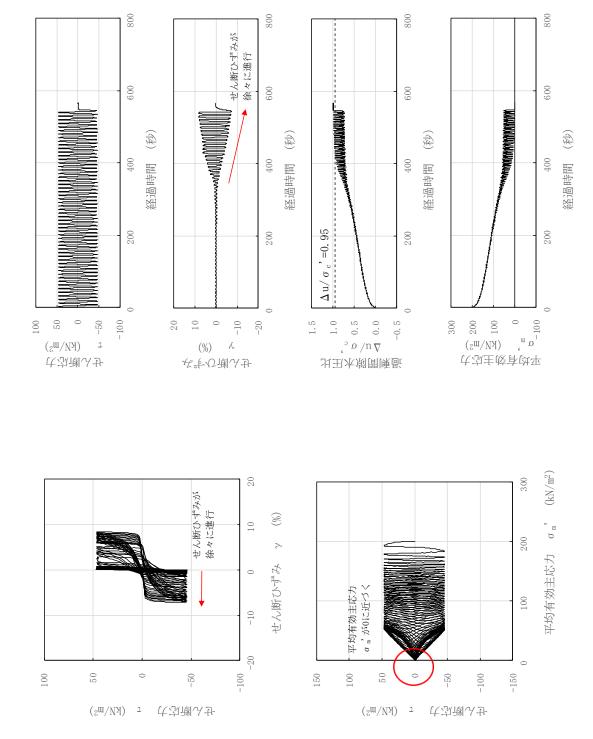
3-48 液状化試験結果 (埋戾土, GTG-S4-⑤, GL.-10.35~10.87m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.238) ×



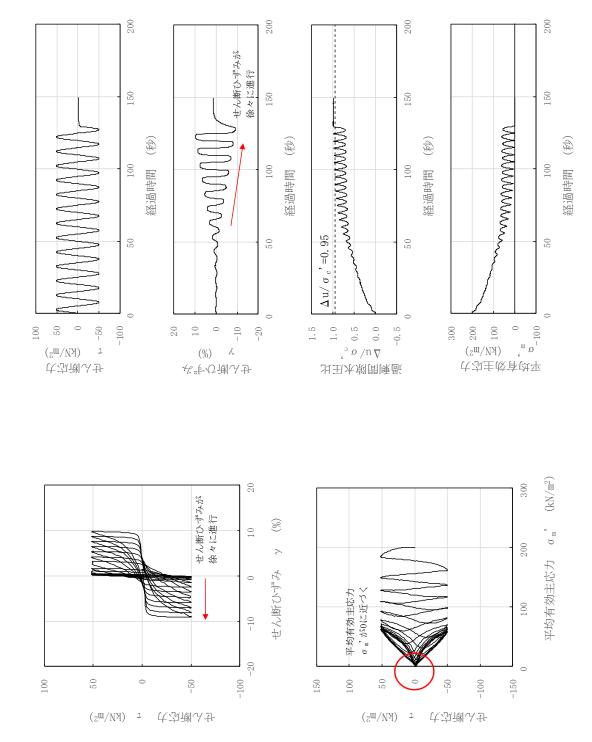
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S3-③, GL.-6.72~7.24m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.314) 3 - 49×



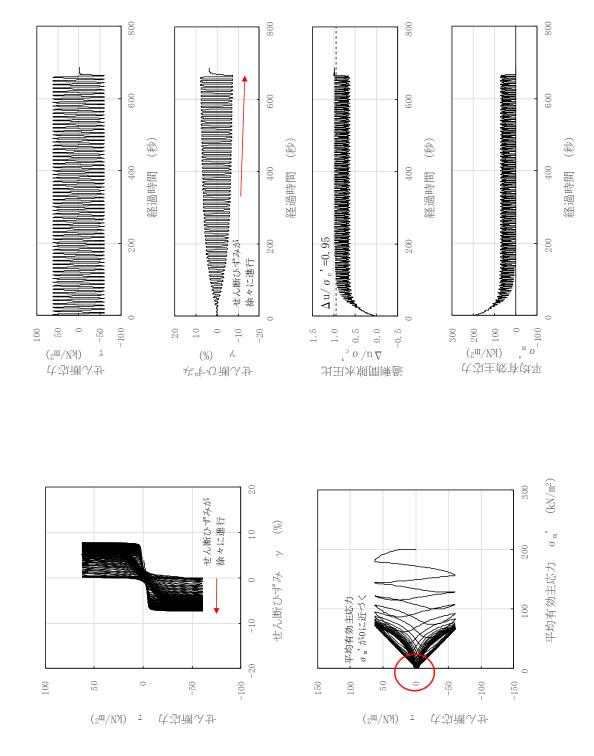
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S3-④, GL.-6.72~7.24m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.273) 3 - 50×



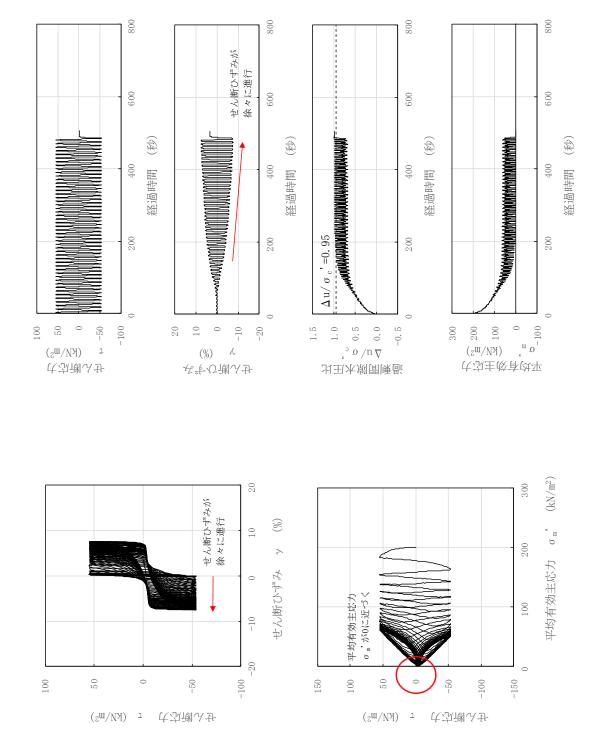
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S3-⑤, GL.-6.72~7.24m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.231) 3 - 51X



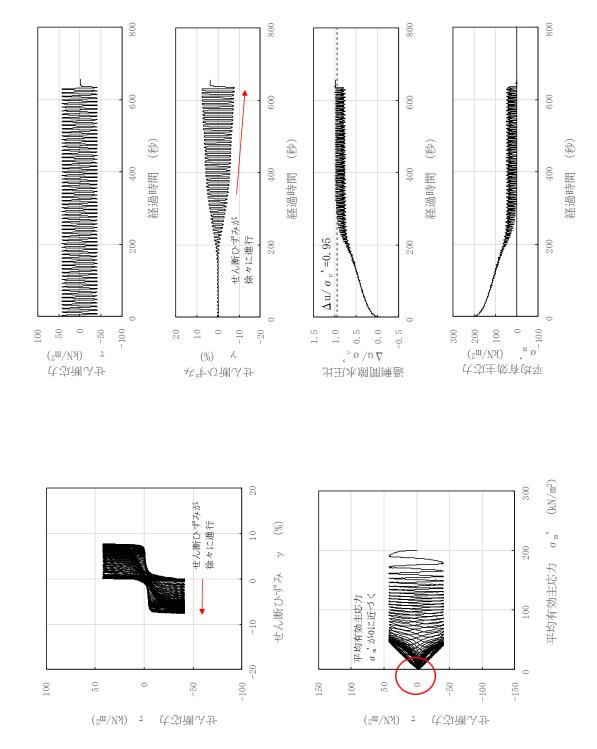
液状化試験結果 (新期砂層, GTG-S3-®, GL.-6.72~7.24m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.255) 3 - 52X



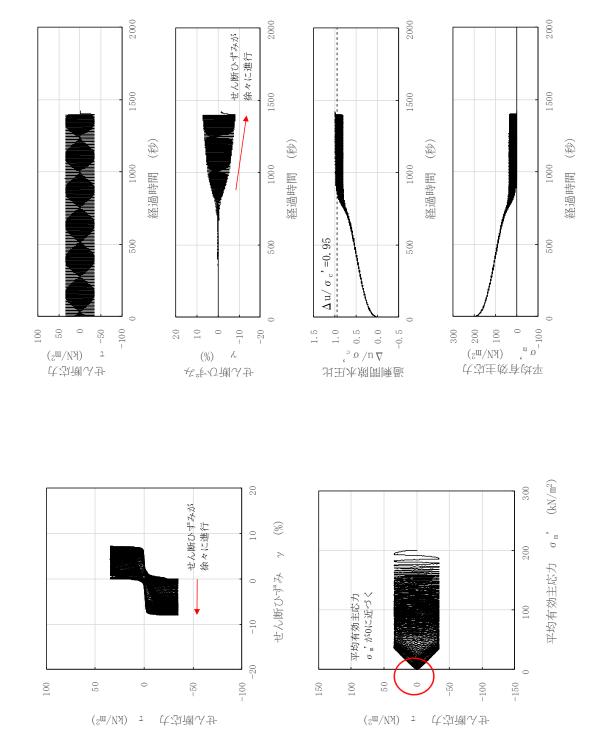
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S3-②, GL.-10.85~11.37m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.307) 3 - 53×



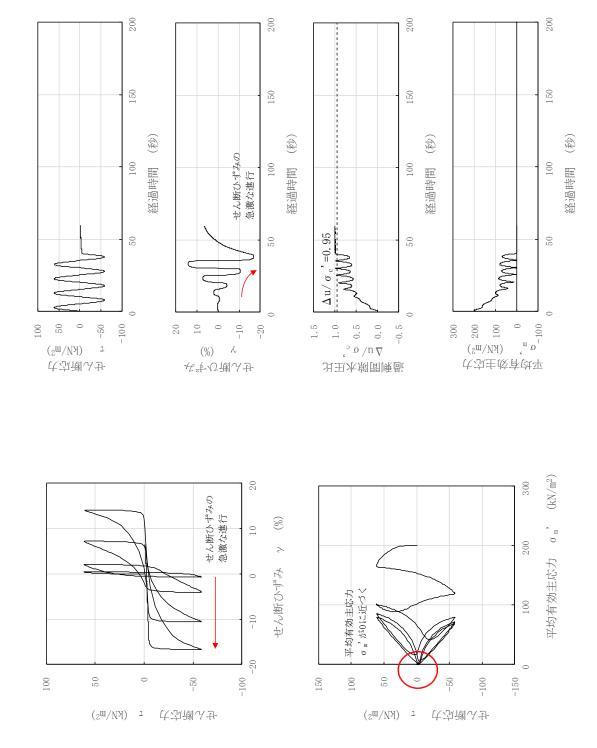
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S3-③, GL.-10.85~11.37m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.271) 3 - 54×



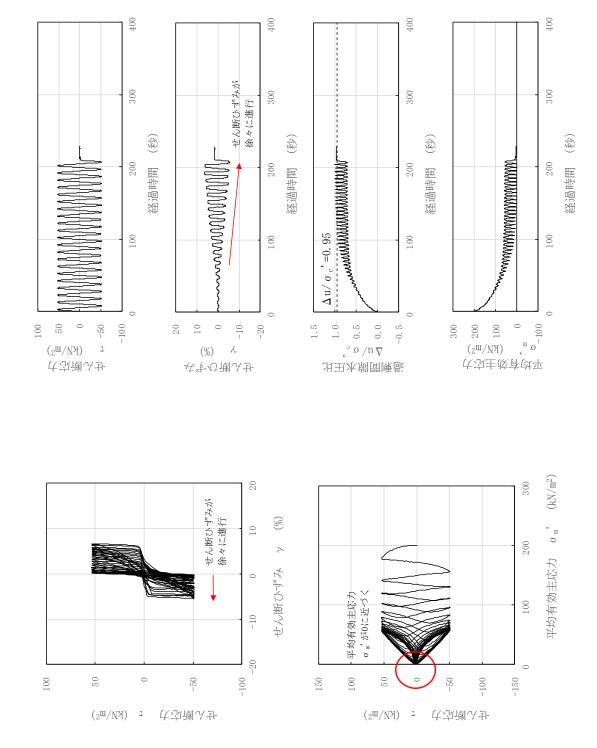
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S3-④, GL.-10.85~11.37m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.208) 3 - 55×



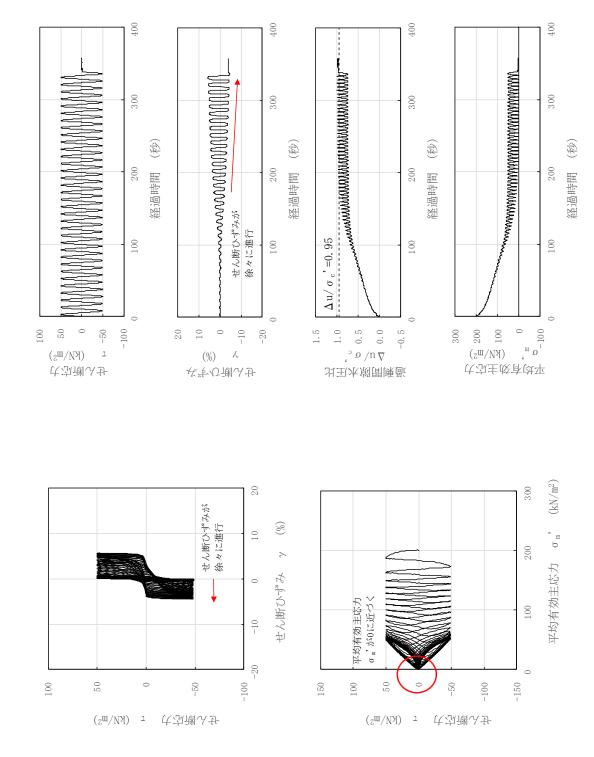
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S3-⑤, GL.-10.85~11.37m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.172) 3 - 56×



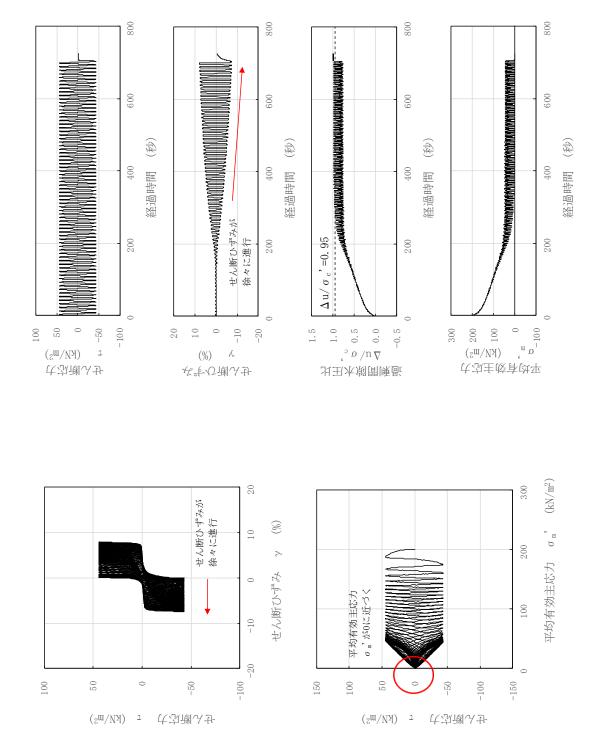
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S4-②, GL.-14.22~14.87m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.299) 3 - 57X



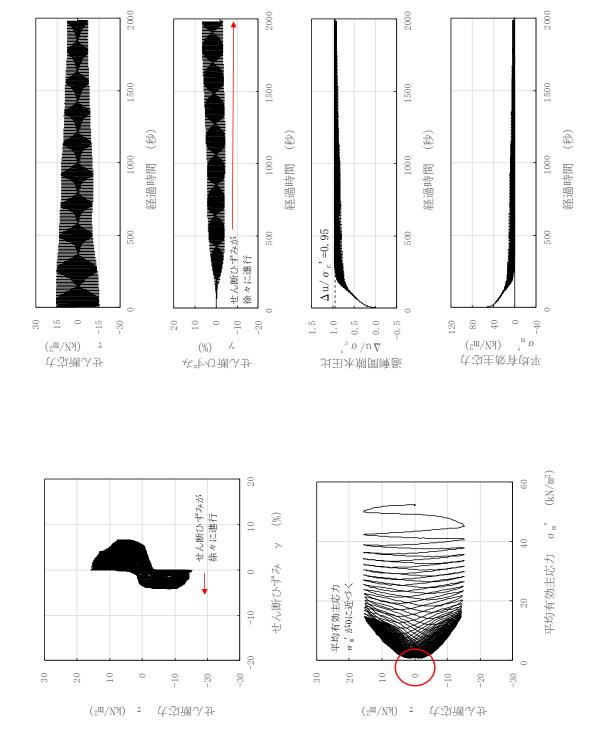
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S4-④, GL.-14.22~14.87m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.261) 3 - 58×



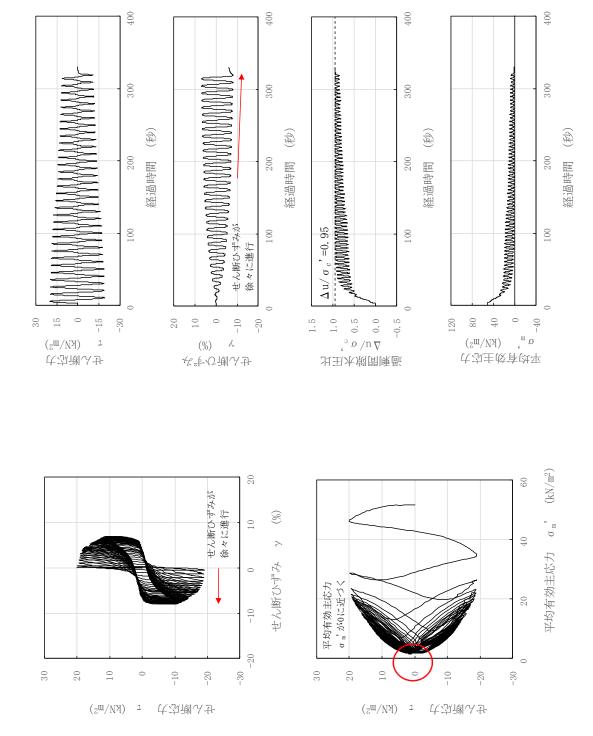
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S4-⑤, GL.-14.22~14.87m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.247) 3 - 59×



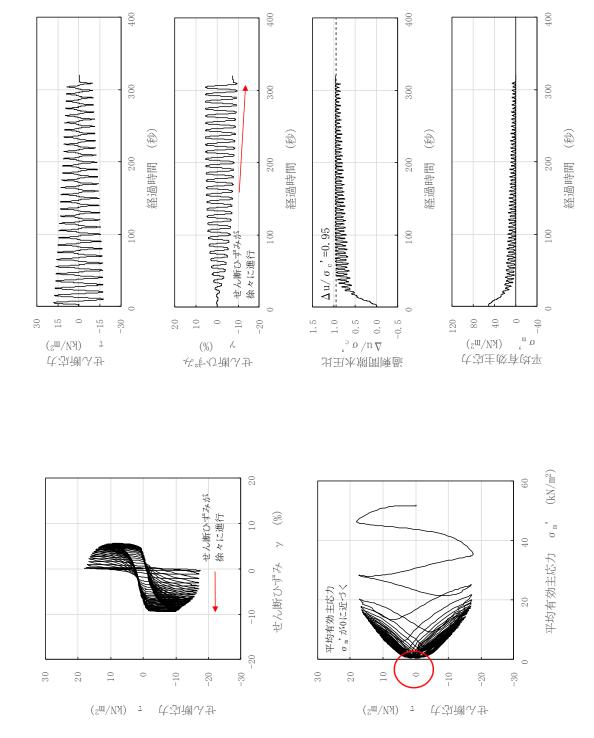
液状化試驗結果 (新期砂層, GTG-S4-®), GL.-14.22~14.87m, 有効拘束圧 200kN/m², せん断応力比=0.217) 3 - 60×



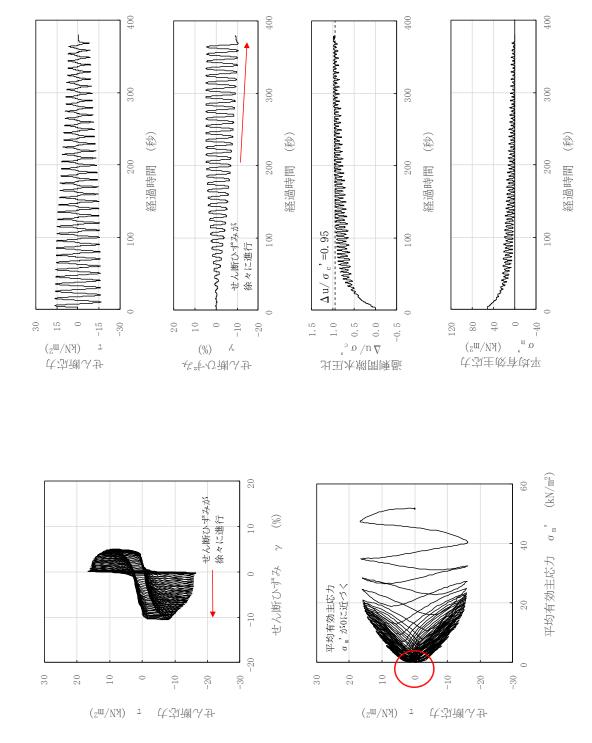
液状化試驗結果 (新期砂層, SO-S1-1-1, GL.-6.61~6.73m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.293) 3—61



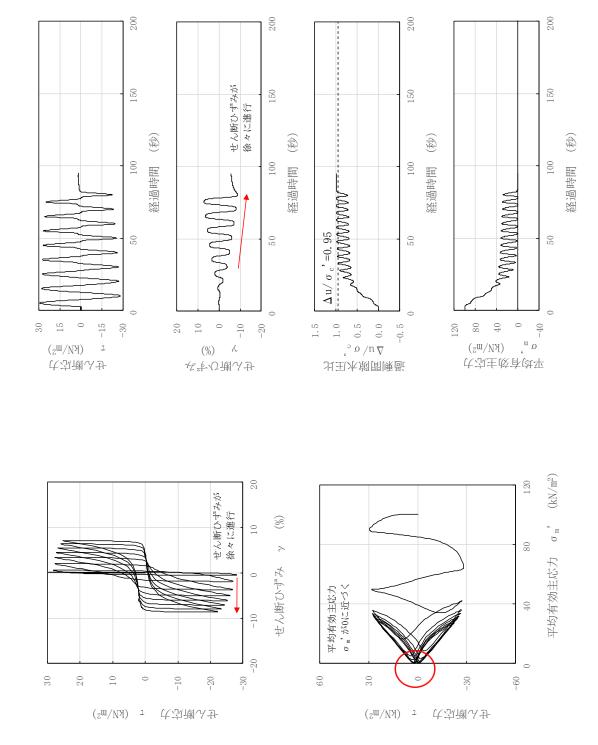
液状化試験結果 (新期砂層, SO-S1-1-2, GL. -6.73~6.85m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.377) 3 - 62X



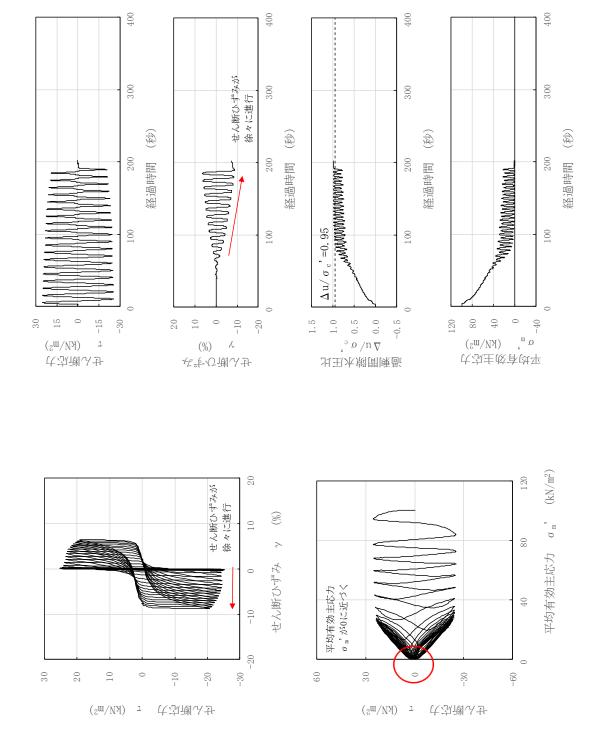
液状化試驗結果 (新期砂層, SO-S1-1-3, GL.-6.85~6.97m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.339) 3 - 63X



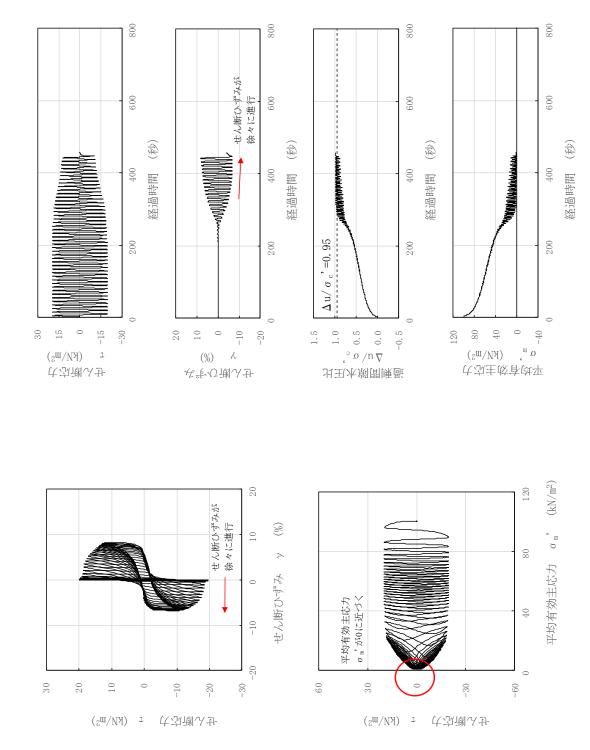
液状化試験結果 (新期砂層, SO-S1-1-4, GL. -6.97~7.09m, 有効拘束圧 50kN/m², せん断応力比=0.315) 3 - 64X



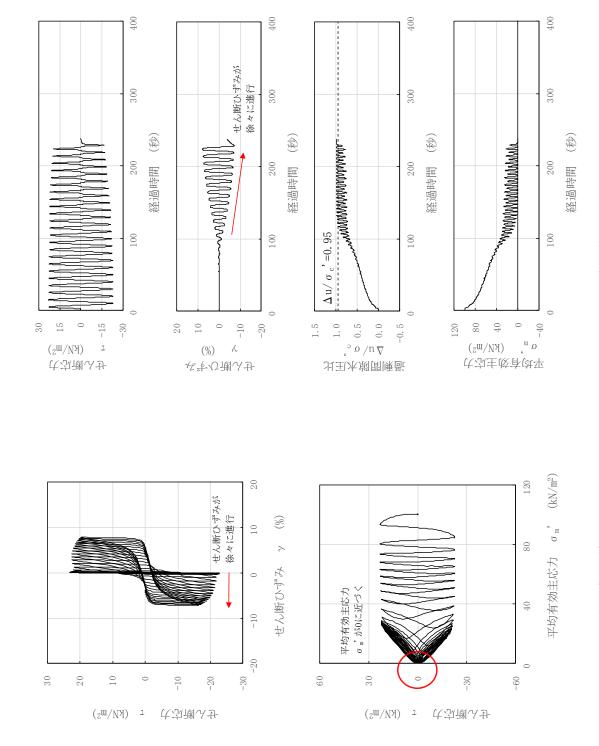
液状化試驗結果 (新期砂層, SO-S1-2-3, GL.-7.80~7.92m, 有効拘束圧 100kN/m², せん断応力比=0.281) 3 - 65X



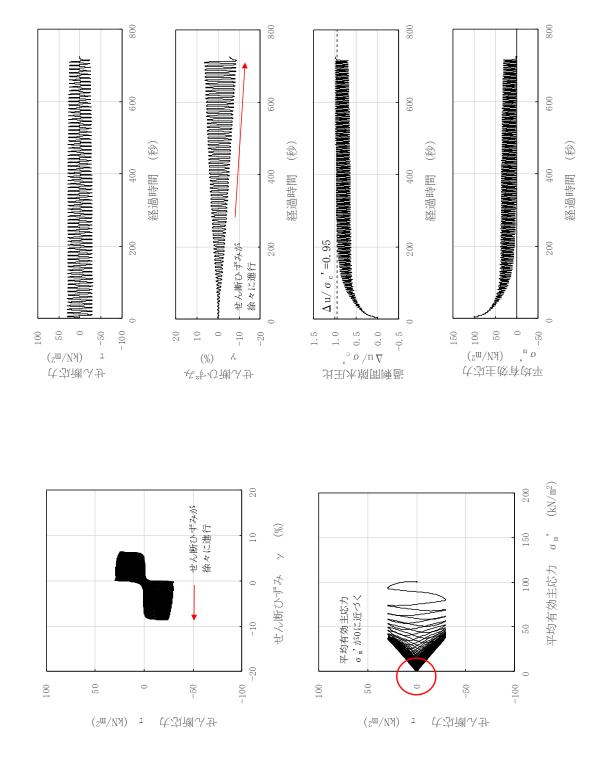
液状化試驗結果 (新期砂層, SO-S1-2-4, GL.-7.92~8.04m, 有効拘束圧 100kN/m², せん断応力比=0.249) 3 - 66X



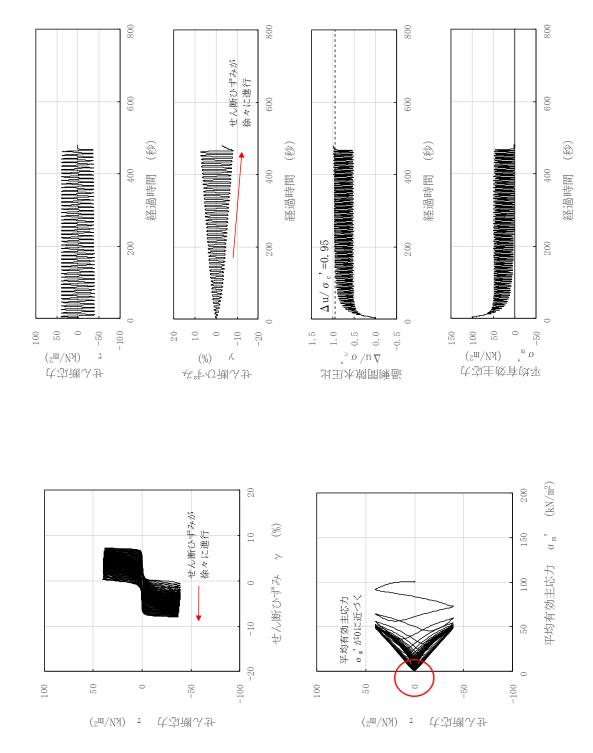
液状化試験結果 (新期砂層, SO-S1-2-5, GL.-8.04~8.16m, 有効拘束圧 100kN/m², せん断応力比=0.195) 3 - 67X



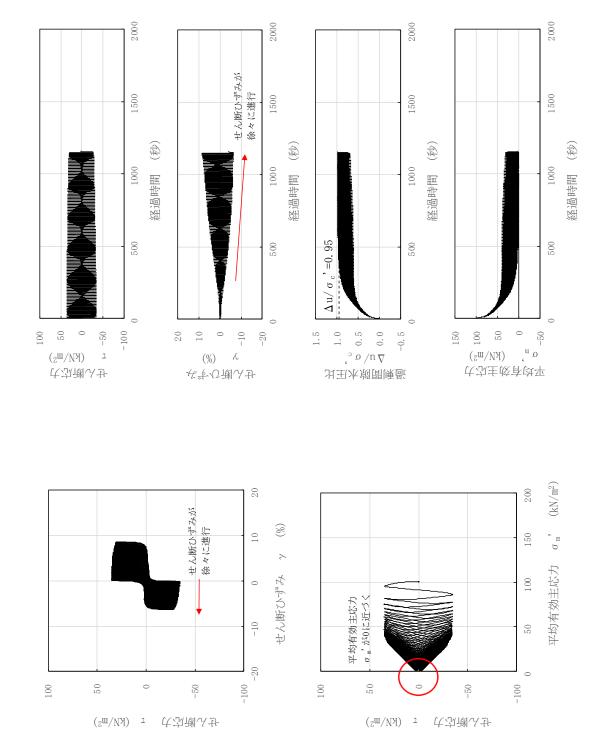
液状化試驗結果 (新期砂層, SO-S1-2-6, GL.-8.16~8.28m, 有効拘束圧 100kN/m², せん断応力比=0.227) 3 - 68X



液状化試験結果(沖積層上部(砂質),SO-S1-7-1,GL.-13.11~13.23m,有効拘束圧 100kN/m²,せん断応力比=0.295) 3 - 69X

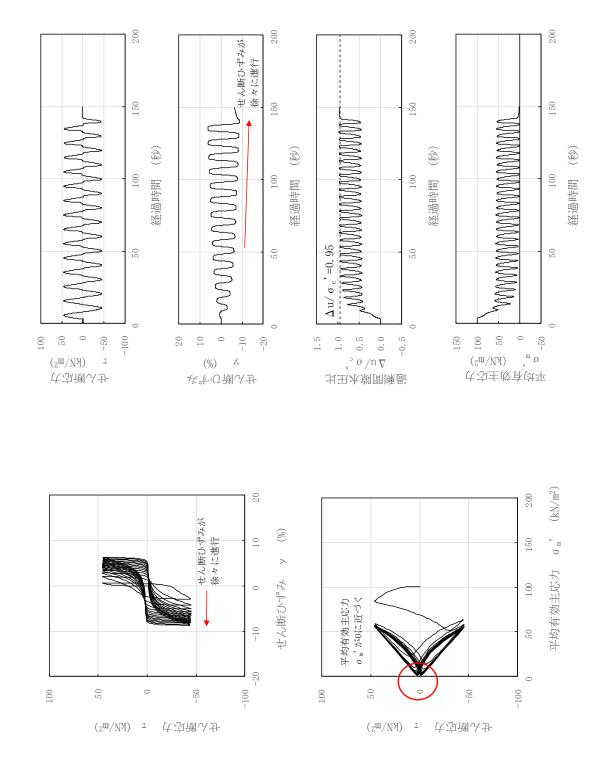


液状化試験結果(沖積層上部(砂質),SO-S1-7-2,GL.-13.23~13.35m,有効拘束圧 100kN/m²,せん断応力比=0.395) 3 - 70×

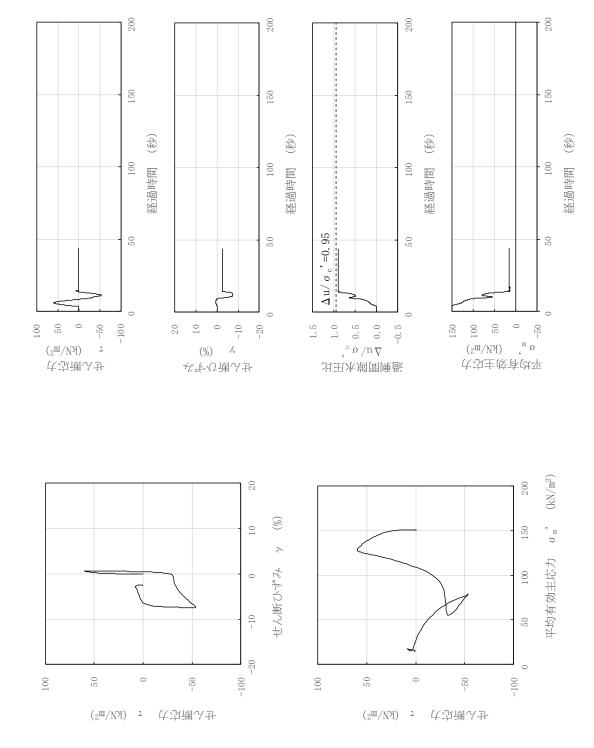


3−71 液状化試験結果(沖積層上部(砂質),S0-S1-7-3,GL.-13.35~13.47m,有効拘束圧 100kN/㎡,せん断応力比=0.346) ×

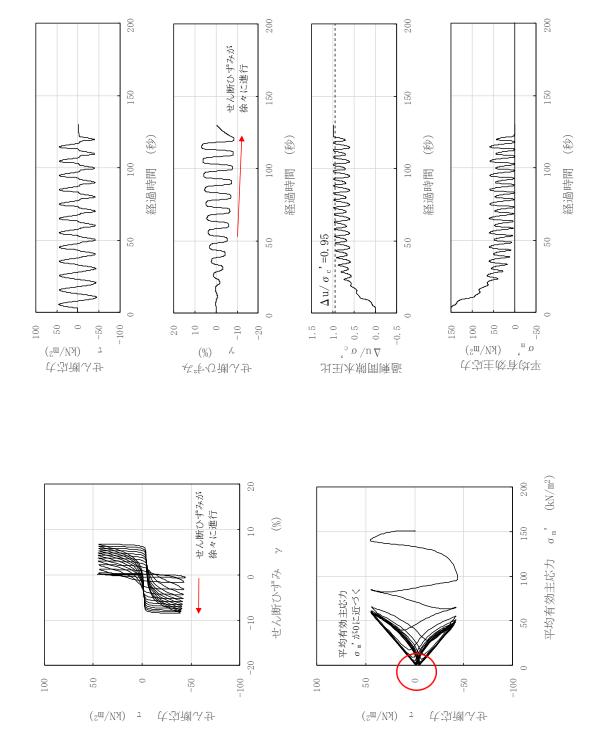
149



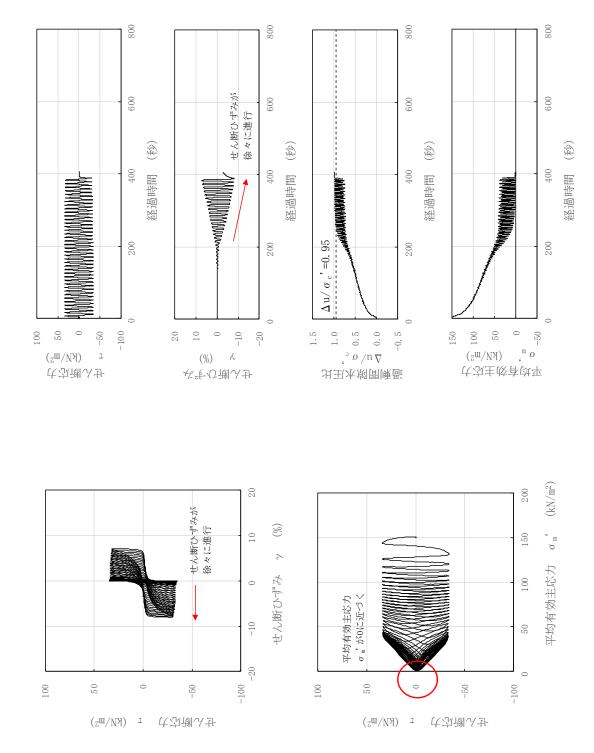
液状化試験結果(沖積層上部(砂質),SO-S1-7-4,GL.-13.47~13.59m,有効拘束圧 100kN/m²,せん断応力比=0.450) 3 - 72×



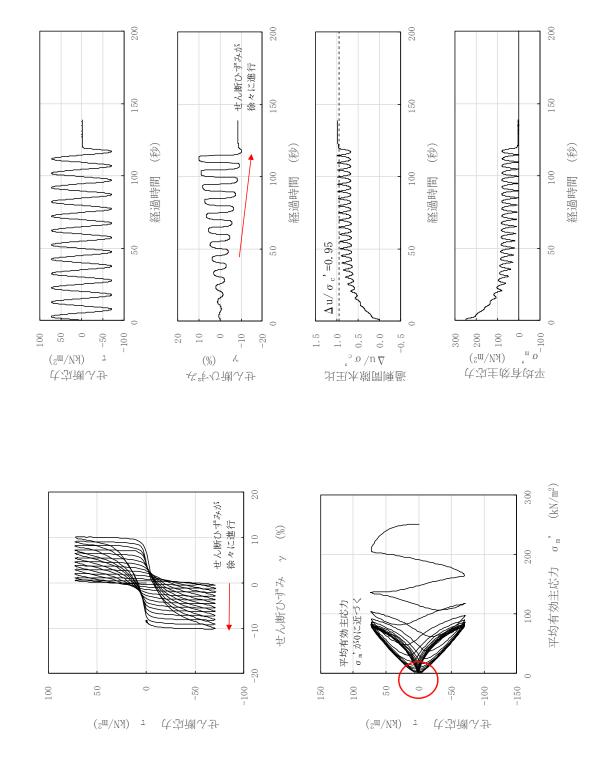
液状化試驗結果(沖積層上部(砂質),SO-S1-8-3,GL.-14.30~14.42m,有効拘束圧150kN/m²,せん断応力比=0.378) 3 - 73×



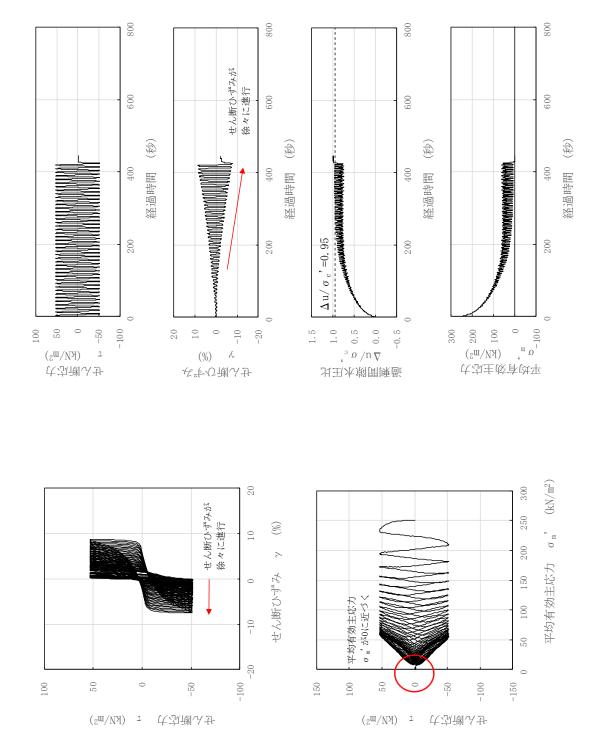
液状化試驗結果(沖積層上部(砂質),SO-S1-8-5,GL.-14.54~14.66m,有効拘束圧 150kN/m²,せん断応力比=0.293) 3 - 74×



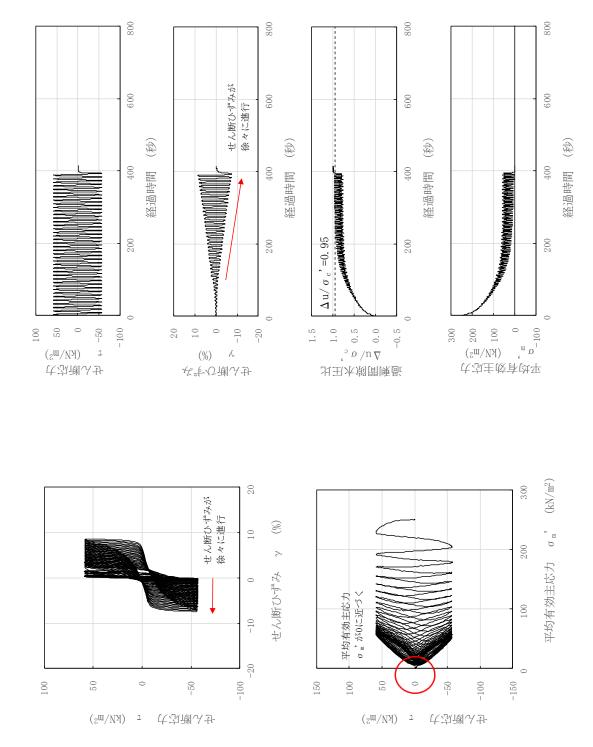
液状化試驗結果(沖積層上部(砂質),S0-S1-8-6,GL.-14.66~14.78m,有効拘束圧 150kN/m²,せん断応力比=0.227) 3 - 75×



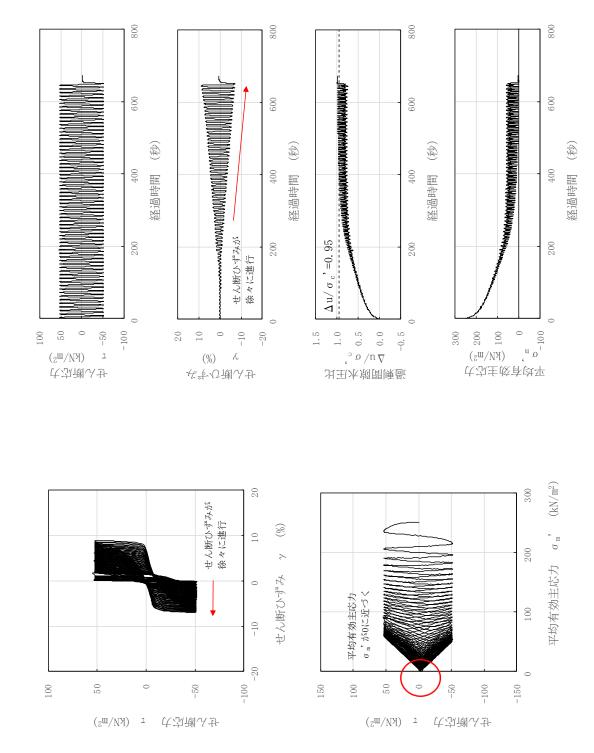
液状化試験結果 (沖積層下部, GTG-S6-②, GL.-11.70~14.70m, 有効拘束圧 250kN/m², せん断応力比=0.286) 3 - 76X



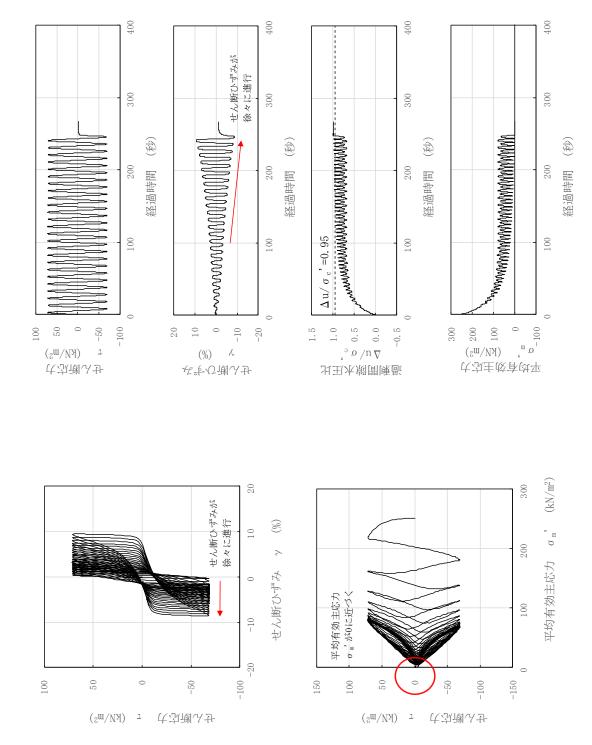
液状化試驗結果(沖積層下部,GTG-S6-⑤,GL.-11.70~14.70m,有効拘束压 250kN/m²,せん断応力比=0.211) 3 - 77X



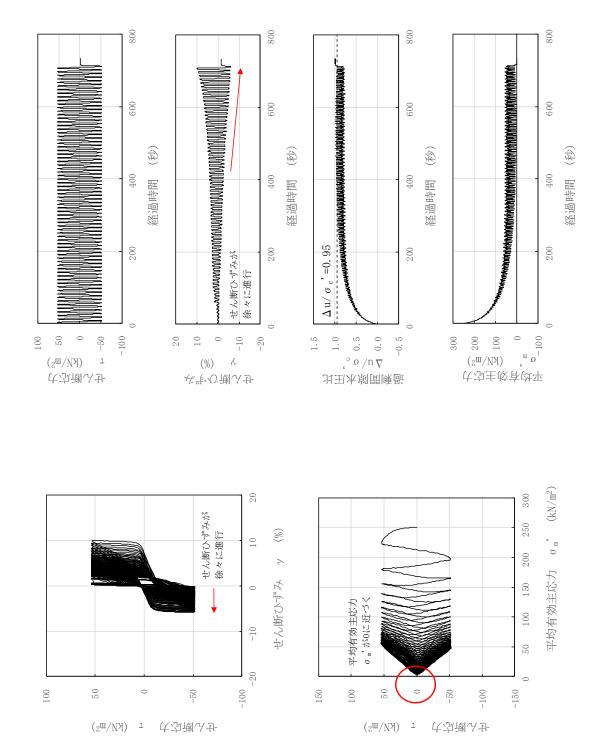
液状化試験結果 (沖積層下部, GTG-S6-®, GL.-11.70~14.70m, 有効拘束圧 250kN/m², せん断応力比=0.232) 3 - 78X



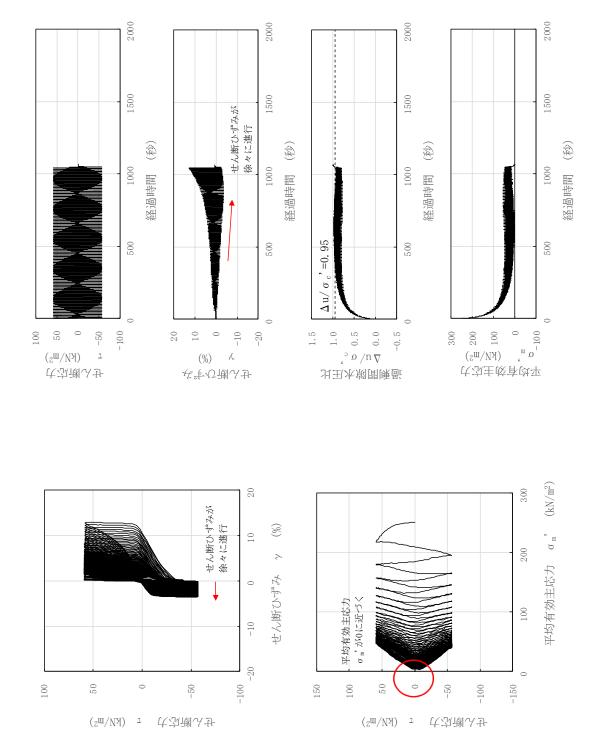
液状化試験結果 (沖積層下部, GTG-S6-②, GL.-11.70~14.70m, 有効拘束圧 250kN/m², せん断応力比=0.209) 3 - 79X



液状化試驗結果(沖積層下部,GTG-S6-②,GL.-15.70~16.65m,有効拘束压 250kN/m²,せん断応力比=0.280) 3 - 80X



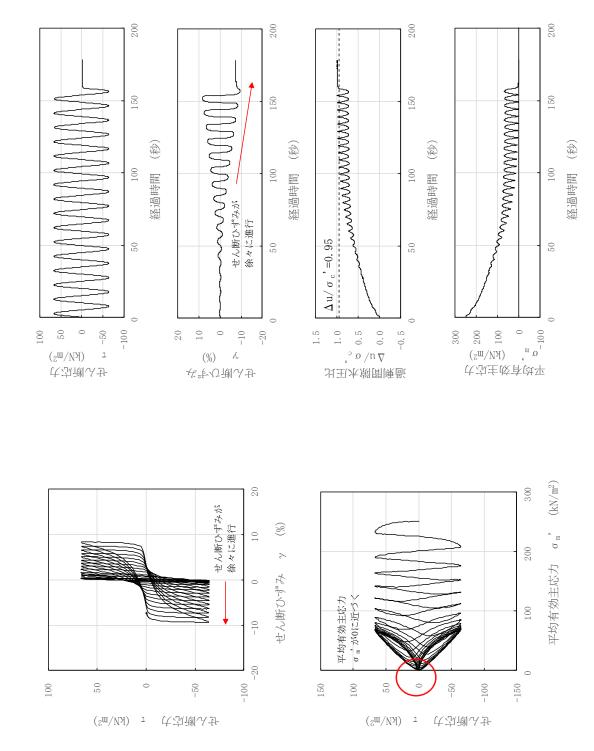
液状化試驗結果(沖積層下部,GTG-S6-②,GL.-15.70~16.65m,有効拘束压 250kN/m²,せん断応力比=0.211) 3 - 81X



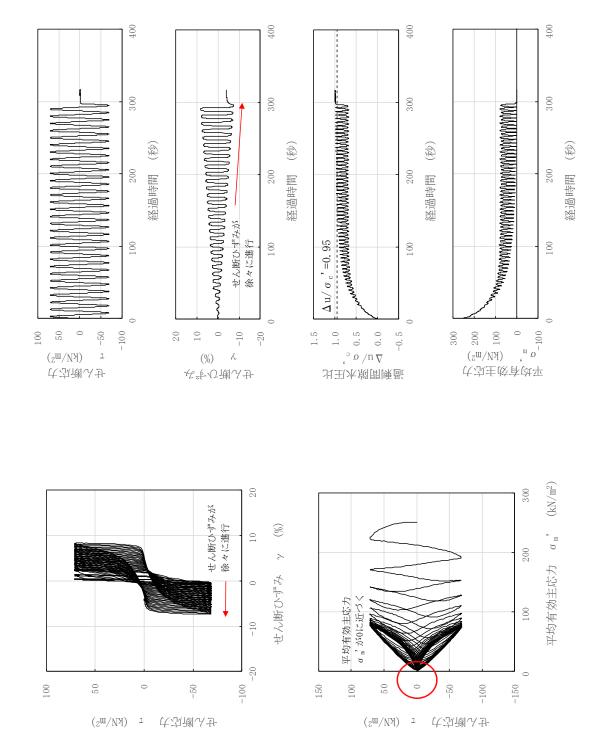
158

液状化試驗結果(沖積層下部,GTG-S6-④,GL.-15.70~16.65m,有効拘束压 250kN/m²,せん断応力比=0.233) 3 - 82X

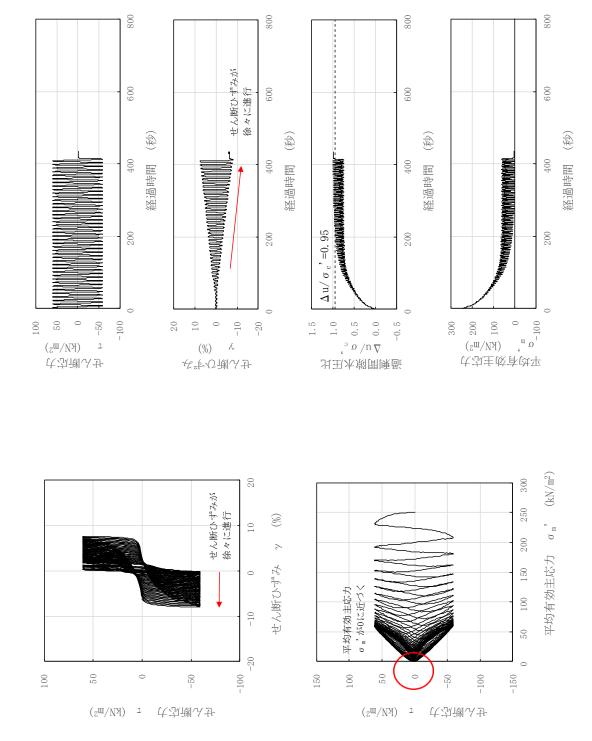
160



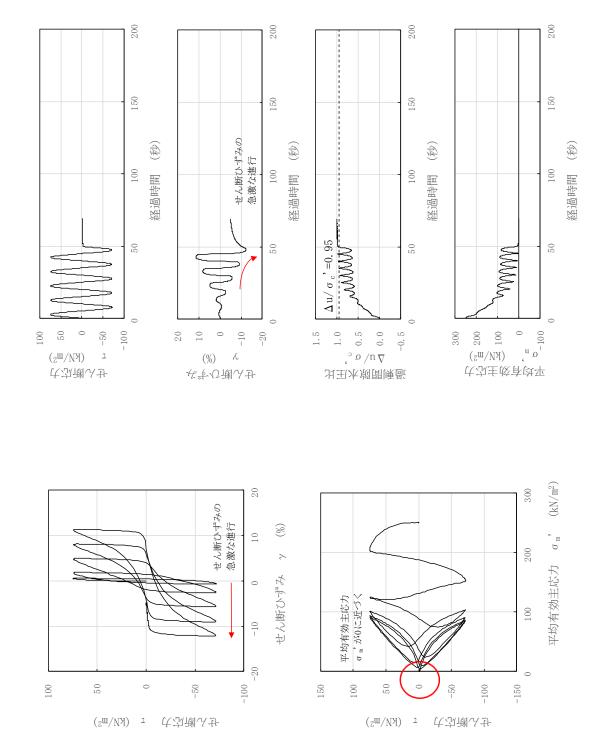
液状化試験結果 (沖積層下部, GTG-S6-⑤), GL.-15.70~16.65m, 有効拘束圧 250kN/m², せん断応力比=0.262) 3 - 83X



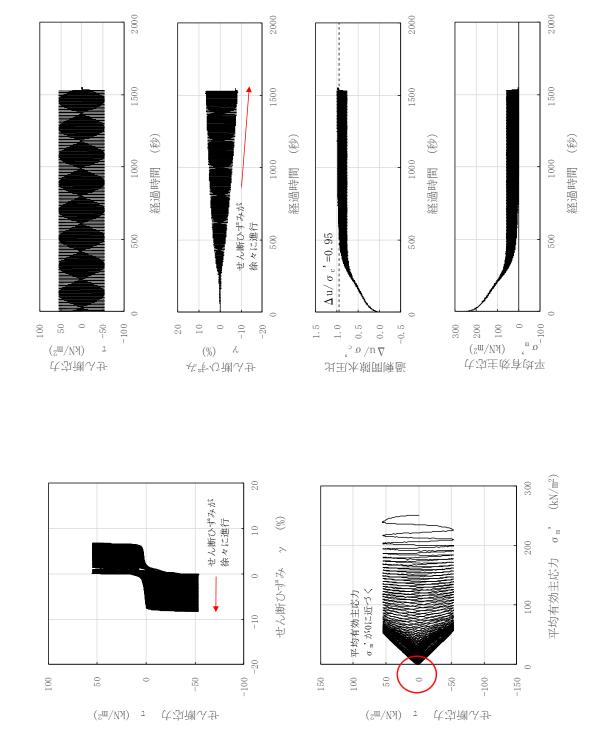
液状化試験結果(沖積層下部,GTG-S6'-③,GL.-12.70~13.70m,有効拘束圧 250kN/㎡,せん断応力比=0.280) 3 - 84X



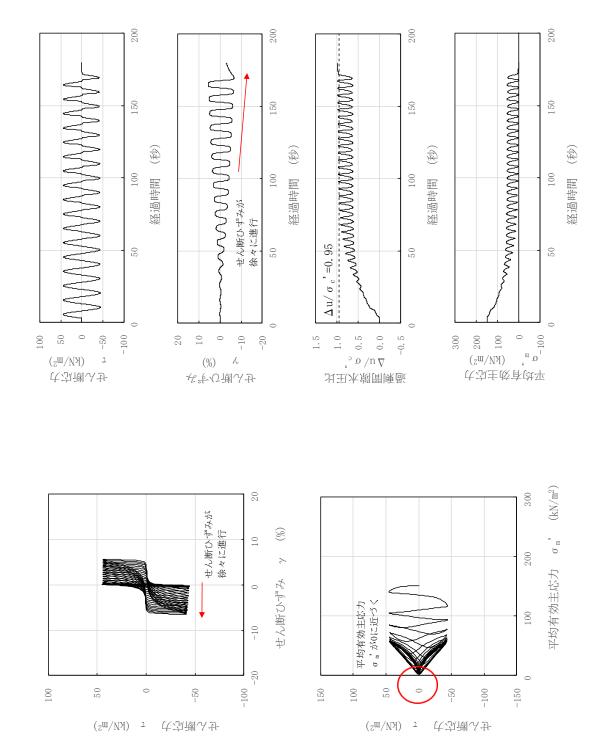
液状化試験結果(沖積層下部,GTG-S6'-④,GL.-12.70~13.70m,有効拘束圧 250kN/m²,せん断応力比=0.240) 3 - 85X



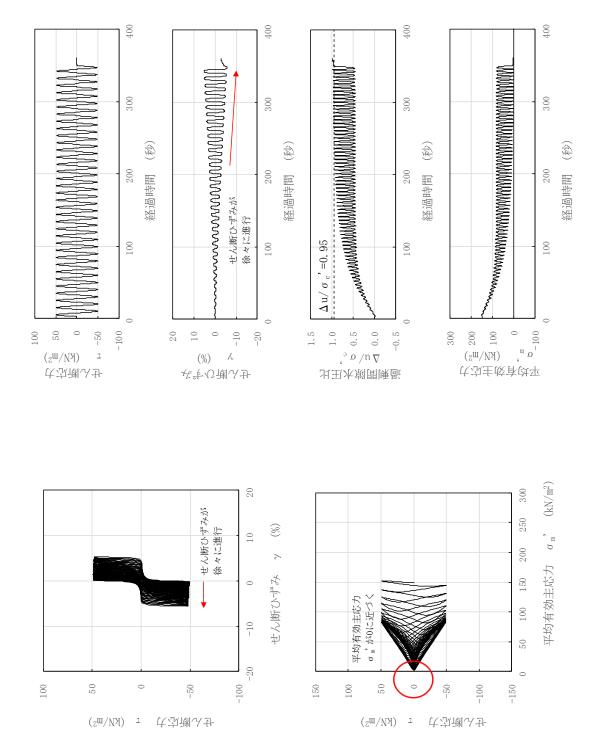
液状化試験結果(沖積層下部,GTG-S6'-⑤,GL.-12.70~13.70m,有効拘束圧 250kN/m²,せん断応力比=0.293) 3 - 86X



液状化試験結果(沖積層下部,GTG-S6'-⑥,GL.-12.70~13.70m,有効拘束圧 250kN/m²,せん断応力比=0.216) 3 - 87×



液状化試験結果(沖積層下部,SO-SI-12-1,GL.-21.10~21.22m,有効拘束圧150kN/m²,せん断応力比=0.295) 3-88 X



液状化試験結果(沖積層下部,SO-SI-12-2,GL.-21.22~21.34m,有効拘束圧 150kN/m²,せん断応力比=0.329) 3 - 89X

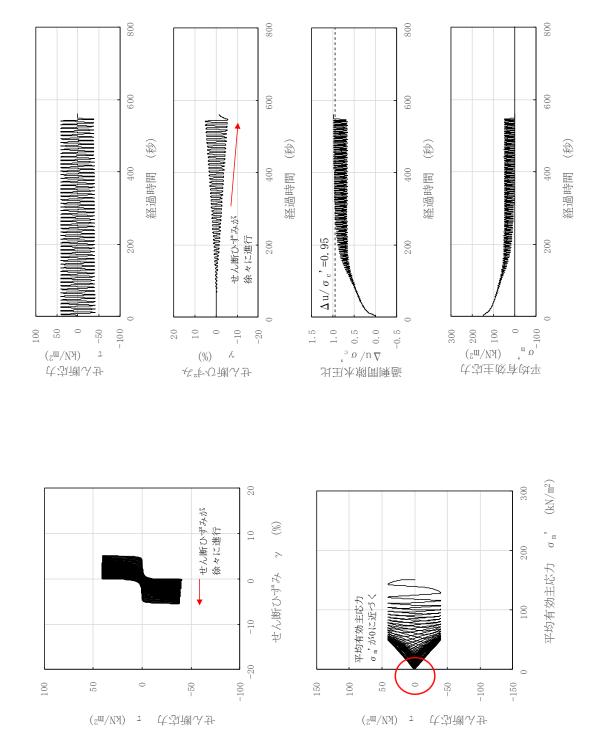


図 3-90 液状化試験結果(沖積層下部,SO-SI-12-3,GL.-21.34~21.46m,有効拘束圧 150kN/m²,せん断応力比=0.270)

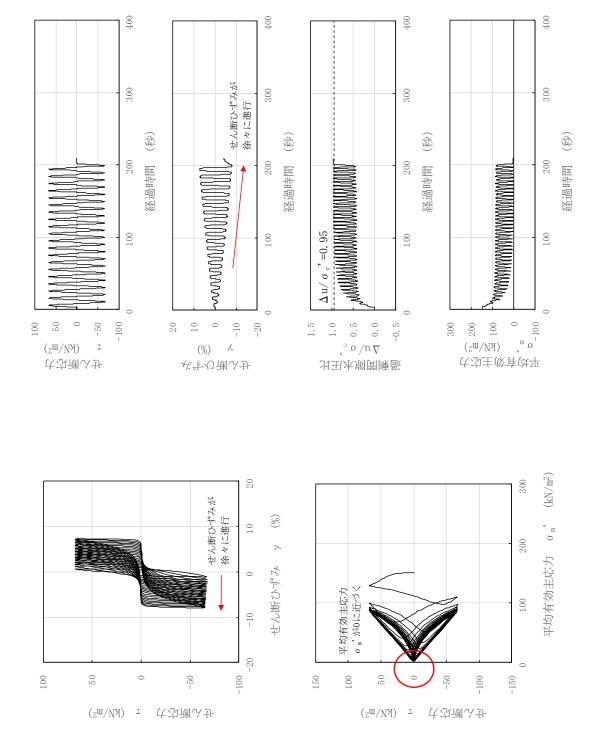
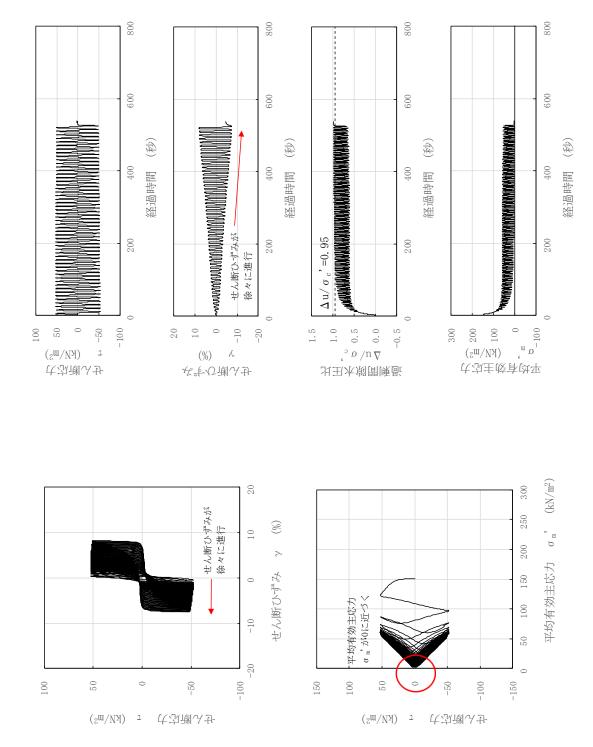


図 3-91 液状化試験結果(沖積層下部,SO-SI-12-4,GL.-21.46~21.58m,有効拘束圧 150kN/m²,せん断応力比=0.447)



液状化試験結果(沖積層下部,SO-S1-13-7,GL.-22.83~22.95m,有効拘束圧 150kN/m²,せん断応力比=0.349) 3 - 92×

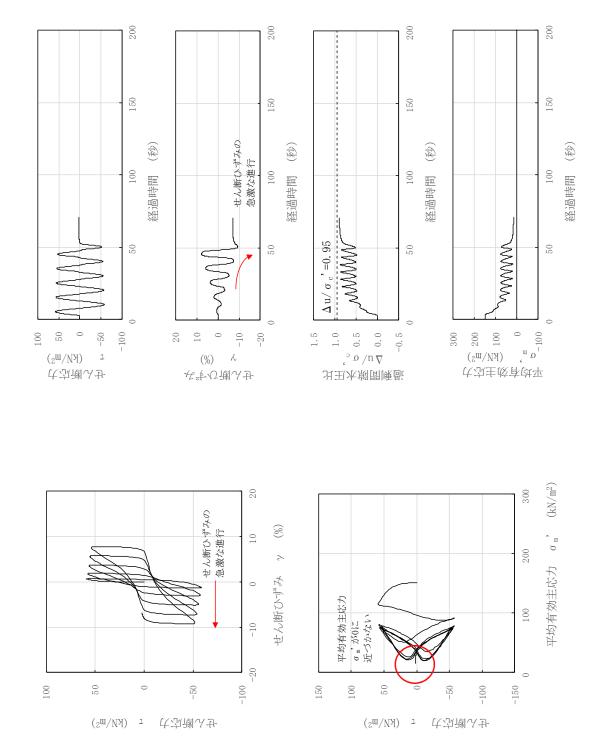
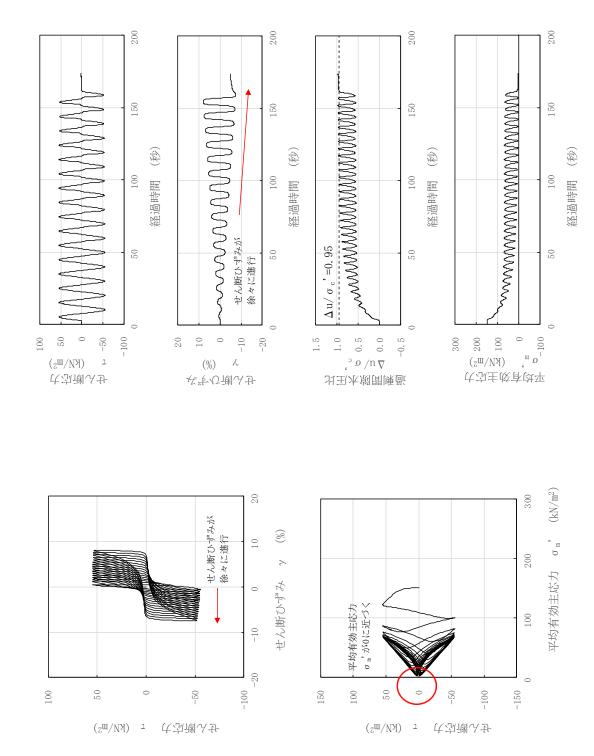


図 3-93 液状化試験結果(沖積層下部,SO-SI-14-4,GL.-23.47~23.59m,有効拘束圧 150kN/m²,せん断応力比=0.390)



3-94 液状化試験結果 (沖積層下部, SO-SI-14-5, GL.-23.59~23.71m, 有効拘束圧 150kN/m², せん断応力比=0.366) ×

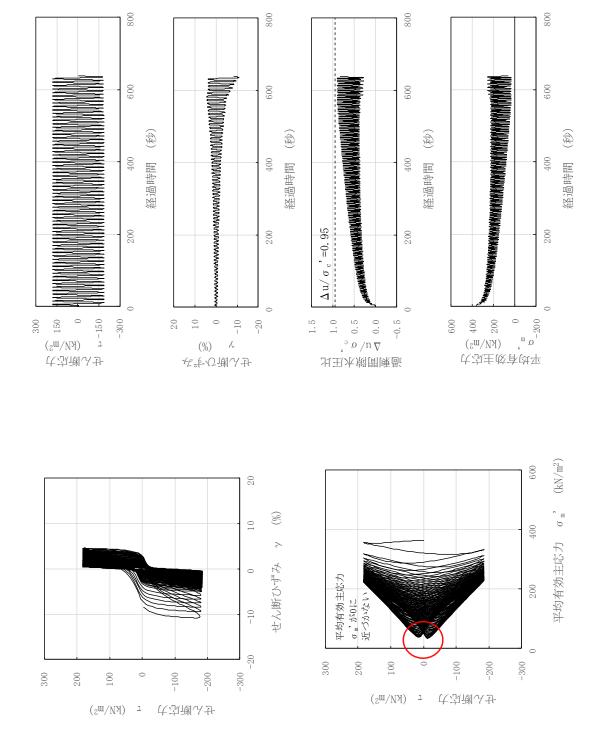


図 3-95 液状化試験結果 (A2s 層, FS-2-2-2, GL.-27.85~28.00m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.507)

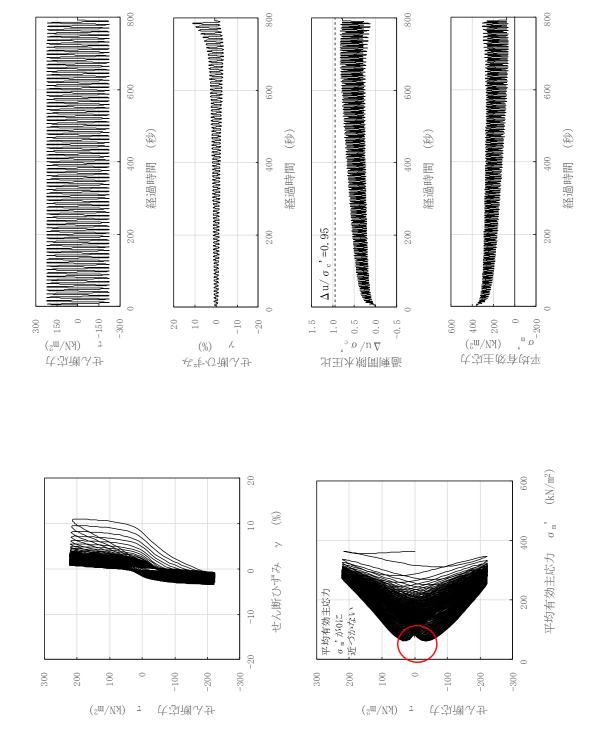


図 3-96 液状化試驗結果 (A2s 層, FS-3-2-1, GL.-27.68~27.84m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.601)

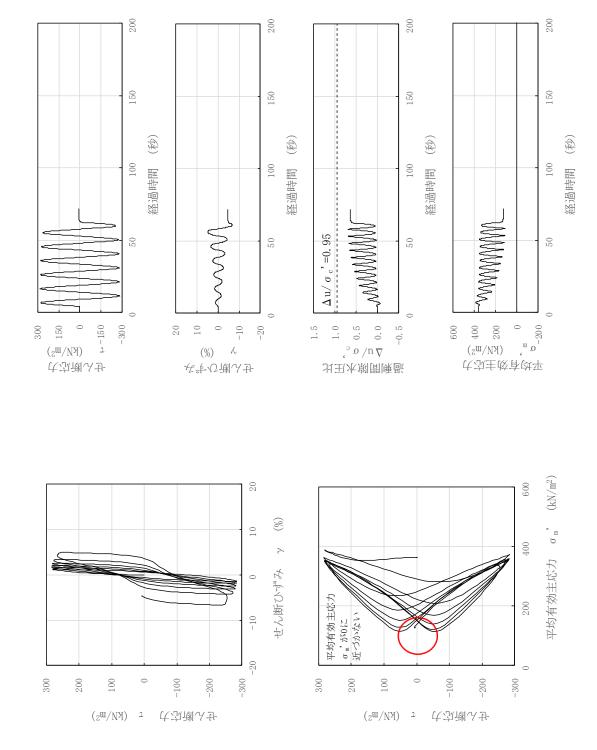


図 3-97 液状化試驗結果 (A2s 層, FS-3-2-2, GL.-27.84~28.00m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.779)

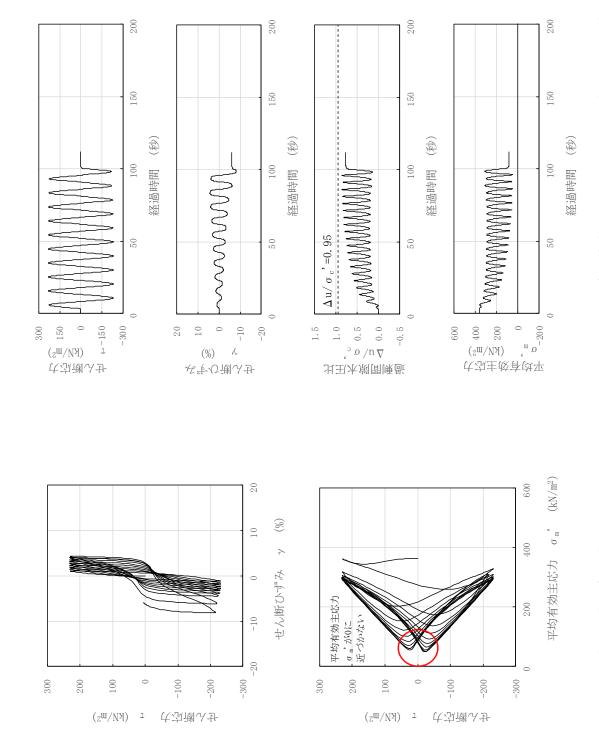


図 3-98 液状化試験結果 (A2s 層, FS-3-2-3, GL.-28.00~28.16m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.637)

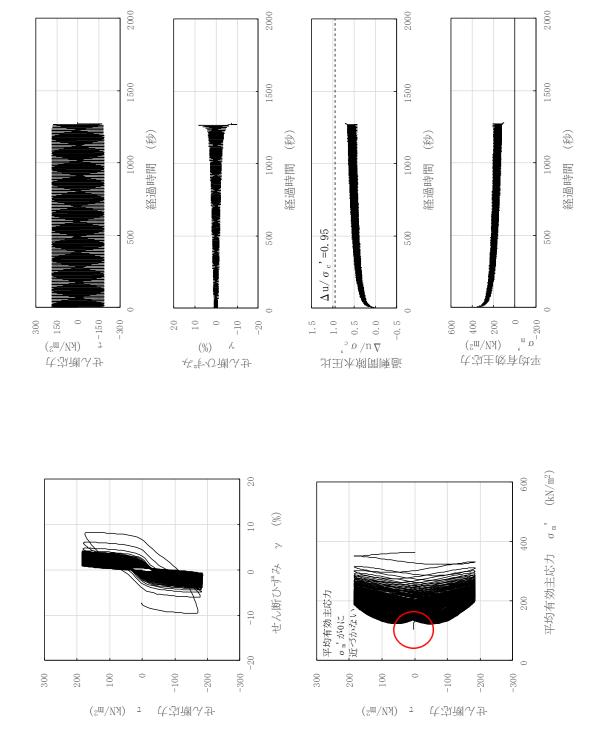
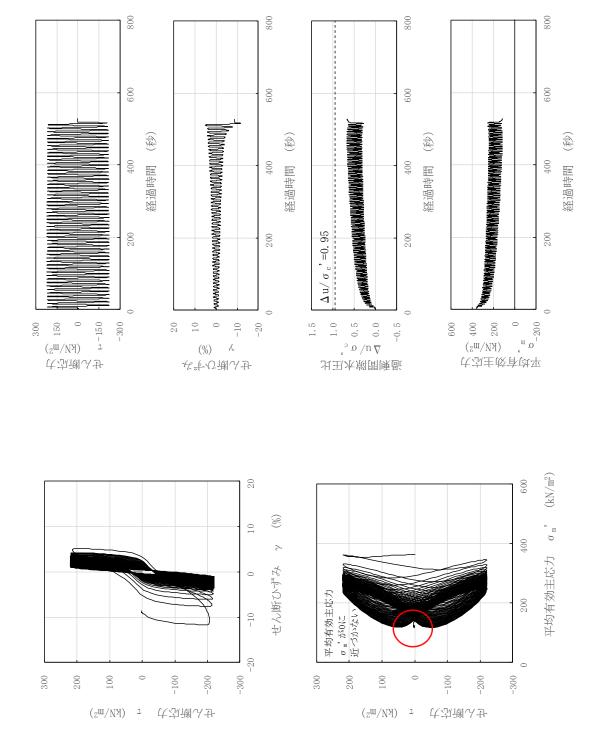
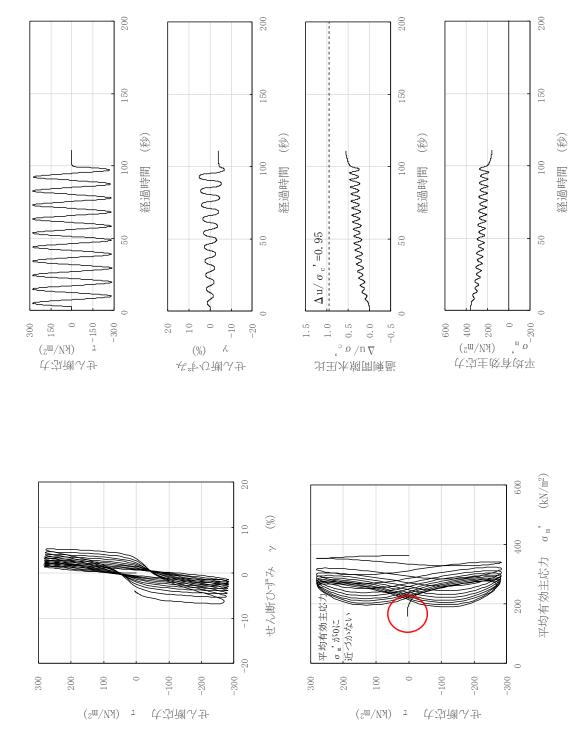


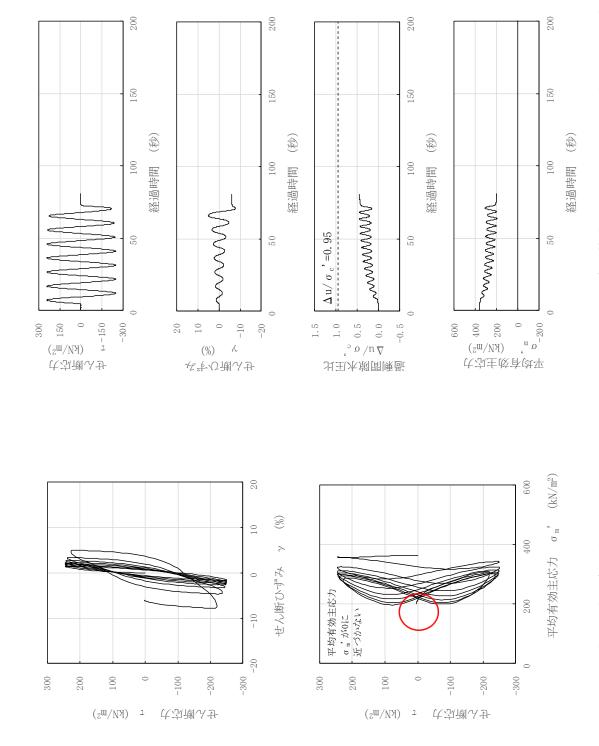
図 3-99 液状化試験結果 (A2s 層, FS-4-1-2, GL.-26.95~27.12m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.508)



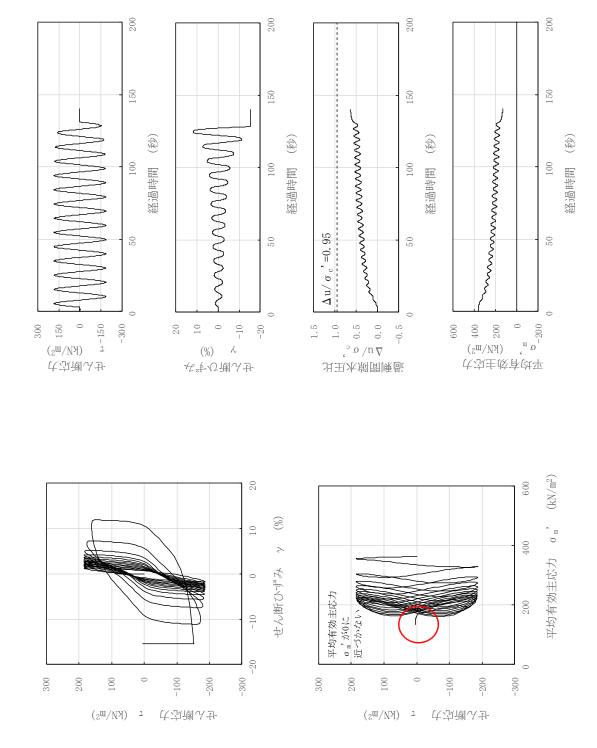
3-100 液状化試験結果 (A2s 層, FS-4-1-3, GL.-27.12~27.29m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.605)



3−101 液状化試験結果 (A2s 層, FS-4-1-4, GL. -27.29~27.46m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.779)



3−102 液状化試験結果 (A2s 層, FS-4-1-5, GL. -27.46~27.63m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.683)



3-103 液状化試験結果 (A2s 層, FS-3-1-2, GL.-26.88~27.03m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.511)

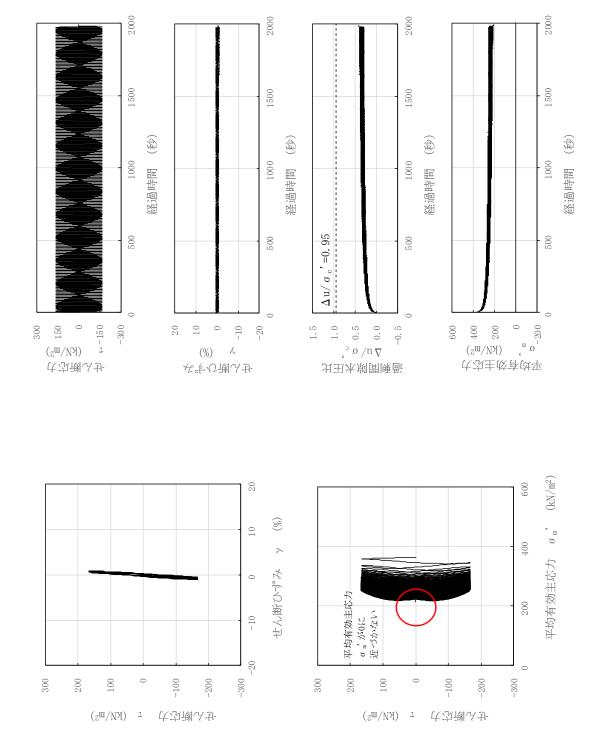
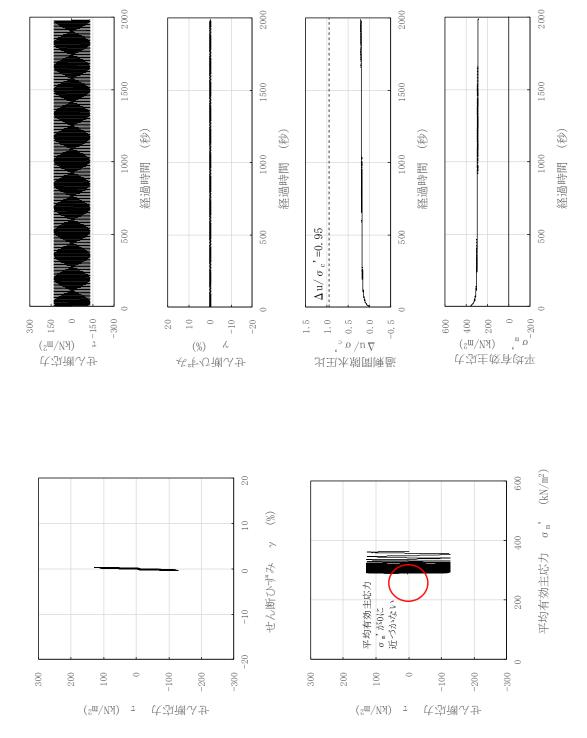


図 3-104 液状化試験結果 (A2s 層, FS-3-1-3, GL.-27.03~27.18m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.458)



3-105 液状化試験結果 (A2s 層, FS-3-1-4, GL.-27.18~27.33m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.350)

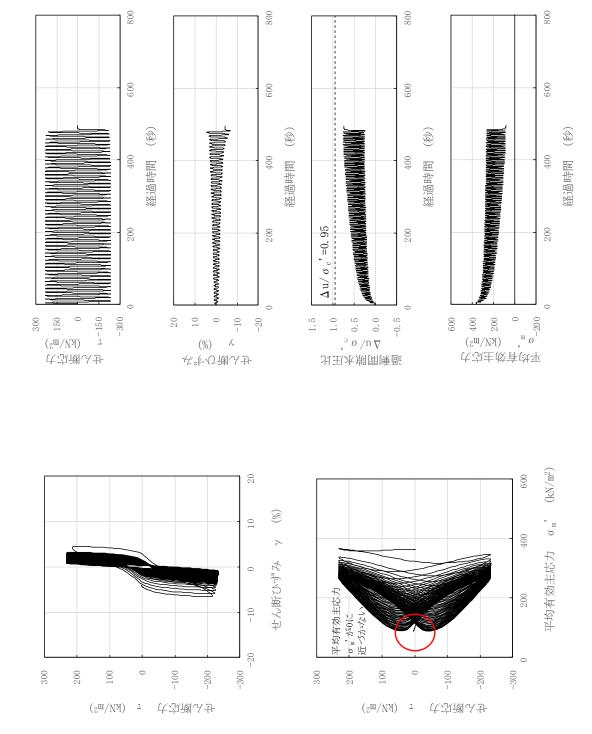


図 3-106 液状化試験結果 (A2s 層, FS-3-1-5, GL.-27.33~27.48m, 有効拘束圧 363kN/m², せん断応力比=0.639)

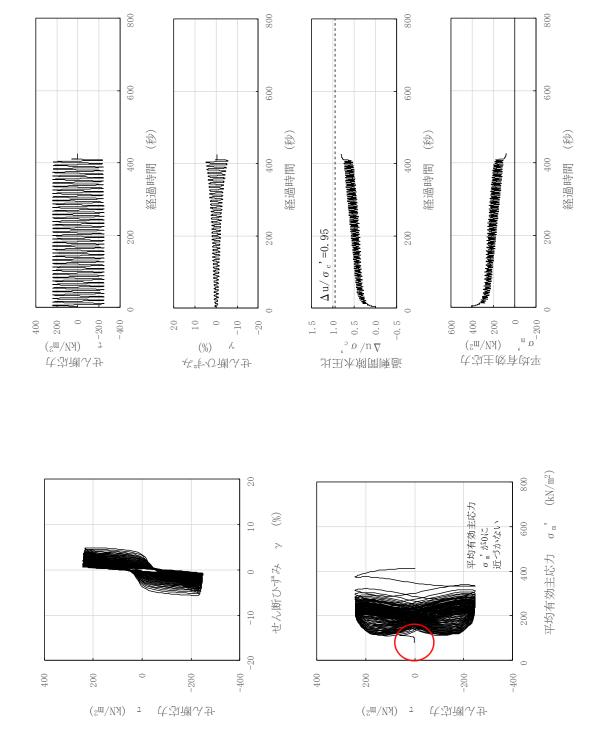
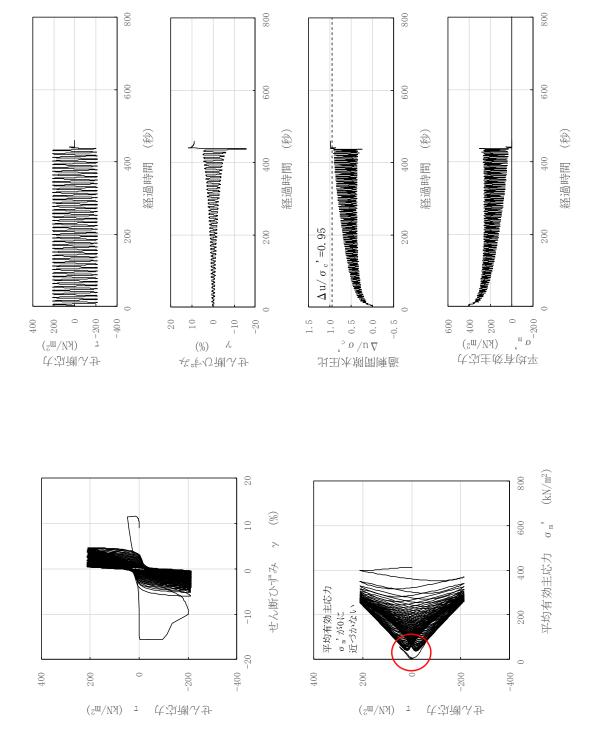


図 3-107 液状化試験結果 (A2s 層, FS-2-6-2, GL.-31.65~31.80m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.594)



3-108 液状化試験結果 (A2s 層, FS-3-8-3, GL.-33.73~33.88m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.515)

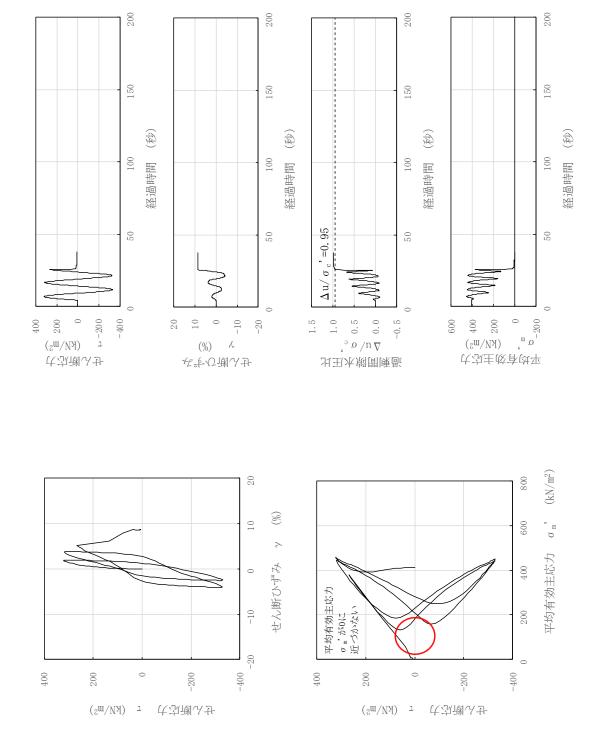
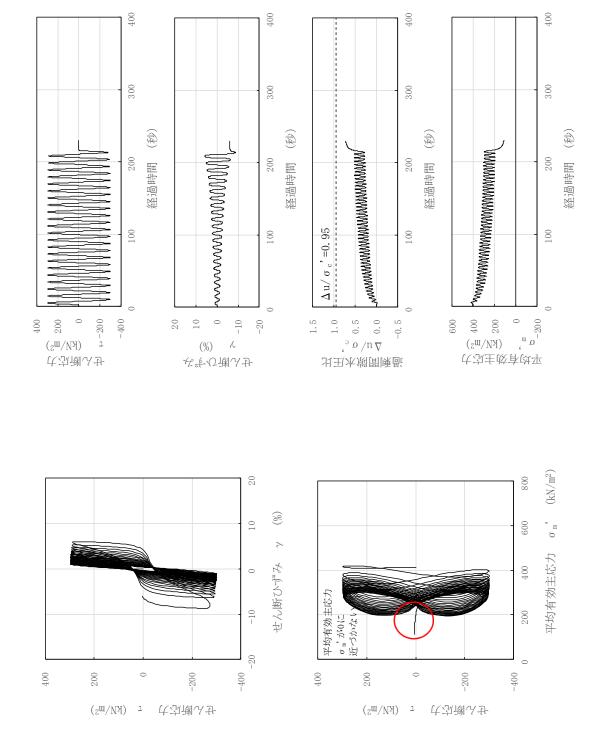


図 3-109 液状化試験結果 (A2s 層, FS-3-9-2, GL.-34.60~34.75m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.790)



3-110 液状化試験結果 (A2s 層, FS-4-7-2, GL.-31.95~32.10m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.723)

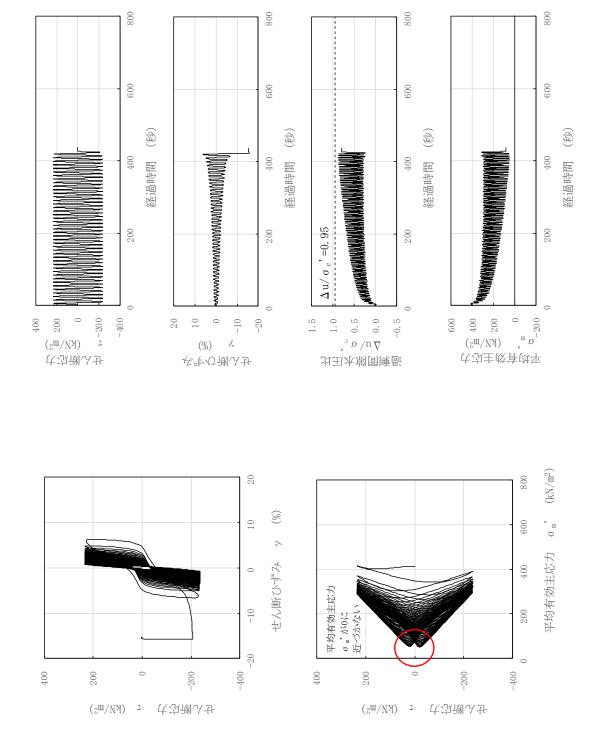


図 3-111 液状化試験結果 (A2s 層, FS-4-8-2, GL.-32.95~33.10m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.572)

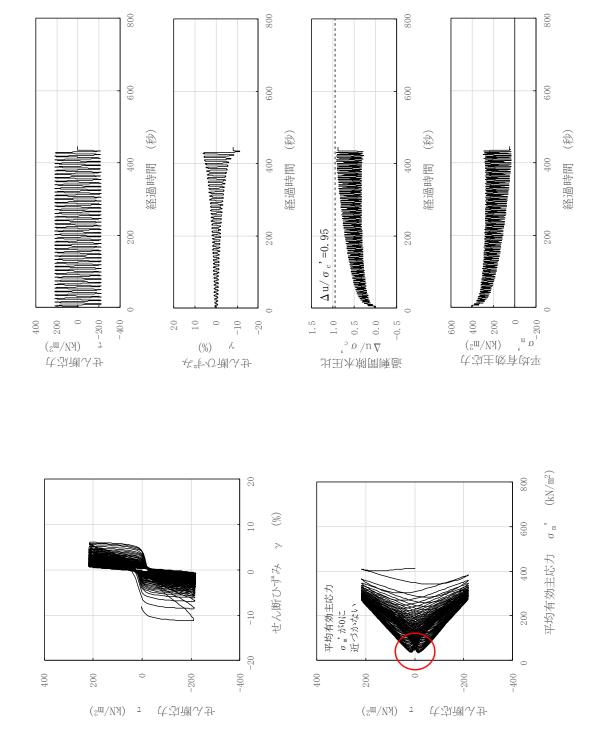
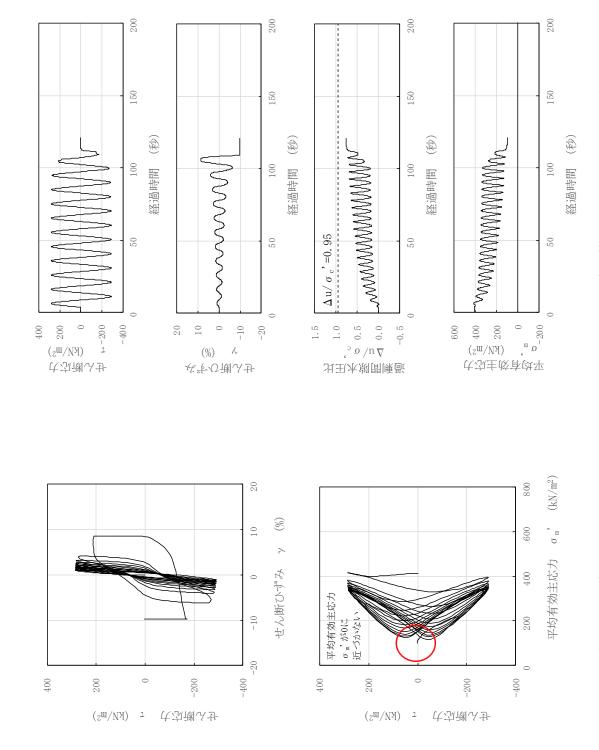
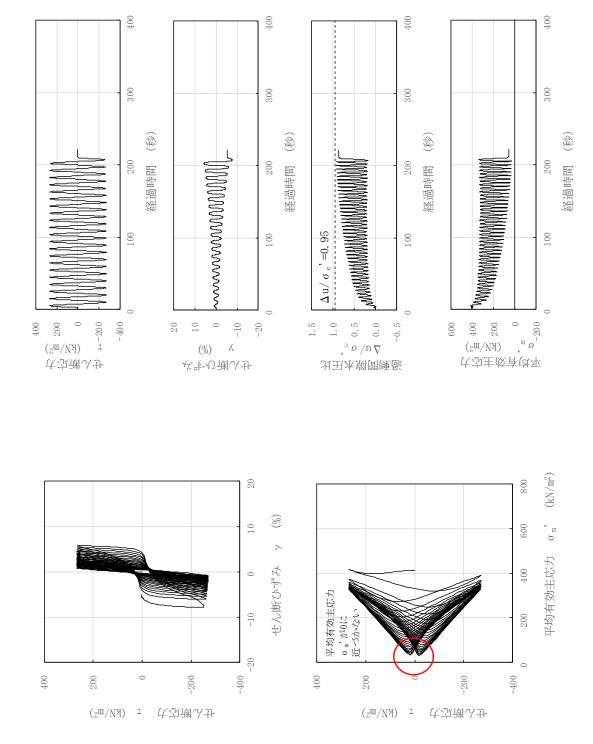


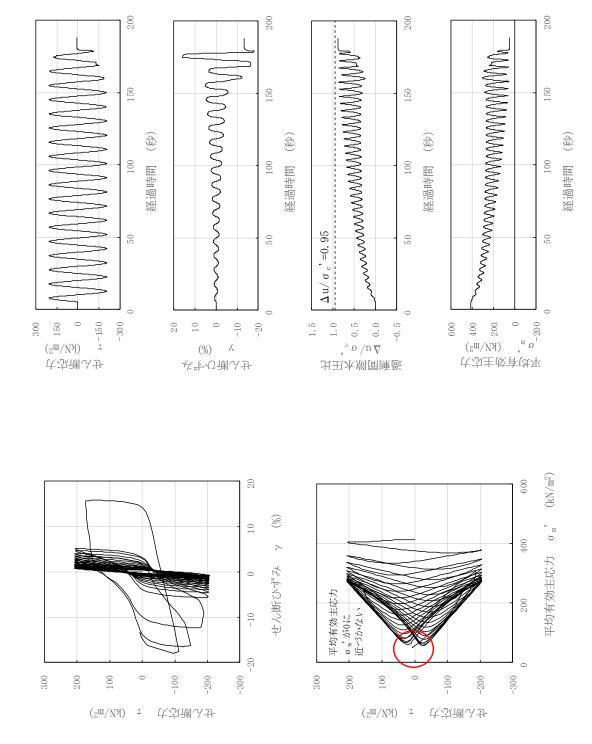
図 3-112 液状化試験結果 (A2s 層, FS-4-8-3, GL.-33.10~33.25m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.530)



3-113 液状化試験結果 (A2s 層, FS-4-8-4, GL.-33.25~33.40m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.696)



3-114 液状化試験結果 (A2s 層, FS-4-8-5, GL.-33.40~33.55m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.651)



3-115 液状化試験結果 (A2s 層, FS02-2-8, GL.-22.70~22.85m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.499)

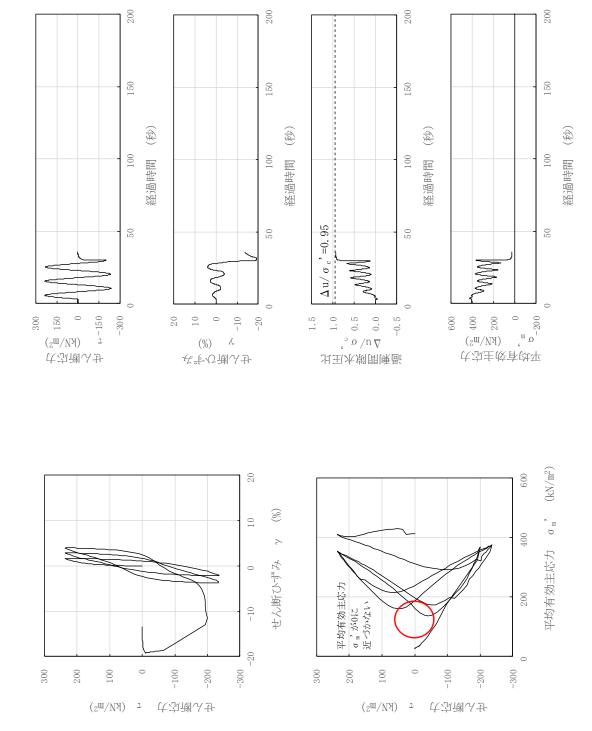
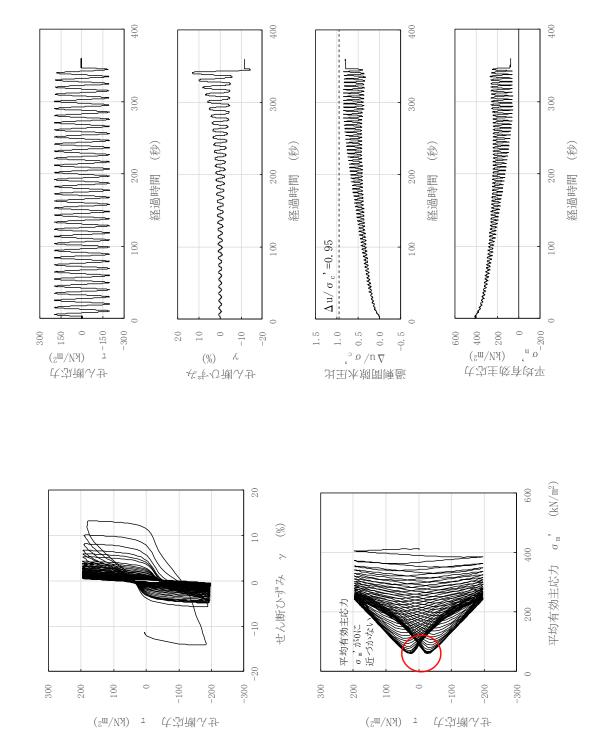
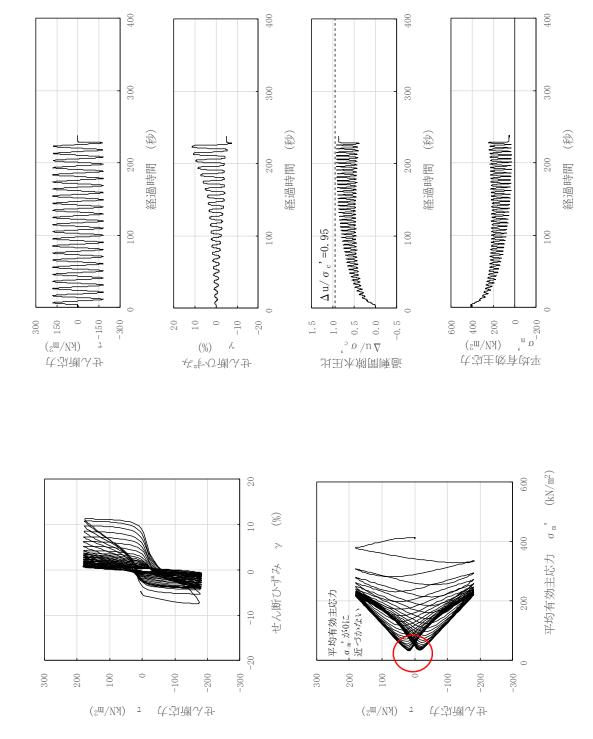


図 3-116 液状化試験結果 (A2s 層, FS02-2-9, GL.-22.85~23.00m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.575)



3-117 液状化試験結果 (AZs 層, FS02-2-10, GL.-23.00~23.15m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.477) ×



3-118 液状化試験結果 (AZs層, FSO2-2-11, GL.-23.15~23.30m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.440) X

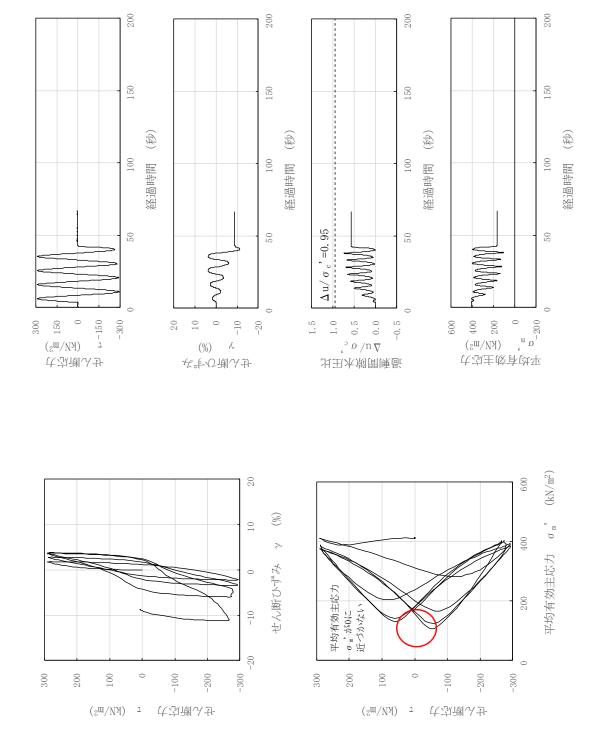


図 3-119 液状化試験結果 (A2s 層, FSO2-2-12, GL.-23.30~23.45m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.710)

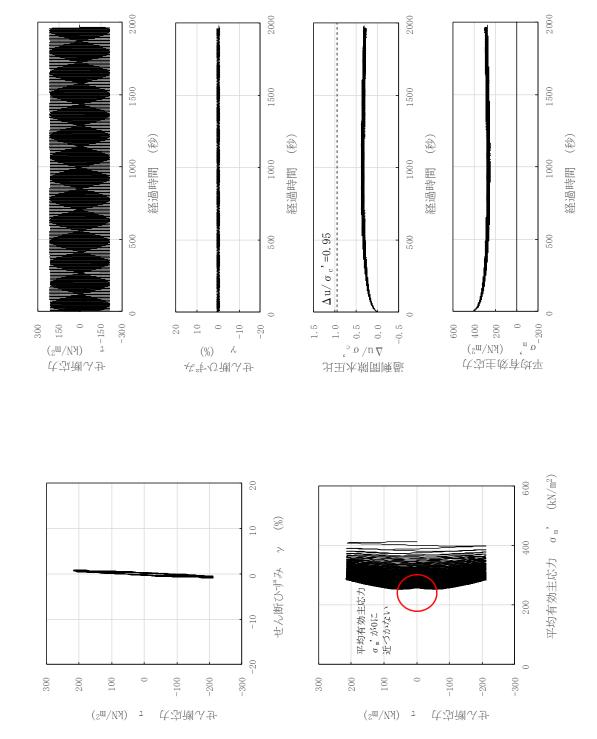


図 3-120 液状化試験結果 (A2s層, FSO2-2-13, GL.-23.78~23.93m, 有効拘束圧412kN/m², せん断応力比=0.517)

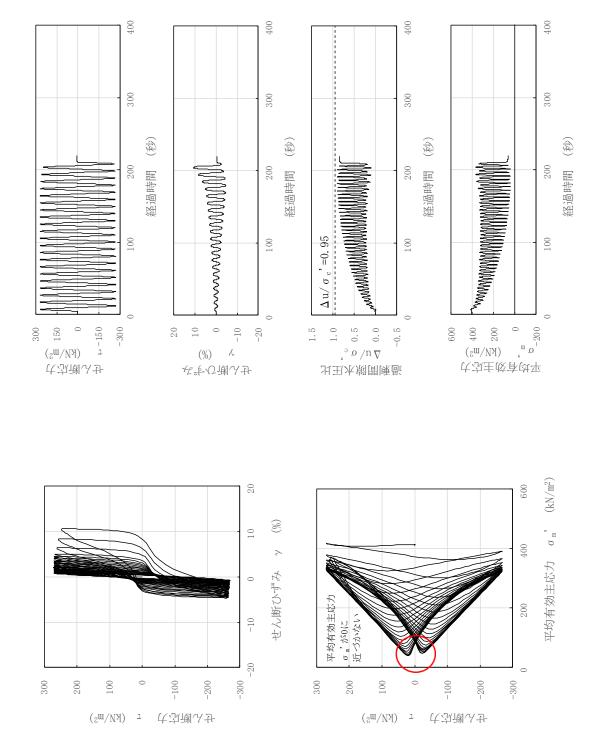


図 3-121 液状化試験結果 (A2s 層, FS02-2-14, GL.-24.00~24.15m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.655)

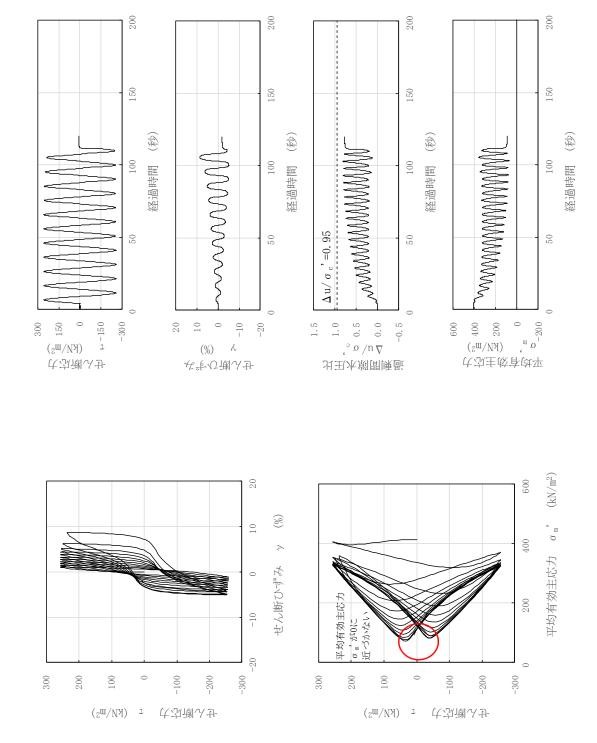
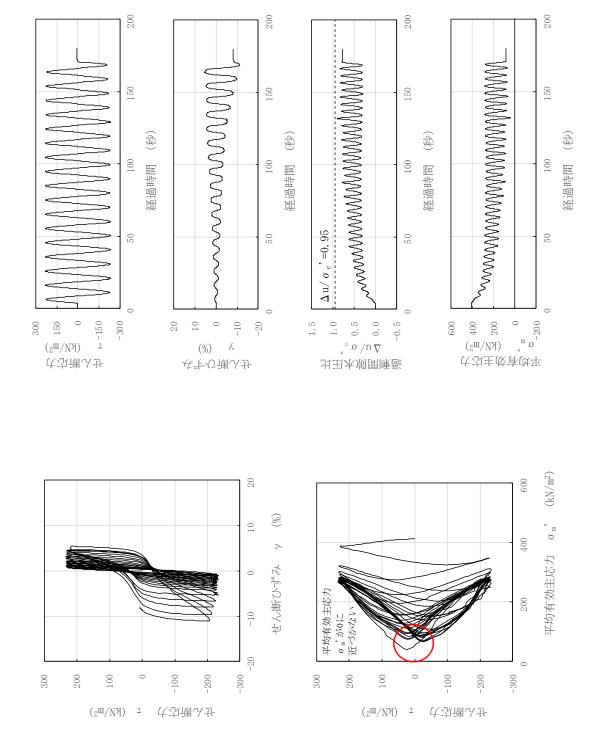


図 3-122 液状化試験結果 (A2s 層, FS02-2-15, GL.-24.15~24.30m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.625)



3-123 液状化試験結果 (AZs 層, FS02-2-16, GL.-24.30~24.45m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.555) X

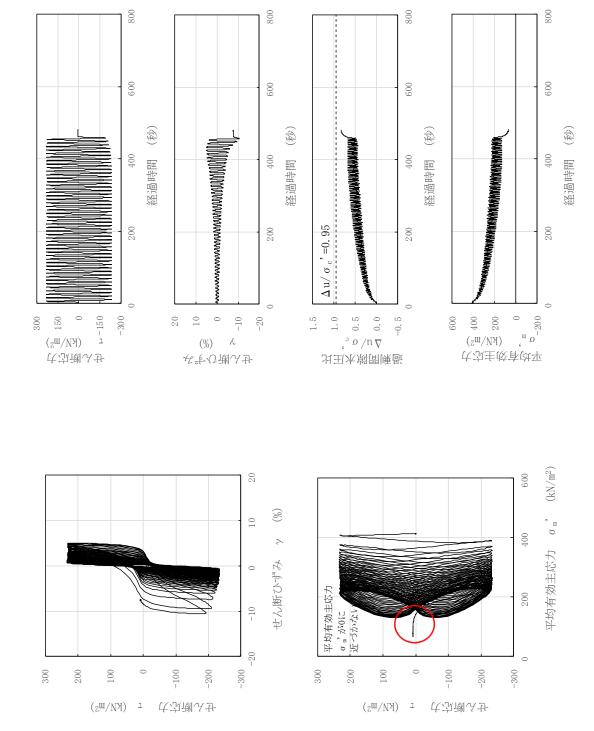


図 3-124 液状化試験結果 (A2s 層, FS02-3-9, GL.-23.73~23.88m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.567)

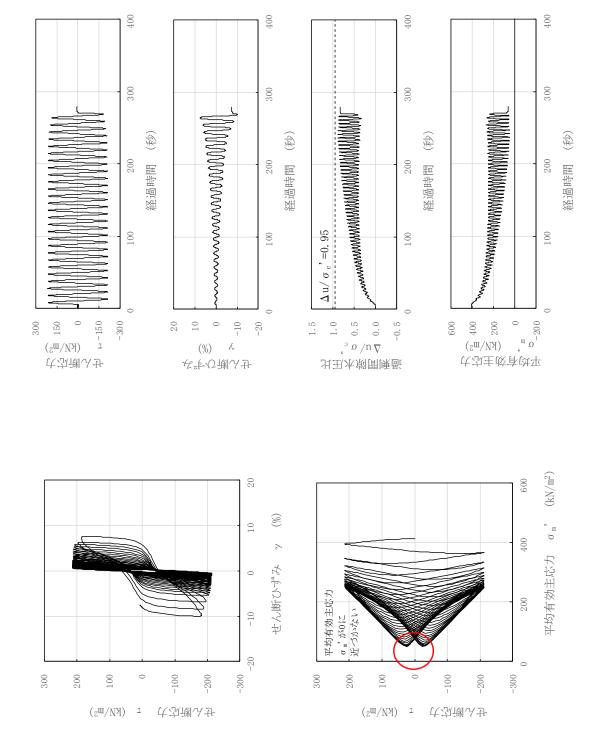


図 3-125 液状化試験結果 (A2s 層, FS02-2-18, GL.-25.10~25.25m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.519)

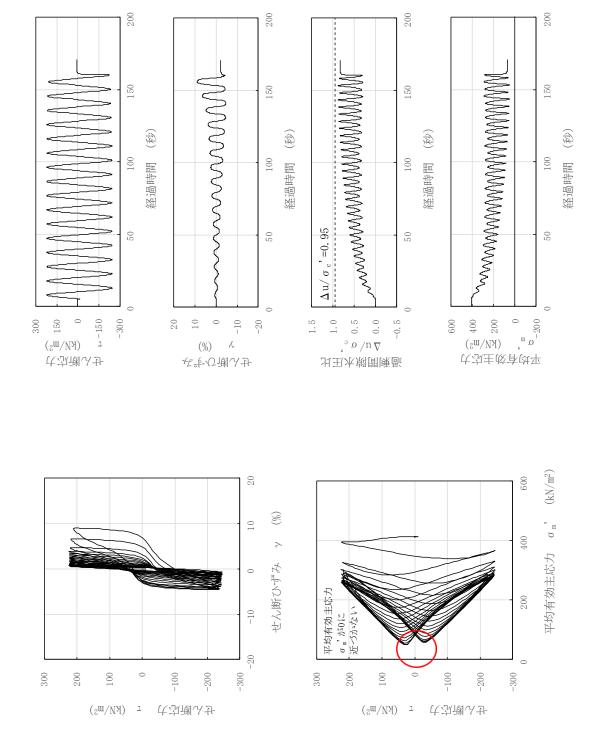


図 3-126 液状化試験結果 (A2s 層, FS02-2-19, GL.-25.25~25.40m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.567)

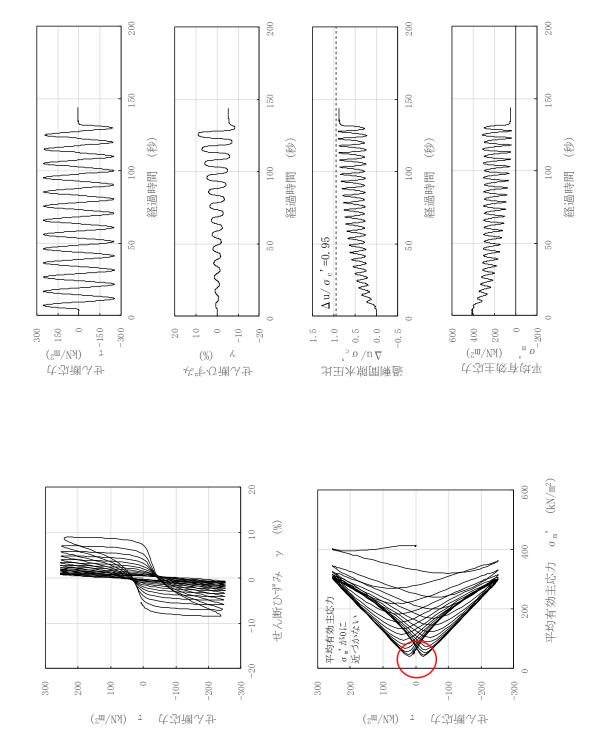


図 3-127 液状化試験結果 (A2s 層, FS02-2-20, GL.-25.40~25.55m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.616)

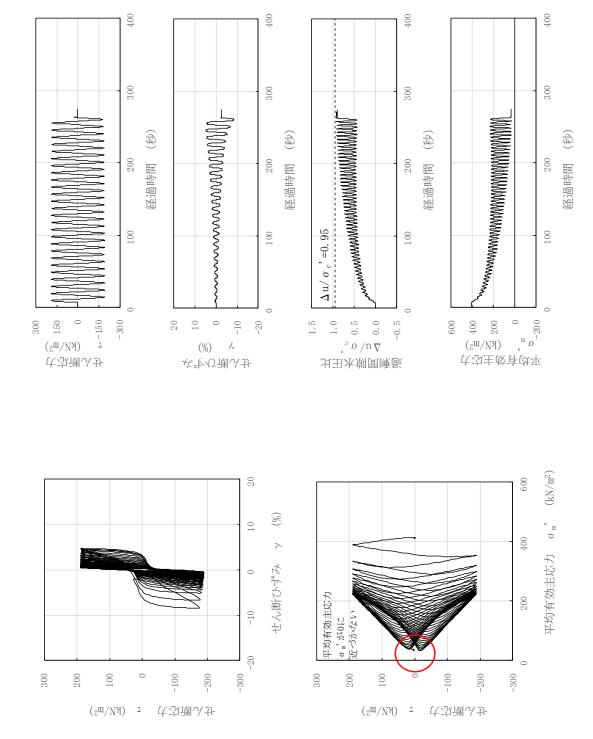


図 3-128 液状化試験結果 (A2s 層, FS02-2-21, GL.-25.55~25.70m, 有効拘束圧 412kN/m², せん断応力比=0.460)